

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	共通 06 <u>R5</u>
提出年月日	令和 3 年 <u>8 月 18 日</u>

設工認に係る補足説明資料

本文（基本設計方針、仕様表等）、
添付書類（計算書、説明書）、添付図面で記載すべき事項

目 次

1. 概要.....	1
2. 申請書本文（基本設計方針、仕様表等）に記載すべき事項.....	1
3. 添付書類（計算書、説明書）、添付図面.....	13
4. 補足説明資料.....	15
5. 準拠規格及び基準.....	15
6. 類型化展開の考え方.....	16

添付－1 基本設計方針の作業フロー、添付書類（説明書、計算書）の作業フロー

添付－2 基本設計方針、工事の方法の変更前記載事項の既工認等との紐づけ

添付－3 様式－7を用いた発電炉との記載の比較

添付－4 基本設計方針の申請書毎の対象整理

添付－5 仕様表記載項目の設定

添付－6 仕様表展開表

添付－7 仕様表記載例

添付－8 設工認申請設備選定フロー

添付－9 基本設計方針等から添付書類へ展開すべき事項の展開

添付－10 添付書類の発電炉との比較

参考 仕様表対象機器の選定に係る手引き（案）

1. 概要

- 本資料は、再処理施設、MOX燃料加工施設（ウラン濃縮加工施設）における申請書として必要な書類の作成において、設工認申請書の各書類で記載すべき事項などについて補足説明を行うものである。
- 新規制基準を受けた設工認申請では、既設工認から申請書で説明すべき事項が変更となったことから、申請書本文（基本設計方針、仕様表等）、添付書類（計算書、説明書）、添付図面で記載すべき事項・記載方法、補足説明資料の位置づけを明確にする必要がある。
- そのため、申請書本文（基本設計方針、仕様表等）、添付書類（計算書、説明書）、添付図面の記載方針を示すとともに、発電炉の実績を踏まえた記載程度の整理及び既認可での記載事項との関係の整理の考え方を示す。

2. 申請書本文（基本設計方針、仕様表等）に記載すべき事項

(1) 基本設計方針（添付－1参照）

①記載方針

a. 基本事項

- 設工認申請書の基本設計方針については、事業変更許可申請との整合及び技術基準規則への適合の観点で、設備設計における設計の概念、基本的な考え方等を記載する。
- 記載の形式については、先に新規制基準を踏まえた設工認の認可を得ている発電炉の記載を参考とし、新規制基準を踏まえた変更点が明確になるよう前後表とする。
- 変更後の記載については、新規制基準による規則要求の変更有無を踏まえ、「新規制基準の要求により、過去の設計方針からの記載事項の変更が生じるもの」として、様式-7で事業変更許可申請書の本文、添付書類記載事項をもとに設計の概念、基本的な考え方等として基本設計方針に記載する事項とした内容を記載する。
- 変更前の記載については、上述の変更後の記載をもとに、既設工認で設計方針等として示していたもの、明示していないものの既設工認の記載を詳細展開した内容であり、従前から設計上実施していたものを抽出し、記載する。さらに、法令、従前の許可等から同様の設計を行っていた事項、従前から実施していたものが法令変更によって追加記載事項になった事項等についても、記載の適正化として変更前に記載する。
- 変更前の記載方針は、同じく前後表の形式で記載する「工事の方法」でも同様である。

- 具体的に変更前に記載する事項としては、「既設工認に記載されている内容と同様（同義を含む）」、「既設工認に記載されている内容と全く同じではないが、既設工認の記載を詳細展開した内容であり、設計上実施していたもの」、「その他既設工認に記載されていないが同様の設計を行っていたこと等の理由から記載の適正化を図ったもの」である。
- 上記の変更前記載事項に係る分類及び分類ごとの例を以下に示す。また、基本設計方針の変更前記載事項の既工認等との紐づけの例を添付－2に示す。

分 類	分類例
既設工認に記載されている内容と同様（同義を含む）： 	<p><基本設計方針></p> <p>Sクラスの安全機能を有する施設は、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下、「基準地震動」という）による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがないように設計する。</p> <p><既設工認等></p> <p>Sクラスの安全機能を有する施設は、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下「基準地震動」という。）による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがないように設計する。</p>
既設工認に記載されている内容と全く同じではないが、既設工認の記載を詳細展開した内容であり、設計上実施していたもの： 	<p><基本設計方針></p> <p>管理区域内の汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面、除染が容易で腐食し難い材料で仕上げる設計とする。</p> <p>i. 工程室の床、壁及び天井に対して樹脂系塗料等で平滑に仕上げを行う。</p> <p>ii. 密封された核燃料物質等を取り扱う室並びに混合酸化物貯蔵容器を受け入れる室及び保管する室については、床及び壁に対してのみ樹脂系塗料等で平滑に仕上げを行う。</p> <p>iii. 上記 i. 及び ii. 以外の管理区域は、床及び壁に対して樹脂系塗料等で平滑に仕上げを行う。</p> <p>なお、壁の樹脂系塗料等で平滑に仕上げを行う範囲は、人が歩行するときに肩が当たらない高さ程度までとする。</p> <p><既設工認></p> <p>本申請に係る建物のうち、汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は、表面を腐食し難い樹脂系塗料等で平滑に仕上げ、除染しやすい設計としている。</p>
その他既設工認に記載されていないが同様の設計を行っていたこと等の理	<p><基本設計方針></p> <p>2.1.2 容器等の主要な溶接部に係る検査</p> <p>容器等の主要な溶接部に係る使用前事業者検査は、技術基準第15条第1項</p>

<p>由から記載の適正化を図ったもの： <input type="checkbox"/></p>	<p>第3号及び第31条第1項第2号並びに加工施設の技術基準に関する規則の解釈(以下「技術基準解釈」という。)に適合するよう、以下の(1)及び(2)の工程ごとに検査を実施する。</p> <p>(1) あらかじめ確認する事項</p> <p>次の①及び②については、容器等の主要な溶接部の溶接をしようとする前に、技術基準解釈 別記 別紙-2溶接施工法認証標準及び別紙-3溶接士技能認証標準に従い、第2.1.2-1表、第2.1.2-2表に示す検査を行う。</p> <p>① 溶接施工法に関すること</p> <p>② 溶接士の技能に関すること</p> <p>→耐圧試験または漏えい試験(溶接部に係る検査)に係る事項は、既工認から加工施設、再処理施設、特定廃棄物埋設施設及び特定廃棄物管理施設の溶接の技術基準(平成12年総理府令第123号)または発電用原子力設備規格、設計・建設規格に準拠して実施しており、変更はない。</p>
--	--

②記載すべき事項

- 基本設計方針は、申請対象設備で担保すべき機能・性能に関する基本的な要求を満たすための設計の概念、基本的な考え方を記載するものである。
- そのため、事業変更許可申請書本文及び安全設計に係る添付書類を踏まえ作成する様式-7をもとに、許可整合の観点から様式-7で事業変更許可申請書の本文、添付書類記載事項をもとに設計の概念、基本的な考え方等として基本設計方針に記載する事項とした内容を記載する。
- この際、機能・性能を発揮するための具体的な数値等については、次項目の仕様表に記載することを基本とするが、取り扱う核燃料物質の性状(同位体組成、富化度等)、工程ごとの生産に係る処理能力等の事業変更許可申請書 本文に記載した数値等については、基本設計方針に記載する。また、事業変更許可申請書 添付書類に記載した数値等については仕様表に示す数値等を設定するための前提条件(設工認での安全設計における設計条件)となる以下の数値等を基本設計方針に記載し、それ以外の安全機能を損なわないことを確認するための許容値や設備容量等は、設工認の添付書類に記載する。
 - ✓ 外部衝撃に係る以下の設計条件
 - (竜巻) 荷重条件に用いる竜巻の最大風速、設計飛来物の荷重条件に用いる飛来物の大きさ、最大速度
 - (外部火災) 許可で算出した火炎輻射強度、輻射強度、防火帯の幅の設定、危険限界距離の設定に用いる爆発の爆風圧、近隣の火災及び

爆発源となる産業施設の抽出範囲（10 km範囲内）

（火山）許可で設定した降下火砕物の層厚、密度、間接的影響に係る外部電源喪失の考慮期間（7日間）

（その他）想定する落雷の規模

（航空機防護）衝撃荷重に係る条件となる航空機の諸元、貫通厚さの算定に用いるエンジンの質量、エンジンの給気口直径、エンジンの衝突速度

✓ 火災に係る耐火能力（3時間以上）、3時間耐火に設計上必要な施設共通の最小厚さ、設計条件である水素・アルゴン混合ガス中水素最高濃度、水素ガス漏えい検知の漏えい検知設定値、消火用水供給系の水量設定値、凍結深度等

- 上記以外として、事業変更許可申請書本文において、設備の構成としての系統数や予備を含めた必要量として個数のみを約束している事項（事業変更許可申請書添付書類で仕様を設定している機器等（仕様表対象機器）を除く）については、許可整合の観点で踏まえ設工認申請書の基本設計方針において、事業変更許可申請書に示した個数を記載し、添付書類（安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書、設備別記載事項の設定根拠に関する説明書等）において具体的な個数やその考え方等を展開する。
- また、事業変更許可申請書本文で必要な数量等を一式として示しているもののうち、系統で安全機能を達成する設備については、「(2)仕様表③申請対象設備の選定」に示す方法により安全機能を達成するために必要な機器等を抽出し、基本設計方針、仕様表等で必要な機器の機能、性能等を示す。

③発電炉の実績を踏まえた記載程度の整理

- 基本設計方針の記載方針や記載すべき事項は、前述のとおりであるが、記載の適切性の向上として、先行する発電炉との比較を行う。
- 様式-7での許可整合による展開を行った基本設計方針の記載事項と同じ項目として展開されている発電炉の記載を比較し、事業変更許可申請書本文、添付書類のうち、基本設計方針として記載することが必要な事項を抽出し、記載を追加する。
- 上記の目的に照らして、規則等の記載を展開していること、同じ設備がないことなどの理由で記載に差異が生じているものは、基本設計方針への記載の展開は行わない。

④分割申請における基本設計方針の展開

a. 基本設計方針の申請書単位での展開の整理

- 分割申請を行う場合、各申請書において基本設計方針の全ての項目が対象とならないことから、基本設計方針の項目ごとの記載事項とそれが関係する施設、設備及びそれが申請される申請書との関係を明確にする必要がある。
- そのため、基本設計方針は、様式－6，7での展開を考慮し、要求種別、分割申請全体を考慮したどの申請書で申請するどの設備と紐づくかを明確にする。
- そのうえで、各申請書の対象となる基本設計方針を設定する。(添付－4 参照)
- 基本設計方針の要求種別は、先行する発電炉を踏まえると基本方針(冒頭宣言、定義)、設置要求、機能要求(①又は②)、評価要求、運用要求に分類されるため、申請対象設備との関係で技術基準への適合性をどの申請書で説明するかを設定する。そのうえで最初に技術基準適合性を説明する申請書で基本方針に係る事項を申請し、要求種別と対象設備との関係を踏まえて、説明が必要な申請書において基本設計方針を展開する。ただし、基本方針に該当する基本設計方針で個別の設備の設計方針との繋がりがある事項については、当該個別設備を申請する申請書で申請することとする。
- 最初に技術基準適合性を説明する申請書等で基本設計方針を示す際に、基本設計方針の記載において、項目全体の記載が対象とならない場合には、項目名称を記載したうえで、対象となる設備名称とともに、当該設備を申請する際に示す旨を記載する。
- 要求種別のうち、設置要求、機能要求(①又は②)、評価要求に対する分類の考え方等は、以下のとおり。

要求種別	分類の考え方
設置要求	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業変更許可申請書、技術基準規則において、設備、機器を設置することを約束し、その設置する設備、機器に性能、機能を要求しないもの(元々設置する機器が、所要機能を達成するためのものとして汎用的に設計され、設置することで適合説明するもの)。 例：出入管理設備、通信連絡設備等 ● 検査では、設備、機器が設置(据付、外観、状態確認)されていることを確認する。
機能要求①	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置する設備、機器に一定の機能を要求するもので、機能を達成することを系統構成及び設備構成によって説明するもの。 ● 検査では、機能を達成するための系統構成を確認する

機能要求②	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置する設備、機器に技術基準の要求事項を満足するために必要な具体的な仕様（数値）によって適合説明するもの 例：個々の設備、機器が所要の機能、性能を発揮するうえで当該数値を満足するよう詳細設計～設計の妥当性確認まで実施するもの ● 検査では、具体的な数値に関する検査（材料、寸法、耐圧、機能確認検査等）により必要な仕様が確保されていることを確認する。
評価要求	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置する設備、機器が期待する機能を達成することを適合説明するために試験、評価、計算を必要とするもの。 ● 検査では、試験、評価、計算によって機能を達成することを確認した条件に合致するかを確認する。
運用要求	<ul style="list-style-type: none"> ● 運用要求は保安規定等でその運用を担保するもの。

b. 分割申請における1項及び2項同時申請に対する考慮

- 【共通01：1項申請と2更申請の区分】に記載の通り、今回の再処理施設及びMOX燃料加工施設の設工認申請においては、「しゅん工範囲及び未しゅん工範囲」並びに「認可済み範囲及び未申請範囲」が混在するため、同時に1項申請及び2項申請を実施する。
- したがって、同時に申請する1項申請及び2項申請において、同じ内容の基本設計方針を記載するものがある。^{※1}

※1【例】再処理施設におけるF施設（しゅん工範囲）と再処理本体（未しゅん工範囲）

- この場合、申請及び審査の重複を防ぐため、主となる申請側にて基本設計方針を記載することとし、従となる申請側は、主となる申請の基本設計方針を読み込むこととする。
再処理施設及びMOX燃料加工施設における具体的な記載方針は以下の通り。

a) 再処理施設

- 再処理施設の建設時の設工認は、全て認可済みであり、一部においてしゅん工施設（使用済燃料の受入れおよび貯蔵に係る施設）はあるものの、大部分の施設については、未しゅん工施設（再処理設備本体等に係る施設）であることから、再処理施設の設工認においては、2項申請を主たる申請とする。

b) MOX燃料加工施設

- MOX燃料加工施設については、【共通01：1項申請と2更申請の区分】で示したとおり、燃料加工建屋／洞道、原料粉末受入工程／粉末調整工程等の認可済みの施設はあるものの、大部分の施設につ

いては未申請である。そのため、MOX燃料加工施設の設工認においては1項申請を主となる申請とする。

(2) 仕様表

①記載方針

- 仕様表は、申請対象設備で発揮すべき機能・性能に関する設備が具備、実現するための要件を具体的な数値等で記載するものである。
- そのため、仕様表には技術基準適合性、事業変更許可で示した機能・性能が、基準等へ適合していることを説明するうえで必要な、構造、性能等に係る具体的な数値等を示す。
- 排気風量、フィルタの除染性能等の廃棄施設に係る設備の機能・性能に係る事項、核燃料物質の貯蔵能力、廃棄物の保管廃棄能力等の施設の安全設計上の要求事項に係る具体的な数値等についても仕様表に示すものとする。
- また、変更申請においては、既設工認において仕様表を示していることから、新規基準を踏まえた変更点が明確になるよう前後表の形で示す。
- 仕様表記載項目は、発電炉別表第二及び工認手続きガイドを参考とし設定する。

②記載すべき事項

- 仕様表においては、設工認申請対象設備で担保すべき機能・性能に関する具体的な数値等として、技術基準の条文ごとの要求事項をベースとして要求される機能・性能の重要度等を踏まえ、設備の構造・強度に関する仕様等を記載する。
- 設工認申請対象設備は、許可整合、技術基準適合の観点で、重要度分類や要求される機能、性能を踏まえて選定する（設工認申請対象設備の選定の考え方は、③参照）ものとし、さらに、施設の特徴（機器等の数が膨大且つ重要度が高いものから低いものまで混在して多岐に亘ること、非密封の核燃料物質等を連続的なプロセスで取り扱っており、動的な機能で公衆への影響を低減していること）を踏まえ、設工認申請対象設備から以下の観点に該当すること及び発揮すべき機能・性能に関する設備が具備、実現するための要件を具体的な数値で示す必要のある設備、機器を仕様表対象として選定する。仕様表対象機器の選定に係る手引きを参考として示す。
- ✓ 機能の喪失により、公衆又は放射線業務従事者に放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び運転時における異常な過渡変化時、設計基準事故時又は重大事故時等において公衆又は放射線業務従事者に及ぼす

おそれがある放射線障害を防止するため、放射性物質又は放射線が工場外へ放出されることを抑制し、又は防止するための設備（安全上重要な施設、重大事故等対処施設、耐震Sクラス設備、常設耐震重要重大事故等対処設備及び1.2倍の基準地震動による地震力により機能喪失しない設備）（以下「耐震重要施設等」という。）のうち主要な機器等）

- ✓ 通常運転状態において公衆又は放射線業務従事者に及ぼすおそれがある放射線障害を防止するため、放射性物質又は放射線が核燃料施設を設置する工場等外へ放出されることを抑制し、又は防止するための設備（安全機能を有する施設のうち、核燃料物質等の貯蔵・保管・廃棄機能に係る確認を必要とする使用済燃料の貯蔵施設、製品貯蔵施設及び放射性廃棄物の廃棄施設（気体・液体・固体）の主要な機器等）
- ✓ 事業変更許可申請書本文に記載している再処理、MOX燃料加工を行うための設備（使用済燃料又は核燃料物質等を含む溶液又は粉末を取り扱う主要な機器等）
- ✓ 自然現象、人為事象、火災、溢水その他の核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象等の設計想定事象に対する安全上重要な施設、重大事故等対処施設、耐震重要施設等の機器等の機能喪失を防止する設備（安全機能を有する施設のうち、その他加工施設、その他再処理設備の附属施設、その他廃棄物管理設備の附属施設の火災防護設備、溢水防護設備、竜巻防護対策設備等の主要な機器等）
- また、仕様表対象機器の選定を統一的に行うため、機能・性能及び構造の観点で施設共通機器（27機種）に分類し、仕様表の記載項目の基本的なパターンを作成する。
- 仕様表には、上述の基本的なパターンを考慮し、以下の事項を記載することとし、具体的な記載項目については、発電炉別表第二及び工認手続きガイドを参考とするとともに当社の設備の特徴を踏まえて設定する。（添付－5 参照）
 - ✓ 共通事項：名称、種類又は主要構造、個数、系統名、設置場所等
 - ✓ 設計条件情報：地盤の支持力度、核的・化学的・熱的制限値、流体の種類、最高使用温度、最高使用圧力、容量、漏えい率等
 - ✓ 仕様情報：材料及び寸法、防護上の配慮が必要な高さ（機能喪失高さ）、原動機の回転速度、力率、検出器の種類、計測範囲、警報動作範囲等
- 仕様表の記載方針については、作成要領に反映し、展開する。また、仕

仕様表記載項目及び仕様表の記載例（既設工認、発電炉との比較を含めた比較表）を添付一6，7に示す。

- 仕様表への記載方法として、発電炉の実績を踏まえて設定した主な考え方を以下に示す。これらの考え方は、仕様表の作成方法としてガイド等に定める。
 - 仕様表の記載項目は、発電炉別表第二及び工認手続きガイドを参考に設定することとし、既設工認仕様表記載項目で今回の設工認で仕様表に記載しない項目（既設工認仕様表の特記事項（搬送設備の落下防止インターロック、保温材の設置、計装設備の安全上重要な施設の系統分離等）等）については、記載項目の重要度、記載内容に応じて基本設計方針、添付書類、添付図面のいずれかに展開する。
 - 仕様表の記載項目については、上述のように機能・性能及び構造の観点で施設固有機器（9機種）と施設共通機器（37機種）に分類する。そのうえで仕様表の記載項目の基本的なパターンを作成することとし、記載項目は、同分類の対象となる機器全てをカバーできる項目とする。ただし、機器によって記載項目に該当する機能、性能がない場合には、当該項目を「－」として、対象としない理由を仕様表の注釈に記載する。
 - インターロックとして仕様表に展開する機器等は、設備の重要度、基本設計方針における要求種別、技術基準適合性等との関係を踏まえ、以下のものとする。
 - i. 安全保護回路、安全上重要な施設のインターロック、重大事故等の対処に必要なインターロック（代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路等）及び技術基準規則の警報設備等として適合性説明を行うインターロック
 - ii. 事業変更許可申請書 添付書類で示したインターロックのうち熱的、化学的制限値等の技術基準規則に係るインターロック
 - iii. 上記以外の事業変更許可申請書 本文で名称やその機能等を示したインターロック
 - 上記 i～iiiについては、基本設計方針においてインターロックの名称、機能等を記載し、仕様表にて展開する。
 - 上記以外の事業変更許可申請書添付書類のみに記載したインターロックについては、当該インターロックを設置する個別施設（計測制御設備等）の基本設計方針において、運転時・停止時等の施設の運転状態を想定される範囲内で制御することを記載し、添付書類、添付図面において具体的なインターロックの機能等を展開する。

- 温度高により設備を停止する等のインターロックの仕様表への具体的な展開については、インターロックを作動させる検出端となる計器と機器の停止等の動作に係るインターロック（停止回路等）の各々について仕様表を設定する。また、インターロックの動作内容については、基本設計方針に記載するとともに、インターロックの仕様表において作動設定値の注釈として機器を停止する等の動作内容を記載する。
- なお、搬送設備の落下防止、転倒防止のインターロックのように設定値を要しないものについては、基本設計方針においてインターロックの機能等を記載し、当該インターロックに係る機器の仕様表の注釈に設定するインターロックの機能を記載する。
- 警報装置については、i～iiiに該当する計器を仕様表にて展開する。なお、警報機能は、警報装置を設置する個別施設（計測制御設備等）の基本設計方針において、運転時・停止時等の施設の運転状態を想定される範囲内で監視すること等の設計方針を記載し、仕様表において警報動作値を記載する。それ以外の事業変更許可申請書添付書類に示した警報装置については、基本設計方針は上記と同様の展開とし、添付書類、添付図面において具体的な警報装置、機能等を展開する。
- 主配管、主ダクトについては、既設工認の仕様表では備考欄に記載していた配管番号等による対象を特定するための番号は記載せず、発電炉と同様に配管名称のみで示す記載とし、添付図面に対象となる配管に番号を記載するとともに、図面の別紙として仕様表の抜粋と図面に示した番号を紐づけて記載することにより、対象を特定できるようにする。
- 主配管及び主ダクトについては、用途、仕様範囲等を明確化するため、以下の範囲で細分化し、各境界を踏まえた From-to がわかるような名称とする。主配管等の名称は、原則として以下に示す例の通り仕様表対象の機器間における設計基準対象施設、重大事故等対処設備等の用途及び仕様範囲が同一となる範囲を細分化しすぎない程度に区切って名称を付ける。

【例：主配管等の名称】

- ✓ プロセス系統：「主配管（○○ポンプ～△△貯槽）」、「主配管（○○ポンプ～△△配管合流部）」、「主配管（○○ポンプ～弁（弁番号）」
- ✓ 換気系統：「主ダクト（○○室～△△フィルタ）」、「主ダクト（○

○室～△△ダクト合流部)」、「主ダクト (○○室～ダンパ (ダンパ番号))」

- ✓ 仕様表対象機器等を跨いでも、用途、仕様範囲等が変わらない場合は、「○○～△△～□□」等として、できる限り1つに纏める

- また、分岐、合流部における名称については、「○○ポンプ出口配管合流部」など上流、下流といった当該設備の容器やポンプ等といった主要機器との関係性がわかるような名称を付ける。
- なお、「③設工認申請対象設備の選定」の結果として抽出した機器等を設備リストに反映する際、配管やダクトについては、説明対象となる技術基準適合性の項目が同じものは、上述の From-to で分解せず、配管一式等として纏めて示すこととする。
- 管台及び管継手については、強度評価の対象となるもので J I S 等の規格に基づいたものを除き、異材継手等の特殊なものは仕様表に展開し、添付図面で外径、厚さ、材料等を記載する。
- 機器、計器等の取り付け箇所については、機器の機能、性能を達成するためにその取り付け位置（システムの独立性、位置的分散等）が重要なものは、その取り付け位置や保管場所等が特定できる記載とし、それ以外のものについては、系統名称などどの設備に設置するかが認識できる程度の記載とする。
- 同一名称、仕様等の機器、計器で「設置室（設置床）」「溢水防護上の区画番号」「溢水防護上の配慮が必要な高さ」のうち、2つの要素が異なるものが存在する場合は、仕様表の注釈に機器番号及び計器番号を記載し、添付図面との関係で対象が特定できるようにする。
- 主要材料及び主要寸法に係る記載については、共通の要求事項である材料及び構造、耐震に係る強度評価等に関係するもの、及び臨界防止、火災、遮蔽、閉じ込め、重大事故等対処に係る容量等の機能、性能の設計条件を伴う部位に係るものを仕様表へ展開する。
- ✓ 主要材料に係る記載については、上述する設計条件を満足していることを示すためその材料を特定し、材料検査で確認する対象であることが分かるよう材料番号（例 SUS304 等）を記載する。なお、強度評価等を伴わず、火災に対して機器等が不燃性であることを示すものについては要求事項が達成できるよう材料名（例：炭素鋼、ステンレス鋼等）を記載する。
- ✓ 主要寸法に係る記載については、臨界防止、火災、遮蔽（遮蔽材厚さ）、閉じ込め、容量等の機能、性能の条件を伴う主要寸法を記載

するものを対象として、これら設計条件を満足していることを示すためその具体的な部位名称と寸法（数値）を記載し、寸法検査で確認する対象であることが分かるよう数値を記載する。なお、それ以外に係る寸法の記載については、事業変更許可申請書の記載事項及び地震による損傷の防止の要求事項が達成できるよう機器全体の構造に係る寸法（高さ、幅、奥行き等）を記載する。

- 最高使用温度、最高使用圧力については、容器、管等の設計として耐圧強度評価の対象となる機種を対象として、設計条件を満足していることを示すために仕様表に記載する。
- また、仕様表の変更前後の記載方法は、発電炉での考え方と同様とし、「新規基準による追加要求により仕様に追加、変更が生じるもの」、「更新により仕様が変わるもの」、「新規に設置するもの」を変更後に記載する。なお、「既認可から仕様が変わらないもの」、「既認可に記載がないが、既設として設置済みであり、従前から施設の一部として設計、管理され、記載の適正化として追加するもの」は変更前に記載する。

③ 設工認申請対象設備の選定

- 設工認申請対象設備は、技術基準への適合のために必要なものであり、安全機能との関係を踏まえて選定する必要がある。
- そのため、基本設計方針の記載内容ごとに要求種別と対応する設備を抽出することで、事業変更許可申請書で担保した事項を実現するための設備（許可整合）、及び、技術基準の要求事項を満足するための設備（技術基準適合）を選定する。
- 基本設計方針の記載方針等については、本資料の2.（1）に示したとおりであり、基本設計方針の項目ごとの要求種別と関係する設備との関係を示すことにより、事業変更許可申請書で担保した事項を実現するための設備（許可整合）及び技術基準の要求事項を満足するための設備（技術基準適合）を網羅的に選定する。
- また、上記設工認申請対象設備の抽出において、要求される安全機能（設計要件）の重要度に応じて、設工認申請書における記載グレード（以下のa.～c.のとおり）を分類する。
 - a. 仕様表対象設備（①）
 - ✓ 技術基準等の要求事項を達成するため、その機能、性能に係る仕様項目（温度、圧力、容量等）を示すことにより適合性を説明する設備

b. 基本設計方針に個別名称を記載する設備 (②-a)

- ✓ 技術基準等の要求事項を達成するため、仕様項目を示す必要はないが許可及び技術基準において設置（系統構成含む）することを明示している設備（仕様表対象以外）

例) 照明設備、通信連絡設備、火災防護設備（火災感知器、消火器等）、ホイールローダ等

c. a, b 以外の設備 (②-b)

例) 主配管以外のテストライン、バイパスライン、ベント・ドレンライン等、保守用の機器、ケーブル、安全避難通路、不法侵入の防止に係る機器等

- 基本設計方針で示す要求種別のうち、機能要求②は仕様表対象とすべき設備を示すこととなり、設置要求や機能要求①については基本設計方針で対象設備や系統構成により設計を達成する設備を示すことになる。このため、事業変更許可、技術基準の要求事項を明確化したうえで、設計情報（設備構成情報等を示す設計図書）をもとにその安全機能（設計要件）の達成に必要な設備（申請対象設備）を仕様表対象設備、基本設計方針対象設備に分類する。（添付－8 参照）
- また、施設を構成する設備等には、機器単体で技術基準への適合や基本設計を達成するものと系統として技術基準への適合や基本設計を達成するものがあり、特に系統として安全機能（設計要件）を達成するものに対しては、当該系統の中で安全機能に関する対象範囲や対象機器を抽出することが必要である。
- 上記の系統として安全機能（設計要件）を達成するものに対して、安全機能に関する対象範囲や対象機器を抽出する方法として、設備構成情報等を示す設計図書に対する色塗りを行う。
- 設計情報（設備構成情報等を示す設計図書）として、エンジニアリングフローダイアグラム、計装ループブロック図、構造図、系統図等を対象とする。
- また、今回の設工認申請は複数回に分割して申請することを計画しており、各申請回次に含まれる設備の抽出が抜けなく行われることが重要であるため、基本設計方針のうち、機能要求②に該当する項目に関する設備をリスト化する。そのうち系統として安全機能（設計要件）を達成するものを明確化し、その対象設備と設計情報（設備構成情報等を示す設計図書）及び色塗り結果とを紐づけすることにより、対象範囲や対象機器の抽出を抜けなく行う。
- 上記の機能要求②に対する安全機能（設計要件）を達成するために必要

な機器等の抽出については、分割申請計画の妥当性を説明するうえで必要となることから、分割申請の初回の申請においてその結果を反映する。

- 一方、試験運転中の再処理施設については、新規制基準を受けて新に追加する機器以外は、設工認の認可を得ており、既工認において上述の安全機能（設計要件）との関係を踏まえると必須ではない機器等も系統説明図として申請対象となっている。
- そのため、検査対象機器の範囲を明確化することを目的として、改めて安全機能（設計要件）の関係から、既工認の系統説明図等に対して基本設計方針における要求種別①、設置要求の設備として設工認申請対象となる機器等の選定を行う。これは設工認申請のために必須の事項ではなく、今後の検査の準備を念頭に選定に係る作業を実施する。
- 上述の設工認申請対象設備の選定の実施については、「共通09 申請対象設備の選定」に示す。

3. 添付書類（計算書、説明書）、添付図面

（1）添付書類（添付—1 参照）

①記載方針

- 添付書類には、事業変更許可どおりであること、技術基準へ適合することを示すために基本設計方針から詳細設計に展開すべき事項として必要な評価対象となる施設、評価方法（評価条件、判断基準）、評価結果等を示す。
- 技術基準適合性等を説明するために必要な添付書類としては、核燃料物質の臨界防止に関する説明書、耐震性に関する説明書、加工施設の自然現象等による損傷の防止に関する説明書、強度に関する説明書、安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件のもとにおける健全性に関する説明書、設備別記載事項の設定根拠に関する説明書等がある。変更申請においては、添付資料の全体構成を示したうえで、新規制基準を踏まえた変更点が明確になるよう、変更のないものは添付書類の表紙に変更がないことを示したうえで、既設工認申請との対応関係を明確にする。
- また、添付書類には、基本設計で示した設計の基本的な概念を設計の目的を踏まえて設計の仕様へ展開することや設計の目的を達成できることを評価するなど基本設計方針等から詳細設計へ展開すべき事項を漏れなく展開する必要があることから、様式—6での整理も踏まえ基本設計方針から添付書類へ展開すべき事項を展開する。
- 「2. 申請書本文（基本設計方針、仕様表等）に記載すべき事項（1）

基本設計方針」に示した申請対象設備との関係で抽出した基本設計方針の対象に対して、上述の展開を行うこととし、基本設計方針等から添付書類へ展開すべき事項の展開の例を添付－9に示す。

②記載すべき事項

- 添付書類では、申請設備との関係を踏まえ、基本設計方針から詳細設計に展開すべき事項を抜けなく展開するものとし、基本設計方針や仕様表に記載される内容及び設備仕様により、要求仕様が満足されていることを具体的に評価・説明する。このため、評価・説明に用いる入力条件、環境条件、出力値、評価式、参考文献等、評価・説明に関する条件や資料等を記載する。
- 添付書類での記載内容については、事業変更許可申請書の添付書類、安全審査時に作成した整理資料の記載をもとに検討するものとし、記載程度等については、先行する発電炉の記載を参考とする。

③発電炉の実績を踏まえた記載程度の整理

- 添付書類に記載すべき事項等は、上述の通りであるが、詳細設計としての記載程度については先行する発電炉の記載と比較を行うことで、記載の適切性の向上を図る。
- 添付書類の記載は、許可整合の観点で整理した基本設計方針と事業変更許可申請書の添付書類、安全審査時に作成した整理資料の記載をもとに展開することを前提とする。発電炉との比較においては、基本設計方針の記載の比較を行った項目を対象とし、プラント固有として基本設計方針で比較を行っていない箇所は対象としないものとする。
- 添付書類の発電炉との比較の例を添付－10に示す。

(2) 添付図面

①記載方針

- 添付図面については、基本設計方針、仕様表、添付書類に関連する設計を図示することにより明確にできるものについて、配置図、系統図、構造図等を示す。
- 新規基準を踏まえた変更点が明確になるよう変更対応表等で既設工認申請との対応関係を明確にする。

4. 補足説明資料

- 技術基準への適合性の説明に必要な設工認申請書の本文記載事項及び計算

等の結果を示す添付書類・添付図面に対し、その設計を行う根拠や、設計条件として採用している数値のエビデンス、一般産業品に適用する規格基準等、設備設計の妥当性を示すためのバックデータを、補足説明資料として示す。

- そのため、補足説明資料では、設工認申請の添付書類に記載する入力条件、環境条件、出力値、評価式、参考文献等、評価・説明に関する条件や資料等を事業変更許可で示した設計方針からどのように展開したか、あるいは判断基準を設定した根拠は何か等について具体的に説明する。
- 特に、事業変更許可において、具体的な判断基準となる値等を示さず、基本的概念を示している場合は、以下に示す事項が、詳細設計の妥当性を示すうえで重要となることから、根拠となる規格・基準、試験データ等をもとに説明する。
 - ・ 事業変更許可で示した基本的概念を判断基準に展開した具体的根拠
 - ・ 前提となる条件設定の保守性や適切性
 - ・ 評価方法の妥当性
- 補足説明資料として、補足説明すべき事項の抽出の方法については、「共通 07 添付書類等を踏まえた補足説明すべき項目の明確化」に示す。

5. 準拠規格及び基準

- 設計に用いる準拠規格及び基準については、設工認申請書の本文及び添付書類に記載する。
- 本文における準拠規格及び基準は、事業変更許可申請書との整合及び技術基準への適合性の観点から、設計全体に関係するものとして基本設計方針等に係る申請対象設備の設計、製作等に使用する規格及び基準を記載するものとし、新規制基準を踏まえた変更点が明確になるよう変更前後表の形式とする。
- 上記については、「適合すべき基準に関連する炉規制関連法令」及び「技術基準に規定される性能を満足させるための基本的なもの」とし、「技術基準規則解釈」に引用されるもの等とする。

例：炉規法、炉規則、技術基準規則、JSME、JEAC、JEAG、JIS、ASME 他。
- また、記載にあたっては、具体的な規格及び基準番号、名称及び制定又は改定年度も含めたものとする。
- 準拠規格及び基準のうち、原子力施設で従前から適用されている ASME 等を除き国外の規格基準を適用する場合は、当該規格が何に使用される（対象設備や評価等の対象）かを、変更前後表の注記で明確にする。
- 添付書類における準拠規格及び基準については、添付書類で示す詳細設計に係る構造設計、評価、計算等で引用する規格及び基準を記載する。

- 上記においては、既設工認又は発電炉の記載を参考として、適用の可否を確認する。

6. 類型化展開の考え方

- 「日本原燃株式会社再処理施設に係る設計及び工事の計画の認可の審査、使用前事業者検査の確認等の進め方について」（令和2年6月24日付け）で示された「耐震Sクラス、安全上重要な施設及び重大事故等対処施設については、施設の種類、構造、評価手法等により類型化したうえで、各類型を代表する設備機器等について審査を行う。代表設備機器等の選定は施設横断的に行う。」等を踏まえ、事業者として合理的かつ効果的に設工認申請を行うため、申請項目に対して類似するものの評価方法、計算手法等を類型化することを検討する。
- 「共通02 事業変更許可申請書で新規制基準を受けて追加等した項目の明確化」、「共通03：（技術基準規則）新規制基準を受けて追加等された要求事項及び変更等した項目の明確化」で明確化した今回の設工認申請で申請すべき事項に対して、技術基準の要求事項を踏まえた各基本設計方針の要求種別に着目し、要求種別を評価要求として分類した事項に係る評価手法、解析手法等を施設の種類、構造、評価手法等により類型化する。
- 上記の要求種別は、基本方針、機能要求、評価要求、運用要求に分類される。基本方針については、設計の方針を説明するものであり、機能要求は、個別の機器に係る技術基準規則の要求事項等に対して個々の設備の構造等により、その機能を達成できることを説明するものである。また、評価要求は要求事項等を達成するために評価条件、評価方法、判断基準を設定し、評価、解析を行うものであり、運用要求は保安規定等でその運用を担保するものである。
- そのため、類型化により合理的かつ効率的な設工認申請に繋がる対象としては、基本設計方針の要求種別が機能要求及び評価要求とした事項であると考えらる。
- 機能要求については、「個々の設備の構造等により、その機能を達成できることを説明するもの」であることから、申請する施設を「施設の種類」ごとに類型化することで申請書の合理化及び効率化を図ることが可能となる。
- 評価要求については、評価・解析等の手法の類似性^{*}に着目し類型化を行うことにより、「評価・解析の方法が同じであれば、どれか一つの評価・解析の方法を説明することでその他も同様」という説明が可能とな

る。

※「評価・解析等の手法の類似性」は、「設備の種類」又は「構造」に着目して整理されるものと、「評価・解析手法」そのものに着目して整理されるものがあると考えられ、その内容に応じて類型化の観点を使い分ける。

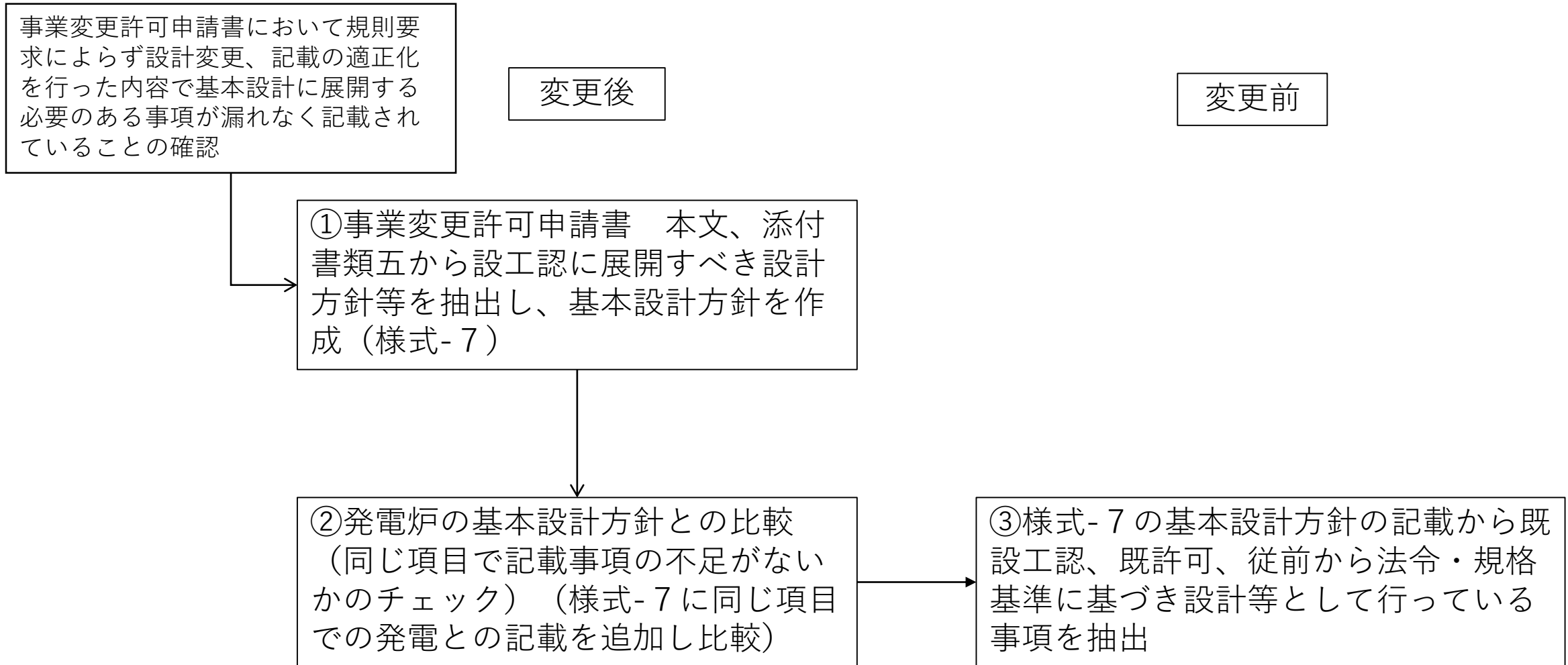
- また、設工認申請書の構成としても、評価手法単位で記載をまとめることで、同じ記載（解析モデルや評価式）を省略でき、申請書の合理化及び効率化を図ることが可能となる。具体的には、代表機器の項で解析モデルや評価式を全て記載し、その他の機器の項では「代表機器の項と同じ」として記載物量を低減することに繋げる。なお、技術基準規則要求の内容によっては、複数の「評価・解析」の結果の組合せでもって適合性を示す場合がある。
- 機能要求に対しては、個々の設備の構造等により、その機能を達成することを説明することとし、評価要求については、解析コードや計算式を用いて数値を算定し、その結果が判定基準を満足していることを説明する。
- この際、以下の観点で類型化を行う。
 - ✓ 耐震評価：主に設備の種類に着目
 - ✓ 耐圧、強度評価：主に構造に着目
 - ✓ 重大事故等対処設備が使用される区域の線量等：評価・解析手法に着目
- 例えば、添付書類の評価対象、評価方法、評価条件等において、代表となる設備（類型化の同一グループで最初に申請する設備等）に対して評価方法や評価条件を示し、その他類似の設備を示したうえで、それらは同一の評価方法等によって評価を行うことを示す。
- なお、MOX燃料加工施設では、分割申請において、基本設計方針の評価要求、機能要求となる同じ項目が複数の設備、申請書に展開されるものがあることから、基本設計方針の各項目がどの申請書でどの設備に対して展開されるかを整理したうえで、各項目の設計の類似性を確認し、類型化を行う。
- 上記については、「共通00 共通的な補足説明について」において技術基準規則の各条文への展開として作成するとした補足説明資料番号00の別紙3で、添付書類の構成及び各申請書での添付書類記載事項の展開方法により整理結果を示す。

以 上

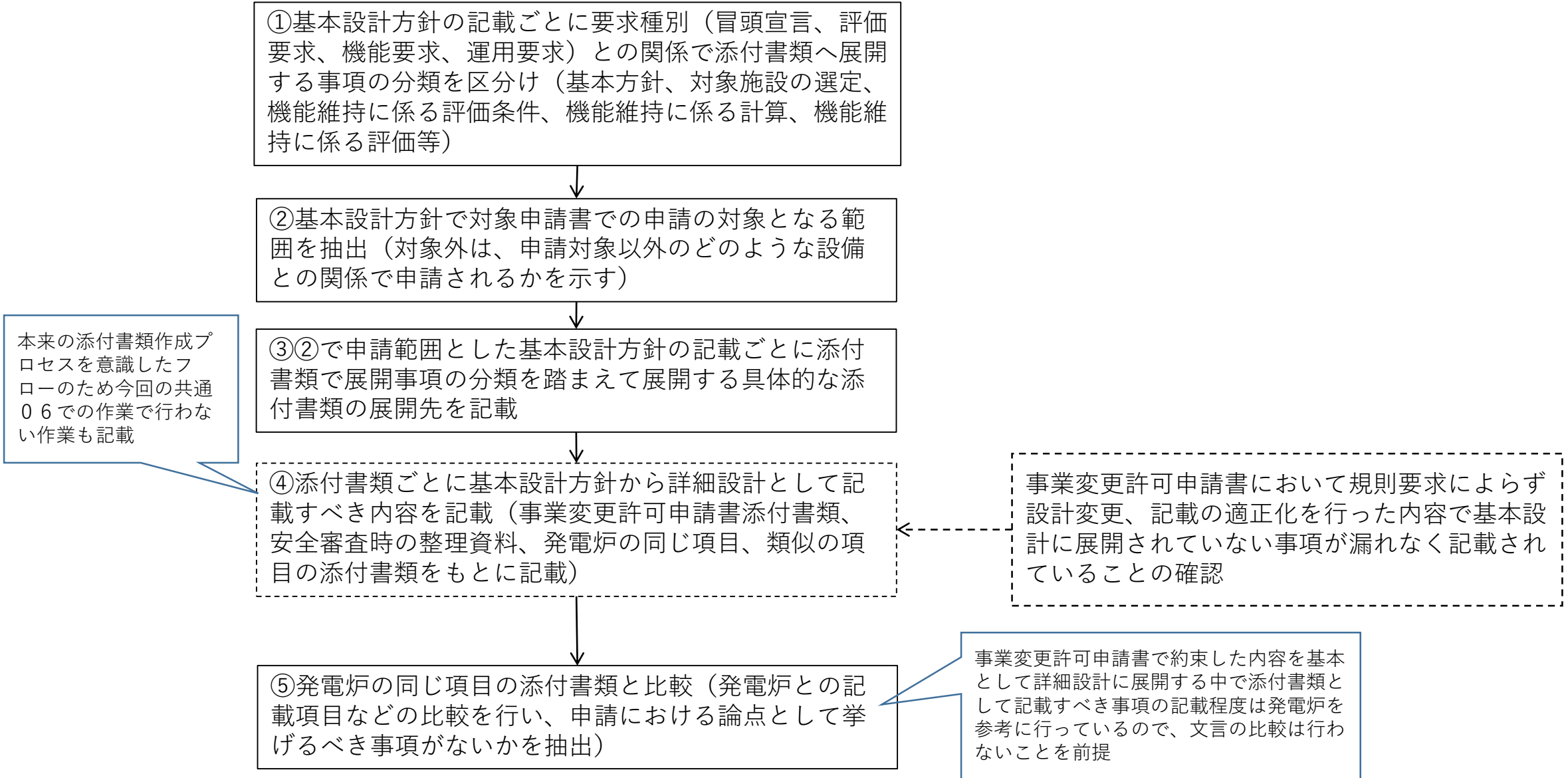
基本設計方針の作業フロー、添付書類（説明書、計算書）の作業フロー

【基本設計方針の作業フロー】

<前後表の形式>



【新共通06：添付書類（説明書、計算書）の作業フロー】



基本設計方針、工事の方法の変更前記載事項の既工認等との紐づけ

基本設計方針の変更前の記載事項に対し、既認可等との紐づけを示す。
 ※変更後の記載の確認を行った後に示す。

	変 更 前	変 更 後
地盤①-1	<p>2. 地盤 既設工認 本文</p> <p>安全機能を有する施設のうち、地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設(以下「耐震重要施設」という。)及びそれらを支持する建物・構築物は、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動(以下「基準地震動」という。)による地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。</p>	<p>2. 地盤</p> <p>安全機能を有する施設のうち、地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設(以下「耐震重要施設」という。)及びそれらを支持する建物・構築物、若しくは重大事故等対処施設のうち、常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動(以下「基準地震動」という。)による地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。</p>
地盤②-1 地盤②-2 地盤②-3 地盤②-4 地盤②-5	<p>既許可 添付書類三</p> <p>また、上記に加え、基準地震動による地震力が作用することによって弱面上のずれが発生しないことも含め、基準地震動による地震力に対する支持性能を有する地盤に設置する。</p> <p>安全機能を有する施設のうち、耐震重要施設以外の安全機能を有する施設については、耐震重要度分類の各クラスに応じて算定する地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持力を有する地盤に設置する。</p>	<p>また、上記に加え、基準地震動による地震力が作用することによって弱面上のずれが発生しないことも含め、基準地震動による地震力に対する支持性能を有する地盤に設置する。</p> <p>安全機能を有する施設のうち、耐震重要施設以外の安全機能を有する施設については、耐震重要度分類の各クラスに応じて算定する地震力が作用した場合、若しくは、重大事故等対処施設のうち、常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設については、代替する機能を有する安全機能を有する施設が属する耐震重要度分類のクラスに適用される地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持力を有する地盤に設置する。</p>
MOX① 共-0009 H	<p>安全機能を有する施設のうち、耐震重要施設は、地震発生に伴う地殻変動によって生じる支持地盤の傾斜及び撓み並びに地震発生に伴う建物・構築物間の不等沈下、液状化及び揺すり込み沈下の周辺地盤の変状により、その安全機能が損なわれるおそれがない地盤に設置する。</p> <p>安全機能を有する施設のうち、耐震重要施設は、将来活動する可能性のある断層等の露頭がない地盤に設置する。</p> <p>安全機能を有する施設に係る建物・構築物を設置する地盤の支持性能については、基準地震動による地震力又は静的地震力により生じる施設の接地圧が、安全上適切と認められる規格及び基準に基づく許容限界に対して、妥当な余裕を有するよう設計する。</p>	<p>安全機能を有する施設のうち、耐震重要施設、若しくは常設重大事故等対処設備を支持する建物・構築物は、地震発生に伴う地殻変動によって生じる支持地盤の傾斜及び撓み並びに地震発生に伴う建物・構築物間の不等沈下、液状化及び揺すり込み沈下の周辺地盤の変状により、その安全機能、若しくは重大事故に至るおそれのある事故(設計基準事故を除く。)又は重大事故(以下「重大事故等」という。)に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがない地盤に設置する。</p> <p>安全機能を有する施設のうち、耐震重要施設、若しくは常設重大事故等対処設備を支持する建物・構築物は、将来活動する可能性のある断層等の露頭がない地盤に設置する。</p> <p>安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設に係る建物・構築物を設置する地盤の支持性能については、基準地震動による地震力又は静的地震力により生じる施設の接地圧が、安全上適切と認められる規格及び基準に基づく許容限界に対して、妥当な余裕を有するよう設計する。</p>

既設工認に記載はないが、地盤については、技術基準の変更により要求事項が明確化されたものであり、既設工認時から基本設計方針に変更がないため、変更前に記載。なお、既許可(2010/5/13)にて、支持力、すべり、沈下に対して安全性を有していることを記載している。

1.、1.1、(1)等の項目単位で変更前の記載から変更がない場合は、変更なしとする。
 変更がある項目のみを変更事項を含め変更後に記載する。

変更前の記載は、変更後の記載事項から記載の適正化で対応可能な部分を抜き出して記載

要求事項との対比表 第〇条 (〇〇) (1 / 〇)

技術基準規則	設工認申請書 基本設計方針	事業変更許可申請書 本文	事業変更許可申請書 添付書類五	発電炉工認 基本設計方針	備考
					(発電炉との差異の理由を記載)

項目単位で発電炉の基本設計方針との比較を行う。
 対応する記載がないものについては、施設固有のものなど差の理由を備考に記載する。

- 凡例
- 黄色ハッチング：発電炉と同様の記載事項
 - 灰色ハッチング：基本設計方針に記載しない事項
 - 一重下線：基本設計方針に記載する事項（丸数字で紐づけ）
 - 二重下線：発電炉と差異のある記載事項
 - 青字：発電炉との差異の理由
 - 赤字：追記・修正箇所及びその理由

基本設計方針を踏まえた添付書類の記載及び申請回次の展開
(第〇条 〇〇〇)

項目 番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	添付書類 構成	添付書類 説明内容	第1回申請					第2回申請					
							説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	添付書類	添付書類における記載	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	添付書類	添付書類における記載
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	

項目 番号	基本設計方針	要求種別	第3回申請						第4回申請					
			説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	添付書類	添付書類における記載	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (1項新規③)	仕様表	添付書類	添付書類における記載
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														

凡例
 ・「説明対象」について
 ○：当該申請回次で新規に記載する項目又は当該申請回次で記載を追記する項目
 △：当該申請回次以前から記載しており、記載内容に変更がない項目
 -：当該申請回次で記載しない項目

仕様表記載項目の設定
(再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
一	<ul style="list-style-type: none"> ・名称 ・種類又は主要構造 ・個数 ・系統名 ・取付箇所 ・主要材料 ・主要寸法 	<ul style="list-style-type: none"> ・各機器に共通して記載すべき項目として対象特定（名称、数量、設置場所等）、機器の種類又は主要構造（事業変更許可記載事項）を記載する。 ・主要材料、主要寸法については、設備の各種評価に用いるインプットとしての基本的な内容を必要に応じて記載する。
第四条 臨界防止	<ul style="list-style-type: none"> ・容量 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨界防止機能に係る溶液の濃度、質量管理に必要なとなる容器等の容量を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・核的制限値 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨界安全管理表に記載している設備について、臨界計算に用いる計算条件及び設計条件の制限値（設備の面間最小距離、溶液中のPu濃度、内径等）を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・主要材料 ・主要寸法 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨界防止機能に係る中性子吸収材の材料、容器等の寸法、材料を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・駆動方式 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨界防止機能に係る工程停止回路の遮断弁の駆動方式を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・検出器の種類 ・計測範囲 ・警報作動範囲 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨界の検知・警報機能に係る臨界警報装置の計測範囲等を記載する。
第五条 第三十二条 地盤 第六条 第三十三条 地震	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤の支持力度 ・MMRの強度 ・支持地盤 ・杭の強度 	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤又は杭基礎に設置する建物・構築物及び屋外設置設備について、設置圧に対する十分な支持力を担保するための地盤の支持力度及びMMRの強度、杭の強度を記載する。杭基礎の場合、支持地盤を記載する。
第八条 外部衝撃	<ul style="list-style-type: none"> ・主要材料 ・主要寸法 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛来物防護設備（飛来物防護ネット、防護板等）の材料及び寸法（線径等）を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐火塗膜 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機墜落火災の影響を受ける屋外設置設備について、耐火塗膜の種類と厚さを記載する。
第十条 閉じ込め	<ul style="list-style-type: none"> ・容量 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じ込め、漏えい対処機能に係るファンの風量、ポンプの流量、漏えい液受皿の容量、熱交換器、冷凍機等の設計熱交換量を記載する。

仕様表記載項目の設定
(再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
	・伝熱面積	・閉じ込め機能に係る熱交換器、冷凍機等の伝熱面積を記載する。
	・吐出圧力	・閉じ込め、漏えい対処機能に係るポンプの吐出圧力を記載する。
	・漏えい率 ・開口部風速	・閉じ込め機能に係るグローブボックスの漏えい率、フードの開口部風速を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・閉じ込め、漏えい対処機能に係る設備（漏えい液受皿、熱交換器、給気閉止ダンパ、機械装置、保守設備等）の材料及び寸法を記載する。
	・原動機	・閉じ込め、漏えい対処機能に係るポンプ、ファンの容量を担保するための原動機の出力等を記載する。
	・駆動方式	・閉じ込め機能に係る給気閉止ダンパの駆動方式を記載する。
	・検出器の種類 ・計測範囲	・漏えい検知機能に係る漏えい検知器の計測範囲等を記載する。
第十一条 第三十五条 火災	・容量	・消火機能に係る容量（消火水槽、ポンベの貯蔵容量、ポンプの流量等）を記載する。
	・揚程又は吐出圧力	・消火機能に係るポンプの揚程又は吐出圧力を記載する。
	・化学的制限値又は熱的制限値	・火災・爆発に係わる設計の制限値である化学的制限値（水素濃度、酸素濃度等）、熱的制限値（発火点、引火点等）を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・耐火機能に係る耐火壁等の材料（コンクリート壁等）及び寸法を記載する。
	・原動機	・消火機能に係るポンプの容量を担保するための原動機の出力等を記載する。
	・駆動方式	・消火機能（消火ガス放出によるGB内雰囲気維持）に係るダンパの駆動方式を記載する。 ・爆発防止機能を担保するため、水素濃度高により作動する遮断弁の駆動方式を記載する。
第十二条 溢水 第十三条 薬品	・防護上の配慮が必要な高さ（機能喪失高さ） ・防護上の区画番号	・溢水及び薬品防護機能に係る防護対象設備の必要高さ及び防護対象設備の区画番号を記載する。

仕様表記載項目の設定
(再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要材料 ・ 主要寸法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水及び薬品防護機能に係る防水区画構築物（堰、防水扉、止水板及び蓋等）の材料及び寸法を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駆動方式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水及び薬品防護機能を担保する隔離弁の駆動方式を記載する。
第十七条 第三十七条 材料/構造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高使用温度 ・ 最高使用圧力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全上重要な施設、溶接検査対象設備、重大事故等対処設備に係る容器及び管の耐圧強度評価で使用する機器の設計条件として最高使用圧力、最高使用温度を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要材料 ・ 主要寸法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全上重要な施設、溶接検査対象設備、重大事故等対処設備に係る容器及び管の強度を担保する材料及び寸法（腐食の考慮を含む）を記載する。
第十八条 搬送設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容量 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核燃料物質、放射性廃棄物の搬送能力に係るクレーン等の定格荷重を記載する。
第十九条 貯蔵施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容量 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核燃料物質、放射性廃棄物の貯蔵・保管能力を担保する使用済燃料輸送容器保管庫、貯蔵ホール、貯蔵ピット等の容量(貯蔵能力)を記載する。 ・ 崩壊熱除去機能に係るポンプ（プール水の冷却・浄化等）の流量、ファン（換気設備）の風量、熱交換器、冷凍機の設計熱交換量を記載する。 ・ プール水浄化機能に係るろ過装置の容量を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 揚程又は吐出圧力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 崩壊熱除去機能に係るポンプ（プール水の冷却・浄化等）の揚程又は吐出圧力を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 崩壊熱除去機能に係るポンプ、ファンの容量を担保するための原動機の出力量等を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検出器の種類 ・ 計測範囲 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漏えい検知機能に係る漏えい検知器の計測範囲等を記載する。
第二十条 第四十七条 計測制御 第二十一条 放管 第二十二条 安全保護回路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検出器の種類 ・ 計測範囲 ・ 警報動作範囲 ・ 設定値 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計測機能に係る検出器の種類、計測範囲、警報動作範囲、安全上重要な施設（安全保護回路含む）のインターロック回路の設定値を記載する。

仕様表記載項目の設定
(再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
第四十九条 監視測定		
第二十三条 第四十八条 制御室	・容量	・制御室の居住性維持機能に係るファンの風量を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・制御室の居住性維持に係る遮蔽材の材料及び寸法（厚さ）を記載する。
	・効率	・制御室の居住性維持機能に係るフィルタの捕集効率を記載する。
	・設計上の空気流入率	・制御室の居住性維持に係るファンの設計上の空気流入率を記載する。
	・原動機	・制御室の居住性維持に係るファンの容量を担保するための原動機の出力等を記載する。
	・検出器の種類 ・計測範囲 ・警報動作範囲	・制御室の居住性維持機能に係る有毒ガス検知器の計測範囲等を記載する。
第三十条 第五十条 緊急時対策所	・容量	・緊急時対策所の居住性維持機能に係るファンの風量、加圧ユニットの容量を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・緊急時対策所の居住性維持に係る遮蔽材の材料及び寸法（厚さ）を記載する。
	・効率	・緊急時対策所の居住性維持機能に係るフィルタの捕集効率を記載する。
	・設計上の空気流入率	・緊急時対策所の居住性維持に係るファンの設計上の空気流入率を記載する。
	・原動機	・緊急時対策所の居住性維持に係るファンの容量を担保するための原動機の出力等を記載する。
第二十四条 廃棄施設	・容量	<p>・廃棄機能（排気風量、排気筒風量、海洋放出量、ガラス固化体処理能力等）に係る気体、液体、固体廃棄物の廃棄施設のファンの風量、ポンプの流量、ろ過装置及び容器の容量、熱交換器の設計熱交換量を記載する。</p> <p>・廃棄能力（核燃料物質の除去）に係る液体の廃棄施設の凝縮器、電気ヒータの容量（設計熱交換量）を記載する。</p> <p>・廃棄能力（核燃料物質の除去）に係る気体の廃棄施設のボイラの容量を記載する。</p>

仕様表記載項目の設定
(再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
	・揚程又は吐出圧力	・廃棄機能(海洋放出等)に係る液体の廃棄施設のポンプの揚程又は吐出圧力を記載する。
	・伝熱面積	・廃棄能力(核燃料物質の除去)に係る気体の廃棄施設の凝縮器、電気ヒータの伝熱面積を記載する。
	・効率	・廃棄機能(核燃料物質の除去)に係る気体の廃棄施設のフィルタ、ルテニウム吸着塔について、効率(補集効率、除去効率)を記載する。
	・原動機	・廃棄機能に係るポンプ、ファンの容量を担保するための原動機の出力等を記載する。
第二十五条 保管廃棄施設	・容量	・放射性固体廃棄物の保管廃棄に係る貯蔵ピット、室の容量(貯蔵容量)を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・自然通風による崩壊熱除去に必要な風量を確保するために冷却空気流路の材料、寸法(シャフト高さ等)を記載する。
第二十七条 遮蔽	・主要材料 ・主要寸法	・遮蔽機能(制御室遮蔽、緊急時対策所遮蔽を含む)に係る遮蔽材及び遮蔽材寸法(厚さ)を記載する。
第二十八条 換気設備	・容量	・換気能力に係る換気施設のファンの容量(風量)を記載する。
	・効率	・廃棄能力(核燃料物質の除去)に係る気体の廃棄施設のフィルタについて、効率(補集効率)を記載する。
	・原動機	・換気機能に係るファンの容量を担保するための原動機の出力等を記載する。
第二十九条 保安電源設備 第四十六条 電源設備	・容量	・電源供給能力に係る電気設備(発電機、変圧器、遮断器、電源盤、無停電電源装置、蓄電池等)の容量を記載する。 ・電源供給能力に係る非常用発電機に係る起動用の空気だめの容量を記載する。 ・電源供給能力に係る非常用発電機に燃料を供給するための燃料ポンプの容量を記載する。 ・電源供給能力に係る容器(燃料タンク、タンクローリ、軽油貯槽等)の容量を記載する。
	・吐出圧力	・電源供給能力に係る非常用発電機に燃料を供給するための燃料ポンプの吐出圧力を記載する。

仕様表記載項目の設定
(再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電圧 ・ 電流 ・ 遮断電流 ・ 遮断時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気盤の損壊を防止するための遮断器の仕様として電圧、電流、遮断電流、遮断時間を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電圧 ・ 電流 ・ 相 ・ 周波数 ・ 主要寸法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電線路機能に係る電気設備の仕様として、電圧、電流、相、周波数、盤の寸法を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原動機 ・ 回転速度 ・ 起動時間 ・ 出口の圧力 ・ 燃料 ・ 力率 ・ 電圧 ・ 結線法 ・ 冷却方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常用発電機の電源供給能力に係る仕様として、回転速度、起動時間、過給機の出口の圧力、力率、電圧、結線法、冷却方法、燃料(種類、消費量)等の仕様を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源供給機能に係るポンプの容量を担保するための原動機の出力等を記載する。
第三十六条 重大事故等対 処設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容量 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補機駆動用燃料補給機能に係る容器(燃料タンク、タンクローリー、軽油貯槽等)の貯蔵容量を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高使用温度 ・ 最高使用圧力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重大事故等対処設備に係る配管、容器の耐圧強度評価で使用する機器の設計条件として最高使用圧力、最高使用温度を記載する。 ※DB 条文と数値が異なる場合は併記し注記に重大事故等対処時の条件であることを記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以降の重大事故等対処条文に係る各ポンプ、ファン等の容量を担保するための原動機の出力等を記載する。
第三十八条 臨界事故	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容量 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可溶性中性子吸収材供給に係る供給量を担保するため中性子吸収材供給槽の貯蔵容量を記載する。 ・ 臨界発生時にセル内の配管の加圧状態を解消するための廃ガス貯留槽の貯蔵容量を記載する。 ・ 廃ガス貯留に係る圧縮機の容量、空気貯槽の容

仕様表記載項目の設定
 (再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
		量、ポンプの容量（流量）を記載する。
	・揚程又は吐出圧力	・廃ガス貯留に係るポンプの揚程又は吐出圧力を記載する。
	・吹出圧力、吹出量、吹出場所	・廃ガス貯留に係る逃がし弁の吹出圧力、吹出量、吹出場所を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・臨界発生時の水素掃気に係る主配管（可搬型ホース等）の寸法、材料を記載する。 ・可溶性中性子吸収材供給に係る供給弁の寸法、材料を記載する。 ・廃ガス貯留に係る逃がし弁の寸法、材料を記載する。
	・駆動方式	・可溶性中性子吸収材供給に係る供給弁の駆動方式を記載する。
第三十九条 蒸発乾固	・容量	・水供給設備の未沸騰状態維持に係るポンプの容量（流量）を記載する。 ・代替セル排気機能に係るファンの容量（風量）を記載する。
	・揚程又は吐出圧力	・水供給設備の未沸騰状態維持に係るポンプの揚程又は吐出圧力を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・代替安全冷却水系に係る主配管（可搬型ホース等）の寸法、材料を記載する。
	・効率	・セル導出及び代替セル排気時の放射性物質の除去機能に係るフィルタの除去効率を記載する。
第四十条 水素爆発	・容量	・水素掃気機能喪失時の圧縮空気供給機能を担保するための容器の貯蔵容量、圧縮機の容量を記載する。 ・代替セル排気機能を担保するファンの容量（風量）を記載する。
	・効率	・セル導出及び代替セル排気時の放射性物質の除去機能を担保するフィルタの除去効率を記載する。
第四十一条 有機溶媒等による火災又は爆発	・容量	・火災又は爆発の発生時にセル内の配管の加圧状態を解消するための廃ガス貯留槽の貯蔵容量を記載する。 ・廃ガス貯留に係る圧縮機の容量、空気貯槽の容量、ポンプの容量（流量）を記載する。

仕様表記載項目の設定
(再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
	・揚程又は吐出圧力	・廃ガス貯留に係るポンプの揚程又は吐出圧力を記載する。
	・吹出圧力、吹出量、吹出場所	・廃ガス貯留に係る逃がし弁の吹出圧力、吹出量、吹出場所を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・廃ガス貯留に係る逃がし弁の寸法、材料を記載する。 ・プルトニウム濃縮缶の加熱蒸気を停止するための隔離弁の寸法、材料を記載する。
	・駆動方式	・プルトニウム濃縮缶の加熱蒸気を停止するための隔離弁の駆動方式を記載する。
第四十二条 使用済燃料貯蔵槽の冷却	・容量	・注水機能、スプレイ機能を担保するためのポンプの容量（流量）を記載する。
	・揚程又は吐出圧力	・注水機能、スプレイ機能を担保するためのポンプの揚程又は吐出圧力を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・注水機能、スプレイ機能を担保するための主配管（可搬型ホース等）の寸法、材料を記載する。
第四十四条 放出抑制	・容量	・注水機能、放水機能を担保するためのポンプの容量（流量）を記載する。
	・揚程又は吐出圧力	・注水機能、放水機能を担保するためのポンプの揚程又は吐出圧力を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・注水機能、放水機能を担保するための主配管（可搬型ホース等）の寸法、材料を記載する。
第四十五条 水の供給	・容量	・水供給設備の貯水機能を担保するための容器の貯水容量を記載する。 ・水供給機能を担保するためのポンプの容量を記載する。
	・揚程又は吐出圧力	・水供給機能を担保するためのポンプの揚程又は吐出圧力を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・水供給設備の貯水機能を担保するための容器の寸法、材料（ライニング材）を記載する。 ・水供給機能を担保するための主配管（可搬型ホース等）の寸法、材料を記載する。
	・計測範囲	水供給設備において用いる水位計、流量計の計測範囲等を記載する。
(MOX)第三十三	・容量	・SA火災の消火機能を担保するため容器(消火ガスボ

仕様表記載項目の設定
(再処理の例)

条文	仕様表記載項目	具体的な記載内容
条閉じ込める 機能の喪失対 処設備		ンベ)の容量を記載する。 ・閉じ込める機能の回復作業ためのファン(可搬型排風機)の容量(風量)を記載する。
	・主要材料 ・主要寸法	・閉じ込める機能喪失の対処のための主配管(可搬型ダクト等)の寸法、材料を記載する。
	・効率	・閉じ込める機能の回復作業のためのフィルタの捕集効率を記載する。
第七条 津波 第九条 不法侵入 第十四条 安全避難通路 第十五条 安重施設 第十六条 安有施設 第二十六条 汚染防止 第三十一条 通信連絡設備 第三十四条 津波 第四十三条 漏えい防止 第五十一条 通信連絡設備	—	・設置、系統構成等に係る要求事項であるため、基本設計方針において設計方針を記載する。

仕様表記載例 (機種：容器)

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																					
<p><既認可仕様表なし></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>二酸化炭素ポンプ (00-0000)*3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td>〇〇</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>〇〇*2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>〇〇*2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：重大事故時等における使用時の値を示す。 *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称	二酸化炭素ポンプ (00-0000)*3			種類	—	〇〇		容量	L/個	〇〇		最高使用圧力	MPa	〇〇*2		最高使用温度	℃	〇〇*2		主要寸法	外径	mm	〇〇*1	高さ	mm	〇〇*1	胴部厚さ	mm	〇〇*1	底部厚さ	mm	〇〇*1	取付箇所	主要材料	—	〇〇	設置床	—	〇〇	系統名 (ライン名)	—	〇〇	溢水防護上の区画番号	—	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇		化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>・固定式消火設備を設置するセルのうち、形状寸法管理機器を収納するセルには、水を使用しないガス消火設備を選定する設計とする。</td> <td>容量：〇〇L/個 最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃ 主要寸法： 外径：〇〇mm 高さ：〇〇mm 胴部厚さ：〇〇mm 底部厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第十七条 第三十七条 材料及び構造</td> <td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的組成を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第三十六条 重大事故等対処設備</td> <td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備</td> <td>・臨界事故が発生した機器を未臨界に移行するために必要となる可溶性中性子吸収材量に対して容量に十分な余裕を有して可溶性中性子吸収材を内包できる設計とする。 ・臨界事故の発生を起点として1時間にわたって、また、TBP等の錯体の急激な分解反応の発生を起点として約2時間にわたって放射性物質を含む気体を導出できる容量を有する設計とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発範囲に対処するための設備</td> <td>・可搬型排水受槽は、想定される重大事故等において、冷却に使用した排水を受け取るために必要な容量を有する設計とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四十一条 有機溶媒等による火災または爆発に対処するための設備</td> <td>・臨界事故の発生を起点として1時間にわたって、また、TBP等の錯体の急激な分解反応の発生を起点として約2時間にわたって放射性物質を含む気体を導出できる容量を有する設計とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四十六条 電源設備</td> <td>・再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等に対処するために必要な燃料を確保するために必要な容量を有する設計とする</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十一条 火災等による損傷の防止	・固定式消火設備を設置するセルのうち、形状寸法管理機器を収納するセルには、水を使用しないガス消火設備を選定する設計とする。	容量：〇〇L/個 最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃ 主要寸法： 外径：〇〇mm 高さ：〇〇mm 胴部厚さ：〇〇mm 底部厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第十七条 第三十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的組成を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計		第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量		第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備	・臨界事故が発生した機器を未臨界に移行するために必要となる可溶性中性子吸収材量に対して容量に十分な余裕を有して可溶性中性子吸収材を内包できる設計とする。 ・臨界事故の発生を起点として1時間にわたって、また、TBP等の錯体の急激な分解反応の発生を起点として約2時間にわたって放射性物質を含む気体を導出できる容量を有する設計とする。		第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発範囲に対処するための設備	・可搬型排水受槽は、想定される重大事故等において、冷却に使用した排水を受け取るために必要な容量を有する設計とする。		第四十一条 有機溶媒等による火災または爆発に対処するための設備	・臨界事故の発生を起点として1時間にわたって、また、TBP等の錯体の急激な分解反応の発生を起点として約2時間にわたって放射性物質を含む気体を導出できる容量を有する設計とする。		第四十六条 電源設備	・再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等に対処するために必要な燃料を確保するために必要な容量を有する設計とする		<p>(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> <td>ハロンポンプ (ほう酸水注入系ポンプA用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>一般罐目なし容器</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/個</td> <td></td> <td>68以上 (68*)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td>265.0*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1500*</td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> <td></td> <td>マンガン鋼</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>ハロンポンプ (ほう酸水注入系ポンプA用) 消火系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名称			ハロンポンプ (ほう酸水注入系ポンプA用)	種類	—		一般罐目なし容器	容量	L/個		68以上 (68*)	最高使用圧力	MPa		5.2	最高使用温度	℃		40	主要寸法	外径	mm	265.0*	高さ	mm	1500*	胴部厚さ	mm		底部厚さ	mm		材料	—		マンガン鋼	個数	—		3	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロンポンプ (ほう酸水注入系ポンプA用) 消火系	設置床	—		溢水防護上の区画番号	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		
		変更前	変更後																																																																																																																																																						
名称	二酸化炭素ポンプ (00-0000)*3																																																																																																																																																								
種類	—	〇〇																																																																																																																																																							
容量	L/個	〇〇																																																																																																																																																							
最高使用圧力	MPa	〇〇*2																																																																																																																																																							
最高使用温度	℃	〇〇*2																																																																																																																																																							
主要寸法	外径	mm	〇〇*1																																																																																																																																																						
	高さ	mm	〇〇*1																																																																																																																																																						
	胴部厚さ	mm	〇〇*1																																																																																																																																																						
	底部厚さ	mm	〇〇*1																																																																																																																																																						
取付箇所	主要材料	—	〇〇																																																																																																																																																						
	設置床	—	〇〇																																																																																																																																																						
	系統名 (ライン名)	—	〇〇																																																																																																																																																						
	溢水防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																																																						
	化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																																																						
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																																																						
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																							
第十一条 火災等による損傷の防止	・固定式消火設備を設置するセルのうち、形状寸法管理機器を収納するセルには、水を使用しないガス消火設備を選定する設計とする。	容量：〇〇L/個 最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃ 主要寸法： 外径：〇〇mm 高さ：〇〇mm 胴部厚さ：〇〇mm 底部厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																							
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																							
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																							
第十七条 第三十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的組成を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計																																																																																																																																																								
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量																																																																																																																																																								
第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備	・臨界事故が発生した機器を未臨界に移行するために必要となる可溶性中性子吸収材量に対して容量に十分な余裕を有して可溶性中性子吸収材を内包できる設計とする。 ・臨界事故の発生を起点として1時間にわたって、また、TBP等の錯体の急激な分解反応の発生を起点として約2時間にわたって放射性物質を含む気体を導出できる容量を有する設計とする。																																																																																																																																																								
第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発範囲に対処するための設備	・可搬型排水受槽は、想定される重大事故等において、冷却に使用した排水を受け取るために必要な容量を有する設計とする。																																																																																																																																																								
第四十一条 有機溶媒等による火災または爆発に対処するための設備	・臨界事故の発生を起点として1時間にわたって、また、TBP等の錯体の急激な分解反応の発生を起点として約2時間にわたって放射性物質を含む気体を導出できる容量を有する設計とする。																																																																																																																																																								
第四十六条 電源設備	・再処理施設及びMOX燃料加工施設における重大事故等に対処するために必要な燃料を確保するために必要な容量を有する設計とする																																																																																																																																																								
		変更前	変更後																																																																																																																																																						
名称			ハロンポンプ (ほう酸水注入系ポンプA用)																																																																																																																																																						
種類	—		一般罐目なし容器																																																																																																																																																						
容量	L/個		68以上 (68*)																																																																																																																																																						
最高使用圧力	MPa		5.2																																																																																																																																																						
最高使用温度	℃		40																																																																																																																																																						
主要寸法	外径	mm	265.0*																																																																																																																																																						
	高さ	mm	1500*																																																																																																																																																						
	胴部厚さ	mm																																																																																																																																																							
	底部厚さ	mm																																																																																																																																																							
材料	—		マンガン鋼																																																																																																																																																						
個数	—		3																																																																																																																																																						
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロンポンプ (ほう酸水注入系ポンプA用) 消火系																																																																																																																																																						
	設置床	—																																																																																																																																																							
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																																																							

仕様表記載例（機種：容器（臨界管理・冷却））

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>工程情報を示す項目であり、設備仕様と直接関係しない項目であるため、仕様表に記載しない。</p> <p>主要設備リストで展開。</p>		<p>プルトリウム溶液受槽(0000-00)</p>		<p>プルトリウム溶液受槽(0000-00)</p>		<p>(5) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p>		<p>管台については、強度評価の対象となるものでJIS等に基づいたものを除く特殊なものを仕様表に記載する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>設計条件</p> <table border="1"> <tr><td>名</td><td>称</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>種</td><td>類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>機器の種類</td><td>本体</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>コイル部</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>臨</td><td>界</td><td>管</td><td>理</td></tr> <tr><td>核</td><td>的</td><td>制</td><td>限</td></tr> <tr><td></td><td>最大液厚み</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>中性子吸収材最小厚み(カドミウム)</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>標</td><td>準</td><td>濃</td><td>度</td></tr> <tr><td></td><td>βγ</td><td>Bq/cm³</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>α</td><td>Bq/cm³</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>U</td><td>g/l</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>Pu</td><td>g/l</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>耐</td><td>震</td><td>ク</td><td>ラ</td></tr> <tr><td></td><td>クラス</td><td>—</td><td>〇〇(〇〇)¹⁾</td></tr> <tr><td>流</td><td>体</td><td>の</td><td>種</td></tr> <tr><td></td><td>種類</td><td>本</td><td>体</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>コ</td><td>イ</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>ル</td><td>部</td></tr> <tr><td>容</td><td>量</td><td>ml/個</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>本</td><td>体</td><td>最</td><td>高</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>圧</td><td>力</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>MPa</td><td>〇〇²⁾</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>最</td><td>高</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>温</td><td>度</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>℃</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>コ</td><td>イ</td><td>ル</td><td>部</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>最</td><td>高</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>圧</td><td>力</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>MPa</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>最</td><td>高</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>温</td><td>度</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>℃</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>伝</td><td>熱</td><td>面</td><td>積</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>ml/個</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>外</td><td>胴</td><td>内</td><td>径</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>内</td><td>胴</td><td>外</td><td>径</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>外</td><td>胴</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>内</td><td>胴</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>胴</td><td>上</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>胴</td><td>底</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾ (〇〇)⁴⁾</td></tr> <tr><td>冷</td><td>却</td><td>コ</td><td>イ</td><td>ル</td><td>外</td><td>径</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>冷</td><td>却</td><td>コ</td><td>イ</td><td>ル</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>外</td><td>側</td><td>中</td><td>性</td><td>子</td><td>吸</td><td>取</td><td>材</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>内</td><td>側</td><td>中</td><td>性</td><td>子</td><td>吸</td><td>取</td><td>材</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>全</td><td>高</td><td>mm</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>外</td><td>胴</td><td>板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>内</td><td>胴</td><td>板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>胴</td><td>上</td><td>板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>胴</td><td>底</td><td>板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>冷</td><td>却</td><td>コ</td><td>イ</td><td>ル</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>中</td><td>性</td><td>子</td><td>吸</td><td>取</td><td>材</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>中</td><td>性</td><td>子</td><td>減</td><td>速</td><td>材</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個</td><td>数</td><td>—</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </table>		名	称			種	類		—	〇〇	機器の種類	本体	—	〇〇		コイル部	—	〇〇	臨	界	管	理	核	的	制	限		最大液厚み	mm	〇〇		中性子吸収材最小厚み(カドミウム)	mm	〇〇	標	準	濃	度		βγ	Bq/cm ³	〇〇		α	Bq/cm ³	〇〇		U	g/l	〇〇		Pu	g/l	〇〇	耐	震	ク	ラ		クラス	—	〇〇(〇〇) ¹⁾	流	体	の	種		種類	本	体			コ	イ			ル	部	容	量	ml/個	〇〇	本	体	最	高			使	用			圧	力			MPa	〇〇 ²⁾			最	高			使	用			温	度			℃	〇〇	コ	イ	ル	部			最	高			使	用			圧	力			MPa	〇〇			最	高			使	用			温	度			℃	〇〇	伝	熱	面	積			ml/個	〇〇	外	胴	内	径			mm	〇〇	内	胴	外	径			mm	〇〇	外	胴	板	厚			さ	mm	〇〇	内	胴	板	厚			さ	mm	〇〇	胴	上	板	厚			さ	mm	〇〇	胴	底	板	厚			さ	mm	〇〇 ³⁾ (〇〇) ⁴⁾	冷	却	コ	イ	ル	外	径	mm	〇〇	冷	却	コ	イ	ル	厚	さ	mm	〇〇	外	側	中	性	子	吸	取	材	厚	さ	mm	〇〇	内	側	中	性	子	吸	取	材	厚	さ	mm	〇〇	全	高	mm	〇〇	〇〇	外	胴	板	—	〇〇	内	胴	板	—	〇〇	胴	上	板	—	〇〇	胴	底	板	—	〇〇	冷	却	コ	イ	ル	—	〇〇	中	性	子	吸	取	材	—	〇〇	中	性	子	減	速	材	—	〇〇	個	数	—	〇〇	〇〇	<p>仕様表案</p> <table border="1"> <tr><td>名</td><td>称</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>種</td><td>類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>臨</td><td>界</td><td>管</td><td>理</td></tr> <tr><td>核</td><td>的</td><td>制</td><td>限</td></tr> <tr><td></td><td>最大液厚み</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>中性子吸収材最小厚み(カドミウム)</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>容</td><td>量</td><td>ml/個</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>本</td><td>体</td><td>最</td><td>高</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>圧</td><td>力</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>MPa</td><td>〇〇²⁾</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>最</td><td>高</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>温</td><td>度</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>℃</td><td>〇〇²⁾</td></tr> <tr><td>コ</td><td>イ</td><td>ル</td><td>部</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>最</td><td>高</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>圧</td><td>力</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>MPa</td><td>〇〇²⁾</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>最</td><td>高</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>温</td><td>度</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>℃</td><td>〇〇²⁾</td></tr> <tr><td>伝</td><td>熱</td><td>面</td><td>積</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>ml/個</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>外</td><td>胴</td><td>内</td><td>径</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>内</td><td>胴</td><td>外</td><td>径</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>外</td><td>胴</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>内</td><td>胴</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>胴</td><td>上</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>胴</td><td>底</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾(〇〇³⁾(〇〇³⁾)⁴⁾</td></tr> <tr><td>冷</td><td>却</td><td>コ</td><td>イ</td><td>ル</td><td>外</td><td>径</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>冷</td><td>却</td><td>コ</td><td>イ</td><td>ル</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>外</td><td>側</td><td>中</td><td>性</td><td>子</td><td>吸</td><td>取</td><td>材</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>内</td><td>側</td><td>中</td><td>性</td><td>子</td><td>吸</td><td>取</td><td>材</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>全</td><td>高</td><td>mm</td><td>〇〇³⁾</td><td>〇〇³⁾</td></tr> <tr><td>外</td><td>胴</td><td>板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>内</td><td>胴</td><td>板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>胴</td><td>上</td><td>板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>胴</td><td>底</td><td>板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>冷</td><td>却</td><td>コ</td><td>イ</td><td>ル</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>中</td><td>性</td><td>子</td><td>吸</td><td>取</td><td>材</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>中</td><td>性</td><td>子</td><td>減</td><td>速</td><td>材</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個</td><td>数</td><td>—</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </table>		名	称			種	類	—	〇〇	臨	界	管	理	核	的	制	限		最大液厚み	mm	〇〇		中性子吸収材最小厚み(カドミウム)	mm	〇〇	容	量	ml/個	〇〇	本	体	最	高			使	用			圧	力			MPa	〇〇 ²⁾			最	高			使	用			温	度			℃	〇〇 ²⁾	コ	イ	ル	部			最	高			使	用			圧	力			MPa	〇〇 ²⁾			最	高			使	用			温	度			℃	〇〇 ²⁾	伝	熱	面	積			ml/個	〇〇	外	胴	内	径			mm	〇〇 ³⁾	内	胴	外	径			mm	〇〇 ³⁾	外	胴	板	厚			さ	mm	〇〇 ³⁾	内	胴	板	厚			さ	mm	〇〇 ³⁾	胴	上	板	厚			さ	mm	〇〇 ³⁾	胴	底	板	厚			さ	mm	〇〇 ³⁾ (〇〇 ³⁾ (〇〇 ³⁾) ⁴⁾	冷	却	コ	イ	ル	外	径	mm	〇〇 ³⁾	冷	却	コ	イ	ル	厚	さ	mm	〇〇 ³⁾	外	側	中	性	子	吸	取	材	厚	さ	mm	〇〇 ³⁾	内	側	中	性	子	吸	取	材	厚	さ	mm	〇〇 ³⁾	全	高	mm	〇〇 ³⁾	〇〇 ³⁾	外	胴	板	—	〇〇	内	胴	板	—	〇〇	胴	上	板	—	〇〇	胴	底	板	—	〇〇	冷	却	コ	イ	ル	—	〇〇	中	性	子	吸	取	材	—	〇〇	中	性	子	減	速	材	—	〇〇	個	数	—	〇〇	〇〇	<p>要求事項の整理</p> <table border="1"> <tr><td>技術基準</td><td>機能要求②</td><td>主な仕様(詳細設計)</td></tr> <tr><td>様式-6.7</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td><td>・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計</td><td>核的制限値 最大液厚み：〇〇mm 中性子吸収材最小厚み(カドミウム)：〇〇mm</td></tr> <tr><td>第六条 地震による損傷の防止</td><td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td><td>主要寸法(全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇</td></tr> <tr><td>第十条 閉じ込めの機能</td><td>・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める ・管理区域外から流体状の使用済燃料等を内包するセル内の設備へ冷却水、蒸気等の熱媒を供給する場合は、管理区域内で熱交換器を介することで、使用済燃料等を含む流体を環境に流出しない設計</td><td>主要寸法(全高)：〇〇mm 容量：〇〇ml/個 設計熱交換量：〇〇kW/個 伝熱面積：〇〇㎡/個</td></tr> <tr><td>第十二条 溢水防護</td><td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td></tr> <tr><td>第十三条 化学薬品防護</td><td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td></tr> <tr><td>第三十八条 材料及び構造</td><td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計</td><td>主要寸法： 外胴内径：〇〇mm 内胴外径：〇〇mm 外胴板厚さ：〇〇mm 内胴板厚さ：〇〇mm 胴上板厚さ：〇〇mm 胴底板厚さ：〇〇mm 冷却コイル外径：〇〇mm 冷却コイル厚さ：〇〇mm 外側中性子吸収材厚さ：〇〇mm 内側中性子吸収材厚さ：〇〇mm 主要材料： 外胴板：〇〇 内胴板：〇〇 胴上板：〇〇 胴底板：〇〇 冷却コイル：〇〇 中性子吸収材：〇〇 中性子減速材：〇〇</td></tr> <tr><td>第三十六条 重大事故等対処設備</td><td>・想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮する設計</td><td>最高使用圧力 本体：〇〇MPa コイル部：〇〇MPa 最高使用温度 本体：〇〇℃ コイル部：〇〇℃</td></tr> <tr><td>許可整合</td><td></td><td></td></tr> </table>		技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	様式-6.7			第四条 核燃料物質の臨界防止	・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計	核的制限値 最大液厚み：〇〇mm 中性子吸収材最小厚み(カドミウム)：〇〇mm	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法(全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条 閉じ込めの機能	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める ・管理区域外から流体状の使用済燃料等を内包するセル内の設備へ冷却水、蒸気等の熱媒を供給する場合は、管理区域内で熱交換器を介することで、使用済燃料等を含む流体を環境に流出しない設計	主要寸法(全高)：〇〇mm 容量：〇〇ml/個 設計熱交換量：〇〇kW/個 伝熱面積：〇〇㎡/個	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第十三条 化学薬品防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第三十八条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	主要寸法： 外胴内径：〇〇mm 内胴外径：〇〇mm 外胴板厚さ：〇〇mm 内胴板厚さ：〇〇mm 胴上板厚さ：〇〇mm 胴底板厚さ：〇〇mm 冷却コイル外径：〇〇mm 冷却コイル厚さ：〇〇mm 外側中性子吸収材厚さ：〇〇mm 内側中性子吸収材厚さ：〇〇mm 主要材料： 外胴板：〇〇 内胴板：〇〇 胴上板：〇〇 胴底板：〇〇 冷却コイル：〇〇 中性子吸収材：〇〇 中性子減速材：〇〇	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮する設計	最高使用圧力 本体：〇〇MPa コイル部：〇〇MPa 最高使用温度 本体：〇〇℃ コイル部：〇〇℃	許可整合			<p>発電炉類似設備要目表</p> <table border="1"> <tr><td>名</td><td>称</td><td>変更前^{*1}</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種</td><td>類</td><td>—</td><td>サージタンク</td></tr> <tr><td>容</td><td>量</td><td>m³/個</td><td>4.5^{*2}</td></tr> <tr><td>最</td><td>高</td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>圧</td><td>力</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>MPa</td><td>静水頭</td></tr> <tr><td>最</td><td>高</td><td>使</td><td>用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>温</td><td>度</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>℃</td><td>65.6</td></tr> <tr><td>主</td><td>要</td><td>寸</td><td>法</td></tr> <tr><td></td><td>胴</td><td>内</td><td>径</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>mm</td><td>1500^{*2}</td></tr> <tr><td></td><td>胴</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>9.0^{*2}</td></tr> <tr><td></td><td>鏡</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>9.0^{*2}</td></tr> <tr><td></td><td>鏡</td><td>板</td><td>の</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>形</td><td>状</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>に</td><td>係</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>る</td><td>寸</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>法</td><td>mm</td><td>1500^{*2} (鏡板中央部内半径)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>mm</td><td>150^{*2} (鏡板隅の丸み半径)</td></tr> <tr><td></td><td>平</td><td>板</td><td>厚</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>さ</td><td>mm</td><td>9.0^{*2}</td></tr> <tr><td>寸</td><td>出</td><td>口</td><td>管</td><td>台</td><td>外</td><td>径</td><td>mm</td><td>165.2^{*2}</td></tr> <tr><td></td><td>出</td><td>口</td><td>管</td><td>台</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>7.1^{*2}</td></tr> <tr><td>法</td><td>マン</td><td>ホ</td><td>ール</td><td>管</td><td>台</td><td>外</td><td>径</td><td>mm</td><td>457.2^{*2}</td></tr> <tr><td></td><td>マン</td><td>ホ</td><td>ール</td><td>管</td><td>台</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>12.0^{*2}</td></tr> <tr><td></td><td>マン</td><td>ホ</td><td>ール</td><td>平</td><td>板</td><td>厚</td><td>さ</td><td>mm</td><td>30.0^{*2}</td></tr> <tr><td></td><td>高</td><td>さ</td><td>mm</td><td>2820^{*2}</td></tr> <tr><td>材</td><td>胴</td><td>板</td><td>—</td><td>SM41A</td></tr> <tr><td></td><td>鏡</td><td>板</td><td>—</td><td>SM41A</td></tr> <tr><td>料</td><td>マン</td><td>ホ</td><td>ール</td><td>平</td><td>板</td><td>—</td><td>SM41A</td></tr> <tr><td>個</td><td>数</td><td>—</td><td>1</td></tr> <tr><td>取</td><td>付</td><td>箇</td><td>所</td><td>系</td><td>統</td><td>名</td><td>—</td><td>原子炉補機冷却系サージタンク</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(</td><td>ラ</td><td>イ</td><td>ン</td><td>名</td><td>—</td><td>原子炉補機冷却系</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>設</td><td>置</td><td>床</td><td>—</td><td>EL. 46.50 m</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>溢</td><td>水</td><td>防</td><td>護</td><td>上</td><td>の</td><td>区</td><td>画</td><td>番</td><td>号</td><td>—</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>溢</td><td>水</td><td>防</td><td>護</td><td>上</td><td>の</td><td>配</td><td>慮</td><td>が</td><td>必</td><td>要</td><td>な</td><td>高</td><td>さ</td><td>—</td></tr> </table>		名	称	変更前 ^{*1}	変更後	種	類	—	サージタンク	容	量	m ³ /個	4.5 ^{*2}	最	高	使	用			圧	力			MPa	静水頭	最	高	使	用			温	度			℃	65.6	主	要	寸	法		胴	内	径			mm	1500 ^{*2}		胴	板	厚			さ	mm	9.0 ^{*2}		鏡	板	厚			さ	mm	9.0 ^{*2}		鏡	板	の			形	状			に	係			る	寸			法	mm	1500 ^{*2} (鏡板中央部内半径)				mm	150 ^{*2} (鏡板隅の丸み半径)		平	板	厚			さ	mm	9.0 ^{*2}	寸	出	口	管	台	外	径	mm	165.2 ^{*2}		出	口	管	台	厚	さ	mm	7.1 ^{*2}	法	マン	ホ	ール	管	台	外	径	mm	457.2 ^{*2}		マン	ホ	ール	管	台	厚	さ	mm	12.0 ^{*2}		マン	ホ	ール	平	板	厚	さ	mm	30.0 ^{*2}		高	さ	mm	2820 ^{*2}	材	胴	板	—	SM41A		鏡	板	—	SM41A	料	マン	ホ	ール	平	板	—	SM41A	個	数	—	1	取	付	箇	所	系	統	名	—	原子炉補機冷却系サージタンク					(ラ	イ	ン	名	—	原子炉補機冷却系					設	置	床	—	EL. 46.50 m					溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—					溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—
名	称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種	類	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機器の種類	本体	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コイル部	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
臨	界	管	理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
核	的	制	限																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	最大液厚み	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	中性子吸収材最小厚み(カドミウム)	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
標	準	濃	度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	βγ	Bq/cm ³	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	α	Bq/cm ³	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	U	g/l	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	Pu	g/l	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐	震	ク	ラ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	クラス	—	〇〇(〇〇) ¹⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
流	体	の	種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	種類	本	体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		コ	イ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		ル	部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
容	量	ml/個	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
本	体	最	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		圧	力																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		MPa	〇〇 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		最	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		温	度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		℃	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
コ	イ	ル	部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		最	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		圧	力																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		MPa	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		最	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		温	度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		℃	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
伝	熱	面	積																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		ml/個	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
外	胴	内	径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
内	胴	外	径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
外	胴	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
内	胴	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
胴	上	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
胴	底	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	〇〇 ³⁾ (〇〇) ⁴⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
冷	却	コ	イ	ル	外	径	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
冷	却	コ	イ	ル	厚	さ	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
外	側	中	性	子	吸	取	材	厚	さ	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
内	側	中	性	子	吸	取	材	厚	さ	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
全	高	mm	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
外	胴	板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
内	胴	板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
胴	上	板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
胴	底	板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
冷	却	コ	イ	ル	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
中	性	子	吸	取	材	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
中	性	子	減	速	材	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
個	数	—	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
名	称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種	類	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
臨	界	管	理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
核	的	制	限																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	最大液厚み	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	中性子吸収材最小厚み(カドミウム)	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
容	量	ml/個	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
本	体	最	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		圧	力																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		MPa	〇〇 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		最	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		温	度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		℃	〇〇 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
コ	イ	ル	部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		最	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		圧	力																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		MPa	〇〇 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		最	高																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		温	度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		℃	〇〇 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
伝	熱	面	積																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		ml/個	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
外	胴	内	径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
内	胴	外	径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
外	胴	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
内	胴	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
胴	上	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
胴	底	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	〇〇 ³⁾ (〇〇 ³⁾ (〇〇 ³⁾) ⁴⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
冷	却	コ	イ	ル	外	径	mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
冷	却	コ	イ	ル	厚	さ	mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
外	側	中	性	子	吸	取	材	厚	さ	mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
内	側	中	性	子	吸	取	材	厚	さ	mm	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
全	高	mm	〇〇 ³⁾	〇〇 ³⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
外	胴	板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
内	胴	板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
胴	上	板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
胴	底	板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
冷	却	コ	イ	ル	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
中	性	子	吸	取	材	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
中	性	子	減	速	材	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
個	数	—	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
様式-6.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
第四条 核燃料物質の臨界防止	・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計	核的制限値 最大液厚み：〇〇mm 中性子吸収材最小厚み(カドミウム)：〇〇mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法(全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
第十条 閉じ込めの機能	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める ・管理区域外から流体状の使用済燃料等を内包するセル内の設備へ冷却水、蒸気等の熱媒を供給する場合は、管理区域内で熱交換器を介することで、使用済燃料等を含む流体を環境に流出しない設計	主要寸法(全高)：〇〇mm 容量：〇〇ml/個 設計熱交換量：〇〇kW/個 伝熱面積：〇〇㎡/個																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
第十三条 化学薬品防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
第三十八条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	主要寸法： 外胴内径：〇〇mm 内胴外径：〇〇mm 外胴板厚さ：〇〇mm 内胴板厚さ：〇〇mm 胴上板厚さ：〇〇mm 胴底板厚さ：〇〇mm 冷却コイル外径：〇〇mm 冷却コイル厚さ：〇〇mm 外側中性子吸収材厚さ：〇〇mm 内側中性子吸収材厚さ：〇〇mm 主要材料： 外胴板：〇〇 内胴板：〇〇 胴上板：〇〇 胴底板：〇〇 冷却コイル：〇〇 中性子吸収材：〇〇 中性子減速材：〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮する設計	最高使用圧力 本体：〇〇MPa コイル部：〇〇MPa 最高使用温度 本体：〇〇℃ コイル部：〇〇℃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
許可整合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
名	称	変更前 ^{*1}	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種	類	—	サージタンク																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
容	量	m ³ /個	4.5 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
最	高	使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		圧	力																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		MPa	静水頭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
最	高	使	用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		温	度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		℃	65.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
主	要	寸	法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	胴	内	径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		mm	1500 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	胴	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	9.0 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	鏡	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	9.0 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	鏡	板	の																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		形	状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		に	係																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		る	寸																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		法	mm	1500 ^{*2} (鏡板中央部内半径)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			mm	150 ^{*2} (鏡板隅の丸み半径)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	平	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		さ	mm	9.0 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
寸	出	口	管	台	外	径	mm	165.2 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	出	口	管	台	厚	さ	mm	7.1 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
法	マン	ホ	ール	管	台	外	径	mm	457.2 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	マン	ホ	ール	管	台	厚	さ	mm	12.0 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	マン	ホ	ール	平	板	厚	さ	mm	30.0 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	高	さ	mm	2820 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材	胴	板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	鏡	板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
料	マン	ホ	ール	平	板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
個	数	—	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
取	付	箇	所	系	統	名	—	原子炉補機冷却系サージタンク																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				(ラ	イ	ン	名	—	原子炉補機冷却系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				設	置	床	—	EL. 46.50 m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>特記事項</p> <p>(1) 電気設備に関する技術基準に定める省令第10条及び第11条に準拠した接地網に接地する。</p> <p>構造図：第3.2.4.2-21図に示す。</p> <p>注記1)：〇内は、臨界の発生防止の観点の耐震クラスを示す。</p> <p>2)：単位は (kg/cm³)</p> <p>3)：胴底板上面は傾斜を有し、最小厚さ部：〇〇mm、最大厚さ部：〇〇mmとなる。</p> <p>4)：漏えい液取出口の切欠部により、胴底板が最も薄くなる部位の厚さを示す。</p>		<p>仕様表案</p> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <p>*2：重大事故時における使用時の値を示す。</p> <p>*3：胴底板上面は傾斜を有し、最小厚さ部：〇〇mm、最大厚さ部：〇〇mmとなる。</p> <p>*4：漏えい液取出口の切欠部により、胴底板が最も薄くなる部位の厚さを示す。</p>		<p>要求事項の整理</p> <p>注記 *1：公称値を示す。</p> <p>*2：重大事故時における使用時の値を示す。</p> <p>*3：胴底板上面は傾斜を有し、最小厚さ部：〇〇mm、最大厚さ部：〇〇mmとなる。</p> <p>*4：漏えい液取出口の切欠部により、胴底板が最も薄くなる部位の厚さを示す。</p>		<p>発電炉類似設備要目表</p> <p>注記 *1：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*2：公称値を示す。</p>		<p>備考</p> <p>管台については、強度評価の対象となるものでJIS等に基づいたものを除く特殊なものを仕様表に記載する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

仕様表記載例（機種：運搬・製品容器）

既認可の仕様表		仕様表案		変更前		変更後		要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考	
<p>工程情報を示す項目であり、設備仕様と直接関係しない項目であるため、仕様表に記載しない。</p> <p>主要設備リストで展開</p>		<p>名称：貯蔵バスケット</p> <p>種類：〇〇</p> <p>機器の種類：〇〇</p> <p>臨界管理：〇〇</p> <p>核的制限値：〇〇</p> <p>中性子吸収材最小厚み（カドミウム）：mm</p> <p>面間最小距離：mm</p> <p>ウラン酸化物貯蔵容器間：mm</p> <p>耐震クラス：〇〇</p> <p>容量：体/個</p> <p>最高使用温度：℃</p> <p>幅：mm</p> <p>全高：mm</p> <p>内筒内径：mm</p> <p>内筒厚さ：mm</p> <p>内筒間距離：mm</p> <p>中性子吸収材厚さ（カドミウム）：mm</p> <p>中性子減速材厚さ（カドミウム）：mm</p> <p>バスケット本体：mm</p> <p>貯蔵容器固定板：mm</p> <p>外筒：mm</p> <p>内筒：mm</p> <p>中性子吸収材：mm</p> <p>中性子減速材：mm</p> <p>個数：〇〇</p> <p>注記：*1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「本体材料」と記載。</p>		<p>名称：貯蔵バスケット</p> <p>種類：〇〇</p> <p>臨界管理：〇〇</p> <p>核的制限値：〇〇</p> <p>中性子吸収材最小厚み（カドミウム）：mm</p> <p>面間最小距離：mm</p> <p>ウラン酸化物貯蔵容器間：mm</p> <p>容量：体/個</p> <p>最高使用温度：℃</p> <p>幅：mm</p> <p>全高：mm</p> <p>内筒内径：mm</p> <p>内筒厚さ：mm</p> <p>内筒間距離：mm</p> <p>中性子吸収材厚さ（カドミウム）：mm</p> <p>中性子減速材厚さ（カドミウム）：mm</p> <p>バスケット本体：mm</p> <p>貯蔵容器固定板：mm</p> <p>外筒：mm</p> <p>内筒：mm</p> <p>中性子吸収材：mm</p> <p>中性子減速材：mm</p> <p>個数：〇〇</p> <p>注記：*1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「本体材料」と記載。</p>		<p>技術基準</p> <p>機能要求② 様式-6 様式-7</p> <p>主な仕様 (詳細設計)</p> <p>第四条 核燃料物質の臨界防止 ・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤作動又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計</p> <p>第六条 地震による損傷の防止 ・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</p> <p>第十七条 材料及び構造 ・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計</p> <p>第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等 ・燃料仮置きラックは、適切なラック間隔を取ることにより、最大容量まで使用済燃料集合体を収納した場合でも、通常時及び燃料間距離がラック内で最小となるような厳しい状態等、技術的に見て想定されるいかなる場合でも臨界を防止する設計とする。</p>		<p>運搬用容器</p> <p>放射線遮蔽材</p> <p>名称：旧炉内構造物運搬用容器</p> <p>種類：〇〇</p> <p>最高使用温度：℃</p> <p>全長：mm</p> <p>胴内径：mm</p> <p>胴板厚さ：mm</p> <p>上ふた板厚さ：mm</p> <p>下ふた板厚さ：mm</p> <p>材料：〇〇</p> <p>個数：〇</p> <p>種類：〇〇</p> <p>冷却方法：〇〇</p> <p>胴板厚さ：mm</p> <p>上ふた板厚さ：mm</p> <p>吊りふた板厚さ：mm</p> <p>下ふた板厚さ：mm</p> <p>材料：〇〇</p> <p>(注1) 公称値</p> <p>う。また、全長はこの二次蓋（厚さ：mm、材料：〇〇）を含む。</p> <p>*3：公称値を示す。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚さ」と記載。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「〇〇」と記載。記載内容は、平成 年 月 日付け平成 原第 号にて認可された工事計画の添付図面「第2図 使用済燃料乾式貯蔵容器（タイプII）（全体）」による。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「プレート厚さ」と記載。 *7：胴と一体構造である。 *8：構造強度部材であり、遮蔽機能も有する部材である。 *9：サポートシリンダを示す。 *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「中性子遮へい体」と記載。 *11：トランシオン周辺部の最小厚さはmmとなる。 *12：別紙 規格表 参照。 *13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「底部中性子遮へい体カバー」と記載。 *14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「一次蓋中性子遮へい体カバー」と記載。 *15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「密封監視機能付縦置円筒型」と記載。</p>		<p>基本設計方針で展開</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	

仕様表記載例（機種：ろ過装置）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>工程情報を示す項目であり、設備仕様と直接関係しない項目であるため、仕様表に記載しない。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>—</td><td>〇〇ろ過装置 A,B(0000-00)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>機器の種類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>標準濃度</td><td>Bq/cm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>耐震クラス</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>流体の種類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>容量</td><td>m³/h/個</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>最高使用圧力</td><td>MPa</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>最高使用温度</td><td>℃</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>胴内径</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>胴板厚さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>鏡板厚さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>全高</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>主要材料</td><td>胴板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>鏡板</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>特記事項</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>構造図：第3.2.2.2.7-3図及び第3.2.2.2.7-4図 注記 1)：単位は (kg/cm)</p> <p>基本設計方針に展開</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>旧単位系記載のため、SI単位系表記に統一することに伴い適正化。</p>	名称	—	〇〇ろ過装置 A,B(0000-00)	種類	—	〇〇	機器の種類	—	〇〇	標準濃度	Bq/cm	〇〇	耐震クラス	—	〇〇	流体の種類	—	〇〇	容量	m ³ /h/個	〇〇	最高使用圧力	MPa	〇〇	最高使用温度	℃	〇〇	主要寸法	胴内径	mm	〇〇		胴板厚さ	mm	〇〇		鏡板厚さ	mm	〇〇		全高	mm	〇〇	主要材料	胴板	—	〇〇		鏡板	—	〇〇	個数	—	〇〇	特記事項	—	〇〇	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>名 称</td> <td>〇〇ろ過装置 A,B (0000-000)</td> <td>〇〇ろ過装置 A,B (0000-000)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td>〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主 要 寸 法</td> <td>胴 内 径</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>胴 板 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 中 央 部 内 半 径</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 隅 丸 み 半 径</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>入 口 管 台 外 径</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>入 口 管 台 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>出 口 管 台 外 径</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>出 口 管 台 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>本 体 フ ラ ン ジ 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>平 板 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 材 料</td> <td>全 高</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>胴 板</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>鏡 板</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>平 板</td> <td>—</td> <td>〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td>フ ラ ン ジ</td> <td>—</td> <td>〇〇^{*3}</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">取 付 箇 所</td> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>系 統 名 (フ ァ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化 学 薬 品 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化 学 薬 品 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：重大事故時等における使用時の値を示す。 *3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>	名称	変更前	変更後	名 称	〇〇ろ過装置 A,B (0000-000)	〇〇ろ過装置 A,B (0000-000)	種 類	〇〇	〇〇	容 量	m ³ /h/個	〇〇	最 高 使 用 圧 力	MPa	〇〇 ^{*2}	最 高 使 用 温 度	℃	〇〇 ^{*2}	主 要 寸 法	胴 内 径	mm	〇〇 ^{*1}	胴 板 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}	鏡 板 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}	鏡 板 中 央 部 内 半 径	mm	〇〇 ^{*1}	鏡 板 隅 丸 み 半 径	mm	〇〇 ^{*1}	入 口 管 台 外 径	mm	〇〇 ^{*1}	入 口 管 台 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}	出 口 管 台 外 径	mm	〇〇 ^{*1}	出 口 管 台 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}	本 体 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}	平 板 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}	主 要 材 料	全 高	mm	〇〇 ^{*1}	胴 板	—	〇〇	鏡 板	—	〇〇	平 板	—	〇〇 ^{*2}	フ ラ ン ジ	—	〇〇 ^{*3}	取 付 箇 所	個 数	—	〇〇	系 統 名 (フ ァ イ ン 名)	—	〇〇	設 置 床	—	〇〇	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇	化 学 薬 品 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇	化 学 薬 品 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>様式-6,7 ・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 (全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十七条 材料及び構造</td> <td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的組成を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計</td> <td>主要寸法： 胴内径：〇〇mm 胴板厚さ：〇〇mm 鏡板厚さ：〇〇mm 鏡板中央部内半径：〇〇mm 鏡板隅丸み半径：〇〇mm 入口管台外径：〇〇mm 入口管台厚さ：〇〇mm 出口管台外径：〇〇mm 出口管台厚さ：〇〇mm 本体フランジ厚さ：〇〇mm 平板厚さ：〇〇mm 主要材料： 胴板：〇〇 鏡板：〇〇 平板：〇〇 フランジ：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第二十四条 廃棄施設</td> <td>・廃液の放射性物質の清浄、濃度等に応じてろ過、脱塩、蒸発処理を行い、放射性物質の量及び濃度を確認した上で、十分な拡散効果を有する海洋放出口から海洋に放出する設計とする。</td> <td>最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃ 容量：〇〇m³/h/個</td> </tr> <tr> <td>許可整合</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	様式-6,7 ・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 (全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上	第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的組成を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計	主要寸法： 胴内径：〇〇mm 胴板厚さ：〇〇mm 鏡板厚さ：〇〇mm 鏡板中央部内半径：〇〇mm 鏡板隅丸み半径：〇〇mm 入口管台外径：〇〇mm 入口管台厚さ：〇〇mm 出口管台外径：〇〇mm 出口管台厚さ：〇〇mm 本体フランジ厚さ：〇〇mm 平板厚さ：〇〇mm 主要材料： 胴板：〇〇 鏡板：〇〇 平板：〇〇 フランジ：〇〇	第二十四条 廃棄施設	・廃液の放射性物質の清浄、濃度等に応じてろ過、脱塩、蒸発処理を行い、放射性物質の量及び濃度を確認した上で、十分な拡散効果を有する海洋放出口から海洋に放出する設計とする。	最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃ 容量：〇〇m ³ /h/個	許可整合			<p>(6) ろ過装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td>—</td> <td>フィルタ脱塩器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>たて置円筒形*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td>〇〇 (125*)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td>1.38**</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>94</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主 要 寸 法</td> <td>胴 内 径</td> <td>mm</td> <td>1100**</td> </tr> <tr> <td>胴 板 厚 さ**</td> <td>mm</td> <td>上部胴体**： (13***) 下部胴体**： (13***)</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 厚 さ**</td> <td>mm</td> <td>(13***)</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 中 央 部 内 半 径</td> <td>mm</td> <td>1100** **</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 隅 丸 み 半 径</td> <td>mm</td> <td>110** **</td> </tr> <tr> <td>入 口 管 台 外 径</td> <td>mm</td> <td>165.2** **</td> </tr> <tr> <td>入 口 管 台 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>(7.1** **)</td> </tr> <tr> <td>出 口 管 台 外 径</td> <td>mm</td> <td>165.2** **</td> </tr> <tr> <td>出 口 管 台 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>(7.1** **)</td> </tr> <tr> <td>本 体 フ ラ ン ジ 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>(70** **)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>平 板 厚 さ**</td> <td>mm</td> <td>(110** **)</td> </tr> <tr> <td>高 さ**</td> <td>mm</td> <td>2538** **</td> </tr> <tr> <td>胴 板**</td> <td>—</td> <td>上部胴板**：SB42** 下部胴板**：SUS304**</td> </tr> <tr> <td>鏡 板**</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取 付 箇 所</td> <td>平 板**</td> <td>—</td> <td>SF45**</td> </tr> <tr> <td>本 体 フ ラ ン ジ**</td> <td>—</td> <td>SF45**</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>系 統 名 (フ ァ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td>フィルタ脱塩器 A 燃料プール冷却 浄化系*12</td> <td>フィルタ脱塩器 B 燃料プール冷却 浄化系*12</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>EL.38.80 a**14</td> <td>EL.38.80 a**14</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒型 (四脚支持)」と記載。 *2：公称値を示す。 *3：S I 単位に換算したもの。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚 13mm」と記載。 *6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年8月30日付け建設発第98号にて届け出した工事計画書の添付書類「III-1-5 燃料プール冷却浄化系機器・配管の規格計算書」のうち、「III-1-5-2 フィルタ脱塩器 (III-1-4-2)」による。 *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。 *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全長」と記載。 *9：記載の適正化を行う。既工事計画書には、脚からベントフランジ中心までの高さである「4035」と記載。記載内容は、設計図書による。 *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。 *11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴 SB42」と記載。 *12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴 SUS304」と記載。 *13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「上蓋板」と記載。 *14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF45」と記載。 *15：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年8月30日付け建設発第98号にて届け出した工事計画書の添付図面「第6-2図 燃料プール冷却浄化系系統図 (その2)」による。 *16：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名 称	—	フィルタ脱塩器		種 類	—	たて置円筒形*		容 量	m ³ /h/個	〇〇 (125*)		最 高 使 用 圧 力	MPa	1.38**		最 高 使 用 温 度	℃	94		主 要 寸 法	胴 内 径	mm	1100**	胴 板 厚 さ**	mm	上部胴体**： (13***) 下部胴体**： (13***)	鏡 板 厚 さ**	mm	(13***)	鏡 板 中 央 部 内 半 径	mm	1100** **	鏡 板 隅 丸 み 半 径	mm	110** **	入 口 管 台 外 径	mm	165.2** **	入 口 管 台 厚 さ	mm	(7.1** **)	出 口 管 台 外 径	mm	165.2** **	出 口 管 台 厚 さ	mm	(7.1** **)	本 体 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	(70** **)	材 料	平 板 厚 さ**	mm	(110** **)	高 さ**	mm	2538** **	胴 板**	—	上部胴板**：SB42** 下部胴板**：SUS304**	鏡 板**	—	SUS304	取 付 箇 所	平 板**	—	SF45**	本 体 フ ラ ン ジ**	—	SF45**	個 数	—	2				変更前	変更後	系 統 名 (フ ァ イ ン 名)	—	フィルタ脱塩器 A 燃料プール冷却 浄化系*12	フィルタ脱塩器 B 燃料プール冷却 浄化系*12	設 置 床	—	EL.38.80 a**14	EL.38.80 a**14	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			<p>変更なし</p> <p>変更なし</p>
名称	—	〇〇ろ過装置 A,B(0000-00)																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
機器の種類	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
標準濃度	Bq/cm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
耐震クラス	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
流体の種類	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
容量	m ³ /h/個	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
最高使用圧力	MPa	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
最高使用温度	℃	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
主要寸法	胴内径	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	胴板厚さ	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡板厚さ	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	全高	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
主要材料	胴板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
個数	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
特記事項	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
名称	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																													
名 称	〇〇ろ過装置 A,B (0000-000)	〇〇ろ過装置 A,B (0000-000)																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 類	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
容 量	m ³ /h/個	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
最 高 使 用 圧 力	MPa	〇〇 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																													
最 高 使 用 温 度	℃	〇〇 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																													
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	胴 板 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡 板 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡 板 中 央 部 内 半 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡 板 隅 丸 み 半 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	入 口 管 台 外 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	入 口 管 台 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	出 口 管 台 外 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	出 口 管 台 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	本 体 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
平 板 厚 さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																													
主 要 材 料	全 高	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																																												
	胴 板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡 板	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	平 板	—	〇〇 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																												
フ ラ ン ジ	—	〇〇 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																																																													
取 付 箇 所	個 数	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	系 統 名 (フ ァ イ ン 名)	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	設 置 床	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
	化 学 薬 品 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																												
化 学 薬 品 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																																													
第六条 地震による損傷の防止	様式-6,7 ・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 (全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																																																																																													
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																																																																																													
第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的組成を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計	主要寸法： 胴内径：〇〇mm 胴板厚さ：〇〇mm 鏡板厚さ：〇〇mm 鏡板中央部内半径：〇〇mm 鏡板隅丸み半径：〇〇mm 入口管台外径：〇〇mm 入口管台厚さ：〇〇mm 出口管台外径：〇〇mm 出口管台厚さ：〇〇mm 本体フランジ厚さ：〇〇mm 平板厚さ：〇〇mm 主要材料： 胴板：〇〇 鏡板：〇〇 平板：〇〇 フランジ：〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																													
第二十四条 廃棄施設	・廃液の放射性物質の清浄、濃度等に応じてろ過、脱塩、蒸発処理を行い、放射性物質の量及び濃度を確認した上で、十分な拡散効果を有する海洋放出口から海洋に放出する設計とする。	最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃ 容量：〇〇m ³ /h/個																																																																																																																																																																																																																																																																													
許可整合																																																																																																																																																																																																																																																																															
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																												
名 称	—	フィルタ脱塩器																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 類	—	たて置円筒形*																																																																																																																																																																																																																																																																													
容 量	m ³ /h/個	〇〇 (125*)																																																																																																																																																																																																																																																																													
最 高 使 用 圧 力	MPa	1.38**																																																																																																																																																																																																																																																																													
最 高 使 用 温 度	℃	94																																																																																																																																																																																																																																																																													
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	1100**																																																																																																																																																																																																																																																																												
	胴 板 厚 さ**	mm	上部胴体**： (13***) 下部胴体**： (13***)																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡 板 厚 さ**	mm	(13***)																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡 板 中 央 部 内 半 径	mm	1100** **																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡 板 隅 丸 み 半 径	mm	110** **																																																																																																																																																																																																																																																																												
	入 口 管 台 外 径	mm	165.2** **																																																																																																																																																																																																																																																																												
	入 口 管 台 厚 さ	mm	(7.1** **)																																																																																																																																																																																																																																																																												
	出 口 管 台 外 径	mm	165.2** **																																																																																																																																																																																																																																																																												
	出 口 管 台 厚 さ	mm	(7.1** **)																																																																																																																																																																																																																																																																												
	本 体 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	(70** **)																																																																																																																																																																																																																																																																												
材 料	平 板 厚 さ**	mm	(110** **)																																																																																																																																																																																																																																																																												
	高 さ**	mm	2538** **																																																																																																																																																																																																																																																																												
	胴 板**	—	上部胴板**：SB42** 下部胴板**：SUS304**																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鏡 板**	—	SUS304																																																																																																																																																																																																																																																																												
取 付 箇 所	平 板**	—	SF45**																																																																																																																																																																																																																																																																												
	本 体 フ ラ ン ジ**	—	SF45**																																																																																																																																																																																																																																																																												
個 数	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																													
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																												
系 統 名 (フ ァ イ ン 名)	—	フィルタ脱塩器 A 燃料プール冷却 浄化系*12	フィルタ脱塩器 B 燃料プール冷却 浄化系*12																																																																																																																																																																																																																																																																												
設 置 床	—	EL.38.80 a**14	EL.38.80 a**14																																																																																																																																																																																																																																																																												
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																																																																																																																																																																																																																																														
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																																																																																																																																																																																																																																														

仕様表記載例（機種：熱交換器）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																											
<p>工程情報を示す項目であり、設備仕様と直接関係しない項目であるため、仕様表に記載しない。</p> <p>分離配置は配置図で示す。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>安全冷却水 B 冷却塔 (00-0000)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>機器の種類 耐震クラス 航空機に対する防護</td></tr> <tr><td>設計条件</td><td>流体の種類 容量 (設計熱交換量) 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 (フィン外表面積)</td></tr> <tr><td>仕様</td><td>冷却塔 主要寸法 (全長, 全幅, 全高) 主要材料 (伝熱管 (内管), ヘッダー) 個数</td></tr> <tr><td>特記事項</td><td>本設備は、非常用所内電源系統に接続する。</td></tr> </table> <p>注記 1) 単位は (kcal/h/個) 2) 単位は (kg/cm²) 3) 安全冷却水 A 冷却塔は、前処理建屋の屋上に据え付ける。安全冷却水 B 冷却塔は、鉄筋コンクリート造りの基礎の上に据え付ける。 4) 安全冷却水 B 冷却塔基礎の主要寸法は以下とする。 南北方向: 〇m (外壁外面寸法) 東西方向: 〇m (外壁外面寸法) 厚さ: 〇m 5) 安全冷却水 B 冷却塔基礎の主要材料は、以下とする。 鉄筋: JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒網) に定める SD345 コンクリート: JASS5 の規定による普通コンクリート 設計基準強度 (N/mm²) (〇kgf/cm²) マンメイドロック (コンクリート): 設計基準強度 〇N/mm² (〇kgf/cm²) 6) 安全冷却水 B 冷却塔基礎の支持地盤の許容支持力度は、鷹架層の許容支持力度として、重要な建物・構築物ごとに定まる値の最小値とし、長期: 〇MPa (〇kgf/cm²)、短期: 〇MPa (〇kgf/cm²) とする。 7) 安全冷却水 B 冷却塔基礎は、As クラスの設備を設置しているため、基準地震動 S1 及び S2 で間接支持構造物としての支持機能が維持されていることの確認を行う。</p> <p>旧単位系記載のため、SI 単位系表記に統一することに伴い適正化。</p> <p>基礎については、構造図で示す。</p> <p>主要設備リストで展開。</p>	名称	安全冷却水 B 冷却塔 (00-0000)	種類	機器の種類 耐震クラス 航空機に対する防護	設計条件	流体の種類 容量 (設計熱交換量) 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 (フィン外表面積)	仕様	冷却塔 主要寸法 (全長, 全幅, 全高) 主要材料 (伝熱管 (内管), ヘッダー) 個数	特記事項	本設備は、非常用所内電源系統に接続する。	<table border="1"> <tr><td>名</td><td>安全冷却水 B 冷却塔 (00-0000)</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>基礎: 〇〇 冷却塔: 〇〇</td><td></td><td>変更なし</td></tr> <tr><td>支持地盤の許容支持力度</td><td>MPa</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>支持地盤の極限支持力度</td><td>MPa</td><td></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>マンメイドロックの強度</td><td>N/mm²</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>容量</td><td>設計熱交換量 (MW/h) 設計冷却空気流量 (kg/h)</td><td>〇〇^{*1} 〇〇^{*2}</td><td>〇〇^{*1} 〇〇^{*2}</td></tr> <tr><td>最高使用圧力</td><td>MPa</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>最高使用温度</td><td>℃</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面積)</td><td>m²/個</td><td>〇〇^{*1}</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>全長 (mm) 全幅 (mm) 全高 (mm)</td><td>〇〇^{*1} 〇〇^{*1} 〇〇^{*1}</td><td>〇〇^{*1} 〇〇^{*1} 〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>主要材料</td><td>伝熱管 (内管) フ ヘッダー</td><td>— — —</td><td>〇〇^{*3} 〇〇^{*3} 〇〇^{*3}</td></tr> <tr><td>耐火被膜</td><td>種類 厚さ</td><td>— —</td><td>— 〇〇以上</td></tr> <tr><td>原動機</td><td>種類 出力 ファン台数</td><td>— — —</td><td>〇〇^{*3} 〇〇^{*3} 〇〇^{*3}</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>系統名 (ライン名) 設置床 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ 化学薬品防護上の区画番号 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td><td>— — — — — —</td><td>〇〇^{*3} 〇〇^{*3} 〇〇^{*3} 〇〇^{*3} 〇〇^{*3} 〇〇^{*3}</td></tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 記載の適正化を行う。既設工認には「伝熱面積 (フィン外表面積)」と記載。 *3: 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *4: 航空機墜落による火災により熱影響がある支持架構の柱等に耐火塗装を施す。</p>	名	安全冷却水 B 冷却塔 (00-0000)	変更前	変更後	種類	基礎: 〇〇 冷却塔: 〇〇		変更なし	支持地盤の許容支持力度	MPa			支持地盤の極限支持力度	MPa		〇〇	マンメイドロックの強度	N/mm ²	〇〇	〇〇	容量	設計熱交換量 (MW/h) 設計冷却空気流量 (kg/h)	〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*2}	〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*2}	最高使用圧力	MPa	〇〇	〇〇	最高使用温度	℃	〇〇	〇〇	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面積)	m ² /個	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}	主要寸法	全長 (mm) 全幅 (mm) 全高 (mm)	〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*1}	主要材料	伝熱管 (内管) フ ヘッダー	— — —	〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3}	耐火被膜	種類 厚さ	— —	— 〇〇以上	原動機	種類 出力 ファン台数	— — —	〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3}	取付箇所	系統名 (ライン名) 設置床 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ 化学薬品防護上の区画番号 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	— — — — — —	〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3}	<table border="1"> <tr><td>技術基準</td><td>機能要求② 様式-6,7</td><td>主な仕様 (詳細設計)</td></tr> <tr><td>第六条 地震による損傷の防止</td><td>・施設の安全機能が喪失した場合の影響の相対的な程度に応じた地震力に十分耐えることのできる設計</td><td>主要寸法 全長: 〇〇mm 全幅: 〇〇mm 全高: 〇〇mm</td></tr> <tr><td>第八条 外部からの衝撃による破損防止 (航空機落下)</td><td>・航空機墜落火災発生時においても機能が喪失しないために耐火塗装を塗布。</td><td>耐火塗装 種類: 〇〇 厚さ: 〇〇mm 以上</td></tr> <tr><td>第十二条 溢水防護</td><td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十三条 化学薬品防護</td><td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 化学薬品防護上の区画番号: 〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十七条 材料及び構造</td><td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計 ・適切な耐圧試験又は漏えい試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがない設計</td><td>主要寸法 全長: 〇〇mm 全幅: 〇〇mm 全高: 〇〇mm 主要材料: 伝熱管 (内管): 〇〇 フィン: 〇〇 ヘッダー: 〇〇 最高使用圧力: 〇〇MPa 最高使用温度: 〇〇℃</td></tr> <tr><td>第十九条 使用済燃料貯蔵</td><td>・1 系列運転でも燃料貯蔵プール水温を 65℃以下に保ち、2 系列運転の場合は燃料貯蔵プールの水温を 50℃以下に維持する設計</td><td>容量 (設計熱交換量): 〇MW/個 容量 (設計冷却空気流量): 〇m³/s 伝熱面積: 〇m²/個 原動機: 〇〇 ファン台数: 〇〇</td></tr> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・施設の安全機能が喪失した場合の影響の相対的な程度に応じた地震力に十分耐えることのできる設計	主要寸法 全長: 〇〇mm 全幅: 〇〇mm 全高: 〇〇mm	第八条 外部からの衝撃による破損防止 (航空機落下)	・航空機墜落火災発生時においても機能が喪失しないために耐火塗装を塗布。	耐火塗装 種類: 〇〇 厚さ: 〇〇mm 以上	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 化学薬品防護上の区画番号: 〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計 ・適切な耐圧試験又は漏えい試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがない設計	主要寸法 全長: 〇〇mm 全幅: 〇〇mm 全高: 〇〇mm 主要材料: 伝熱管 (内管): 〇〇 フィン: 〇〇 ヘッダー: 〇〇 最高使用圧力: 〇〇MPa 最高使用温度: 〇〇℃	第十九条 使用済燃料貯蔵	・1 系列運転でも燃料貯蔵プール水温を 65℃以下に保ち、2 系列運転の場合は燃料貯蔵プールの水温を 50℃以下に維持する設計	容量 (設計熱交換量): 〇MW/個 容量 (設計冷却空気流量): 〇m ³ /s 伝熱面積: 〇m ² /個 原動機: 〇〇 ファン台数: 〇〇	<p>(1) 熱交換器の名称、種類、容量、最高使用圧力 (管側及び胴側の別に記載すること。)、最高使用温度 (管側及び胴側の別に記載すること。)、伝熱面積、主要寸法、材料及び個数</p> <table border="1"> <tr><td>名</td><td>称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種</td><td>類</td><td>タンクベント冷却器</td><td></td></tr> <tr><td>容量 (設計熱交換量) **</td><td>kW/個</td><td>たて置直管式** (69.3**、**)</td><td></td></tr> <tr><td>管側最高使用圧力</td><td>kPa</td><td>(負圧) 5</td><td></td></tr> <tr><td>胴側最高使用温度</td><td>℃</td><td>65</td><td></td></tr> <tr><td>胴側最高使用圧力</td><td>MPa</td><td>0.86</td><td></td></tr> <tr><td>胴側最高使用温度</td><td>℃</td><td>65</td><td></td></tr> <tr><td>伝熱面積</td><td>m²/個</td><td>(16.57**)</td><td></td></tr> <tr><td>胴内径**</td><td>mm</td><td>350**</td><td></td></tr> <tr><td>胴板厚さ**</td><td>mm</td><td>(10**)</td><td></td></tr> <tr><td>胴板厚さ**</td><td>mm</td><td>(10**)</td><td></td></tr> <tr><td>胴板の形状に係る寸法</td><td>mm</td><td>350.0**、*7 (胴板長径) 87.5**、*7 (胴板短径の2分の1)</td><td>変更なし</td></tr> <tr><td>ガス入口管台外径</td><td>mm</td><td>216.3**、**</td><td></td></tr> <tr><td>ガス入口管台厚さ</td><td>mm</td><td>(8.2**、**)</td><td></td></tr> <tr><td>ガス出口管台外径</td><td>mm</td><td>267.4**、**</td><td></td></tr> <tr><td>ガス出口管台厚さ</td><td>mm</td><td>(15.1**、**)</td><td></td></tr> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <tr><td>名</td><td>称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>胴内径**</td><td>mm</td><td>350**</td><td></td></tr> <tr><td>胴板厚さ**</td><td>mm</td><td>(10**)</td><td></td></tr> <tr><td>水入口管台外径</td><td>mm</td><td>60.5**、**</td><td></td></tr> <tr><td>水入口管台厚さ</td><td>mm</td><td>(8.7**、**)</td><td></td></tr> <tr><td>管板厚さ</td><td>mm</td><td>(25**)</td><td></td></tr> <tr><td>伝熱管外径</td><td>mm</td><td>25.4**</td><td></td></tr> <tr><td>伝熱管厚さ</td><td>mm</td><td>(2.6**)</td><td></td></tr> <tr><td>フランジ厚さ</td><td>mm</td><td>(36.0**、**)</td><td></td></tr> <tr><td>高さ**</td><td>mm</td><td>3568**</td><td></td></tr> <tr><td>胴板</td><td>—</td><td>SM400A</td><td></td></tr> <tr><td>胴板</td><td>—</td><td>SM400A</td><td></td></tr> <tr><td>胴板</td><td>—</td><td>SM400A</td><td></td></tr> <tr><td>管板</td><td>—</td><td>S25C</td><td></td></tr> <tr><td>伝熱管</td><td>—</td><td>SUS304TB</td><td></td></tr> <tr><td>フランジ</td><td>—</td><td>S25C**</td><td></td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既設工認には「内筒縦形固定管板式」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既設工認には「容量」と記載。 *3: 公称値を示す。 *4: SI 単位に換算したもの。 *5: 記載の適正化を行う。既設工認には「水室内径」と記載。 *6: 記載の適正化を行う。既設工認には「水室胴部厚さ」と記載。 *7: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成8年9月17日付け発管業発第118号にて届け出した工事計画の添付書類「2 強度計算書」のうち、「2-1 タンクベント冷却器強度計算書」による。 *8: 記載の適正化を行う。既設工認には「胴板厚さ」と記載。 *9: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *10: 記載の適正化を行う。既設工認には「胴体内径」と記載。 *11: 記載の適正化を行う。既設工認には「胴体厚さ」と記載。 *12: 記載の適正化を行う。既設工認には「全高」と記載。</p>	名	称	変更前	変更後	種	類	タンクベント冷却器		容量 (設計熱交換量) **	kW/個	たて置直管式** (69.3**、**)		管側最高使用圧力	kPa	(負圧) 5		胴側最高使用温度	℃	65		胴側最高使用圧力	MPa	0.86		胴側最高使用温度	℃	65		伝熱面積	m ² /個	(16.57**)		胴内径**	mm	350**		胴板厚さ**	mm	(10**)		胴板厚さ**	mm	(10**)		胴板の形状に係る寸法	mm	350.0**、*7 (胴板長径) 87.5**、*7 (胴板短径の2分の1)	変更なし	ガス入口管台外径	mm	216.3**、**		ガス入口管台厚さ	mm	(8.2**、**)		ガス出口管台外径	mm	267.4**、**		ガス出口管台厚さ	mm	(15.1**、**)		名	称	変更前	変更後	胴内径**	mm	350**		胴板厚さ**	mm	(10**)		水入口管台外径	mm	60.5**、**		水入口管台厚さ	mm	(8.7**、**)		管板厚さ	mm	(25**)		伝熱管外径	mm	25.4**		伝熱管厚さ	mm	(2.6**)		フランジ厚さ	mm	(36.0**、**)		高さ**	mm	3568**		胴板	—	SM400A		胴板	—	SM400A		胴板	—	SM400A		管板	—	S25C		伝熱管	—	SUS304TB		フランジ	—	S25C**		個数	—	1		<p>空冷式の熱交換器が発電炉に無い場合、別の型式の熱交換器より冷却機能に係る項目を参照する</p> <p>管台の概形については、構造図に示す。</p> <p>伝熱管の概形については、構造図に示す。</p> <p>航空機墜落による火災により熱影響がある支持架構の柱等に耐火塗装の種類及び厚さを記載する。</p> <p>溢水、化学薬品影響を考慮し、取付箇所の項目を追加。</p> <p>ファンによる冷却機能の担保のために冷却空気流量と原動機の仕様を追加。</p>
名称	安全冷却水 B 冷却塔 (00-0000)																																																																																																																																																																																																																														
種類	機器の種類 耐震クラス 航空機に対する防護																																																																																																																																																																																																																														
設計条件	流体の種類 容量 (設計熱交換量) 最高使用圧力 最高使用温度 伝熱面積 (フィン外表面積)																																																																																																																																																																																																																														
仕様	冷却塔 主要寸法 (全長, 全幅, 全高) 主要材料 (伝熱管 (内管), ヘッダー) 個数																																																																																																																																																																																																																														
特記事項	本設備は、非常用所内電源系統に接続する。																																																																																																																																																																																																																														
名	安全冷却水 B 冷却塔 (00-0000)	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																												
種類	基礎: 〇〇 冷却塔: 〇〇		変更なし																																																																																																																																																																																																																												
支持地盤の許容支持力度	MPa																																																																																																																																																																																																																														
支持地盤の極限支持力度	MPa		〇〇																																																																																																																																																																																																																												
マンメイドロックの強度	N/mm ²	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																												
容量	設計熱交換量 (MW/h) 設計冷却空気流量 (kg/h)	〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*2}	〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																												
最高使用圧力	MPa	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																												
最高使用温度	℃	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																												
伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面積)	m ² /個	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																												
主要寸法	全長 (mm) 全幅 (mm) 全高 (mm)	〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*1} 〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																												
主要材料	伝熱管 (内管) フ ヘッダー	— — —	〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																												
耐火被膜	種類 厚さ	— —	— 〇〇以上																																																																																																																																																																																																																												
原動機	種類 出力 ファン台数	— — —	〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																												
取付箇所	系統名 (ライン名) 設置床 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ 化学薬品防護上の区画番号 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	— — — — — —	〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3} 〇〇 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																												
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																													
第六条 地震による損傷の防止	・施設の安全機能が喪失した場合の影響の相対的な程度に応じた地震力に十分耐えることのできる設計	主要寸法 全長: 〇〇mm 全幅: 〇〇mm 全高: 〇〇mm																																																																																																																																																																																																																													
第八条 外部からの衝撃による破損防止 (航空機落下)	・航空機墜落火災発生時においても機能が喪失しないために耐火塗装を塗布。	耐火塗装 種類: 〇〇 厚さ: 〇〇mm 以上																																																																																																																																																																																																																													
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																																																																													
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 化学薬品防護上の区画番号: 〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																																																																													
第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計 ・適切な耐圧試験又は漏えい試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがない設計	主要寸法 全長: 〇〇mm 全幅: 〇〇mm 全高: 〇〇mm 主要材料: 伝熱管 (内管): 〇〇 フィン: 〇〇 ヘッダー: 〇〇 最高使用圧力: 〇〇MPa 最高使用温度: 〇〇℃																																																																																																																																																																																																																													
第十九条 使用済燃料貯蔵	・1 系列運転でも燃料貯蔵プール水温を 65℃以下に保ち、2 系列運転の場合は燃料貯蔵プールの水温を 50℃以下に維持する設計	容量 (設計熱交換量): 〇MW/個 容量 (設計冷却空気流量): 〇m ³ /s 伝熱面積: 〇m ² /個 原動機: 〇〇 ファン台数: 〇〇																																																																																																																																																																																																																													
名	称	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																												
種	類	タンクベント冷却器																																																																																																																																																																																																																													
容量 (設計熱交換量) **	kW/個	たて置直管式** (69.3**、**)																																																																																																																																																																																																																													
管側最高使用圧力	kPa	(負圧) 5																																																																																																																																																																																																																													
胴側最高使用温度	℃	65																																																																																																																																																																																																																													
胴側最高使用圧力	MPa	0.86																																																																																																																																																																																																																													
胴側最高使用温度	℃	65																																																																																																																																																																																																																													
伝熱面積	m ² /個	(16.57**)																																																																																																																																																																																																																													
胴内径**	mm	350**																																																																																																																																																																																																																													
胴板厚さ**	mm	(10**)																																																																																																																																																																																																																													
胴板厚さ**	mm	(10**)																																																																																																																																																																																																																													
胴板の形状に係る寸法	mm	350.0**、*7 (胴板長径) 87.5**、*7 (胴板短径の2分の1)	変更なし																																																																																																																																																																																																																												
ガス入口管台外径	mm	216.3**、**																																																																																																																																																																																																																													
ガス入口管台厚さ	mm	(8.2**、**)																																																																																																																																																																																																																													
ガス出口管台外径	mm	267.4**、**																																																																																																																																																																																																																													
ガス出口管台厚さ	mm	(15.1**、**)																																																																																																																																																																																																																													
名	称	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																												
胴内径**	mm	350**																																																																																																																																																																																																																													
胴板厚さ**	mm	(10**)																																																																																																																																																																																																																													
水入口管台外径	mm	60.5**、**																																																																																																																																																																																																																													
水入口管台厚さ	mm	(8.7**、**)																																																																																																																																																																																																																													
管板厚さ	mm	(25**)																																																																																																																																																																																																																													
伝熱管外径	mm	25.4**																																																																																																																																																																																																																													
伝熱管厚さ	mm	(2.6**)																																																																																																																																																																																																																													
フランジ厚さ	mm	(36.0**、**)																																																																																																																																																																																																																													
高さ**	mm	3568**																																																																																																																																																																																																																													
胴板	—	SM400A																																																																																																																																																																																																																													
胴板	—	SM400A																																																																																																																																																																																																																													
胴板	—	SM400A																																																																																																																																																																																																																													
管板	—	S25C																																																																																																																																																																																																																													
伝熱管	—	SUS304TB																																																																																																																																																																																																																													
フランジ	—	S25C**																																																																																																																																																																																																																													
個数	—	1																																																																																																																																																																																																																													

仕様表記載例（機種：ポンプ）

既認可の仕様表			仕様表案			要求事項の整理			発電炉類似設備要目表			備考																																																																																																																																																																																																																																				
<p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td>プール水浄化系ポンプ (燃料取出しピット水ポンプ) A、B (0000-00)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td>耐震クラス</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">仕様</td> <td>定格容量</td> <td>m³/h/個</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>定格揚程</td> <td>m</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>主要材料 ケーシング</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原動機</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>構造図：第3.1.2.4.2-3図に示す。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>			名称	-	プール水浄化系ポンプ (燃料取出しピット水ポンプ) A、B (0000-00)	種類	-	〇〇	設計条件	耐震クラス	〇〇	仕様	定格容量	m ³ /h/個	〇〇	定格揚程	m	〇〇	主要材料 ケーシング	-	〇〇	原動機	種類	-	〇〇	出力	kW/個	〇〇	個数	-	〇〇	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>プール水浄化系ポンプ (燃料取出しピット水ポンプ) A、B (0000-00)</td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>揚程</td> <td>m</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>〇〇^{*2}</td> <td>〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>〇〇^{*2}</td> <td>〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> </tr> <tr> <td>ケーシング厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> </tr> <tr> <td>ケーシング厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> <td>〇〇^{*1*3}</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 重大事故時等における使用時の値を示す。 *3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *4: 核燃料物質を取扱わない設備のため、核的制限値は記載しない。</p>			名称	プール水浄化系ポンプ (燃料取出しピット水ポンプ) A、B (0000-00)	変更前	変更後	種類	〇〇	〇〇	〇〇	容量	m ³ /h/個	〇〇	〇〇	揚程	m	〇〇	〇〇	最高使用圧力	MPa	〇〇 ^{*2}	〇〇 ^{*2}	最高使用温度	℃	〇〇 ^{*2}	〇〇 ^{*2}	吸込口径	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}	吐出口径	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}	ケーシング厚さ	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}	ケーシング厚さ	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}	高さ	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}	ケーシング	-	〇〇	〇〇	系統名 (ライン名)	-	〇〇	〇〇	設置床	-	〇〇	〇〇	溢水防護上の区画番号	-	-	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	〇〇	化学薬品防護上の区画番号	-	-	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	〇〇	種類	-	〇〇	〇〇	出力	kW/個	〇〇	〇〇	個数	-	〇〇	〇〇	取付箇所	-	〇〇	〇〇	<table border="1"> <tr> <td>技術基準</td> <td>機能要求② 様式-6,7</td> <td>主な仕様 (詳細設計)</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・標準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 たて: 〇〇mm 横: 〇〇mm 高さ: 〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める</td> <td>容量: 〇〇m³/h/個 揚程: 〇〇m 原動機 種類: 〇〇 出力: 〇〇kW/個 個数: 〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 化学薬品防護上の区画番号: 〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十七条 第三十八条 材料及び構造</td> <td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、応屈が生じない設計</td> <td>主要寸法: 吸込口径: 〇〇mm 吐出口径: 〇〇mm ケーシング厚さ: 〇〇mm たて: 〇〇mm 横: 〇〇mm 高さ: 〇〇mm 主要材料: ケーシング: 〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等</td> <td>・燃料取出しピット、燃料仮置きピット及びチャンネルボックス・バーナブルボックス取扱ピットの越流せきから越流するプール水をポンプで昇圧する設計</td> <td>容量: 〇〇m³/h/個 揚程: 〇〇m 原動機 種類: 〇〇 出力: 〇〇kW/個 個数: 〇〇</td> </tr> <tr> <td>第三十六条 重大事故等対処設備</td> <td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発乾燥固への対処するための設備</td> <td>・冷却機能の喪失による蒸発乾燥固の発生を仮定する機器に内包する溶液の冷却、同機器への注水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器が所定の除熱能力を発揮するために必要な給水流量を有する設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四十二条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備</td> <td>・燃料貯蔵プール等へ注水するために必要な注水流量を有する設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四十四条 工場外への放射性物質の拡散を抑制するための設備</td> <td>・燃料貯蔵プール等へ注水するために必要な注水流量を有する設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四十五条 重大事故等への対処に必要な水の供給設備</td> <td>・MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の大型移送ポンプ車は、重大事故等への対処に必要な水を補給するための送水流量を有する設計とする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>許可整合</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・標準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて: 〇〇mm 横: 〇〇mm 高さ: 〇〇mm	第十条 閉じ込めの機能	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める	容量: 〇〇m ³ /h/個 揚程: 〇〇m 原動機 種類: 〇〇 出力: 〇〇kW/個 個数: 〇〇	第十二条 溢水防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 化学薬品防護上の区画番号: 〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m以上	第十七条 第三十八条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、応屈が生じない設計	主要寸法: 吸込口径: 〇〇mm 吐出口径: 〇〇mm ケーシング厚さ: 〇〇mm たて: 〇〇mm 横: 〇〇mm 高さ: 〇〇mm 主要材料: ケーシング: 〇〇	第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等	・燃料取出しピット、燃料仮置きピット及びチャンネルボックス・バーナブルボックス取扱ピットの越流せきから越流するプール水をポンプで昇圧する設計	容量: 〇〇m ³ /h/個 揚程: 〇〇m 原動機 種類: 〇〇 出力: 〇〇kW/個 個数: 〇〇	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。		第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発乾燥固への対処するための設備	・冷却機能の喪失による蒸発乾燥固の発生を仮定する機器に内包する溶液の冷却、同機器への注水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器が所定の除熱能力を発揮するために必要な給水流量を有する設計		第四十二条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備	・燃料貯蔵プール等へ注水するために必要な注水流量を有する設計		第四十四条 工場外への放射性物質の拡散を抑制するための設備	・燃料貯蔵プール等へ注水するために必要な注水流量を有する設計		第四十五条 重大事故等への対処に必要な水の供給設備	・MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の大型移送ポンプ車は、重大事故等への対処に必要な水を補給するための送水流量を有する設計とする		許可整合			<p>(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ*1</td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>うず巻形*2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個</td> <td>124.9以上*3 (124.9*4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚程</td> <td>m</td> <td>91.4以上*3 (91.4*4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>1.37*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>65.6*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸込内径</td> <td>mm</td> <td>150*4、*6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐出内径</td> <td>mm</td> <td>80*4、*6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシング厚さ</td> <td>mm</td> <td>14.0*3、*4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>185*4、*6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>968*3、*4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>704*4、*6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシング*7</td> <td>-</td> <td>SC46</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>EL. 29.00 m*3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td></td> <td>RB-4-19</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td></td> <td>EL. 29.20 m以上</td> </tr> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ポンプ」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻型」と記載。 *3: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4: 公称値を示す。 *5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。 *6: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年8月30日付け建発第98号にて届け出した工事計画書の添付図面「第6-5図 燃料プール冷却浄化系ポンプ外形図」による。 *7: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「鋼」と記載。 *8: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。</p>			名称	燃料プール冷却浄化系ポンプ*1	変更前	変更後	種類	-	うず巻形*2		容量	m ³ /h/個	124.9以上*3 (124.9*4)		揚程	m	91.4以上*3 (91.4*4)		最高使用圧力	MPa	1.37*3		最高使用温度	℃	65.6*3		吸込内径	mm	150*4、*6		吐出内径	mm	80*4、*6		ケーシング厚さ	mm	14.0*3、*4		たて	mm	185*4、*6		横	mm	968*3、*4		高さ	mm	704*4、*6		ケーシング*7	-	SC46		個数	-	2		系統名 (ライン名)	-	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系*3		設置床	-	EL. 29.00 m*3		溢水防護上の区画番号	-		RB-4-19	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		EL. 29.20 m以上	備考
名称	-	プール水浄化系ポンプ (燃料取出しピット水ポンプ) A、B (0000-00)																																																																																																																																																																																																																																														
種類	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																														
設計条件	耐震クラス	〇〇																																																																																																																																																																																																																																														
仕様	定格容量	m ³ /h/個	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
	定格揚程	m	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
	主要材料 ケーシング	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
原動機	種類	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
	出力	kW/個	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
	個数	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
名称	プール水浄化系ポンプ (燃料取出しピット水ポンプ) A、B (0000-00)	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																													
種類	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
容量	m ³ /h/個	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
揚程	m	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
最高使用圧力	MPa	〇〇 ^{*2}	〇〇 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																													
最高使用温度	℃	〇〇 ^{*2}	〇〇 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																													
吸込口径	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}																																																																																																																																																																																																																																													
吐出口径	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}																																																																																																																																																																																																																																													
ケーシング厚さ	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}																																																																																																																																																																																																																																													
ケーシング厚さ	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}																																																																																																																																																																																																																																													
高さ	mm	〇〇 ^{*1*3}	〇〇 ^{*1*3}																																																																																																																																																																																																																																													
ケーシング	-	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
系統名 (ライン名)	-	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
設置床	-	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
溢水防護上の区画番号	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
化学薬品防護上の区画番号	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
種類	-	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
出力	kW/個	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
個数	-	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
取付箇所	-	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																													
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																														
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・標準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて: 〇〇mm 横: 〇〇mm 高さ: 〇〇mm																																																																																																																																																																																																																																														
第十条 閉じ込めの機能	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める	容量: 〇〇m ³ /h/個 揚程: 〇〇m 原動機 種類: 〇〇 出力: 〇〇kW/個 個数: 〇〇																																																																																																																																																																																																																																														
第十二条 溢水防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																																																														
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名 (ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 化学薬品防護上の区画番号: 〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L 〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																																																														
第十七条 第三十八条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、応屈が生じない設計	主要寸法: 吸込口径: 〇〇mm 吐出口径: 〇〇mm ケーシング厚さ: 〇〇mm たて: 〇〇mm 横: 〇〇mm 高さ: 〇〇mm 主要材料: ケーシング: 〇〇																																																																																																																																																																																																																																														
第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等	・燃料取出しピット、燃料仮置きピット及びチャンネルボックス・バーナブルボックス取扱ピットの越流せきから越流するプール水をポンプで昇圧する設計	容量: 〇〇m ³ /h/個 揚程: 〇〇m 原動機 種類: 〇〇 出力: 〇〇kW/個 個数: 〇〇																																																																																																																																																																																																																																														
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。																																																																																																																																																																																																																																															
第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発乾燥固への対処するための設備	・冷却機能の喪失による蒸発乾燥固の発生を仮定する機器に内包する溶液の冷却、同機器への注水及び代替換気設備のセル導出設備の凝縮器が所定の除熱能力を発揮するために必要な給水流量を有する設計																																																																																																																																																																																																																																															
第四十二条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備	・燃料貯蔵プール等へ注水するために必要な注水流量を有する設計																																																																																																																																																																																																																																															
第四十四条 工場外への放射性物質の拡散を抑制するための設備	・燃料貯蔵プール等へ注水するために必要な注水流量を有する設計																																																																																																																																																																																																																																															
第四十五条 重大事故等への対処に必要な水の供給設備	・MOX燃料加工施設と共用する水供給設備の大型移送ポンプ車は、重大事故等への対処に必要な水を補給するための送水流量を有する設計とする																																																																																																																																																																																																																																															
許可整合																																																																																																																																																																																																																																																
名称	燃料プール冷却浄化系ポンプ*1	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																													
種類	-	うず巻形*2																																																																																																																																																																																																																																														
容量	m ³ /h/個	124.9以上*3 (124.9*4)																																																																																																																																																																																																																																														
揚程	m	91.4以上*3 (91.4*4)																																																																																																																																																																																																																																														
最高使用圧力	MPa	1.37*3																																																																																																																																																																																																																																														
最高使用温度	℃	65.6*3																																																																																																																																																																																																																																														
吸込内径	mm	150*4、*6																																																																																																																																																																																																																																														
吐出内径	mm	80*4、*6																																																																																																																																																																																																																																														
ケーシング厚さ	mm	14.0*3、*4																																																																																																																																																																																																																																														
たて	mm	185*4、*6																																																																																																																																																																																																																																														
横	mm	968*3、*4																																																																																																																																																																																																																																														
高さ	mm	704*4、*6																																																																																																																																																																																																																																														
ケーシング*7	-	SC46																																																																																																																																																																																																																																														
個数	-	2																																																																																																																																																																																																																																														
系統名 (ライン名)	-	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系*3																																																																																																																																																																																																																																														
設置床	-	EL. 29.00 m*3																																																																																																																																																																																																																																														
溢水防護上の区画番号	-		RB-4-19																																																																																																																																																																																																																																													
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		EL. 29.20 m以上																																																																																																																																																																																																																																													

仕様表記載例（機種：ポンプ（特殊ポンプ））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																	
<p><既認可仕様表なし></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>〇〇ポンプA (0000-00) *2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td rowspan="10">変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量（流量）</td> <td>m³/h/個</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>蒸気供給管台外径</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>蒸気供給管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>	名称		変更前	変更後	名称		〇〇ポンプA (0000-00) *2		種類	—	〇〇	変更なし	容量（流量）	m ³ /h/個	〇〇	最高使用圧力	MPa	〇〇	最高使用温度	℃	〇〇	主要寸法	蒸気供給管台外径	mm	〇〇*1	蒸気供給管台厚さ	mm	〇〇*1	入口管台外径	mm	〇〇*1	入口管台厚さ	mm	〇〇*1	出口管台外径	mm	〇〇*1	出口管台厚さ	mm	〇〇*1	主要材料		—	〇〇	個数		—	〇〇	取付箇所	系統名（ライン名）	—	〇〇	設置床	—	〇〇	溢水防護上の区画番号	—	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>・液体状の使用済燃料等を内包する系統及び機器を収納するセル及びグローブボックスの漏えい液を安全に処理できる設計</td> <td>容量（流量）：〇〇m³/h/個</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十七条 材料及び構造</td> <td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計 ・適切な耐圧試験又は漏えい試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがない設計</td> <td>主要寸法： 蒸気供給管台外径：〇〇mm 蒸気供給管台厚さ：〇〇mm 入口管台外径：〇〇mm 入口管台厚さ：〇〇mm 出口管台外径：〇〇mm 出口管台厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込めの機能	・液体状の使用済燃料等を内包する系統及び機器を収納するセル及びグローブボックスの漏えい液を安全に処理できる設計	容量（流量）：〇〇m ³ /h/個	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上	第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計 ・適切な耐圧試験又は漏えい試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがない設計	主要寸法： 蒸気供給管台外径：〇〇mm 蒸気供給管台厚さ：〇〇mm 入口管台外径：〇〇mm 入口管台厚さ：〇〇mm 出口管台外径：〇〇mm 出口管台厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃	<p>ニ ジェットポンプの名称、種類、主要寸法、材料及び個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>ジェットポンプ</td> <td>ジェットポンプ*4</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>流体噴射駆動式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>ノズル内径</td> <td>mm</td> <td rowspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <td>混合室内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>混合室全長</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ライザ外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ライザ厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>—</td> <td>SCS13相当 SUS304相当 SUS304TP相当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：公称値を示す。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年4月8日付け51資庁第468号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-6 ジェットポンプの耐震性についての計算書」による。 *4：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）と兼用する。</p>	名称		変更前	変更後	名称		ジェットポンプ	ジェットポンプ*4	種類	—	流体噴射駆動式		主要寸法	ノズル内径	mm	変更なし	混合室内径	mm	混合室全長	mm	ライザ外径	mm	ライザ厚さ	mm	材料	—	SCS13相当 SUS304相当 SUS304TP相当		個数	—	20	<p>耐圧評価上使用しない</p> <p>入口管台外径・厚さに該当 出口管台外径・厚さに該当</p>
名称		変更前	変更後																																																																																																																		
名称		〇〇ポンプA (0000-00) *2																																																																																																																			
種類	—	〇〇	変更なし																																																																																																																		
容量（流量）	m ³ /h/個	〇〇																																																																																																																			
最高使用圧力	MPa	〇〇																																																																																																																			
最高使用温度	℃	〇〇																																																																																																																			
主要寸法	蒸気供給管台外径	mm		〇〇*1																																																																																																																	
	蒸気供給管台厚さ	mm		〇〇*1																																																																																																																	
	入口管台外径	mm		〇〇*1																																																																																																																	
	入口管台厚さ	mm		〇〇*1																																																																																																																	
	出口管台外径	mm		〇〇*1																																																																																																																	
出口管台厚さ	mm	〇〇*1																																																																																																																			
主要材料		—	〇〇																																																																																																																		
個数		—	〇〇																																																																																																																		
取付箇所	系統名（ライン名）	—	〇〇																																																																																																																		
	設置床	—	〇〇																																																																																																																		
	溢水防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																		
	化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																		
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																			
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																			
第十条 閉じ込めの機能	・液体状の使用済燃料等を内包する系統及び機器を収納するセル及びグローブボックスの漏えい液を安全に処理できる設計	容量（流量）：〇〇m ³ /h/個																																																																																																																			
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上																																																																																																																			
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上																																																																																																																			
第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計 ・適切な耐圧試験又は漏えい試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがない設計	主要寸法： 蒸気供給管台外径：〇〇mm 蒸気供給管台厚さ：〇〇mm 入口管台外径：〇〇mm 入口管台厚さ：〇〇mm 出口管台外径：〇〇mm 出口管台厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇MPa 最高使用温度：〇〇℃																																																																																																																			
名称		変更前	変更後																																																																																																																		
名称		ジェットポンプ	ジェットポンプ*4																																																																																																																		
種類	—	流体噴射駆動式																																																																																																																			
主要寸法	ノズル内径	mm	変更なし																																																																																																																		
	混合室内径	mm																																																																																																																			
	混合室全長	mm																																																																																																																			
	ライザ外径	mm																																																																																																																			
	ライザ厚さ	mm																																																																																																																			
材料	—	SCS13相当 SUS304相当 SUS304TP相当																																																																																																																			
	個数	—	20																																																																																																																		

仕様表記載例（機種：圧縮機）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																
<p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>-</td><td>安全空気圧縮装置 A, B, C (0000-0000)</td></tr> <tr><td>設計条件</td><td>種類</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>仕様</td><td>耐震クラス</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>定格容量</td><td>m³/h/個 〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>吐出圧力</td><td>MPa 〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>吐出電力</td><td>kW/個 〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>主要寸法 全高</td><td>mm 〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td></td><td>主要材料 フレーム</td><td>- 〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td></td><td>個数</td><td>- 〇〇</td></tr> </table> <p>特記事項 (1) 本設備は、非常用所内電源系統に接続する。 (2) 本設備は、空気圧縮機、後置冷却器、後置冷却器ドレンセパレータ等により構成される。</p> <p>構造図： 第 3.2.1.2.1-4 図に示す。</p> <p>基本設計方針、系統図で展開</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	名称	-	安全空気圧縮装置 A, B, C (0000-0000)	設計条件	種類	〇〇	仕様	耐震クラス	〇〇		定格容量	m ³ /h/個 〇〇		吐出圧力	MPa 〇〇		吐出電力	kW/個 〇〇		主要寸法 全高	mm 〇〇 ^{*1}		主要材料 フレーム	- 〇〇 ^{*1}		個数	- 〇〇	<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>-</td><td>安全空気圧縮装置 A, B, C (0000-0000)</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>-</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>定格容量</td><td>m³/h/個</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>吐出圧力</td><td>MPa</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>吐出電力</td><td>kW/個</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>主要寸法 全高</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td><td>〇〇^{*1}</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>主要材料 フレーム</td><td>-</td><td>〇〇^{*1}</td><td>〇〇^{*1}</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>個数</td><td>-</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>圧縮機</p> <table border="1"> <tr><td>系統名(ライン名)</td><td>-</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>-</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の区画番号</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>取付箇所</p> <table border="1"> <tr><td>種別</td><td>-</td><td>〇〇^{*2}</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>出力</td><td>kW/個</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個数</td><td>-</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>-</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>原動機</p> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：重大事故時等における使用時の値を示す。 *3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>	名称	-	安全空気圧縮装置 A, B, C (0000-0000)	変更前	変更後	種類	-	〇〇	〇〇	〇〇	定格容量	m ³ /h/個	〇〇	〇〇	〇〇	吐出圧力	MPa	〇〇	〇〇	〇〇	吐出電力	kW/個	〇〇	〇〇	〇〇	主要寸法 全高	mm	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}	主要材料 フレーム	-	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}	個数	-	〇〇	〇〇	〇〇	系統名(ライン名)	-	〇〇	〇〇	〇〇	設置床	-	〇〇	〇〇	〇〇	溢水防護上の区画番号	-	-	-	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	-	〇〇	化学薬品防護上の区画番号	-	-	-	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	-	〇〇	種別	-	〇〇 ^{*2}	-	-	出力	kW/個	〇〇	〇〇	〇〇	個数	-	〇〇	〇〇	〇〇	取付箇所	-	〇〇	〇〇	〇〇	<table border="1"> <tr><th>技術基準</th><th>機能要求②</th><th>主な仕様(詳細設計)</th></tr> <tr><td>第六条 地震による損傷の防止</td><td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td><td>主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm</td></tr> <tr><td>第十二条 溢水防護</td><td>・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十三条 化学薬品防護</td><td>・浸液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十七条 第三十七条 材料及び構造</td><td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計</td><td>主要寸法： たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm 主要材料： フレーム：〇〇</td></tr> <tr><td>第三十六条 重大事故等対処設備</td><td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計</td><td>容量：〇〇m³/h/個 個数：〇〇</td></tr> <tr><td>第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備</td><td>・臨界事故時水素濃度系として用いる安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系は、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算 8 v o 1 %未満に維持するために必要な空気供給できる設計とする。また、臨界事故時に追加的に空気を供給する一般圧縮空気系は、安全機能を有する施設の仕様が、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算 4 v o 1 %未満に維持するために必要な流量に対し、十分な容量を確保できる設計とする。</td><td>容量：〇〇m³/h/個 吐出圧力：〇〇MPa 原動機： 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇</td></tr> <tr><td>第四十条 放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備</td><td>・同時に発生する可能性のある事故への対処を含めて、事象進展に応じた使用の状態を踏まえた、必要な容量を確保した設計とする。</td><td></td></tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm	第十二条 溢水防護	・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・浸液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上	第十七条 第三十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計	主要寸法： たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm 主要材料： フレーム：〇〇	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計	容量：〇〇m ³ /h/個 個数：〇〇	第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備	・臨界事故時水素濃度系として用いる安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系は、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算 8 v o 1 %未満に維持するために必要な空気供給できる設計とする。また、臨界事故時に追加的に空気を供給する一般圧縮空気系は、安全機能を有する施設の仕様が、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算 4 v o 1 %未満に維持するために必要な流量に対し、十分な容量を確保できる設計とする。	容量：〇〇m ³ /h/個 吐出圧力：〇〇MPa 原動機： 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇	第四十条 放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備	・同時に発生する可能性のある事故への対処を含めて、事象進展に応じた使用の状態を踏まえた、必要な容量を確保した設計とする。		<p>ニ 圧縮機の名称、種類、容量、吐出圧力、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・可搬型</p> <table border="1"> <tr><th colspan="3">名称</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr> <tr><td>種類</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>窒素供給装置</td></tr> <tr><td>容量</td><td>m³/h/個 [normal]</td><td>-</td><td>-</td><td>圧力変動吸着式 200 以上 (220^{*1}) [窒素純度 99 %において]</td></tr> <tr><td>吐出圧力</td><td>MPa</td><td>-</td><td>-</td><td>0.5 以上 (0.5^{*2})</td></tr> <tr><td>たて</td><td>mm</td><td>-</td><td>-</td><td>1200^{*1}</td></tr> <tr><td>横</td><td>mm</td><td>-</td><td>-</td><td>2000^{*1}</td></tr> <tr><td>高さ</td><td>mm</td><td>-</td><td>-</td><td>1800^{*1}</td></tr> <tr><td>車両全長</td><td>mm</td><td>-</td><td>-</td><td>8640^{*1}</td></tr> <tr><td>車両全幅</td><td>mm</td><td>-</td><td>-</td><td>2495^{*1}</td></tr> <tr><td>車両高さ</td><td>mm</td><td>-</td><td>-</td><td>3705^{*1}</td></tr> <tr><td>個数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>2 (予備 2)</td></tr> </table> <p>保管場所： ・可搬型重大事故等対処設備保管場所 (西側) EL 約 23 m ・可搬型重大事故等対処設備保管場所 (南側) EL 約 25 m</p> <p>上記 2 箇所にそれぞれ 2 台ずつ保管する。</p> <p>取付箇所： ・屋外 EL 約 8 m 原子炉建屋付近</p> <p>誘導電動機</p> <table border="1"> <tr><td>種類</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>出力</td><td>kW/個</td><td>75</td></tr> <tr><td>個数</td><td>-</td><td>2 (予備 2)</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>-</td><td>圧縮機と同じ</td></tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：重大事故時等における使用時の値を示す。</p>	名称			変更前	変更後	種類	-	-	-	窒素供給装置	容量	m ³ /h/個 [normal]	-	-	圧力変動吸着式 200 以上 (220 ^{*1}) [窒素純度 99 %において]	吐出圧力	MPa	-	-	0.5 以上 (0.5 ^{*2})	たて	mm	-	-	1200 ^{*1}	横	mm	-	-	2000 ^{*1}	高さ	mm	-	-	1800 ^{*1}	車両全長	mm	-	-	8640 ^{*1}	車両全幅	mm	-	-	2495 ^{*1}	車両高さ	mm	-	-	3705 ^{*1}	個数	-	-	-	2 (予備 2)	種類	-	-	出力	kW/個	75	個数	-	2 (予備 2)	取付箇所	-	圧縮機と同じ	<p>車両式の設備でないため記載しない</p>
名称	-	安全空気圧縮装置 A, B, C (0000-0000)																																																																																																																																																																																																																		
設計条件	種類	〇〇																																																																																																																																																																																																																		
仕様	耐震クラス	〇〇																																																																																																																																																																																																																		
	定格容量	m ³ /h/個 〇〇																																																																																																																																																																																																																		
	吐出圧力	MPa 〇〇																																																																																																																																																																																																																		
	吐出電力	kW/個 〇〇																																																																																																																																																																																																																		
	主要寸法 全高	mm 〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																		
	主要材料 フレーム	- 〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																		
	個数	- 〇〇																																																																																																																																																																																																																		
名称	-	安全空気圧縮装置 A, B, C (0000-0000)	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																
種類	-	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
定格容量	m ³ /h/個	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
吐出圧力	MPa	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
吐出電力	kW/個	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
主要寸法 全高	mm	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																
主要材料 フレーム	-	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																
個数	-	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
系統名(ライン名)	-	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
設置床	-	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
溢水防護上の区画番号	-	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																
化学薬品防護上の区画番号	-	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																
種別	-	〇〇 ^{*2}	-	-																																																																																																																																																																																																																
出力	kW/個	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
個数	-	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
取付箇所	-	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																																																																																																		
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm																																																																																																																																																																																																																		
第十二条 溢水防護	・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上																																																																																																																																																																																																																		
第十三条 化学薬品防護	・浸液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上																																																																																																																																																																																																																		
第十七条 第三十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、屈曲が生じない設計	主要寸法： たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm 主要材料： フレーム：〇〇																																																																																																																																																																																																																		
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計	容量：〇〇m ³ /h/個 個数：〇〇																																																																																																																																																																																																																		
第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備	・臨界事故時水素濃度系として用いる安全圧縮空気系及び一般圧縮空気系は、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算 8 v o 1 %未満に維持するために必要な空気供給できる設計とする。また、臨界事故時に追加的に空気を供給する一般圧縮空気系は、安全機能を有する施設の仕様が、臨界事故が発生した機器の気相部における水素濃度をドライ換算 4 v o 1 %未満に維持するために必要な流量に対し、十分な容量を確保できる設計とする。	容量：〇〇m ³ /h/個 吐出圧力：〇〇MPa 原動機： 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇																																																																																																																																																																																																																		
第四十条 放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備	・同時に発生する可能性のある事故への対処を含めて、事象進展に応じた使用の状態を踏まえた、必要な容量を確保した設計とする。																																																																																																																																																																																																																			
名称			変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																
種類	-	-	-	窒素供給装置																																																																																																																																																																																																																
容量	m ³ /h/個 [normal]	-	-	圧力変動吸着式 200 以上 (220 ^{*1}) [窒素純度 99 %において]																																																																																																																																																																																																																
吐出圧力	MPa	-	-	0.5 以上 (0.5 ^{*2})																																																																																																																																																																																																																
たて	mm	-	-	1200 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																
横	mm	-	-	2000 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																
高さ	mm	-	-	1800 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																
車両全長	mm	-	-	8640 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																
車両全幅	mm	-	-	2495 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																
車両高さ	mm	-	-	3705 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																
個数	-	-	-	2 (予備 2)																																																																																																																																																																																																																
種類	-	-																																																																																																																																																																																																																		
出力	kW/個	75																																																																																																																																																																																																																		
個数	-	2 (予備 2)																																																																																																																																																																																																																		
取付箇所	-	圧縮機と同じ																																																																																																																																																																																																																		

仕様表記載例（機種：ファン）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																													
<p>工程情報を示す項目であり、設備仕様と直接関係しない項目であるため、仕様表に記載しない。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>中央制御室排風機 A, B</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>遠心式</td> </tr> <tr> <td>耐震クラス</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>流体の種類</td> <td>空気</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>主要寸法 全高</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>主要材料 ケーシング</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>特記事項</td> <td>本設備は、非常用内電源系統に接続する。</td> </tr> </table> <p>構造図：第3.2.4.1-2図に示す。</p> <p>単線結線図で展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	名称	中央制御室排風機 A, B	種類	遠心式	耐震クラス	A	流体の種類	空気	容量	○○○	主要寸法 全高	○○○	主要材料 ケーシング	○○○	個数	○○○	特記事項	本設備は、非常用内電源系統に接続する。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>中央制御室排風機 (0000-000)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>○○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>○○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td> 吸込口径 mm ○○^{*1*} 吐出口径 mm ○○^{*1*2} たて mm ○○^{*1*2} 高さ mm ○○^{*1*2} </td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ケーシング</td> <td>○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td> 系統名(ライン名) - ○○ 設置床 - ○○ 溢水防護上の区画番号 - - 溢水防護上の配慮が必要な高さ - - 化学薬品防護上の区画番号 - - 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ - - </td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>原動機</td> <td> 種類^{*2} - ○○ 出力^{*2} kW/個 ○○ 個数^{*2} - ○○ 取付箇所^{*2} - ○○ </td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設計上の空気流入率</td> <td>*2 回/h ○○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>	変更前		変更後		名称	中央制御室排風機 (0000-000)			種類	○○			容量	○○			主要寸法	吸込口径 mm ○○ ^{*1*} 吐出口径 mm ○○ ^{*1*2} たて mm ○○ ^{*1*2} 高さ mm ○○ ^{*1*2}		変更なし	主要材料	ケーシング	○○		取付箇所	系統名(ライン名) - ○○ 設置床 - ○○ 溢水防護上の区画番号 - - 溢水防護上の配慮が必要な高さ - - 化学薬品防護上の区画番号 - - 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ - -		変更なし	原動機	種類 ^{*2} - ○○ 出力 ^{*2} kW/個 ○○ 個数 ^{*2} - ○○ 取付箇所 ^{*2} - ○○		変更なし	設計上の空気流入率	*2 回/h ○○			<table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td> 主要寸法 たて: ○○mm 横: ○○mm 高さ: ○○mm </td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td> 取付箇所: 系統名(ライン名): ○○ 設置床: ○○ 溢水防護上の区画番号: ○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. ○○○m 以上 </td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td> 取付箇所: 系統名(ライン名): ○○ 設置床: ○○ 化学薬品防護上の区画番号: ○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. ○○○m 以上 </td> </tr> <tr> <td>第十七条 第三十八条 材料及び構造</td> <td> ・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計 </td> <td> 主要寸法: 吸込口径: ○○mm 吐出口径: ○○mm たて: ○○mm 横: ○○mm 高さ: ○○mm 主要材料: ケーシング: ○○ </td> </tr> <tr> <td>第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等</td> <td>・貯蔵ホールの換気を行い混合酸化物貯蔵容器を空気中で冷却するとともに、貯蔵室の構造物(コンクリート)の温度を適切に維持する設計とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二十三条 第四十八条 制御室等</td> <td>・制御室に運転員その他の従事者がとどまれるよう、気体状の放射性物質及び火災又は爆発により発生する燃焼ガスやばい煙、有毒ガス並びに降下火砕物に対する換気設備の隔離その他の適切に防護するための措置に必要な設備を設ける設計</td> <td> 容量: ○○m³/h/個 原動機 種類: ○○ 出力: ○○kW/個 個数: ○○ 設計上の空気流入率: ○○回/h </td> </tr> <tr> <td>第三十条 第五十条 緊急時対策所</td> <td>・居住性を確保するため、外気取入加圧モードとして、放射性物質の取り込みを低減できる設計とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二十四条 廃棄施設</td> <td>・周辺監視区域の外の空气中の放射性物質の濃度及び液体状の放射性物質の海洋放出に起因する線量が、それぞれ原子力規制委員会の定める濃度限度及び線量限度以下に抑える設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二十八条 換気設備</td> <td> ・汚染の程度の低い区域から汚染の程度のより高い区域に向かって空気を流す設計とし、給排気量を適切に設定及び調節することにより、汚染のおそれのある区域を清浄区域より負圧に維持するとともに、適切な換気・空調を行う設計 ・放射線障害を防止するために必要な換気能力を有する設計 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>第三十六条 重大事故等対処設備</td> <td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備</td> <td>・冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発の発生時において、放射性エアロゾルを代替セル排気系の可搬型フィルタで除去しつつ、主排気筒を介して、大気中に放出するために必要</td> <td></td> </tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて: ○○mm 横: ○○mm 高さ: ○○mm	第十条 閉じ込めの機能	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める		第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名(ライン名): ○○ 設置床: ○○ 溢水防護上の区画番号: ○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. ○○○m 以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名(ライン名): ○○ 設置床: ○○ 化学薬品防護上の区画番号: ○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. ○○○m 以上	第十七条 第三十八条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	主要寸法: 吸込口径: ○○mm 吐出口径: ○○mm たて: ○○mm 横: ○○mm 高さ: ○○mm 主要材料: ケーシング: ○○	第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等	・貯蔵ホールの換気を行い混合酸化物貯蔵容器を空気中で冷却するとともに、貯蔵室の構造物(コンクリート)の温度を適切に維持する設計とする。		第二十三条 第四十八条 制御室等	・制御室に運転員その他の従事者がとどまれるよう、気体状の放射性物質及び火災又は爆発により発生する燃焼ガスやばい煙、有毒ガス並びに降下火砕物に対する換気設備の隔離その他の適切に防護するための措置に必要な設備を設ける設計	容量: ○○m ³ /h/個 原動機 種類: ○○ 出力: ○○kW/個 個数: ○○ 設計上の空気流入率: ○○回/h	第三十条 第五十条 緊急時対策所	・居住性を確保するため、外気取入加圧モードとして、放射性物質の取り込みを低減できる設計とする。		第二十四条 廃棄施設	・周辺監視区域の外の空气中の放射性物質の濃度及び液体状の放射性物質の海洋放出に起因する線量が、それぞれ原子力規制委員会の定める濃度限度及び線量限度以下に抑える設計		第二十八条 換気設備	・汚染の程度の低い区域から汚染の程度のより高い区域に向かって空気を流す設計とし、給排気量を適切に設定及び調節することにより、汚染のおそれのある区域を清浄区域より負圧に維持するとともに、適切な換気・空調を行う設計 ・放射線障害を防止するために必要な換気能力を有する設計		第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計		第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備	・冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発の発生時において、放射性エアロゾルを代替セル排気系の可搬型フィルタで除去しつつ、主排気筒を介して、大気中に放出するために必要		<p>(5) 排風機の名称、種類、容量、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)並びに設計上の空気流入率</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン^{*1}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>遠心式^{*2}</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>5100以上 (5100^{*3})</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td> 吸込口径 mm 450^{*4} 吐出口径 mm 350^{*4}×500^{*4} たて mm 1415^{*4} 横 mm 1132^{*4} 高さ mm 1020^{*4} </td> <td></td> <td> 391^{*4} 271^{*4}×321^{*4} 1230^{*4} 780^{*4} 1250^{*4} </td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td> 系統名(ライン名) - 中央制御室換気系フィルタ系ファン 設置床 - EL. 23.00 m^{*5} 溢水防護上の区画番号 - - 溢水防護上の配慮が必要な高さ - - </td> <td></td> <td> 変更なし CS-3-1 EL. 23.00 m以上 </td> </tr> <tr> <td>原動機</td> <td>誘導電動機^{*5}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>7.5^{*5}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>2^{*5}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>排風機と同じ^{*5}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計上の空気流入率</td> <td>1.0^{*5}</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「排風機」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「遠心」と記載。 *3: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「m³/hr」と記載。 *4: 公称値を示す。 *5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	変更前		変更後		名称	中央制御室換気系フィルタ系ファン ^{*1}			種類	遠心式 ^{*2}		変更なし	容量	5100以上 (5100 ^{*3})			取付箇所	吸込口径 mm 450 ^{*4} 吐出口径 mm 350 ^{*4} ×500 ^{*4} たて mm 1415 ^{*4} 横 mm 1132 ^{*4} 高さ mm 1020 ^{*4}		391 ^{*4} 271 ^{*4} ×321 ^{*4} 1230 ^{*4} 780 ^{*4} 1250 ^{*4}	個数	2			取付箇所	系統名(ライン名) - 中央制御室換気系フィルタ系ファン 設置床 - EL. 23.00 m^{*5} 溢水防護上の区画番号 - - 溢水防護上の配慮が必要な高さ - -		変更なし CS-3-1 EL. 23.00 m以上	原動機	誘導電動機 ^{*5}			出力	7.5 ^{*5}			個数	2 ^{*5}			取付箇所	排風機と同じ ^{*5}			設計上の空気流入率	1.0 ^{*5}			<p>備考</p>
名称	中央制御室排風機 A, B																																																																																																																																																
種類	遠心式																																																																																																																																																
耐震クラス	A																																																																																																																																																
流体の種類	空気																																																																																																																																																
容量	○○○																																																																																																																																																
主要寸法 全高	○○○																																																																																																																																																
主要材料 ケーシング	○○○																																																																																																																																																
個数	○○○																																																																																																																																																
特記事項	本設備は、非常用内電源系統に接続する。																																																																																																																																																
変更前		変更後																																																																																																																																															
名称	中央制御室排風機 (0000-000)																																																																																																																																																
種類	○○																																																																																																																																																
容量	○○																																																																																																																																																
主要寸法	吸込口径 mm ○○ ^{*1*} 吐出口径 mm ○○ ^{*1*2} たて mm ○○ ^{*1*2} 高さ mm ○○ ^{*1*2}		変更なし																																																																																																																																														
主要材料	ケーシング	○○																																																																																																																																															
取付箇所	系統名(ライン名) - ○○ 設置床 - ○○ 溢水防護上の区画番号 - - 溢水防護上の配慮が必要な高さ - - 化学薬品防護上の区画番号 - - 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ - -		変更なし																																																																																																																																														
原動機	種類 ^{*2} - ○○ 出力 ^{*2} kW/個 ○○ 個数 ^{*2} - ○○ 取付箇所 ^{*2} - ○○		変更なし																																																																																																																																														
設計上の空気流入率	*2 回/h ○○																																																																																																																																																
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																															
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて: ○○mm 横: ○○mm 高さ: ○○mm																																																																																																																																															
第十条 閉じ込めの機能	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める																																																																																																																																																
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名(ライン名): ○○ 設置床: ○○ 溢水防護上の区画番号: ○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. ○○○m 以上																																																																																																																																															
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所: 系統名(ライン名): ○○ 設置床: ○○ 化学薬品防護上の区画番号: ○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. ○○○m 以上																																																																																																																																															
第十七条 第三十八条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	主要寸法: 吸込口径: ○○mm 吐出口径: ○○mm たて: ○○mm 横: ○○mm 高さ: ○○mm 主要材料: ケーシング: ○○																																																																																																																																															
第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等	・貯蔵ホールの換気を行い混合酸化物貯蔵容器を空気中で冷却するとともに、貯蔵室の構造物(コンクリート)の温度を適切に維持する設計とする。																																																																																																																																																
第二十三条 第四十八条 制御室等	・制御室に運転員その他の従事者がとどまれるよう、気体状の放射性物質及び火災又は爆発により発生する燃焼ガスやばい煙、有毒ガス並びに降下火砕物に対する換気設備の隔離その他の適切に防護するための措置に必要な設備を設ける設計	容量: ○○m ³ /h/個 原動機 種類: ○○ 出力: ○○kW/個 個数: ○○ 設計上の空気流入率: ○○回/h																																																																																																																																															
第三十条 第五十条 緊急時対策所	・居住性を確保するため、外気取入加圧モードとして、放射性物質の取り込みを低減できる設計とする。																																																																																																																																																
第二十四条 廃棄施設	・周辺監視区域の外の空气中の放射性物質の濃度及び液体状の放射性物質の海洋放出に起因する線量が、それぞれ原子力規制委員会の定める濃度限度及び線量限度以下に抑える設計																																																																																																																																																
第二十八条 換気設備	・汚染の程度の低い区域から汚染の程度のより高い区域に向かって空気を流す設計とし、給排気量を適切に設定及び調節することにより、汚染のおそれのある区域を清浄区域より負圧に維持するとともに、適切な換気・空調を行う設計 ・放射線障害を防止するために必要な換気能力を有する設計																																																																																																																																																
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計																																																																																																																																																
第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備	・冷却機能の喪失による蒸発乾固及び放射線分解により発生する水素による爆発の発生時において、放射性エアロゾルを代替セル排気系の可搬型フィルタで除去しつつ、主排気筒を介して、大気中に放出するために必要																																																																																																																																																
変更前		変更後																																																																																																																																															
名称	中央制御室換気系フィルタ系ファン ^{*1}																																																																																																																																																
種類	遠心式 ^{*2}		変更なし																																																																																																																																														
容量	5100以上 (5100 ^{*3})																																																																																																																																																
取付箇所	吸込口径 mm 450 ^{*4} 吐出口径 mm 350 ^{*4} ×500 ^{*4} たて mm 1415 ^{*4} 横 mm 1132 ^{*4} 高さ mm 1020 ^{*4}		391 ^{*4} 271 ^{*4} ×321 ^{*4} 1230 ^{*4} 780 ^{*4} 1250 ^{*4}																																																																																																																																														
個数	2																																																																																																																																																
取付箇所	系統名(ライン名) - 中央制御室換気系フィルタ系ファン 設置床 - EL. 23.00 m^{*5} 溢水防護上の区画番号 - - 溢水防護上の配慮が必要な高さ - -		変更なし CS-3-1 EL. 23.00 m以上																																																																																																																																														
原動機	誘導電動機 ^{*5}																																																																																																																																																
出力	7.5 ^{*5}																																																																																																																																																
個数	2 ^{*5}																																																																																																																																																
取付箇所	排風機と同じ ^{*5}																																																																																																																																																
設計上の空気流入率	1.0 ^{*5}																																																																																																																																																

仕様表記載例（機種：ファン）

		発に対処する ための設備	な排気風量を有する設計 とする。			
		許可整合				

仕様表記載例（機種：主要弁）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考
名	セル内クーラ冷却水供給弁A~J (0000-0000)	名	セル内クーラ冷却水供給弁A~J (0000-0000)	技術基準	【様式-6,7の整理により要求機能②としたもの】	種別	RP-2-1	備考
種別	RP-2-1	種別	RP-2-1	第十条 閉じ込めの機能	要求機能② 様式-6,7 主な使用 (詳細設計) 駆動方法: ○○ 閉止時間: ○○s	最高使用圧力	RP-2-1	EL.14.67 m 以上
寸 (呼び径A)	○○	寸 (呼び径A)	○○	第十二条 溢水防護	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計	最高使用温度	RP-2-1	EL.14.67 m 以上
方法	○○	方法	○○	第十三条 化学薬品防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	呼び径	RP-2-1	EL.14.67 m 以上
主要材料 (弁箱)	○○	主要材料 (弁箱)	○○	第十四条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	弁箱厚さ	RP-2-1	EL.14.67 m 以上
個数	○○	個数	○○	第十五条 駆動方法	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計	弁ふた厚さ	RP-2-1	EL.14.67 m 以上
構造 ¹⁾	○○	構造 ¹⁾	○○	第十六条 閉止時間	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計	弁ふた	RP-2-1	EL.14.67 m 以上
備考	2) 3)	備考	2) 3)	第十七条 第三十七条材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	弁体	RP-2-1	EL.14.67 m 以上

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																		
<p>注1: 第4.2.1.4.8-1図 高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備 その他の重要な構造中の当該機器の番号を示す。 注2: 耐震重要度分類「EA」の記号「00-0000-00」に代りて「00-0000-00」の状態となる。 注3: 本弁は駆動原機「開」の状態となる。</p>	<p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 重大事故時等における使用時の値を示す。 *3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>	<p>【様式-6,7の整理により要求機能②としたもの】</p> <p>第十条 閉じ込めの機能 ・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計</p> <p>第十二条 溢水防護 ・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</p> <p>第十三条 化学薬品防護 ・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</p> <p>第十四条 溢水防護 ・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</p> <p>第十五条 駆動方法 ・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計</p> <p>第十六条 閉止時間 ・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計</p> <p>第十七条 第三十七条材料及び構造 ・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計・設計上定める条件において、座屈が生じない設計</p> <p>第三十六条 重大事故等対処設備 ・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量</p>	<p>(7) 主要弁の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所 (主蒸気循環弁にあっては、閉止時間及び漏えい率を併記すること。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>最高使用圧力 MPa</th> <th>最高使用温度 °C</th> <th>主要寸法</th> <th>材料</th> <th>駆動方法</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セル内クーラ冷却水供給弁A~J</td> <td>RP-2-1</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>呼び径: 100mm 弁箱厚さ: 10mm 弁ふた厚さ: 10mm</td> <td>SS316</td> <td>手動</td> <td>1</td> <td>RP-2-1</td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類	最高使用圧力 MPa	最高使用温度 °C	主要寸法	材料	駆動方法	個数	取付箇所	セル内クーラ冷却水供給弁A~J	RP-2-1	0.0	0	呼び径: 100mm 弁箱厚さ: 10mm 弁ふた厚さ: 10mm	SS316	手動	1	RP-2-1	<p>圧力容器に設置する弁ではないため、漏えい率は仕様表項目に記載しない。</p>
名称	種類	最高使用圧力 MPa	最高使用温度 °C	主要寸法	材料	駆動方法	個数	取付箇所														
セル内クーラ冷却水供給弁A~J	RP-2-1	0.0	0	呼び径: 100mm 弁箱厚さ: 10mm 弁ふた厚さ: 10mm	SS316	手動	1	RP-2-1														

仕様表記載例（機種：安全弁及び逃がし弁）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																	
<p><既認可仕様表なし></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">仕様表案</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>称</td> <td>〇〇安全弁 (0000-0000)*2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">種類</td> <td>吹出圧力</td> <td>MPa</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>吹出量</td> <td>kg/h/個</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>吹出場所</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>呼び径</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>のど部の径</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>弁座口の径</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>リフト</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上*1</td> </tr> <tr> <td>弁箱</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駆動方法</td> <td>駆動方法</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>主記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>	仕様表案		変更前	変更後	名称	称	〇〇安全弁 (0000-0000)*2		種類	吹出圧力	MPa	〇〇	吹出量	kg/h/個	〇〇	主要寸法	吹出場所	—	〇〇	呼び径	mm	〇〇*1	のど部の径	mm	〇〇*1	弁座口の径	mm	〇〇*1	主要材料	リフト	mm	〇〇以上*1	弁箱	—	〇〇	駆動方法	駆動方法	—	〇〇	個数	—	〇〇	取付箇所	系統名(ライン名)	—	〇〇	設置床	—	〇〇	溢水防護上の区画番号	—	—	化学薬品防護上の区画番号	—	—	取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	<p>【様式-6,7の整理により要求機能②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>要求機能② 様式-6,7</th> <th>主な使用 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十七条 材料及び構造</td> <td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計</td> <td>主要寸法 呼び径：〇〇mm のど部の径：〇〇mm 弁座口の径：〇〇mm リフト：〇〇mm以上 主要材料 弁箱：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備</td> <td>・臨界事故が発生した設備に接続する換気系統の配管の流路を遮断するために必要な設備及び換気系統の配管内が加圧状態になった場合にセル内に設置された配管の外部へ放射性物質を排出するために必要な設備</td> <td>吹出圧力：〇〇MPa 吹出量：〇〇kg/h/個 吹出場所：〇〇 駆動方法：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	要求機能② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	主要寸法 呼び径：〇〇mm のど部の径：〇〇mm 弁座口の径：〇〇mm リフト：〇〇mm以上 主要材料 弁箱：〇〇	第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備	・臨界事故が発生した設備に接続する換気系統の配管の流路を遮断するために必要な設備及び換気系統の配管内が加圧状態になった場合にセル内に設置された配管の外部へ放射性物質を排出するために必要な設備	吹出圧力：〇〇MPa 吹出量：〇〇kg/h/個 吹出場所：〇〇 駆動方法：〇〇	<p>(5) 安全弁及び逃がし弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">仕様表案</th> <th>変更前*1</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>称</td> <td>E21-F018</td> <td>E21-F018*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">種類</td> <td>吹出圧力</td> <td>MPa</td> <td>非平衡型</td> </tr> <tr> <td>吹出量</td> <td>kg/h/個</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>呼び径</td> <td>—</td> <td>40 A</td> </tr> <tr> <td>のど部の径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁座口の径</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リフト</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料(弁箱)</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動方法</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>E21-F018 低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL. 20.30 m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）と兼用する。 *3：公称値を示す。</p>	仕様表案		変更前*1	変更後	名称	称	E21-F018	E21-F018*2	種類	吹出圧力	MPa	非平衡型	吹出量	kg/h/個	4.14	主要寸法	呼び径	—	40 A	のど部の径	mm		弁座口の径	mm		リフト	mm		材料(弁箱)	—			駆動方法	—	—	個数	—	1		取付箇所	系統名(ライン名)	—	E21-F018 低圧炉心スプレイ系	設置床	—	EL. 20.30 m	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	
仕様表案		変更前	変更後																																																																																																																																		
名称	称	〇〇安全弁 (0000-0000)*2																																																																																																																																			
種類	吹出圧力	MPa	〇〇																																																																																																																																		
	吹出量	kg/h/個	〇〇																																																																																																																																		
主要寸法	吹出場所	—	〇〇																																																																																																																																		
	呼び径	mm	〇〇*1																																																																																																																																		
	のど部の径	mm	〇〇*1																																																																																																																																		
	弁座口の径	mm	〇〇*1																																																																																																																																		
主要材料	リフト	mm	〇〇以上*1																																																																																																																																		
	弁箱	—	〇〇																																																																																																																																		
駆動方法	駆動方法	—	〇〇																																																																																																																																		
	個数	—	〇〇																																																																																																																																		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	〇〇																																																																																																																																		
	設置床	—	〇〇																																																																																																																																		
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																																																																		
	化学薬品防護上の区画番号	—	—																																																																																																																																		
取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																																		
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																																		
技術基準	要求機能② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)																																																																																																																																			
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																																																			
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																																																			
第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	主要寸法 呼び径：〇〇mm のど部の径：〇〇mm 弁座口の径：〇〇mm リフト：〇〇mm以上 主要材料 弁箱：〇〇																																																																																																																																			
第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備	・臨界事故が発生した設備に接続する換気系統の配管の流路を遮断するために必要な設備及び換気系統の配管内が加圧状態になった場合にセル内に設置された配管の外部へ放射性物質を排出するために必要な設備	吹出圧力：〇〇MPa 吹出量：〇〇kg/h/個 吹出場所：〇〇 駆動方法：〇〇																																																																																																																																			
仕様表案		変更前*1	変更後																																																																																																																																		
名称	称	E21-F018	E21-F018*2																																																																																																																																		
種類	吹出圧力	MPa	非平衡型																																																																																																																																		
	吹出量	kg/h/個	4.14																																																																																																																																		
主要寸法	呼び径	—	40 A																																																																																																																																		
	のど部の径	mm																																																																																																																																			
	弁座口の径	mm																																																																																																																																			
	リフト	mm																																																																																																																																			
材料(弁箱)	—																																																																																																																																				
	駆動方法	—	—																																																																																																																																		
個数	—	1																																																																																																																																			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	E21-F018 低圧炉心スプレイ系																																																																																																																																		
	設置床	—	EL. 20.30 m																																																																																																																																		
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																																																																		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																		

仕様表記載例（機種：建物・構築物）

既認可の仕様表		仕様表案			要求事項の整理			発電炉類似設備要目表			備考																																																																																																																									
<p>主要設備リストで展開</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <td>燃料加工建屋</td> </tr> <tr> <th>耐震クラス</th> <td>B</td> </tr> <tr> <th>放射線防護(しゃへい)</th> <td>しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。</td> </tr> <tr> <th>航空機に対する防護</th> <td>航空機の衝突に対し、安全確保上支障がないように設計するものとする。</td> </tr> <tr> <th>基本設計方針で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>支持地盤の許容支持力</th> <td>長期：OMPa 短期：OMPa</td> </tr> <tr> <th>主要構造</th> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <th>主要寸法</th> <td>南北方向：〇m(外壁外面寸法) 東西方向：〇m(外壁外面寸法) 階数：地上2階、地下3階(一部中2階) 高さ：地上〇m 壁厚等：第1.-3表に示す。</td> </tr> <tr> <th>主要材料</th> <td>鉄筋：JIS 〇〇〇(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める〇及び〇 コンクリート：〇〇〇の規定による普通コンクリート設計基準強度 Fc=〇N/mm² 密度 〇kg/m³以上</td> </tr> <tr> <th>添付図(平面図及び断面図)</th> <td>第1.1-1図～第1.1-9図に示す。</td> </tr> <tr> <th>基本設計方針で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>特記事項</th> <td>① 管理区域内の汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は、除染が容易で腐食し難い材料で仕上げる設計とする。(汚染防止に係る措置の範囲を第1.-2表に示す。) ② 「建築基準法」の耐火建築物とする。 ③ 原料受払室、粉末調整第1室等の部屋で構成する区域の境界の構築物を安全上重要な施設とする。(安全上重要な施設である構築物の範囲を第1.-2表に示す。) ④ 臨界安全上必要がある場合には、中性子相互干渉を考慮する貯蔵施設等の周囲に〇cm以上のコンクリートを配置し、核的に隔離する設計とする。</td> </tr> <tr> <th>建屋平面図・断面図で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>遮蔽設備の仕様表で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>臨界の基本設計方針、単一ユニットの装置の仕様表で展開</th> <td></td> </tr> </table> <p>注1 対応する加工事業許可番号(日付)：平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日) 注2 本建屋がBクラスのしゃへい壁を有していることを示す。また、本建屋はBクラスのしゃへい壁を有していることから、Bクラスの施設に適用される地震力に耐えるように設計する。なお、本建屋は、Sクラスの設備・機器を設置するため、基準地震動 Ss で間接支持構造物としての支持機能が維持されている</p> <p>耐震の添付書類(耐震重要度分類)で展開。</p>		名称	燃料加工建屋	耐震クラス	B	放射線防護(しゃへい)	しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。	航空機に対する防護	航空機の衝突に対し、安全確保上支障がないように設計するものとする。	基本設計方針で展開		支持地盤の許容支持力	長期：OMPa 短期：OMPa	主要構造	〇〇〇	主要寸法	南北方向：〇m(外壁外面寸法) 東西方向：〇m(外壁外面寸法) 階数：地上2階、地下3階(一部中2階) 高さ：地上〇m 壁厚等：第1.-3表に示す。	主要材料	鉄筋：JIS 〇〇〇(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める〇及び〇 コンクリート：〇〇〇の規定による普通コンクリート設計基準強度 Fc=〇N/mm ² 密度 〇kg/m ³ 以上	添付図(平面図及び断面図)	第1.1-1図～第1.1-9図に示す。	基本設計方針で展開		特記事項	① 管理区域内の汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は、除染が容易で腐食し難い材料で仕上げる設計とする。(汚染防止に係る措置の範囲を第1.-2表に示す。) ② 「建築基準法」の耐火建築物とする。 ③ 原料受払室、粉末調整第1室等の部屋で構成する区域の境界の構築物を安全上重要な施設とする。(安全上重要な施設である構築物の範囲を第1.-2表に示す。) ④ 臨界安全上必要がある場合には、中性子相互干渉を考慮する貯蔵施設等の周囲に〇cm以上のコンクリートを配置し、核的に隔離する設計とする。	建屋平面図・断面図で展開		遮蔽設備の仕様表で展開		臨界の基本設計方針、単一ユニットの装置の仕様表で展開		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>燃料加工建屋^{*5}</td> <td>燃料加工建屋^{*5}</td> <td>燃料加工建屋^{*2*3} (再処理施設と共用)</td> </tr> <tr> <th>種類(主要構造)*</th> <td>—</td> <td>上部構造：〇〇〇 基礎：〇〇〇</td> </tr> <tr> <th>支持地盤の許容支持力</th> <td>MPa</td> <td>長期：〇 短期：〇</td> </tr> <tr> <th>支持地盤の極限支持力</th> <td>MPa</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th>マンメイドロックの強度</th> <td>MPa</td> <td>〇^{*5}</td> </tr> <tr> <th rowspan="6">主要寸法</th> <td>たて×横</td> <td>m 〇〇〇^{*4}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m 〇〇〇^{*4}</td> </tr> <tr> <td>東壁</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> </tr> <tr> <td>西壁</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> </tr> <tr> <td>南壁</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> </tr> <tr> <td>床・天井</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> </tr> <tr> <th>主要材料</th> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート^{*7}</td> </tr> <tr> <th>個数</th> <td>—</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「主要構造」と記載。 *2：燃料加工建屋は、再処理施設と一部共用する。 *3：燃料加工建屋は、MOX燃料加工施設にて設備登録を行っている。 *4：公称値を示す。 *5：記載内容は、平成〇年〇月〇日付け平成〇原第〇号にて認可を受けた設工認申請書の「別添イ. 建物 1.燃料加工建屋(その1)及び貯蔵容器搬送用洞道 (5)工事の方法」において記載したマンメイドロックの強度による。 *6：記載内容は、平成〇年〇月〇日付け〇号にて認可を受けた設工認申請書の添付書類「Ⅲ-2-1-1-2 燃料加工建屋の耐震計算書 図面リスト 第14図(1)燃料加工建屋 断面壁断面リストから第14図(6)燃料加工建屋 断面壁断面リスト」及び添付書類「Ⅴ 添付1-2-1 燃料加工建屋の航空機に対する防護計算書 図面リスト 第1図 燃料加工建屋 防護壁断面リストから第4図 燃料加工建屋防護スラブ断面リスト」による。 *7：記載の適正化。既設工認には「鉄筋：JIS 〇〇〇(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める〇及び〇 コンクリート：〇〇〇の規定による普通コンクリート設計基準強度〇N/mm² 密度〇kg/m³以上」と記載。</p>			名称	変更前	変更後	燃料加工建屋 ^{*5}	燃料加工建屋 ^{*5}	燃料加工建屋 ^{*2*3} (再処理施設と共用)	種類(主要構造)*	—	上部構造：〇〇〇 基礎：〇〇〇	支持地盤の許容支持力	MPa	長期：〇 短期：〇	支持地盤の極限支持力	MPa	—	マンメイドロックの強度	MPa	〇 ^{*5}	主要寸法	たて×横	m 〇〇〇 ^{*4}	高さ	m 〇〇〇 ^{*4}	東壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	西壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	南壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	北壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	床・天井	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	主要材料	—	鉄筋コンクリート ^{*7}	個数	—	1	<table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様(詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第五条 地盤</td> <td>建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置</td> <td>支持地盤の極限支持力：OMPa マンメイドロック強度：OMPa</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>第八条 外部からの衝撃による損傷の防止</td> <td>・設計荷重(竜巻)に対して機械的強度を有する設計 ・設計荷重(火山)に対して安全余裕を有する設計 その他外部衝撃に対して機械的強度を有する設計</td> <td>主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 遮蔽</td> <td>直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置 基準線量率を達成するため遮蔽体の設置</td> <td>主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>第三十条 重大事故等対処設備</td> <td>航空機に対して建物の外壁及び屋根により建物全体を適切に保護</td> <td>主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>遮蔽設備の仕様表で展開</td> <td></td> </tr> </table>			技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第五条 地盤	建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置	支持地盤の極限支持力：OMPa マンメイドロック強度：OMPa	第六条 地震による損傷の防止	耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇	第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	・設計荷重(竜巻)に対して機械的強度を有する設計 ・設計荷重(火山)に対して安全余裕を有する設計 その他外部衝撃に対して機械的強度を有する設計	主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇	第十二条 遮蔽	直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置 基準線量率を達成するため遮蔽体の設置	主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇	第三十条 重大事故等対処設備	航空機に対して建物の外壁及び屋根により建物全体を適切に保護	主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇		遮蔽設備の仕様表で展開		<p>2 原子炉建屋に係る次の事項 (1) 原子炉建屋原子炉棟の名称、種類、設計気密度、主要寸法、材料及び個数</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟^{*1}</td> <td>原子炉建屋原子炉棟^{*1}</td> <td>原子炉建屋原子炉棟^{*7}</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート造 (屋根は鉄骨構造)</td> </tr> <tr> <th>設計気密度</th> <td>%/d</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th rowspan="5">主要寸法</th> <td>たて×横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>東壁</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>西壁</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>南壁</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <th>材料</th> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート及び鋼材^{*2}</td> </tr> <tr> <th>個数</th> <td>—</td> <td>1^{*4}</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋[原子炉棟(2次格納施設)、付属棟]」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「<input type="text"/>」と記載。 *3：公称値を示す。 *4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年4月9日付け47公第12076号にて認可された工事計画書の添付図面「第3-2図 原子炉建屋耐力壁断面リスト(No.1)」、「第3-3図 原子炉建屋 耐力壁断面リスト(No.2)」による。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鋼材：JIS G 3101一般構造用圧延鋼材 JIS G 3106溶接構造用圧延鋼材、鉄筋：JIS G 3112鉄筋コンクリート用棒鋼、セメント：JIS R 5210普通ポルトランドセメントおよび中熱セメント JIS R 5213フライアッシュセメント、骨材：天然砂および川砂利」と記載。 *6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *7：圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉建屋ガス処理系 非常用ガス再循環系、非常用ガス処理系、水素濃度抑制系)と兼用する。</p>			名称	変更前	変更後	原子炉建屋原子炉棟 ^{*1}	原子炉建屋原子炉棟 ^{*1}	原子炉建屋原子炉棟 ^{*7}	種類	—	鉄筋コンクリート造 (屋根は鉄骨構造)	設計気密度	%/d	—	主要寸法	たて×横	mm	高さ	mm	東壁	mm	西壁	mm	南壁	mm	北壁	mm	材料	—	鉄筋コンクリート及び鋼材 ^{*2}	個数	—	1 ^{*4}	<p>沸騰水型原子炉では、建屋気密性を被ばく評価の条件に用いているが、MOX燃料加工施設では、建屋には気密性を設定していないことから、記載は不要と判断する</p> <p>航空機防護版、Sクラスの床・天井の評価のため、燃料加工建屋の床・天井の厚さを記載</p> <p>既認可記載事項である地盤の仕様項目(支持地盤の強度)を記載。 また、マンメイドロックの強度を記載。</p>
名称	燃料加工建屋																																																																																																																																			
耐震クラス	B																																																																																																																																			
放射線防護(しゃへい)	しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。																																																																																																																																			
航空機に対する防護	航空機の衝突に対し、安全確保上支障がないように設計するものとする。																																																																																																																																			
基本設計方針で展開																																																																																																																																				
支持地盤の許容支持力	長期：OMPa 短期：OMPa																																																																																																																																			
主要構造	〇〇〇																																																																																																																																			
主要寸法	南北方向：〇m(外壁外面寸法) 東西方向：〇m(外壁外面寸法) 階数：地上2階、地下3階(一部中2階) 高さ：地上〇m 壁厚等：第1.-3表に示す。																																																																																																																																			
主要材料	鉄筋：JIS 〇〇〇(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める〇及び〇 コンクリート：〇〇〇の規定による普通コンクリート設計基準強度 Fc=〇N/mm ² 密度 〇kg/m ³ 以上																																																																																																																																			
添付図(平面図及び断面図)	第1.1-1図～第1.1-9図に示す。																																																																																																																																			
基本設計方針で展開																																																																																																																																				
特記事項	① 管理区域内の汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は、除染が容易で腐食し難い材料で仕上げる設計とする。(汚染防止に係る措置の範囲を第1.-2表に示す。) ② 「建築基準法」の耐火建築物とする。 ③ 原料受払室、粉末調整第1室等の部屋で構成する区域の境界の構築物を安全上重要な施設とする。(安全上重要な施設である構築物の範囲を第1.-2表に示す。) ④ 臨界安全上必要がある場合には、中性子相互干渉を考慮する貯蔵施設等の周囲に〇cm以上のコンクリートを配置し、核的に隔離する設計とする。																																																																																																																																			
建屋平面図・断面図で展開																																																																																																																																				
遮蔽設備の仕様表で展開																																																																																																																																				
臨界の基本設計方針、単一ユニットの装置の仕様表で展開																																																																																																																																				
名称	変更前	変更後																																																																																																																																		
燃料加工建屋 ^{*5}	燃料加工建屋 ^{*5}	燃料加工建屋 ^{*2*3} (再処理施設と共用)																																																																																																																																		
種類(主要構造)*	—	上部構造：〇〇〇 基礎：〇〇〇																																																																																																																																		
支持地盤の許容支持力	MPa	長期：〇 短期：〇																																																																																																																																		
支持地盤の極限支持力	MPa	—																																																																																																																																		
マンメイドロックの強度	MPa	〇 ^{*5}																																																																																																																																		
主要寸法	たて×横	m 〇〇〇 ^{*4}																																																																																																																																		
	高さ	m 〇〇〇 ^{*4}																																																																																																																																		
	東壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}																																																																																																																																		
	西壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}																																																																																																																																		
	南壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}																																																																																																																																		
	北壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}																																																																																																																																		
床・天井	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}																																																																																																																																			
主要材料	—	鉄筋コンクリート ^{*7}																																																																																																																																		
個数	—	1																																																																																																																																		
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																		
第五条 地盤	建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置	支持地盤の極限支持力：OMPa マンメイドロック強度：OMPa																																																																																																																																		
第六条 地震による損傷の防止	耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇																																																																																																																																		
第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	・設計荷重(竜巻)に対して機械的強度を有する設計 ・設計荷重(火山)に対して安全余裕を有する設計 その他外部衝撃に対して機械的強度を有する設計	主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇																																																																																																																																		
第十二条 遮蔽	直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置 基準線量率を達成するため遮蔽体の設置	主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇																																																																																																																																		
第三十条 重大事故等対処設備	航空機に対して建物の外壁及び屋根により建物全体を適切に保護	主要寸法(壁厚さ)：〇mm ～〇mm 主要材料：〇〇〇〇																																																																																																																																		
	遮蔽設備の仕様表で展開																																																																																																																																			
名称	変更前	変更後																																																																																																																																		
原子炉建屋原子炉棟 ^{*1}	原子炉建屋原子炉棟 ^{*1}	原子炉建屋原子炉棟 ^{*7}																																																																																																																																		
種類	—	鉄筋コンクリート造 (屋根は鉄骨構造)																																																																																																																																		
設計気密度	%/d	—																																																																																																																																		
主要寸法	たて×横	mm																																																																																																																																		
	高さ	mm																																																																																																																																		
	東壁	mm																																																																																																																																		
	西壁	mm																																																																																																																																		
	南壁	mm																																																																																																																																		
北壁	mm																																																																																																																																			
材料	—	鉄筋コンクリート及び鋼材 ^{*2}																																																																																																																																		
個数	—	1 ^{*4}																																																																																																																																		

仕様表記載例 (機種：建物・構築物 (火災区域構造物))

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p><既認可仕様表なし></p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">主要寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">主要材料</th> <th colspan="3">名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">主要寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">主要材料</th> </tr> <tr> <th>火災区域 (区画) 名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th>火災区域 名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align:center;">-</td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> <td rowspan="6" style="text-align:center;">壁</td> <td rowspan="6" style="text-align:center;">〇以上 (〇*1)</td> <td rowspan="6" style="text-align:center;">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値のうち最小のものを示す。</p>	変更前					変更後					名称			種類	主要寸法 (mm)	主要材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	主要材料	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	火災区域 名称	区分	番号	-					〇〇室	火災区域	〇〇	壁	〇以上 (〇*1)	鉄筋コンクリート						〇〇室	火災区域	〇〇						〇〇室	火災区域	〇〇						〇〇室	火災区域	〇〇						〇〇室	火災区域	〇〇						〇〇室	火災区域	〇〇	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th colspan="2">機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">様式-6 様式-7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 第十一条 火災等による損傷の防止 第三十五条 火災等による損傷の防止 </td> <td colspan="2"> ・火災及び爆発の影響軽減対策が必要な火災防護上重要な機器等を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離する設計 </td> <td style="border: 2px solid yellow;"> 壁厚：〇mm 以上 材料：〇〇 </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②		主な仕様 (詳細設計)	様式-6 様式-7		第十一条 火災等による損傷の防止 第三十五条 火災等による損傷の防止	・火災及び爆発の影響軽減対策が必要な火災防護上重要な機器等を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離する設計		壁厚：〇mm 以上 材料：〇〇	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>主要寸法 (mm)</th> <th>材料</th> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>主要寸法 (mm)</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火災区域 (区画) 名称</td> <td>区分</td> <td>番号</td> <td>火災区域 (区画) 名称</td> <td>区分</td> <td>番号</td> <td>火災区域 (区画) 名称</td> <td>区分</td> <td>番号</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-1</td> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-1</td> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-3) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-3</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-2) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-2</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-2) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-2</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-4) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-4</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-3) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-3</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-3) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-3</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-5) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-4) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-4</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-4) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-4</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-6) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-5) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-5) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-7) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-7</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-6) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-6) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-8) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-8</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-7) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-7</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-7) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-7</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-9) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-9</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-8) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-8</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-8) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-8</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-10) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-10</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-9) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-9</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-9) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-9</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-11) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-11</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-10) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-10</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-10) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-10</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-12) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-12</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-11) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-11</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-11) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-11</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-4</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-12) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-12</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-12) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-12</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-5</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-4</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-4</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-5</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-5</td> <td>原子炉建屋付属棟 (地上) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-7</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2E 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-6</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-2E 4-ア-フア-フア-フア) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-6</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-1) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (地上) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-7</td> <td>原子炉建屋付属棟 (地上) *1</td> <td>火災区域</td> <td>0-7</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-5) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-1) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-1</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-1) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-1</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-6) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-5) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-5) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (R-6) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> <td>原子炉建屋付属棟 (R-6) *1</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：本設備は既存の設備である。 *2：公称値のうち最小のものを示す。</p>	変更前				変更後				名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-3) *1	火災区域	R-3	原子炉建屋付属棟 (R-2) *1	火災区域	R-2	原子炉建屋付属棟 (R-2) *1	火災区域	R-2	原子炉建屋付属棟 (R-4) *1	火災区域	R-4	原子炉建屋付属棟 (R-3) *1	火災区域	R-3	原子炉建屋付属棟 (R-3) *1	火災区域	R-3	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5	原子炉建屋付属棟 (R-4) *1	火災区域	R-4	原子炉建屋付属棟 (R-4) *1	火災区域	R-4	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5	原子炉建屋付属棟 (R-7) *1	火災区域	R-7	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6	原子炉建屋付属棟 (R-8) *1	火災区域	R-8	原子炉建屋付属棟 (R-7) *1	火災区域	R-7	原子炉建屋付属棟 (R-7) *1	火災区域	R-7	原子炉建屋付属棟 (R-9) *1	火災区域	R-9	原子炉建屋付属棟 (R-8) *1	火災区域	R-8	原子炉建屋付属棟 (R-8) *1	火災区域	R-8	原子炉建屋付属棟 (R-10) *1	火災区域	R-10	原子炉建屋付属棟 (R-9) *1	火災区域	R-9	原子炉建屋付属棟 (R-9) *1	火災区域	R-9	原子炉建屋付属棟 (R-11) *1	火災区域	R-11	原子炉建屋付属棟 (R-10) *1	火災区域	R-10	原子炉建屋付属棟 (R-10) *1	火災区域	R-10	原子炉建屋付属棟 (R-12) *1	火災区域	R-12	原子炉建屋付属棟 (R-11) *1	火災区域	R-11	原子炉建屋付属棟 (R-11) *1	火災区域	R-11	原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-4	原子炉建屋付属棟 (R-12) *1	火災区域	R-12	原子炉建屋付属棟 (R-12) *1	火災区域	R-12	原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-5	原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-4	原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-4	原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-6	原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-5	原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-5	原子炉建屋付属棟 (地上) *1	火災区域	0-7	原子炉建屋付属棟 (DC-2E 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-6	原子炉建屋付属棟 (DC-2E 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-6	原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋付属棟 (地上) *1	火災区域	0-7	原子炉建屋付属棟 (地上) *1	火災区域	0-7	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5	原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5				原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6				
変更前					変更後																																																																																																																																																																																																																																																																																												
名称			種類	主要寸法 (mm)	主要材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	主要材料																																																																																																																																																																																																																																																																																						
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 名称	区分	番号																																																																																																																																																																																																																																																																																									
-					〇〇室	火災区域	〇〇	壁	〇以上 (〇*1)	鉄筋コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																										
技術基準	機能要求②		主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	様式-6 様式-7																																																																																																																																																																																																																																																																																																
第十一条 火災等による損傷の防止 第三十五条 火災等による損傷の防止	・火災及び爆発の影響軽減対策が必要な火災防護上重要な機器等を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離する設計		壁厚：〇mm 以上 材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																														
変更前				変更後																																																																																																																																																																																																																																																																																													
名称	種類	主要寸法 (mm)	材料	名称	種類	主要寸法 (mm)	材料																																																																																																																																																																																																																																																																																										
火災区域 (区画) 名称	区分	番号	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	火災区域 (区画) 名称	区分	番号																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-3) *1	火災区域	R-3																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-2) *1	火災区域	R-2	原子炉建屋付属棟 (R-2) *1	火災区域	R-2	原子炉建屋付属棟 (R-4) *1	火災区域	R-4																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-3) *1	火災区域	R-3	原子炉建屋付属棟 (R-3) *1	火災区域	R-3	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-4) *1	火災区域	R-4	原子炉建屋付属棟 (R-4) *1	火災区域	R-4	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5	原子炉建屋付属棟 (R-7) *1	火災区域	R-7																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6	原子炉建屋付属棟 (R-8) *1	火災区域	R-8																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-7) *1	火災区域	R-7	原子炉建屋付属棟 (R-7) *1	火災区域	R-7	原子炉建屋付属棟 (R-9) *1	火災区域	R-9																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-8) *1	火災区域	R-8	原子炉建屋付属棟 (R-8) *1	火災区域	R-8	原子炉建屋付属棟 (R-10) *1	火災区域	R-10																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-9) *1	火災区域	R-9	原子炉建屋付属棟 (R-9) *1	火災区域	R-9	原子炉建屋付属棟 (R-11) *1	火災区域	R-11																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-10) *1	火災区域	R-10	原子炉建屋付属棟 (R-10) *1	火災区域	R-10	原子炉建屋付属棟 (R-12) *1	火災区域	R-12																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-11) *1	火災区域	R-11	原子炉建屋付属棟 (R-11) *1	火災区域	R-11	原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-4																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-12) *1	火災区域	R-12	原子炉建屋付属棟 (R-12) *1	火災区域	R-12	原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-5																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-4	原子炉建屋付属棟 (DC-2C 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-4	原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-6																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-5	原子炉建屋付属棟 (DC-2D 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-5	原子炉建屋付属棟 (地上) *1	火災区域	0-7																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (DC-2E 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-6	原子炉建屋付属棟 (DC-2E 4-ア-フア-フア-フア) *1	火災区域	0-6	原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (地上) *1	火災区域	0-7	原子炉建屋付属棟 (地上) *1	火災区域	0-7	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋付属棟 (R-1) *1	火災区域	R-1	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5	原子炉建屋付属棟 (R-5) *1	火災区域	R-5																																																																																																																																																																																																																																																																																												
原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6	原子炉建屋付属棟 (R-6) *1	火災区域	R-6																																																																																																																																																																																																																																																																																												

仕様表記載例（機種：建物・構築物(施設外漏えい防止堰)）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																										
<p><既認可仕様表なし></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>—</td> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>堰</td> <td>—</td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇 T.M.S.L. 〇〇m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: T.M.S.L. 〇m からの高さ</p>			変更前	変更後	名称		—	〇〇〇	種類	堰	—	堰	主要寸法	高さ	mm	〇〇*1	主要材料		—	〇〇	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	〇〇 T.M.S.L. 〇〇m	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	化学薬品防護上の区画番号	—	—		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6 様式-7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>・液体状の使用済燃料等が施設外へ漏えいすることを防止する設計</td> <td>主要寸法: 〇mm 以上 主要材料: 〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>主要寸法: 〇〇mm 主要材料: 〇〇 取付箇所: 系統名(ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込めの機能	・液体状の使用済燃料等が施設外へ漏えいすることを防止する設計	主要寸法: 〇mm 以上 主要材料: 〇〇	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	主要寸法: 〇〇mm 主要材料: 〇〇 取付箇所: 系統名(ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	<p>3 堰その他の設備に係る次の事項</p> <p>(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰(放射性廃棄物運搬容器にあっては、流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する設備)の名称、主要寸法、材料及び取付箇所並びに床面及び壁面の塗装の範囲及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>種類*</td> <td>—</td> <td>堰</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>堰の高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上*3 *4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>床面及び壁面の塗装の範囲*4</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>堰</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>床面及び壁面の塗装*4</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL. 〇〇m*5</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。 *2: 浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合は事項を記載。 *3: EL. 〇〇m からの高さ。 *4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載。 *5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載。 *6: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 cm 以上」と記載。</p>			変更前	変更後	名称		〇〇〇〇	〇〇〇〇	種類*	—	堰	—	主要寸法	堰の高さ	mm	〇〇以上*3 *4		床面及び壁面の塗装の範囲*4	—	〇〇〇〇	材料	堰	—	〇〇〇〇	床面及び壁面の塗装*4	—	〇〇〇〇	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	EL. 〇〇m*5	溢水防護上の区画番号	—	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<p>床、壁の塗装については基本設計方針、添付書類で展開する。</p>
		変更前	変更後																																																																																											
名称		—	〇〇〇																																																																																											
種類	堰	—	堰																																																																																											
主要寸法	高さ	mm	〇〇*1																																																																																											
主要材料		—	〇〇																																																																																											
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																											
	設置床	—	〇〇 T.M.S.L. 〇〇m																																																																																											
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																											
	化学薬品防護上の区画番号	—	—																																																																																											
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																											
技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																												
第十条 閉じ込めの機能	・液体状の使用済燃料等が施設外へ漏えいすることを防止する設計	主要寸法: 〇mm 以上 主要材料: 〇〇																																																																																												
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	主要寸法: 〇〇mm 主要材料: 〇〇 取付箇所: 系統名(ライン名): 〇〇 設置床: 〇〇 溢水防護上の区画番号: 〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ: T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																												
		変更前	変更後																																																																																											
名称		〇〇〇〇	〇〇〇〇																																																																																											
種類*	—	堰	—																																																																																											
主要寸法	堰の高さ	mm	〇〇以上*3 *4																																																																																											
	床面及び壁面の塗装の範囲*4	—	〇〇〇〇																																																																																											
材料	堰	—	〇〇〇〇																																																																																											
	床面及び壁面の塗装*4	—	〇〇〇〇																																																																																											
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—																																																																																											
	設置床	—	EL. 〇〇m*5																																																																																											
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																											

仕様表記載例（機種：建物・構築物(保管・廃棄エリア)）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																		
<p>MOX 施設の既認可に仕様表なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>ウラン貯蔵エリア</th> <th>燃料棒受入一時保管エリア</th> <th>燃料集合体輸送容器一時保管エリア</th> <th>ウラン輸送容器一時保管エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>建物</td> <td>建物</td> <td>建物</td> <td>建物</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td></td> <td>t・HM</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td></td> <td>m</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td></td> <td>m</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td></td> <td>m</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td></td> <td>燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. 〇m</td> <td>荷卸室 T.M.S.L. 〇m</td> <td>輸送容器保管室 T.M.S.L. 〇m</td> <td>輸送容器保管室 T.M.S.L. 〇m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ウラン貯蔵室 T.M.S.L. 〇m</td> <td>固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L. 〇m</td> <td>固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L. 〇m</td> <td>燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. 〇m</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 保管エリアの寸法を示す。</p>	名称		ウラン貯蔵エリア	燃料棒受入一時保管エリア	燃料集合体輸送容器一時保管エリア	ウラン輸送容器一時保管エリア	種類		建物	建物	建物	建物	容量		t・HM	〇	〇	〇	たて		m	〇	〇	〇	横		m	〇	〇	〇	高さ		m	〇	〇	〇	設置場所		燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. 〇m	荷卸室 T.M.S.L. 〇m	輸送容器保管室 T.M.S.L. 〇m	輸送容器保管室 T.M.S.L. 〇m			ウラン貯蔵室 T.M.S.L. 〇m	固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L. 〇m	固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L. 〇m	燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. 〇m	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十七条 核燃料物質の貯蔵施設</td> <td>様式-6,7 ・核燃料物質を貯蔵するために必要な容量</td> <td>容量: 〇〇t・HM</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十七条 核燃料物質の貯蔵施設	様式-6,7 ・核燃料物質を貯蔵するために必要な容量	容量: 〇〇t・HM	<p>(6) 廃棄物貯蔵庫の名称、種類、容量、主要寸法及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>建物</td> <td>建物 地上 ■階 (■エリア) 地下 ■階 (■エリア)</td> <td>建物 地上 ■階 (■エリア)</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td></td> <td>ドラム缶詰固体廃棄物 200ℓドラム缶 約 ■本相当 上段約 ■本 中段約 ■本 下段約 ■本</td> <td>ドラム缶詰固体廃棄物 200ℓドラム缶 約 ■本相当 上段約 ■本 中段約 ■本 下段約 ■本</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>m</td> <td>()*</td> <td>()*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>m</td> <td>()*</td> <td>()*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>()*</td> <td>()*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td></td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記: *() 内は、貯蔵エリアを示す。 : 変更後の最右欄は今回増設分を示す。</p>	名称		変更前	変更後	種類	建物	建物 地上 ■階 (■エリア) 地下 ■階 (■エリア)	建物 地上 ■階 (■エリア)	容量		ドラム缶詰固体廃棄物 200ℓドラム缶 約 ■本相当 上段約 ■本 中段約 ■本 下段約 ■本	ドラム缶詰固体廃棄物 200ℓドラム缶 約 ■本相当 上段約 ■本 中段約 ■本 下段約 ■本	たて	m	()*	()*	横	m	()*	()*	高さ	m	()*	()*	材料		■	■	<p>材料については、建物・構築物側の仕様表の主要材料で記載しているため、記載しない。</p> <p>外寸については、建物・構築物側の仕様表の主要寸法（たて×横、高さ）で示しているため、保管エリア寸法を記載する。</p>
名称		ウラン貯蔵エリア	燃料棒受入一時保管エリア	燃料集合体輸送容器一時保管エリア	ウラン輸送容器一時保管エリア																																																																																	
種類		建物	建物	建物	建物																																																																																	
容量		t・HM	〇	〇	〇																																																																																	
たて		m	〇	〇	〇																																																																																	
横		m	〇	〇	〇																																																																																	
高さ		m	〇	〇	〇																																																																																	
設置場所		燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. 〇m	荷卸室 T.M.S.L. 〇m	輸送容器保管室 T.M.S.L. 〇m	輸送容器保管室 T.M.S.L. 〇m																																																																																	
		ウラン貯蔵室 T.M.S.L. 〇m	固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L. 〇m	固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L. 〇m	燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. 〇m																																																																																	
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																				
第十七条 核燃料物質の貯蔵施設	様式-6,7 ・核燃料物質を貯蔵するために必要な容量	容量: 〇〇t・HM																																																																																				
名称		変更前	変更後																																																																																			
種類	建物	建物 地上 ■階 (■エリア) 地下 ■階 (■エリア)	建物 地上 ■階 (■エリア)																																																																																			
容量		ドラム缶詰固体廃棄物 200ℓドラム缶 約 ■本相当 上段約 ■本 中段約 ■本 下段約 ■本	ドラム缶詰固体廃棄物 200ℓドラム缶 約 ■本相当 上段約 ■本 中段約 ■本 下段約 ■本																																																																																			
たて	m	()*	()*																																																																																			
横	m	()*	()*																																																																																			
高さ	m	()*	()*																																																																																			
材料		■	■																																																																																			

仕様表記載例（機種：排気筒）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																										
<p>工程情報を示す項目であり、設備仕様と直接関係しない項目であるため、仕様表に記載しない。</p> <p>主要設備リストで展開。</p>		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">仕様表案</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>主排気筒</td> <td>主排気筒</td> <td>主排気筒</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>支持地盤の許容支持力度</td> <td>MPa</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>支持地盤の限界支持力度</td> <td>MPa</td> <td>〇〇*</td> <td>〇〇*</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>出口内径</td> <td>m</td> <td>〇〇*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地上高さ</td> <td>m</td> <td>〇〇*</td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>筒身</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>支持鉄塔</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基礎</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>		仕様表案		変更前	変更後	名称	主排気筒	主排気筒	主排気筒	種類	〇〇	〇〇	〇〇	支持地盤の許容支持力度	MPa	〇〇	〇〇	支持地盤の限界支持力度	MPa	〇〇*	〇〇*	主要寸法	出口内径	m	〇〇*		地上高さ	m	〇〇*		厚さ	mm	〇〇*	主要材料	筒身	—	〇〇		支持鉄塔	—	〇〇		基礎	—	〇〇	個数	—	—	〇〇	<table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第五条 地盤</td> <td>・建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置</td> <td>支持地盤許容支持力度：〇〇 支持地盤極限支持力度：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 地上高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第二十四条 廃棄施設</td> <td>・周辺監視区域の外の空气中の放射性物質の濃度及び液体状の放射性物質の海洋放出に起因する線量が、それぞれ原子力規制委員会の定める濃度限度及び線量限度以下になる設計</td> <td>主要寸法 出口内径：〇〇m 地上高さ：〇〇m 厚さ：〇〇mm 主要材料 筒身：〇〇 支持鉄塔：〇〇 基礎：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第三十六条 重大事故等対処設備</td> <td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量</td> <td>個数：〇〇</td> </tr> </table>		技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第五条 地盤	・建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置	支持地盤許容支持力度：〇〇 支持地盤極限支持力度：〇〇	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 地上高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇	第二十四条 廃棄施設	・周辺監視区域の外の空气中の放射性物質の濃度及び液体状の放射性物質の海洋放出に起因する線量が、それぞれ原子力規制委員会の定める濃度限度及び線量限度以下になる設計	主要寸法 出口内径：〇〇m 地上高さ：〇〇m 厚さ：〇〇mm 主要材料 筒身：〇〇 支持鉄塔：〇〇 基礎：〇〇	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量	個数：〇〇	<p>2.4 その他 (16) 排気筒の名称、種類、主要寸法、材料及び個数（内筒及び外筒の別に記載すること。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td colspan="3">主排気筒</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">鉄塔支持型鋼製（制震装置付き[減衰係数：□□*1]）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>内径*2</td> <td>mm</td> <td>4500*3、*4</td> </tr> <tr> <td>地表上の高さ</td> <td>m</td> <td>140*4</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> <td colspan="2">SS400</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 注1：オイルダンパの減衰係数を示す。 注2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「筒身内径」と記載。 注3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「4.5 m」と記載 注4：公称値を示す。</p>		変更前		変更後		名称	主排気筒			種類	—	鉄塔支持型鋼製（制震装置付き[減衰係数：□□*1]）		主要寸法	内径*2	mm	4500*3、*4	地表上の高さ	m	140*4	材料	—	SS400		個数	—	1		<p>備考</p>
仕様表案		変更前	変更後																																																																																															
名称	主排気筒	主排気筒	主排気筒																																																																																															
種類	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																															
支持地盤の許容支持力度	MPa	〇〇	〇〇																																																																																															
支持地盤の限界支持力度	MPa	〇〇*	〇〇*																																																																																															
主要寸法	出口内径	m	〇〇*																																																																																															
	地上高さ	m	〇〇*																																																																																															
	厚さ	mm	〇〇*																																																																																															
主要材料	筒身	—	〇〇																																																																																															
	支持鉄塔	—	〇〇																																																																																															
	基礎	—	〇〇																																																																																															
個数	—	—	〇〇																																																																																															
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																
第五条 地盤	・建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置	支持地盤許容支持力度：〇〇 支持地盤極限支持力度：〇〇																																																																																																
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 地上高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																
第二十四条 廃棄施設	・周辺監視区域の外の空气中の放射性物質の濃度及び液体状の放射性物質の海洋放出に起因する線量が、それぞれ原子力規制委員会の定める濃度限度及び線量限度以下になる設計	主要寸法 出口内径：〇〇m 地上高さ：〇〇m 厚さ：〇〇mm 主要材料 筒身：〇〇 支持鉄塔：〇〇 基礎：〇〇																																																																																																
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量	個数：〇〇																																																																																																
変更前		変更後																																																																																																
名称	主排気筒																																																																																																	
種類	—	鉄塔支持型鋼製（制震装置付き[減衰係数：□□*1]）																																																																																																
主要寸法	内径*2	mm	4500*3、*4																																																																																															
	地表上の高さ	m	140*4																																																																																															
材料	—	SS400																																																																																																
個数	—	1																																																																																																
<p>構造図：第3.2.1.5-1図に示す。</p> <p>注記1)：支持鉄塔及び基礎は、基準地震動〇で間接支持構造物としての支持機能が維持されていることの確認を行う。</p> <p>2)：鷹架層の許容支持力度として、重要な建物・構築物ごとに定まる値の最小値とする。</p> <p>3)：単位 (tf/m²)</p> <p>4)：厚さは、母材+合せ板を示す。</p> <p>5)：本設備の基礎上部には、主排気筒管理建屋があり、その重量を考慮して耐震計算を行う。</p>		<p>添付書類に位置づけを変更したため、記載を削除。</p>		<p>基本設計方針で展開。</p>		<p>旧単位系記載のため、SI単位系表記に統一することに伴い適正化。</p>																																																																																												

仕様表記載例（機種：飛来物防護設備）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																				
<p><既認可仕様表なし></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>安全冷却水B冷却塔 飛来物防護ネット</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>支持地盤</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>杭の強度</td> <td>N/mm²</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td rowspan="2">防護ネット</td> <td>線径</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>〇〇*2</td> </tr> <tr> <td>網目</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>〇〇*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防護板</td> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>〇〇*2</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>〇〇*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支持架構</td> <td>横</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>〇〇*2</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>〇〇*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>防護ネット</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>防護板</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>支持架構</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火被膜</td> <td>種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇*3</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td>〇〇以上</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>式</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：飛来物防護ネットは杭基礎を介して〇〇に支持する。 *2：公称値を示す。 *3：航空機墜落による火災により熱影響がある支持架構の柱等に耐火塗装を施す。</p>			変更前	変更後	名称	安全冷却水B冷却塔 飛来物防護ネット	—	—	種類	—	—	〇〇	支持地盤	—	—	〇〇*1	杭の強度	N/mm ²	—	〇〇	主要寸法	防護ネット	線径	mm	—	〇〇*2	網目	mm	—	〇〇*2	防護板	厚さ	mm	—	〇〇*2	たて	mm	—	〇〇*2	支持架構	横	mm	—	〇〇*2	高さ	mm	—	〇〇*2	主要材料	防護ネット	—	—	〇〇	防護板	—	—	〇〇	支持架構	—	—	〇〇	耐火被膜	種類	—	—	〇〇*3	厚さ	mm	—	〇〇以上	基数	式	—	—	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6.7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第五条 安全機能を有する施設の地盤</td> <td>・安全機能を有する施設のうち、地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設（以下「耐震重要施設」という。）及びそれらを支える建物・構築物、若しくは重大事故等対処施設のうち、常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下「基準地震動」という。）による地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。</td> <td>支持地盤：〇〇 杭の強度：〇〇N/mm²</td> </tr> <tr> <td>第八条 外部からの衝撃による損傷の防止</td> <td>・設計飛来物の貫通を防止することができる設計 ・設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計 ・設計荷重に対して、支持架構の構造健全性を維持できる設計 ・熱影響により外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計</td> <td>主要寸法 防護ネット線径：〇〇mm 防護ネット網目：〇〇mm 防護板厚さ：〇〇mm 支持架構たて：〇〇mm 支持架構横：〇〇mm 支持架構高さ：〇〇mm 主要材料 防護ネット：〇〇 防護板：〇〇 支持架構：〇〇 耐火被膜 種類：〇〇 厚さ：〇〇mm以上</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6.7	主な仕様 (詳細設計)	第五条 安全機能を有する施設の地盤	・安全機能を有する施設のうち、地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設（以下「耐震重要施設」という。）及びそれらを支える建物・構築物、若しくは重大事故等対処施設のうち、常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下「基準地震動」という。）による地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。	支持地盤：〇〇 杭の強度：〇〇N/mm ²	第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	・設計飛来物の貫通を防止することができる設計 ・設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計 ・設計荷重に対して、支持架構の構造健全性を維持できる設計 ・熱影響により外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計	主要寸法 防護ネット線径：〇〇mm 防護ネット網目：〇〇mm 防護板厚さ：〇〇mm 支持架構たて：〇〇mm 支持架構横：〇〇mm 支持架構高さ：〇〇mm 主要材料 防護ネット：〇〇 防護板：〇〇 支持架構：〇〇 耐火被膜 種類：〇〇 厚さ：〇〇mm以上	<p><発電炉要目表なし> 以下発電炉の基本設計方針抜粋 2.3.3 設計方針 (中略) 防護措置として設置する防護対策施設としては、防護ネット（硬鋼線材：線径φ4 mm、網目寸法40 mm）、防護鋼板（炭素鋼：板厚16 mm以上）、架構及び扉（炭素鋼：板厚31.2 mm以上）を設置し、内包する外部事象防護対象施設の機能を損なわないよう、外部事象防護対象施設の機能喪失に至る可能性のある飛来物が外部事象防護対象施設に衝突することを防止する設計とする。</p>	<p>杭基礎に設置する設備は支持地盤、杭の強度を記載する。</p> <p>航空機墜落による火災防護のために必要な耐火塗装について種類、厚さを記載する。</p>
		変更前	変更後																																																																																					
名称	安全冷却水B冷却塔 飛来物防護ネット	—	—																																																																																					
種類	—	—	〇〇																																																																																					
支持地盤	—	—	〇〇*1																																																																																					
杭の強度	N/mm ²	—	〇〇																																																																																					
主要寸法	防護ネット	線径	mm	—	〇〇*2																																																																																			
		網目	mm	—	〇〇*2																																																																																			
	防護板	厚さ	mm	—	〇〇*2																																																																																			
		たて	mm	—	〇〇*2																																																																																			
支持架構	横	mm	—	〇〇*2																																																																																				
	高さ	mm	—	〇〇*2																																																																																				
主要材料	防護ネット	—	—	〇〇																																																																																				
	防護板	—	—	〇〇																																																																																				
	支持架構	—	—	〇〇																																																																																				
耐火被膜	種類	—	—	〇〇*3																																																																																				
	厚さ	mm	—	〇〇以上																																																																																				
基数	式	—	—	〇〇																																																																																				
技術基準	機能要求② 様式-6.7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																						
第五条 安全機能を有する施設の地盤	・安全機能を有する施設のうち、地震の発生によって生じるおそれがあるその安全機能の喪失に起因する放射線による公衆への影響の程度が特に大きい施設（以下「耐震重要施設」という。）及びそれらを支える建物・構築物、若しくは重大事故等対処施設のうち、常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、その供用中に大きな影響を及ぼすおそれがある地震動（以下「基準地震動」という。）による地震力が作用した場合においても、接地圧に対する十分な支持性能を有する地盤に設置する。	支持地盤：〇〇 杭の強度：〇〇N/mm ²																																																																																						
第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	・設計飛来物の貫通を防止することができる設計 ・設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計 ・設計荷重に対して、支持架構の構造健全性を維持できる設計 ・熱影響により外部火災防護対象施設の安全機能を損なわない設計	主要寸法 防護ネット線径：〇〇mm 防護ネット網目：〇〇mm 防護板厚さ：〇〇mm 支持架構たて：〇〇mm 支持架構横：〇〇mm 支持架構高さ：〇〇mm 主要材料 防護ネット：〇〇 防護板：〇〇 支持架構：〇〇 耐火被膜 種類：〇〇 厚さ：〇〇mm以上																																																																																						

仕様表記載例 (機種：ラック/ピット/棚)

既認可の仕様表				仕様表案				要求事項の整理			発電炉類似設備要目表				備考																																																																																																																																																																																															
<p>主要設備リストで展開</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>燃焼度計測前燃料仮置きラック A, B(00-0000)</td> <td>種別</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計条件</td> <td>使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値</td> <td>wt%</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>ラック格子の中心間最小距離</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">仕様</td> <td>耐震クラス</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>体/個</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>格子の中心間距離</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>内のり</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>全高</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>本体材料</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>構造図：第3.1.2.2-6図及び第3.1.2.2-7図に示す。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>				名称	燃焼度計測前燃料仮置きラック A, B(00-0000)	種別	〇〇	設計条件	使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値	wt%	〇〇	ラック格子の中心間最小距離	mm	〇〇	仕様	耐震クラス	—	〇〇	容量	体/個	〇〇	格子の中心間距離	mm	〇〇	内のり	mm	〇〇	主要寸法	全高	mm	〇〇	本体材料	—	〇〇	個数	—	—	〇〇	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>燃焼度計測前燃料仮置きラック A, B(00-0000)</td> <td>種別</td> <td>〇〇</td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計条件</td> <td>使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値</td> <td>wt%</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>ラック格子の中心間最小距離</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">仕様</td> <td>耐震クラス</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>体/個</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>格子の中心間距離</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>内のり</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>全高</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「本来材料」と記載。 *3：設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>				名称	燃焼度計測前燃料仮置きラック A, B(00-0000)	種別	〇〇	変更前	変更後	設計条件	使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値	wt%	〇〇	〇〇	〇〇	ラック格子の中心間最小距離	mm	〇〇	〇〇	〇〇	仕様	耐震クラス	—	〇〇	〇〇	〇〇	容量	体/個	〇〇	〇〇	〇〇	格子の中心間距離	mm	〇〇	〇〇	〇〇	内のり	mm	〇〇	〇〇	〇〇	主要寸法	全高	mm	〇〇	〇〇	〇〇	厚さ	mm	〇〇	〇〇	〇〇	主要材料	—	—	〇〇	〇〇	〇〇	個数	—	—	〇〇	〇〇	〇〇	取付箇所	系統名(ライン名)	—	〇〇	〇〇	〇〇	設置床	—	〇〇	〇〇	〇〇	溢水防護上の区画番号	—	—	〇〇	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	〇〇	〇〇	化学薬品防護上の区画番号	—	—	〇〇	〇〇	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	〇〇	〇〇	<table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6 様式-7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤作動又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計</td> <td>核的制限値 使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値：〇〇wt% ラック格子の中心間最小距離：〇〇mm 主要寸法(格子の中心間距離)：〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法(全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等</td> <td>・燃料仮置きラックは、適切なラック間隔を取ることにより、最大容量まで使用済燃料集集体を収納した場合でも、通常時及び燃料間距離がラック内で最小となるような厳しい状態等、技術的に見て想定されるいかなる場合でも臨界を防止する設計とする。</td> <td>容量：〇〇体/個 主要寸法 格子の中心間距離：〇〇mm 内のり：〇〇mm 全高：〇〇mm 厚さ：〇〇mm</td> </tr> </table>			技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)	第四条 核燃料物質の臨界防止	・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤作動又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計	核的制限値 使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値：〇〇wt% ラック格子の中心間最小距離：〇〇mm 主要寸法(格子の中心間距離)：〇〇mm	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法(全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m以上	第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等	・燃料仮置きラックは、適切なラック間隔を取ることにより、最大容量まで使用済燃料集集体を収納した場合でも、通常時及び燃料間距離がラック内で最小となるような厳しい状態等、技術的に見て想定されるいかなる場合でも臨界を防止する設計とする。	容量：〇〇体/個 主要寸法 格子の中心間距離：〇〇mm 内のり：〇〇mm 全高：〇〇mm 厚さ：〇〇mm	<p>(3) 使用済燃料貯蔵ラックの名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>—</td> <td colspan="2">〇〇〇〇式</td> <td colspan="2">使用済燃料貯蔵ラック*</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>量体</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>高さ</td> <td colspan="2">〇〇mm</td> <td colspan="2">〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>中心間距離</td> <td colspan="2">〇〇mm</td> <td colspan="2">〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>内のり</td> <td colspan="2">〇〇mm</td> <td colspan="2">〇〇mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>厚さ</td> <td colspan="2">〇〇mm</td> <td colspan="2">〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである「〇〇」と記載。記載内容は、設計図書による。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日付け 資序第〇〇号にて認可された工事計画の添付書類「〇〇〇〇〇〇〇〇」による。 *4：別紙「規格表」参照。 *5：〇〇〇〇〇〇設備(〇〇〇〇〇〇系、〇〇〇〇〇〇系)と兼用する。</p>				名称		変更前		変更後		種別	—	〇〇〇〇式		使用済燃料貯蔵ラック*		容量	量体	〇〇	〇〇	変更なし		主要寸法	高さ	〇〇mm		〇〇mm		中心間距離	〇〇mm		〇〇mm		内のり	〇〇mm		〇〇mm		材料	厚さ	〇〇mm		〇〇mm		数	—	〇〇	〇〇	〇〇	
名称	燃焼度計測前燃料仮置きラック A, B(00-0000)	種別	〇〇																																																																																																																																																																																																											
設計条件	使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値	wt%	〇〇																																																																																																																																																																																																											
	ラック格子の中心間最小距離	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																											
仕様	耐震クラス	—	〇〇																																																																																																																																																																																																											
	容量	体/個	〇〇																																																																																																																																																																																																											
	格子の中心間距離	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																											
	内のり	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																											
主要寸法	全高	mm	〇〇																																																																																																																																																																																																											
	本体材料	—	〇〇																																																																																																																																																																																																											
個数	—	—	〇〇																																																																																																																																																																																																											
名称	燃焼度計測前燃料仮置きラック A, B(00-0000)	種別	〇〇	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																									
設計条件	使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値	wt%	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	ラック格子の中心間最小距離	mm	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
仕様	耐震クラス	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	容量	体/個	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	格子の中心間距離	mm	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	内のり	mm	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
主要寸法	全高	mm	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	厚さ	mm	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
主要材料	—	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
個数	—	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
取付箇所	系統名(ライン名)	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	設置床	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	溢水防護上の区画番号	—	—	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
化学薬品防護上の区画番号	—	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									
技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																												
第四条 核燃料物質の臨界防止	・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤作動又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計	核的制限値 使用済燃料集集体平均濃縮度の最大値：〇〇wt% ラック格子の中心間最小距離：〇〇mm 主要寸法(格子の中心間距離)：〇〇mm																																																																																																																																																																																																												
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法(全高)：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																												
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																												
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																												
第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等	・燃料仮置きラックは、適切なラック間隔を取ることにより、最大容量まで使用済燃料集集体を収納した場合でも、通常時及び燃料間距離がラック内で最小となるような厳しい状態等、技術的に見て想定されるいかなる場合でも臨界を防止する設計とする。	容量：〇〇体/個 主要寸法 格子の中心間距離：〇〇mm 内のり：〇〇mm 全高：〇〇mm 厚さ：〇〇mm																																																																																																																																																																																																												
名称		変更前		変更後																																																																																																																																																																																																										
種別	—	〇〇〇〇式		使用済燃料貯蔵ラック*																																																																																																																																																																																																										
容量	量体	〇〇	〇〇	変更なし																																																																																																																																																																																																										
主要寸法	高さ	〇〇mm		〇〇mm																																																																																																																																																																																																										
	中心間距離	〇〇mm		〇〇mm																																																																																																																																																																																																										
	内のり	〇〇mm		〇〇mm																																																																																																																																																																																																										
材料	厚さ	〇〇mm		〇〇mm																																																																																																																																																																																																										
	数	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																									

仕様表記載例（機種：防水区画構造物）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																									
<p><既認可仕様表なし></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>—</td> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>堰</td> <td>—</td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇 T.M.S.L. 〇〇m</td> </tr> <tr> <td>洪水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>洪水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：T.M.S.L. 〇m からの高さ</p>			変更前	変更後	名称		—	〇〇〇	種類	堰	—	堰	主要寸法	高さ	mm	〇〇*1	主要材料		—	〇〇	取付箇所	系統名（ライン名）	—	—	設置床	—	〇〇 T.M.S.L. 〇〇m	洪水防護上の区画番号	—	—	洪水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	化学薬品防護上の区画番号	—	—		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6 様式-7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>・液体状の使用済燃料等が施設外へ漏えいすることを防止する設計</td> <td>主要寸法：〇mm 以上 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 洪水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇 取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 洪水防護上の区画番号：〇〇 洪水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込めの機能	・液体状の使用済燃料等が施設外へ漏えいすることを防止する設計	主要寸法：〇mm 以上 主要材料：〇〇	第十二条 洪水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇 取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 洪水防護上の区画番号：〇〇 洪水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	<p>2 内郭浸水防護設備に係る次の事項</p> <p>(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>堰</td> <td>—</td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>堰の高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上*3 *4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>床面及び壁面の塗装の範囲*4</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>堰</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>床面及び壁面の塗装*4</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL. 〇〇m*5</td> </tr> <tr> <td>洪水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>洪水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。 *2：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合の事項を記載。 *3：EL. 〇〇m からの高さ。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 cm 以上」と記載。</p>			変更前	変更後	名称		〇〇〇〇	〇〇〇〇	種類	堰	—	堰	主要寸法	堰の高さ	mm	〇〇以上*3 *4	材料	床面及び壁面の塗装の範囲*4	—	〇〇〇〇	堰	—	〇〇〇〇	取付箇所	床面及び壁面の塗装*4	—	〇〇〇〇	系統名（ライン名）	—	—	設置床	—	EL. 〇〇m*5	洪水防護上の区画番号	—	—		洪水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<p>床、壁の塗装については基本設計方針、添付書類で展開する。</p>
		変更前	変更後																																																																																										
名称		—	〇〇〇																																																																																										
種類	堰	—	堰																																																																																										
主要寸法	高さ	mm	〇〇*1																																																																																										
主要材料		—	〇〇																																																																																										
取付箇所	系統名（ライン名）	—	—																																																																																										
	設置床	—	〇〇 T.M.S.L. 〇〇m																																																																																										
	洪水防護上の区画番号	—	—																																																																																										
	洪水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																										
	化学薬品防護上の区画番号	—	—																																																																																										
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																										
技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																											
第十条 閉じ込めの機能	・液体状の使用済燃料等が施設外へ漏えいすることを防止する設計	主要寸法：〇mm 以上 主要材料：〇〇																																																																																											
第十二条 洪水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇 取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 洪水防護上の区画番号：〇〇 洪水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																											
		変更前	変更後																																																																																										
名称		〇〇〇〇	〇〇〇〇																																																																																										
種類	堰	—	堰																																																																																										
主要寸法	堰の高さ	mm	〇〇以上*3 *4																																																																																										
材料	床面及び壁面の塗装の範囲*4	—	〇〇〇〇																																																																																										
	堰	—	〇〇〇〇																																																																																										
取付箇所	床面及び壁面の塗装*4	—	〇〇〇〇																																																																																										
	系統名（ライン名）	—	—																																																																																										
	設置床	—	EL. 〇〇m*5																																																																																										
	洪水防護上の区画番号	—	—																																																																																										
	洪水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																										

仕様表記載例（機種：遮蔽設備）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																			
<p>第1.-3表 燃料加工建屋の壁厚等の主要寸法及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>添付図</th> <th>主要寸法(m)</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1.1-1図</td><td><1></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td><2></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td><3></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td><4></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td><5></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td><6></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td><7></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td><8></td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table> <p>添付図面で展開</p> <p>基本設計方針で展開</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <td>しゃへい蓋<H1></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>耐震クラス</th> <td>-</td> </tr> <tr> <th>放射線防護(しゃへい)</th> <td>しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。</td> </tr> <tr> <th>個数</th> <td>〇</td> </tr> <tr> <th>構造の種類</th> <td>本体：〇〇</td> </tr> <tr> <th>主要寸法</th> <td>厚さ：第1.-6表に示す。</td> </tr> <tr> <th>主要材料</th> <td>〇〇〇〇〇〇 密度 〇kg/m³以上</td> </tr> <tr> <th>添付図(平面図及び断面図)</th> <td>第1.1-2図及び第1.1-13図に示す。 しゃへい蓋番号は、<H1></td> </tr> <tr> <th>特記事項</th> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 対応する加工事業許可番号(日付)：平成17.04.20原第18号(平成22年5月13日)</p> <p>注2 しゃへい蓋は、開閉のため繰り返し取り扱うことから、コンクリート保護のため〇〇〇〇〇〇により被覆する。</p> <p>添付図面で展開</p> <p>第1.-6表 燃料加工建屋のしゃへい蓋のしゃへい厚及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">添付図</th> <th rowspan="2">しゃへい厚(mm)</th> <th rowspan="2">材料</th> <th colspan="2">隣接部屋番号</th> </tr> <tr> <th>線源室</th> <th>線源室外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1.1-13図</td> <td><H1></td> <td>〇〇</td> <td>103 (貯蔵容器一時保管室)</td> <td>202 (貯蔵容器投入室)</td> </tr> </tbody> </table> <p>添付図面で展開</p>	添付図	主要寸法(m)	材料	第1.1-1図	<1>	〇〇		<2>	〇〇		<3>	〇〇		<4>	〇〇		<5>	〇〇		<6>	〇〇		<7>	〇〇		<8>	〇〇		名称	しゃへい蓋<H1>	耐震クラス	-	放射線防護(しゃへい)	しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。	個数	〇	構造の種類	本体：〇〇	主要寸法	厚さ：第1.-6表に示す。	主要材料	〇〇〇〇〇〇 密度 〇kg/m ³ 以上	添付図(平面図及び断面図)	第1.1-2図及び第1.1-13図に示す。 しゃへい蓋番号は、<H1>	特記事項	-	添付図	しゃへい厚(mm)	材料	隣接部屋番号		線源室	線源室外	第1.1-13図	<H1>	〇〇	103 (貯蔵容器一時保管室)	202 (貯蔵容器投入室)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table> </td> <td> <table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階中2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table> </td> <td> <table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table> </td> <td> <table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下1階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。</p>	変更前	変更後	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階中2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下3階中2階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下1階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下1階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様(詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第二十二条 遮蔽</td> <td>様式-6 様式-7</td> <td>主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)</td> </tr> <tr> <td>直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置</td> <td>主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基準線量率を達成するため遮蔽体の設置</td> <td>主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第二十二条 遮蔽	様式-6 様式-7	主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)	直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置	主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)		基準線量率を達成するため遮蔽体の設置	主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)	<p>3. 生体遮蔽装置(一次遮蔽、二次遮蔽、中央制御室、補助遮蔽、原子炉遮蔽室)に緊急時制御室及び緊急時対策室を目的として設置するものとする。使用済燃料運搬用容器の放射線遮蔽材料、使用済燃料貯蔵用容器の放射線遮蔽材料、放射性廃棄物運搬用容器の放射線遮蔽材料及び一時貯蔵に設置するものを除く。)の名称、種類、主要寸法、冷却方法及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>主要寸法(最小厚さmm)</th> <th>冷却方法</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉遮蔽</td> <td>〇〇^(*) 〇〇^(*)</td> <td>自然冷却</td> <td>〇〇〇〇 (密度 〇〇 g/cm³以上) 〇〇(〇〇)</td> </tr> <tr> <td>二次遮蔽</td> <td>〇〇(〇〇^(*)) 〇〇(〇〇^(*)) 〇〇(〇〇^(*)) 〇〇(〇〇^(*)) 〇〇(〇〇^(*)) 〇〇(〇〇^(*)) 〇〇(〇〇^(*)) 〇〇(〇〇^(*))</td> <td>自然冷却</td> <td>〇〇〇〇 (密度 〇〇 以上)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：加工事業許可番号に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：鋼板を含む厚さ。 *3：公称値を示す。</p>	名称	主要寸法(最小厚さmm)	冷却方法	材料	原子炉遮蔽	〇〇 ^(*) 〇〇 ^(*)	自然冷却	〇〇〇〇 (密度 〇〇 g/cm ³ 以上) 〇〇(〇〇)	二次遮蔽	〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*))	自然冷却	〇〇〇〇 (密度 〇〇 以上)	<p>冷却方法は放射線による温度上昇がわずかであるため記載項目としない。</p>
添付図	主要寸法(m)	材料																																																																																																																					
第1.1-1図	<1>	〇〇																																																																																																																					
	<2>	〇〇																																																																																																																					
	<3>	〇〇																																																																																																																					
	<4>	〇〇																																																																																																																					
	<5>	〇〇																																																																																																																					
	<6>	〇〇																																																																																																																					
	<7>	〇〇																																																																																																																					
	<8>	〇〇																																																																																																																					
																																																																																																																					
名称	しゃへい蓋<H1>																																																																																																																						
耐震クラス	-																																																																																																																						
放射線防護(しゃへい)	しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。																																																																																																																						
個数	〇																																																																																																																						
構造の種類	本体：〇〇																																																																																																																						
主要寸法	厚さ：第1.-6表に示す。																																																																																																																						
主要材料	〇〇〇〇〇〇 密度 〇kg/m ³ 以上																																																																																																																						
添付図(平面図及び断面図)	第1.1-2図及び第1.1-13図に示す。 しゃへい蓋番号は、<H1>																																																																																																																						
特記事項	-																																																																																																																						
添付図	しゃへい厚(mm)	材料	隣接部屋番号																																																																																																																				
			線源室	線源室外																																																																																																																			
第1.1-13図	<H1>	〇〇	103 (貯蔵容器一時保管室)	202 (貯蔵容器投入室)																																																																																																																			
変更前	変更後																																																																																																																						
<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																														
種類	燃料加工建屋																																																																																																																						
名種	地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																																						
種類	燃料加工建屋																																																																																																																						
名種	地下3階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																																						
<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下3階中2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下3階中2階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																														
種類	燃料加工建屋																																																																																																																						
名種	地下3階中2階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																																						
種類	燃料加工建屋																																																																																																																						
名種	地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																																						
<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><td>燃料加工建屋</td></tr> <tr><th>名種</th><td>地下1階 (T.M.S.L. 〇〇m)</td></tr> </table>	種類	燃料加工建屋	名種	地下1階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																														
種類	燃料加工建屋																																																																																																																						
名種	地下2階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																																						
種類	燃料加工建屋																																																																																																																						
名種	地下1階 (T.M.S.L. 〇〇m)																																																																																																																						
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																					
第二十二条 遮蔽	様式-6 様式-7	主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)																																																																																																																					
	直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置	主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)																																																																																																																					
	基準線量率を達成するため遮蔽体の設置	主要寸法(厚さ):〇〇〇 材料:〇〇〇〇 (密度:〇〇以上)																																																																																																																					
名称	主要寸法(最小厚さmm)	冷却方法	材料																																																																																																																				
原子炉遮蔽	〇〇 ^(*) 〇〇 ^(*)	自然冷却	〇〇〇〇 (密度 〇〇 g/cm ³ 以上) 〇〇(〇〇)																																																																																																																				
二次遮蔽	〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*)) 〇〇(〇〇 ^(*))	自然冷却	〇〇〇〇 (密度 〇〇 以上)																																																																																																																				

仕様表記載例（機種：搬送設備）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																																																																																	
<p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>燃料取出し装置 A, B (00-0000)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>設計条件</td><td>核燃料物質の最大質量 〇〇</td></tr> <tr><td>仕様</td><td>主ホイス ト 〇〇 補助ホイス ト 〇〇</td></tr> <tr><td>仕様個数</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>特記事項</td><td>(1) つりワイヤの二重化を施す。 (2) フックに脱落防止機構を施す。 (3) 主ホイス トは、電源喪失時又はつかみ具駆動用の空気源喪失時にも使用済燃料集合体を保持できる構造とする。 (4) 使用済燃料集合体のつり上げ高さを〇m 以下とするインターロックを設けることにより、使用済燃料集合体のつり上げ時にその頂部までの水深を BWR 燃料集合体については〇m 以上、PWR 燃料集合体については〇m 以上確保できる。 (5) 逸走防止のインターロックを設ける。 (6) 主ホイス トには、使用済燃料集合体のつかみ不良及び荷重異常時につり上げを防止するインターロックを設ける。 (7) 使用済燃料集合体の同時取扱いを防止するインターロックを設ける。</td></tr> </table> <p>基本設計方針で展開</p> <p>構造図：第 3.1.1.3-4 図に示す。</p> <p>注記 1)：燃料取出し装置 A, B は基準地震動〇及び〇にて燃料取出しビット及び燃料仮置きビットに波及的影響を与えないように設計する。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>		名称	燃料取出し装置 A, B (00-0000)	種類	〇〇	設計条件	核燃料物質の最大質量 〇〇	仕様	主ホイス ト 〇〇 補助ホイス ト 〇〇	仕様個数	〇〇	特記事項	(1) つりワイヤの二重化を施す。 (2) フックに脱落防止機構を施す。 (3) 主ホイス トは、電源喪失時又はつかみ具駆動用の空気源喪失時にも使用済燃料集合体を保持できる構造とする。 (4) 使用済燃料集合体のつり上げ高さを〇m 以下とするインターロックを設けることにより、使用済燃料集合体のつり上げ時にその頂部までの水深を BWR 燃料集合体については〇m 以上、PWR 燃料集合体については〇m 以上確保できる。 (5) 逸走防止のインターロックを設ける。 (6) 主ホイス トには、使用済燃料集合体のつかみ不良及び荷重異常時につり上げを防止するインターロックを設ける。 (7) 使用済燃料集合体の同時取扱いを防止するインターロックを設ける。	<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>燃料取出し装置 A, B (00-0000)</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>臨界管理</td><td>核燃料物質の最大質量</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>容量</td><td>主ホイス ト</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>補助ホイス ト</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>走行レール間距離</td><td>mm 〇〇^{*1*}</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>クレーン本体ガード距離</td><td>mm 〇〇^{*1*}</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>クレーン本体ガード高さ</td><td>mm 〇〇^{*1*}</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>クレーン本体ガード幅</td><td>mm 〇〇^{*1*}</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>主要材料</td><td>ガード</td><td>〇〇^{*2*}</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個数</td><td></td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>系統名 (ライン名)</td><td></td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>設置位置</td><td></td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>溢水防護上の区画番号</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>化学薬品防護上の区画番号</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *3：本機器は、使用済燃料集合体のつり上げ高さによる停止インターロック (検出器：〇〇) を設ける。</p>		名称	燃料取出し装置 A, B (00-0000)	変更前	変更後	種類	〇〇	〇〇	〇〇	臨界管理	核燃料物質の最大質量	〇〇	〇〇	容量	主ホイス ト	〇〇	〇〇		補助ホイス ト	〇〇	〇〇	主要寸法	走行レール間距離	mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇		クレーン本体ガード距離	mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇		クレーン本体ガード高さ	mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇		クレーン本体ガード幅	mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇	主要材料	ガード	〇〇 ^{*2*}	〇〇	個数		〇〇	〇〇	系統名 (ライン名)		〇〇	〇〇	設置位置		〇〇	〇〇	取付箇所	溢水防護上の区画番号	〇〇	〇〇		溢水防護上の配慮が必要な高さ	〇〇	〇〇		化学薬品防護上の区画番号	〇〇	〇〇		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	〇〇	〇〇	<table border="1"> <tr><td>技術基準</td><td>機能要求② 様式-6,7</td><td>主な仕様 (詳細設計)</td></tr> <tr><td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td><td>・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計</td><td>核的制限値 核燃料物質の最大質量：〇〇mm</td></tr> <tr><td>第六条 地震による損傷の防止</td><td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td><td>主要寸法 走行レール間距離：〇〇mm クレーン本体ガード距離：〇〇mm 高さ：〇〇mm クレーン本体ガード幅：〇〇mm クレーン本体ガード高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇</td></tr> <tr><td>第十二条 溢水防護</td><td>・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十三条 化学薬品防護</td><td>・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十八条 搬送設備</td><td>・使用済燃料等を搬送する能力を有する設計</td><td>容量 主ホイス ト：〇〇 補助ホイス ト：〇〇</td></tr> <tr><td>許可整合</td><td></td><td></td></tr> </table>		技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第四条 核燃料物質の臨界防止	・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計	核的制限値 核燃料物質の最大質量：〇〇mm	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 走行レール間距離：〇〇mm クレーン本体ガード距離：〇〇mm 高さ：〇〇mm クレーン本体ガード幅：〇〇mm クレーン本体ガード高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十二条 溢水防護	・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第十八条 搬送設備	・使用済燃料等を搬送する能力を有する設計	容量 主ホイス ト：〇〇 補助ホイス ト：〇〇	許可整合			<p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>1 燃料取扱設備に係る次の事項</p> <p>(1) 新燃料又は使用済燃料を取り扱う機器の名称、種類、容量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所</p> <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>〇〇〇</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>〇〇〇 式</td><td>〇〇〇 式</td><td>〇〇〇 式</td></tr> <tr><td>容量</td><td>主 巻 t 〇〇〇</td><td>主 巻 t 〇〇〇</td><td>主 巻 t 〇〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>補 巻 t 〇〇〇</td><td>補 巻 t 〇〇〇</td><td>補 巻 t 〇〇〇</td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>走行レール間距離 mm 〇〇</td><td>走行レール間距離 mm 〇〇</td><td>走行レール間距離 mm 〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>クレーン本体ガード距離 mm 〇〇</td><td>クレーン本体ガード距離 mm 〇〇</td><td>クレーン本体ガード距離 mm 〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>クレーン本体ガード高さ mm 〇〇</td><td>クレーン本体ガード高さ mm 〇〇</td><td>クレーン本体ガード高さ mm 〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>クレーン本体ガード幅 mm 〇〇</td><td>クレーン本体ガード幅 mm 〇〇</td><td>クレーン本体ガード幅 mm 〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>クレーン本体ガード高さ mm 〇〇</td><td>クレーン本体ガード高さ mm 〇〇</td><td>クレーン本体ガード高さ mm 〇〇</td></tr> <tr><td>材料</td><td>ガード 〇〇〇</td><td>ガード 〇〇〇</td><td>ガード 〇〇〇</td></tr> <tr><td>個数</td><td>〇〇〇</td><td>〇〇〇</td><td>〇〇〇</td></tr> <tr><td>系統名 (ライン名)</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>設置位置 床 EL. m^{*2}</td><td>設置位置 床 EL. m^{*2}</td><td>設置位置 床 EL. m^{*2}</td></tr> <tr><td></td><td>溢水防護上の区画番号 〇〇</td><td>溢水防護上の区画番号 〇〇</td><td>溢水防護上の区画番号 〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇</td><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇</td><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇</td></tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日 付け平成 資第 号にて認可された工事計画の添付図面「第 図 構造図」による。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日 付け平成 11・06・25 資第 1 号にて認可された工事計画の添付書類「 」による。</p>		名称	〇〇〇	変更前	変更後	種類	〇〇〇 式	〇〇〇 式	〇〇〇 式	容量	主 巻 t 〇〇〇	主 巻 t 〇〇〇	主 巻 t 〇〇〇		補 巻 t 〇〇〇	補 巻 t 〇〇〇	補 巻 t 〇〇〇	主要寸法	走行レール間距離 mm 〇〇	走行レール間距離 mm 〇〇	走行レール間距離 mm 〇〇		クレーン本体ガード距離 mm 〇〇	クレーン本体ガード距離 mm 〇〇	クレーン本体ガード距離 mm 〇〇		クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇		クレーン本体ガード幅 mm 〇〇	クレーン本体ガード幅 mm 〇〇	クレーン本体ガード幅 mm 〇〇		クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	材料	ガード 〇〇〇	ガード 〇〇〇	ガード 〇〇〇	個数	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	系統名 (ライン名)	〇〇	〇〇	〇〇	取付箇所	設置位置 床 EL. m ^{*2}	設置位置 床 EL. m ^{*2}	設置位置 床 EL. m ^{*2}		溢水防護上の区画番号 〇〇	溢水防護上の区画番号 〇〇	溢水防護上の区画番号 〇〇		溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇	
名称	燃料取出し装置 A, B (00-0000)																																																																																																																																																																								
種類	〇〇																																																																																																																																																																								
設計条件	核燃料物質の最大質量 〇〇																																																																																																																																																																								
仕様	主ホイス ト 〇〇 補助ホイス ト 〇〇																																																																																																																																																																								
仕様個数	〇〇																																																																																																																																																																								
特記事項	(1) つりワイヤの二重化を施す。 (2) フックに脱落防止機構を施す。 (3) 主ホイス トは、電源喪失時又はつかみ具駆動用の空気源喪失時にも使用済燃料集合体を保持できる構造とする。 (4) 使用済燃料集合体のつり上げ高さを〇m 以下とするインターロックを設けることにより、使用済燃料集合体のつり上げ時にその頂部までの水深を BWR 燃料集合体については〇m 以上、PWR 燃料集合体については〇m 以上確保できる。 (5) 逸走防止のインターロックを設ける。 (6) 主ホイス トには、使用済燃料集合体のつかみ不良及び荷重異常時につり上げを防止するインターロックを設ける。 (7) 使用済燃料集合体の同時取扱いを防止するインターロックを設ける。																																																																																																																																																																								
名称	燃料取出し装置 A, B (00-0000)	変更前	変更後																																																																																																																																																																						
種類	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
臨界管理	核燃料物質の最大質量	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
容量	主ホイス ト	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
	補助ホイス ト	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
主要寸法	走行レール間距離	mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇																																																																																																																																																																						
	クレーン本体ガード距離	mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇																																																																																																																																																																						
	クレーン本体ガード高さ	mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇																																																																																																																																																																						
	クレーン本体ガード幅	mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇																																																																																																																																																																						
主要材料	ガード	〇〇 ^{*2*}	〇〇																																																																																																																																																																						
個数		〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
系統名 (ライン名)		〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
設置位置		〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
取付箇所	溢水防護上の区画番号	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
	化学薬品防護上の区画番号	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																							
第四条 核燃料物質の臨界防止	・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計	核的制限値 核燃料物質の最大質量：〇〇mm																																																																																																																																																																							
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 走行レール間距離：〇〇mm クレーン本体ガード距離：〇〇mm 高さ：〇〇mm クレーン本体ガード幅：〇〇mm クレーン本体ガード高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																							
第十二条 溢水防護	・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																							
第十三条 化学薬品防護	・浸水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																							
第十八条 搬送設備	・使用済燃料等を搬送する能力を有する設計	容量 主ホイス ト：〇〇 補助ホイス ト：〇〇																																																																																																																																																																							
許可整合																																																																																																																																																																									
名称	〇〇〇	変更前	変更後																																																																																																																																																																						
種類	〇〇〇 式	〇〇〇 式	〇〇〇 式																																																																																																																																																																						
容量	主 巻 t 〇〇〇	主 巻 t 〇〇〇	主 巻 t 〇〇〇																																																																																																																																																																						
	補 巻 t 〇〇〇	補 巻 t 〇〇〇	補 巻 t 〇〇〇																																																																																																																																																																						
主要寸法	走行レール間距離 mm 〇〇	走行レール間距離 mm 〇〇	走行レール間距離 mm 〇〇																																																																																																																																																																						
	クレーン本体ガード距離 mm 〇〇	クレーン本体ガード距離 mm 〇〇	クレーン本体ガード距離 mm 〇〇																																																																																																																																																																						
	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇																																																																																																																																																																						
	クレーン本体ガード幅 mm 〇〇	クレーン本体ガード幅 mm 〇〇	クレーン本体ガード幅 mm 〇〇																																																																																																																																																																						
	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇	クレーン本体ガード高さ mm 〇〇																																																																																																																																																																						
材料	ガード 〇〇〇	ガード 〇〇〇	ガード 〇〇〇																																																																																																																																																																						
個数	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇																																																																																																																																																																						
系統名 (ライン名)	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																						
取付箇所	設置位置 床 EL. m ^{*2}	設置位置 床 EL. m ^{*2}	設置位置 床 EL. m ^{*2}																																																																																																																																																																						
	溢水防護上の区画番号 〇〇	溢水防護上の区画番号 〇〇	溢水防護上の区画番号 〇〇																																																																																																																																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇																																																																																																																																																																						

仕様表記載例（機種：機械装置）

既認可の仕様表				仕様表案				要求事項の整理			発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																			
<p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>—</td><td>せん断機 (00-00)</td><td>—</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>〇〇</td><td>—</td></tr> <tr><td>設計条件</td><td>核的制限値</td><td>核燃料物質の最大質量</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="7">仕様</td><td rowspan="7">耐震</td><td>クラス</td><td>—</td></tr> <tr><td>容</td><td>—</td></tr> <tr><td>容</td><td>—</td></tr> <tr><td>量</td><td>—</td></tr> <tr><td>量</td><td>—</td></tr> <tr><td>量</td><td>—</td></tr> <tr><td>量</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">主要寸法</td><td>本体長さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>本体幅</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>本体高さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>全高</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="3">材料</td><td>せん断刃幅</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>マガジン幅</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>マガジン高さ</td><td>mm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="2">個</td><td>本体</td><td>—</td><td>〇〇¹⁾</td></tr> <tr><td>せん断刃</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個</td><td>数</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>構造図：第3.2.1.2-1図に示す。 注記 1)：〇〇相当 2)：せん断処理設備の計測制御系にせん断停止系を設ける。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>基本設計方針に展開</p>				名称	—	せん断機 (00-00)	—	種類	—	〇〇	—	設計条件	核的制限値	核燃料物質の最大質量	—	仕様	耐震	クラス	—	容	—	容	—	量	—	量	—	量	—	量	—	主要寸法	本体長さ	mm	〇〇	本体幅	mm	〇〇	本体高さ	mm	〇〇	全高	mm	〇〇	材料	せん断刃幅	mm	〇〇	マガジン幅	mm	〇〇	マガジン高さ	mm	〇〇	個	本体	—	〇〇 ¹⁾	せん断刃	—	〇〇	個	数	—	〇〇	<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>—</td><td>せん断機 (00-00)</td><td>—</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>〇〇</td><td>—</td></tr> <tr><td>臨界管理</td><td>核的制限値</td><td>核燃料物質の最大質量</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="7">内容</td><td rowspan="7">主要寸法</td><td>本体長さ</td><td>mm</td><td>〇〇¹⁾</td></tr> <tr><td>本体幅</td><td>mm</td><td>〇〇¹⁾</td></tr> <tr><td>本体高さ</td><td>mm</td><td>〇〇¹⁾</td></tr> <tr><td>全高</td><td>mm</td><td>〇〇¹⁾</td></tr> <tr><td>せん断刃幅</td><td>mm</td><td>〇〇¹⁾</td></tr> <tr><td>マガジン幅</td><td>mm</td><td>〇〇¹⁾</td></tr> <tr><td>マガジン高さ</td><td>mm</td><td>〇〇¹⁾</td></tr> <tr><td rowspan="2">主要材料</td><td>本体</td><td>—</td><td>〇〇²⁾</td></tr> <tr><td>せん断刃</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="5">個</td><td>系統名 (ライン名)</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の区画番号</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：〇〇相当</p>				名称	—	せん断機 (00-00)	—	種類	—	〇〇	—	臨界管理	核的制限値	核燃料物質の最大質量	—	内容	主要寸法	本体長さ	mm	〇〇 ¹⁾	本体幅	mm	〇〇 ¹⁾	本体高さ	mm	〇〇 ¹⁾	全高	mm	〇〇 ¹⁾	せん断刃幅	mm	〇〇 ¹⁾	マガジン幅	mm	〇〇 ¹⁾	マガジン高さ	mm	〇〇 ¹⁾	主要材料	本体	—	〇〇 ²⁾	せん断刃	—	〇〇	個	系統名 (ライン名)	—	〇〇	設置床	—	〇〇	溢水防護上の区画番号	—	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	<table border="1"> <tr><td>技術基準</td><td>機能要求②</td><td>主な仕様 (詳細設計)</td></tr> <tr><td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td><td>様式-6,7 ・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計</td><td>核的制限値 (核燃料物質の最大質量)：〇〇 容量：〇〇</td></tr> <tr><td>第六条 地震による損傷の防止</td><td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td><td>主要寸法 本体長さ：〇〇mm 本体幅：〇〇mm 本体高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇</td></tr> <tr><td>第十条 閉じ込めの機能</td><td>・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計</td><td>容量：〇〇</td></tr> <tr><td>第十二条 溢水防護</td><td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十三条 化学薬品防護</td><td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十七条 材料及び構造</td><td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計</td><td>主要寸法： 本体長さ：〇〇mm 本体幅：〇〇mm 本体高さ：〇〇mm せん断刃幅：〇〇mm マガジン幅：〇〇mm マガジン高さ：〇〇mm 主要材料： 本体：〇〇 せん断刃：〇〇</td></tr> <tr><td>許可整合</td><td></td><td></td></tr> </table>			技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第四条 核燃料物質の臨界防止	様式-6,7 ・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計	核的制限値 (核燃料物質の最大質量)：〇〇 容量：〇〇	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 本体長さ：〇〇mm 本体幅：〇〇mm 本体高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条 閉じ込めの機能	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計	容量：〇〇	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	主要寸法： 本体長さ：〇〇mm 本体幅：〇〇mm 本体高さ：〇〇mm せん断刃幅：〇〇mm マガジン幅：〇〇mm マガジン高さ：〇〇mm 主要材料： 本体：〇〇 せん断刃：〇〇	許可整合			<p><発電炉の要目表なし></p>	
名称	—	せん断機 (00-00)	—																																																																																																																																																												
種類	—	〇〇	—																																																																																																																																																												
設計条件	核的制限値	核燃料物質の最大質量	—																																																																																																																																																												
仕様	耐震	クラス	—																																																																																																																																																												
		容	—																																																																																																																																																												
		容	—																																																																																																																																																												
		量	—																																																																																																																																																												
		量	—																																																																																																																																																												
		量	—																																																																																																																																																												
		量	—																																																																																																																																																												
主要寸法	本体長さ	mm	〇〇																																																																																																																																																												
	本体幅	mm	〇〇																																																																																																																																																												
	本体高さ	mm	〇〇																																																																																																																																																												
	全高	mm	〇〇																																																																																																																																																												
材料	せん断刃幅	mm	〇〇																																																																																																																																																												
	マガジン幅	mm	〇〇																																																																																																																																																												
	マガジン高さ	mm	〇〇																																																																																																																																																												
個	本体	—	〇〇 ¹⁾																																																																																																																																																												
	せん断刃	—	〇〇																																																																																																																																																												
個	数	—	〇〇																																																																																																																																																												
名称	—	せん断機 (00-00)	—																																																																																																																																																												
種類	—	〇〇	—																																																																																																																																																												
臨界管理	核的制限値	核燃料物質の最大質量	—																																																																																																																																																												
内容	主要寸法	本体長さ	mm	〇〇 ¹⁾																																																																																																																																																											
		本体幅	mm	〇〇 ¹⁾																																																																																																																																																											
		本体高さ	mm	〇〇 ¹⁾																																																																																																																																																											
		全高	mm	〇〇 ¹⁾																																																																																																																																																											
		せん断刃幅	mm	〇〇 ¹⁾																																																																																																																																																											
		マガジン幅	mm	〇〇 ¹⁾																																																																																																																																																											
		マガジン高さ	mm	〇〇 ¹⁾																																																																																																																																																											
主要材料	本体	—	〇〇 ²⁾																																																																																																																																																												
	せん断刃	—	〇〇																																																																																																																																																												
個	系統名 (ライン名)	—	〇〇																																																																																																																																																												
	設置床	—	〇〇																																																																																																																																																												
	溢水防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																																																												
	化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																																																												
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																																																													
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																													
第四条 核燃料物質の臨界防止	様式-6,7 ・運転時に予想される機械若しくは器具の単一の故障若しくはその誤動作又は運転員の単一の誤操作が起きた場合に、核燃料物質が臨界に達するおそれがない設計	核的制限値 (核燃料物質の最大質量)：〇〇 容量：〇〇																																																																																																																																																													
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 本体長さ：〇〇mm 本体幅：〇〇mm 本体高さ：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																													
第十条 閉じ込めの機能	・使用済燃料等を系統若しくは機器に閉じ込める設計	容量：〇〇																																																																																																																																																													
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																													
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																													
第十七条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	主要寸法： 本体長さ：〇〇mm 本体幅：〇〇mm 本体高さ：〇〇mm せん断刃幅：〇〇mm マガジン幅：〇〇mm マガジン高さ：〇〇mm 主要材料： 本体：〇〇 せん断刃：〇〇																																																																																																																																																													
許可整合																																																																																																																																																															

仕様表記載例（機種：核物質取扱ボックス）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考	
<p>基本設計方針で展開</p> <p>主要設備リストで展開</p>						<p><発電炉の要目表なし></p>			
名	脱硝装置グローブボックス A, B (00-0000)	名	燃料取出し装置 A, B (00-0000)	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)			
種	脱硝装置	種	燃料取出し装置	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基礎地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：○○mm 横：○○mm 高さ：○○mm 全高：○○mm			
設計条件	耐震クラス 最高使用圧力 MPa 最高使用温度 °C 放射線防護(しゃへい) 漏えい液受皿部 機器の種類	設計条件	耐震クラス 最高使用圧力 MPa 最高使用温度 °C 漏れ率 vol%/h 開口部風速 m/s	第十条 閉じ込めの機能	・内部を常時負圧状態に維持し得るものであり、かつ、給気口及び排気口を除き、密閉することができる設計	漏れ率：○○vol%/h			
仕様	主要寸法 たて mm 横 mm 高さ mm 全高 mm 漏えい液受皿部 深さ mm 本体板厚さ mm 主要材料 本体部 漏えい液受皿部 しゃへい体 個	仕様	主要寸法 たて mm 横 mm 高さ mm 全高 mm 本体部 視窓部 漏えい液受皿部 しゃへい体 個	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上			
特記事項	(1) グローブボックスの気密性は漏えい率○○vol%/h以下とする。 (2) 高密度ポリエチレンを使用するしゃへい体の操作面は、視窓を除きステンレス鋼で被覆する。	注記	*1：公称値を示す。 *2：開口部を設けない設備のため、開口部風速は記載しない。 *3：臨界管理を必要としない設備のため、核的制限値を記載しない。	第十三条 化学薬品防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 化学薬品防護上の区画番号：○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上			
注記	1)：漏えい液受皿部深さも含む。 2)：JIS K 6748 の規定による。 3)：給気口及び排気口を除き密閉することができる構造とする。 4)：本グローブボックスは○○及び○○と接続している。	取付箇所	系統名(ライン名) 設置床 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ 化学薬品防護上の区画番号 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	第二十七条 遮蔽	・基準線量率を達成するため遮蔽体の設置	しゃへい体 材料：○○ 厚さ：○○mm 密度：○○g/cm ³			
	添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除			許可整合					

仕様表記載例（機種：変圧器）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																												
<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>非常用動力用変圧器 A, B (00-000-00, 00)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>設計条件</td><td>耐震クラス 〇〇</td></tr> <tr><td>仕様</td><td>主要寸法 高さ mm 〇〇</td></tr> <tr><td>個数</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>構造図：第 3.2.1.1.12-12 図に示す。</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <p>添付書類に位置づけを変更したため、記載を削除。</p>	名称	非常用動力用変圧器 A, B (00-000-00, 00)	種類	〇〇	設計条件	耐震クラス 〇〇	仕様	主要寸法 高さ mm 〇〇	個数	〇〇	<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>非常用動力用変圧器 A, B (00-000-00, 00)</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td>容量</td><td>kVA 〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td>電圧</td><td>一次 V 〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>二次 V 〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td>周波数</td><td>Hz 〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td>結線法</td><td>一次 〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>二次 〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td>冷却法</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>幅 mm 〇〇^{*1*}</td><td>〇〇^{*1*}</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>奥行 mm 〇〇^{*1*}</td><td>〇〇^{*1*}</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>高さ mm 〇〇^{*1*}</td><td>〇〇^{*1*}</td><td></td></tr> <tr><td>個数</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>系統名 (ライン名) 〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>設置床 〇〇</td><td>〇〇</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>溢水防護上の区画番号</td><td>-</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>-</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>化学薬品防護上の区画番号</td><td>-</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td><td>-</td><td>〇〇</td></tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>	名称	非常用動力用変圧器 A, B (00-000-00, 00)	変更前	変更後	種類	〇〇	〇〇		容量	kVA 〇〇	〇〇		電圧	一次 V 〇〇	〇〇			二次 V 〇〇	〇〇		周波数	Hz 〇〇	〇〇		結線法	一次 〇〇	〇〇			二次 〇〇	〇〇		冷却法	〇〇	〇〇		主要寸法	幅 mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇 ^{*1*}			奥行 mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇 ^{*1*}			高さ mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇 ^{*1*}		個数	〇〇	〇〇		取付箇所	系統名 (ライン名) 〇〇	〇〇			設置床 〇〇	〇〇			溢水防護上の区画番号	-	〇〇		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	〇〇		化学薬品防護上の区画番号	-	〇〇		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	〇〇	<table border="1"> <tr><th>技術基準</th><th>機能要求②</th><th>主な仕様 (詳細設計)</th></tr> <tr><td>第六条 地震による損傷の防止</td><td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td><td>主要寸法 幅：〇〇mm 奥行：〇〇mm 高さ：〇〇mm</td></tr> <tr><td>第十二条 溢水防護</td><td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十三条 化学薬品防護</td><td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第二十九条 保安電源設備 第四十六条 電源設備</td><td>・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保</td><td>容量：〇〇kVA 電圧 一次：〇〇V 二次：〇〇V 周波数：〇〇Hz 結線法 一次：〇〇 二次：〇〇 冷却法：〇〇</td></tr> <tr><td>第三十六条 重大事故等対処設備</td><td>・想定される重大事故等の取束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。</td><td></td></tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 幅：〇〇mm 奥行：〇〇mm 高さ：〇〇mm	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第二十九条 保安電源設備 第四十六条 電源設備	・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保	容量：〇〇kVA 電圧 一次：〇〇V 二次：〇〇V 周波数：〇〇Hz 結線法 一次：〇〇 二次：〇〇 冷却法：〇〇	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の取束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。		<p>(1) 変圧器の種類、容量、電圧（一次、二次及び三次の別に記載し、電圧調整装置を有するもの場合は、電圧調整範囲及びタップ数を付記すること。）、相、周波数、結線法、冷却法、個数及び取付箇所並びに電気事業の用に供するものにあつては、常用及び予備の別</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2"></th><th>変更前^{*3}</th><th>変更後</th></tr> <tr><td>名称</td><td>主要変圧器</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>種類</td><td>屋外用三相二巻線外鉄無圧密封式</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>容量</td><td>kVA</td><td>1300000</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="3">電圧</td><td>一次 kV^{*1}</td><td>18.525^{*1}</td><td></td></tr> <tr><td>二次 kV</td><td>F293.75/F287.5/F281.25/R275</td><td></td></tr> <tr><td>三次 kV</td><td>-</td><td></td></tr> <tr><td>相</td><td></td><td>3</td><td>変更なし</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>Hz</td><td>50</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="3">結線法</td><td>一次</td><td>三角形</td><td></td></tr> <tr><td>二次</td><td>星形</td><td></td></tr> <tr><td>三次</td><td>-</td><td></td></tr> <tr><td colspan="2"></td><th>変更前^{*3}</th><th>変更後</th></tr> <tr><td rowspan="2">個数</td><td>常用</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>予備</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">取付箇所</td><td>系統名 (ライン名)</td><td>主要変圧器</td><td>変更なし</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>屋外 EL 約 8 m^{*2}</td><td></td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>-</td><td></td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>-</td><td></td></tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「18,525V」と記載。 *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *3：記載内容は、既工事計画書（平成 23 年 11 月 4 日付け発室発第 298 号工事計画届出書）による。なお、本工事計画書は、届け出した工事計画に対して基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。</p>			変更前 ^{*3}	変更後	名称	主要変圧器			種類	屋外用三相二巻線外鉄無圧密封式			容量	kVA	1300000		電圧	一次 kV ^{*1}	18.525 ^{*1}		二次 kV	F293.75/F287.5/F281.25/R275		三次 kV	-		相		3	変更なし	周波数	Hz	50		結線法	一次	三角形		二次	星形		三次	-				変更前 ^{*3}	変更後	個数	常用	1		予備	0		取付箇所	系統名 (ライン名)	主要変圧器	変更なし	設置床	屋外 EL 約 8 m ^{*2}		溢水防護上の区画番号	-		溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		<p>〇〇のため、〇〇を仕様表項目に記載していない。</p>
名称	非常用動力用変圧器 A, B (00-000-00, 00)																																																																																																																																																																															
種類	〇〇																																																																																																																																																																															
設計条件	耐震クラス 〇〇																																																																																																																																																																															
仕様	主要寸法 高さ mm 〇〇																																																																																																																																																																															
個数	〇〇																																																																																																																																																																															
名称	非常用動力用変圧器 A, B (00-000-00, 00)	変更前	変更後																																																																																																																																																																													
種類	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
容量	kVA 〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
電圧	一次 V 〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
	二次 V 〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
周波数	Hz 〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
結線法	一次 〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
	二次 〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
冷却法	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
主要寸法	幅 mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																																																														
	奥行 mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																																																														
	高さ mm 〇〇 ^{*1*}	〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																																																														
個数	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
取付箇所	系統名 (ライン名) 〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
	設置床 〇〇	〇〇																																																																																																																																																																														
	溢水防護上の区画番号	-	〇〇																																																																																																																																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	〇〇																																																																																																																																																																													
	化学薬品防護上の区画番号	-	〇〇																																																																																																																																																																													
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	〇〇																																																																																																																																																																													
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																														
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 幅：〇〇mm 奥行：〇〇mm 高さ：〇〇mm																																																																																																																																																																														
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																														
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																														
第二十九条 保安電源設備 第四十六条 電源設備	・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保	容量：〇〇kVA 電圧 一次：〇〇V 二次：〇〇V 周波数：〇〇Hz 結線法 一次：〇〇 二次：〇〇 冷却法：〇〇																																																																																																																																																																														
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の取束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。																																																																																																																																																																															
		変更前 ^{*3}	変更後																																																																																																																																																																													
名称	主要変圧器																																																																																																																																																																															
種類	屋外用三相二巻線外鉄無圧密封式																																																																																																																																																																															
容量	kVA	1300000																																																																																																																																																																														
電圧	一次 kV ^{*1}	18.525 ^{*1}																																																																																																																																																																														
	二次 kV	F293.75/F287.5/F281.25/R275																																																																																																																																																																														
	三次 kV	-																																																																																																																																																																														
相		3	変更なし																																																																																																																																																																													
周波数	Hz	50																																																																																																																																																																														
結線法	一次	三角形																																																																																																																																																																														
	二次	星形																																																																																																																																																																														
	三次	-																																																																																																																																																																														
		変更前 ^{*3}	変更後																																																																																																																																																																													
個数	常用	1																																																																																																																																																																														
	予備	0																																																																																																																																																																														
取付箇所	系統名 (ライン名)	主要変圧器	変更なし																																																																																																																																																																													
	設置床	屋外 EL 約 8 m ^{*2}																																																																																																																																																																														
	溢水防護上の区画番号	-																																																																																																																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-																																																																																																																																																																														

仕様表記載例（機種：受電開閉設備用遮断器）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																												
<p><既認可仕様表なし></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>受電変圧器用遮断器 (00-000-00) *2</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>kV</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">個</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称	受電変圧器用遮断器 (00-000-00) *2	〇〇	〇〇	種類	—	〇〇	〇〇	電圧	kV	〇〇	〇〇	電流	A	〇〇	〇〇	主要寸法	幅	mm	〇〇*1	奥行	mm	〇〇*1	高さ	mm	〇〇*1	個	系統名 (ライン名)	—	〇〇	設置床	—	〇〇	溢水防護上の区画番号	—	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 幅：〇〇mm 奥行：〇〇mm 高さ：〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第二十九条 保安電源設備 第四十六条 電源設備</td> <td>・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保</td> <td>電圧：〇〇kV 電流：〇〇A</td> </tr> <tr> <td>第三十六条 重大事故等対処設備</td> <td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 幅：〇〇mm 奥行：〇〇mm 高さ：〇〇mm	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第二十九条 保安電源設備 第四十六条 電源設備	・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保	電圧：〇〇kV 電流：〇〇A	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量		<p>(1) 遮断器の種類、電圧、電流、遮断電流、遮断時間、個数及び取付箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>変更前</th> <th>変更後*6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td colspan="2">線路用 275kV 遮断器*1</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>屋内用空気しゃ断器</td> <td></td> <td>ガス遮断器</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>kV*2</td> <td>300</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td>4000</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>遮断電流*3</td> <td>kA*4</td> <td>31.5*4</td> <td></td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>遮断時間*5</td> <td>サイクル*5</td> <td>2*5</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>線路用 275kV 遮断器</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>275kV 超高压開閉所 EL. 8.20 m*5</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				変更前	変更後*6	名称	線路用 275kV 遮断器*1			変更なし	種類	—	屋内用空気しゃ断器		ガス遮断器	電圧	kV*2	300		変更なし	電流	A	4000		変更なし	遮断電流*3	kA*4	31.5*4		50	遮断時間*5	サイクル*5	2*5		変更なし	個数	—	2		変更なし	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	線路用 275kV 遮断器	変更なし	設置床	—	275kV 超高压開閉所 EL. 8.20 m*5	変更なし	溢水防護上の区画番号	—	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	—	<p>〇〇のため、〇〇を仕様表項目に記載していない。</p>
		変更前	変更後																																																																																																																													
名称	受電変圧器用遮断器 (00-000-00) *2	〇〇	〇〇																																																																																																																													
種類	—	〇〇	〇〇																																																																																																																													
電圧	kV	〇〇	〇〇																																																																																																																													
電流	A	〇〇	〇〇																																																																																																																													
主要寸法	幅	mm	〇〇*1																																																																																																																													
	奥行	mm	〇〇*1																																																																																																																													
	高さ	mm	〇〇*1																																																																																																																													
個	系統名 (ライン名)	—	〇〇																																																																																																																													
	設置床	—	〇〇																																																																																																																													
	溢水防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																													
	化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																													
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																																																														
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																														
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 幅：〇〇mm 奥行：〇〇mm 高さ：〇〇mm																																																																																																																														
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																																																														
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																																																														
第二十九条 保安電源設備 第四十六条 電源設備	・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保	電圧：〇〇kV 電流：〇〇A																																																																																																																														
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量																																																																																																																															
			変更前	変更後*6																																																																																																																												
名称	線路用 275kV 遮断器*1			変更なし																																																																																																																												
種類	—	屋内用空気しゃ断器		ガス遮断器																																																																																																																												
電圧	kV*2	300		変更なし																																																																																																																												
電流	A	4000		変更なし																																																																																																																												
遮断電流*3	kA*4	31.5*4		50																																																																																																																												
遮断時間*5	サイクル*5	2*5		変更なし																																																																																																																												
個数	—	2		変更なし																																																																																																																												
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	線路用 275kV 遮断器	変更なし																																																																																																																												
	設置床	—	275kV 超高压開閉所 EL. 8.20 m*5	変更なし																																																																																																																												
	溢水防護上の区画番号	—	—	—																																																																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	—																																																																																																																												
<p>注記 *1：公称値を示す。 *2：設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>																																																																																																																																
<p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「線路用 275 K V しゃ断器」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「K V」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「しゃ断容量」と記載。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「15, 000 M V A」と記載。記載内容は設計図書による。 *5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *6：線路用 275kV 遮断器については取替えを実施する。</p>																																																																																																																																

仕様表記載例（機種：電源盤）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																													
<table border="1" data-bbox="103 304 712 457"> <tr> <td>名称</td> <td>6.9kV 非常用メタクラ A, B (00-00)</td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td>耐震クラス - ○○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">仕様</td> <td>用途 - ○○</td> </tr> <tr> <td>電圧 V - ○○</td> </tr> <tr> <td>主要寸法 高さ mm - ○○</td> </tr> <tr> <td>個数 - ○○</td> </tr> </table> <p data-bbox="103 472 400 493">構造図：第 3.2.1.1.11-11 図に示す。</p> <div data-bbox="489 514 712 714"> <p>主要設備リストで展開。</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>添付書類に位置づけ変更したため、記載を削除</p> </div>	名称	6.9kV 非常用メタクラ A, B (00-00)	設計条件	耐震クラス - ○○	仕様	用途 - ○○	電圧 V - ○○	主要寸法 高さ mm - ○○	個数 - ○○	<table border="1" data-bbox="736 283 1347 682"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>6.9kV 非常用メタクラ A, B (00-00)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>A</td> <td>○○^{*1}</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅 mm</td> <td>○○^{*1*2}</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>奥行 mm</td> <td>○○^{*1*2}</td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td>○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="736 688 1347 745">注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称	6.9kV 非常用メタクラ A, B (00-00)			電圧	V	○○		電流	A	○○ ^{*1}		主要寸法	幅 mm	○○ ^{*1*2}	変更なし	奥行 mm	○○ ^{*1*2}	高さ mm	○○	個数		○○		取付箇所	系統名(ライン名)	○○		設置床	○○		溢水防護上の区画番号	-	○○	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	○○	化学薬品防護上の区画番号	-	○○	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	○○	<table border="1" data-bbox="1371 304 1982 1050"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様(詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 幅：○○mm 奥行：○○mm 高さ：○○mm</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 化学薬品防護上の区画番号：○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上</td> </tr> <tr> <td>第二十九条 保安電源設備</td> <td>・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保</td> <td>電圧：○○V 電流：○○A</td> </tr> <tr> <td>第三十六条 重大事故等対処設備</td> <td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四十六条 電源設備</td> <td>・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 幅：○○mm 奥行：○○mm 高さ：○○mm	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 化学薬品防護上の区画番号：○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上	第二十九条 保安電源設備	・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保	電圧：○○V 電流：○○A	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。		第四十六条 電源設備	・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計		<p data-bbox="2006 283 2653 787"><発電炉の要目表なし> 以下発電炉の基本設計方針抜粋 4 非常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格 (1) 基本設計方針 第2章 個別項目 1. 非常用電源設備の電源系統 1.2 代替所内電気系統 (省略) これとは別に上記3 系統の非常用母線等の機能が喪失したことにより発生する重大事故等の対応に必要な設備に電力を給電する代替所内電気設備として、緊急用断路器(6900V, 1200Aのものを1 個)、緊急用メタルクラッド開閉装置(6900V, 1200Aのものを1個)、緊急用動力変圧器(2000kVA, 6900/480Vのものを1個)、緊急用パワーセンタ(480V, 3000Aのものを1個)、緊急用モータコントロールセンタ(480V, 800Aのものを3個)、可搬型代替低圧電源車接続盤(交流入出力(480V, 1600A)、可搬型整流器交流入力(210V, 600A)、可搬型整流器直流出力(150V, 400A)のものを2 個)、緊急用計装交流主母線盤(50 kVA, 480/240-120Vのものを1個)、緊急用直流125V 充電器(125V, 700Aのものを1個)、可搬型整流器用変圧器(150kVA, 480/210Vのものを2個)、可搬型代替直流電源設備用電源切替盤(125V, 400Aのものを1個)、緊急用直流125V 主母線盤(125V, 1200Aのものを1個)、緊急用直流125Vモータコントロールセンタ(125V, 400Aのものを1個)、緊急用直流125V計装分電盤(125V, 400Aのものを1個)、緊急用無停電電源装置、緊急用無停電計装分電盤(120V, 400Aのものを1個)、緊急用電源切替盤(緊急用交流電源切替盤(480V, 65Aのものを2個)、緊急用直流電源切替盤(125V, 120Aのものを1個)、緊急用直流計装電源切替盤(125V, 50Aのものを2個)、緊急用無停電計装電源切替盤(120V, 50Aのものを1個))を使用できる設計とする。</p>	
名称	6.9kV 非常用メタクラ A, B (00-00)																																																																																
設計条件	耐震クラス - ○○																																																																																
仕様	用途 - ○○																																																																																
	電圧 V - ○○																																																																																
	主要寸法 高さ mm - ○○																																																																																
個数 - ○○																																																																																	
		変更前	変更後																																																																														
名称	6.9kV 非常用メタクラ A, B (00-00)																																																																																
電圧	V	○○																																																																															
電流	A	○○ ^{*1}																																																																															
主要寸法	幅 mm	○○ ^{*1*2}	変更なし																																																																														
	奥行 mm	○○ ^{*1*2}																																																																															
	高さ mm	○○																																																																															
個数		○○																																																																															
取付箇所	系統名(ライン名)	○○																																																																															
	設置床	○○																																																																															
	溢水防護上の区画番号	-	○○																																																																														
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	○○																																																																														
	化学薬品防護上の区画番号	-	○○																																																																														
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	○○																																																																															
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																															
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 幅：○○mm 奥行：○○mm 高さ：○○mm																																																																															
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上																																																																															
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 化学薬品防護上の区画番号：○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上																																																																															
第二十九条 保安電源設備	・非常用電源設備及びその付属設備における容量の確保	電圧：○○V 電流：○○A																																																																															
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量 ・接続口は、コネクタ式に統一することにより、速やかに、かつ、確実に現場での接続が可能な設計とする。																																																																																
第四十六条 電源設備	・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計																																																																																

仕様表記載例（機種：発電機（内燃機関））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>基本設計方針で展開。 主要設備リストで展開。</p> <p>(4) 第2非常用ディーゼル発電機 (4.1) 内燃機関</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>ディーゼル機関A, B (〇〇)</td> </tr> <tr> <td>設計条件 耐震クラス</td> <td>As</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>4サイクルたて形18気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>用途</td> <td>非常用</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>〇〇 kW/台</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>〇〇 rpm</td> </tr> <tr> <td>起動時間</td> <td>〇〇 以内</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>調速種類</td> <td>油圧式</td> </tr> <tr> <td>装置個数</td> <td>2 (機関1台につき1)</td> </tr> <tr> <td>非常調速装置種類</td> <td>電気 - 空気式</td> </tr> <tr> <td>装置個数</td> <td>2 (機関1台につき1)</td> </tr> <tr> <td>過給機種類</td> <td>排気タービン式</td> </tr> <tr> <td>出口の圧力</td> <td>〇〇 MPa (最大連続回転時)</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>〇〇 rpm (最大連続回転時)</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>4 (機関1台につき2)</td> </tr> <tr> <td>主要寸法 高さ</td> <td>〇〇 mm</td> </tr> </table> <p>構造図：第3巻2.1.12-10図に示す。</p> <p>ディーゼル機関の仕様を示すため、関連機器である調速装置及び非常調速装置については削除する。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	名称	ディーゼル機関A, B (〇〇)	設計条件 耐震クラス	As	種類	4サイクルたて形18気筒ディーゼル機関	用途	非常用	出力	〇〇 kW/台	回転数	〇〇 rpm	起動時間	〇〇 以内	個数	2	調速種類	油圧式	装置個数	2 (機関1台につき1)	非常調速装置種類	電気 - 空気式	装置個数	2 (機関1台につき1)	過給機種類	排気タービン式	出口の圧力	〇〇 MPa (最大連続回転時)	回転数	〇〇 rpm (最大連続回転時)	個数	4 (機関1台につき2)	主要寸法 高さ	〇〇 mm	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>ディーゼル機関 (〇〇)</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/台</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>rpm</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>起動時間</td> <td>秒</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>燃料種類</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>燃料使用量</td> <td>L/h</td> <td>〇〇^{*2}</td> <td>〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td>過給機種類</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>出口の圧力</td> <td>MPa</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>rpm</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>主要寸法 高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	変更前		変更後		名称	ディーゼル機関 (〇〇)	〇〇	〇〇	種類	〇〇	〇〇	〇〇	出力	kW/台	〇〇	〇〇	回転数	rpm	〇〇	〇〇	起動時間	秒	〇〇	〇〇	燃料種類	〇〇	〇〇	〇〇	燃料使用量	L/h	〇〇 ^{*2}	〇〇 ^{*2}	過給機種類	〇〇	〇〇	〇〇	出口の圧力	MPa	〇〇	〇〇	回転数	rpm	〇〇	〇〇	個数	〇〇	〇〇	〇〇	主要寸法 高さ	mm	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}	系統名 (ライン名)	〇〇	〇〇	〇〇	設置床	〇〇	〇〇	〇〇	溢水防護上の区画番号	-	-	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	〇〇	化学薬品防護上の区画番号	-	-	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第二十九条 保安電源設備</td> <td>・外部電源系統からの電気の供給が停止した場合における、再処理施設の安全性を確保するために必要な設備の機能維持に必要な内燃機関を原動力とする発電設備又はこれと同等以上の機能を有する非常用電源設備の設置 ・設計基準事故時において安全上重要な施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために7日間の外部電源喪失を仮定しても、非常用ディーゼル発電機の連続運転により電力を供給できる設計とする。</td> <td>エンジン： 出力：〇〇kW/台 回転数：〇〇rpm 起動時間：〇〇秒 個数：〇〇 過給機 出口の圧力：〇〇MPa 回転数：〇〇rpm 個数：〇〇 燃料の種類：〇〇 燃料の使用量：〇〇L/h</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上	第十三条 化学薬品防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上	第二十九条 保安電源設備	・外部電源系統からの電気の供給が停止した場合における、再処理施設の安全性を確保するために必要な設備の機能維持に必要な内燃機関を原動力とする発電設備又はこれと同等以上の機能を有する非常用電源設備の設置 ・設計基準事故時において安全上重要な施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために7日間の外部電源喪失を仮定しても、非常用ディーゼル発電機の連続運転により電力を供給できる設計とする。	エンジン： 出力：〇〇kW/台 回転数：〇〇rpm 起動時間：〇〇秒 個数：〇〇 過給機 出口の圧力：〇〇MPa 回転数：〇〇rpm 個数：〇〇 燃料の種類：〇〇 燃料の使用量：〇〇L/h	<p>2.3 常設代替高圧電源装置 (2) 内燃機関に係る次の事項 イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="6">常設代替高圧電源装置 内燃機関</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td colspan="6">4サイクル空冷直接噴射式 16気筒ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td colspan="6">1450</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min⁻¹</td> <td colspan="6">1500</td> </tr> <tr> <td>燃料種類</td> <td></td> <td colspan="6">軽油</td> </tr> <tr> <td>燃料使用量</td> <td>L/h/個</td> <td>397</td> <td colspan="4"></td> <td>411</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td colspan="6">6 (発電機1個当たり1)</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td></td> <td>No.1常設代替高圧電源装置 内燃機関</td> <td>No.2常設代替高圧電源装置 内燃機関</td> <td>No.3常設代替高圧電源装置 内燃機関</td> <td>No.4常設代替高圧電源装置 内燃機関</td> <td>No.5常設代替高圧電源装置 内燃機関</td> <td>No.6常設代替高圧電源装置 内燃機関</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m</td> <td>常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m</td> <td>常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m</td> <td>常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m</td> <td>常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m</td> <td>常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>HP-1-1</td> <td>HP-1-1</td> <td>HP-1-2</td> <td>HP-1-2</td> <td>HP-1-3</td> <td>HP-1-3</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>EL.11.80 m 以上</td> <td>EL.11.80 m 以上</td> <td>EL.11.80 m 以上</td> <td>EL.11.80 m 以上</td> <td>EL.11.80 m 以上</td> <td>EL.11.80 m 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(続き)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td colspan="2">排気ガスタービン式</td> </tr> <tr> <td>出口の圧力</td> <td>kPa</td> <td>168.0</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min⁻¹</td> <td>90000</td> <td>81000</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td colspan="2">24 (機関1個当たり4)</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td colspan="2">機関と同じ</td> </tr> </tbody> </table>	変更前		変更後						名称		常設代替高圧電源装置 内燃機関						種類		4サイクル空冷直接噴射式 16気筒ディーゼル機関						出力	kW/個	1450						回転速度	min ⁻¹	1500						燃料種類		軽油						燃料使用量	L/h/個	397					411	個数		6 (発電機1個当たり1)						系統名 (ライン名)		No.1常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.2常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.3常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.4常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.5常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.6常設代替高圧電源装置 内燃機関	設置床		常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	溢水防護上の区画番号		HP-1-1	HP-1-1	HP-1-2	HP-1-2	HP-1-3	HP-1-3	溢水防護上の配慮が必要な高さ		EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	変更前		変更後		種類		排気ガスタービン式		出口の圧力	kPa	168.0	290	回転速度	min ⁻¹	90000	81000	個数		24 (機関1個当たり4)		取付箇所		機関と同じ		
名称	ディーゼル機関A, B (〇〇)																																																																																																																																																																																																																																																								
設計条件 耐震クラス	As																																																																																																																																																																																																																																																								
種類	4サイクルたて形18気筒ディーゼル機関																																																																																																																																																																																																																																																								
用途	非常用																																																																																																																																																																																																																																																								
出力	〇〇 kW/台																																																																																																																																																																																																																																																								
回転数	〇〇 rpm																																																																																																																																																																																																																																																								
起動時間	〇〇 以内																																																																																																																																																																																																																																																								
個数	2																																																																																																																																																																																																																																																								
調速種類	油圧式																																																																																																																																																																																																																																																								
装置個数	2 (機関1台につき1)																																																																																																																																																																																																																																																								
非常調速装置種類	電気 - 空気式																																																																																																																																																																																																																																																								
装置個数	2 (機関1台につき1)																																																																																																																																																																																																																																																								
過給機種類	排気タービン式																																																																																																																																																																																																																																																								
出口の圧力	〇〇 MPa (最大連続回転時)																																																																																																																																																																																																																																																								
回転数	〇〇 rpm (最大連続回転時)																																																																																																																																																																																																																																																								
個数	4 (機関1台につき2)																																																																																																																																																																																																																																																								
主要寸法 高さ	〇〇 mm																																																																																																																																																																																																																																																								
変更前		変更後																																																																																																																																																																																																																																																							
名称	ディーゼル機関 (〇〇)	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
出力	kW/台	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
回転数	rpm	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
起動時間	秒	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
燃料種類	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
燃料使用量	L/h	〇〇 ^{*2}	〇〇 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																						
過給機種類	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
出口の圧力	MPa	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
回転数	rpm	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
個数	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
主要寸法 高さ	mm	〇〇 ^{*1}	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																																						
系統名 (ライン名)	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
設置床	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
溢水防護上の区画番号	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
化学薬品防護上の区画番号	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																							
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm																																																																																																																																																																																																																																																							
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																																																																							
第十三条 化学薬品防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上																																																																																																																																																																																																																																																							
第二十九条 保安電源設備	・外部電源系統からの電気の供給が停止した場合における、再処理施設の安全性を確保するために必要な設備の機能維持に必要な内燃機関を原動力とする発電設備又はこれと同等以上の機能を有する非常用電源設備の設置 ・設計基準事故時において安全上重要な施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために7日間の外部電源喪失を仮定しても、非常用ディーゼル発電機の連続運転により電力を供給できる設計とする。	エンジン： 出力：〇〇kW/台 回転数：〇〇rpm 起動時間：〇〇秒 個数：〇〇 過給機 出口の圧力：〇〇MPa 回転数：〇〇rpm 個数：〇〇 燃料の種類：〇〇 燃料の使用量：〇〇L/h																																																																																																																																																																																																																																																							
変更前		変更後																																																																																																																																																																																																																																																							
名称		常設代替高圧電源装置 内燃機関																																																																																																																																																																																																																																																							
種類		4サイクル空冷直接噴射式 16気筒ディーゼル機関																																																																																																																																																																																																																																																							
出力	kW/個	1450																																																																																																																																																																																																																																																							
回転速度	min ⁻¹	1500																																																																																																																																																																																																																																																							
燃料種類		軽油																																																																																																																																																																																																																																																							
燃料使用量	L/h/個	397					411																																																																																																																																																																																																																																																		
個数		6 (発電機1個当たり1)																																																																																																																																																																																																																																																							
系統名 (ライン名)		No.1常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.2常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.3常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.4常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.5常設代替高圧電源装置 内燃機関	No.6常設代替高圧電源装置 内燃機関																																																																																																																																																																																																																																																		
設置床		常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m	常設代替高圧電源装置場 EL.11.00 m																																																																																																																																																																																																																																																		
溢水防護上の区画番号		HP-1-1	HP-1-1	HP-1-2	HP-1-2	HP-1-3	HP-1-3																																																																																																																																																																																																																																																		
溢水防護上の配慮が必要な高さ		EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上	EL.11.80 m 以上																																																																																																																																																																																																																																																		
変更前		変更後																																																																																																																																																																																																																																																							
種類		排気ガスタービン式																																																																																																																																																																																																																																																							
出口の圧力	kPa	168.0	290																																																																																																																																																																																																																																																						
回転速度	min ⁻¹	90000	81000																																																																																																																																																																																																																																																						
個数		24 (機関1個当たり4)																																																																																																																																																																																																																																																							
取付箇所		機関と同じ																																																																																																																																																																																																																																																							

仕様表記載例（機種：発電機）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																															
<p>基本設計方針で展開。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>—</td><td>同期発電機 A, B (00-0000)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>設計条件</td><td>耐震クラス</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="10">仕様</td><td>用途</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>容量</td><td>kVA/台 〇〇</td></tr> <tr><td>力率</td><td>— 〇〇</td></tr> <tr><td>電圧</td><td>V 〇〇</td></tr> <tr><td>相</td><td>— 〇〇</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>Hz 〇〇</td></tr> <tr><td>回転数</td><td>rpm 〇〇</td></tr> <tr><td>結線法</td><td>— 〇〇</td></tr> <tr><td>冷却法</td><td>— 〇〇</td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>高さ mm 〇〇</td></tr> <tr><td>個数</td><td>— 〇〇</td></tr> </table> <p>構造図：第 3.2.1.1.12-11 図に示す。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	名称	—	同期発電機 A, B (00-0000)	種類	—	〇〇	設計条件	耐震クラス	〇〇	仕様	用途	〇〇	容量	kVA/台 〇〇	力率	— 〇〇	電圧	V 〇〇	相	— 〇〇	周波数	Hz 〇〇	回転数	rpm 〇〇	結線法	— 〇〇	冷却法	— 〇〇	主要寸法	高さ mm 〇〇	個数	— 〇〇	<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>—</td><td>同期発電機 A, B (00-0000)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>容量</td><td>量</td><td>kVA/台 〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="2">主要寸法</td><td>たて</td><td>mm 〇〇^{*1*}</td></tr> <tr><td>横</td><td>mm 〇〇^{*1*}</td></tr> <tr><td rowspan="2">高さ</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1*}</td></tr> <tr><td>mm</td><td>〇〇^{*1*}</td></tr> <tr><td>力率</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>電圧</td><td>V</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>相</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>Hz</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>回転数</td><td>rpm</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>結線法</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>冷却法</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="4">取付箇所</td><td>系統名 (ライン名)</td><td>— 〇〇</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>— 〇〇</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>— 〇〇</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>— 〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="2">化学薬品防護上の区画番号</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ</td><td>— 〇〇</td></tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。</p>	名称	—	同期発電機 A, B (00-0000)	種類	—	〇〇	容量	量	kVA/台 〇〇	主要寸法	たて	mm 〇〇 ^{*1*}	横	mm 〇〇 ^{*1*}	高さ	mm	〇〇 ^{*1*}	mm	〇〇 ^{*1*}	力率	—	〇〇	電圧	V	〇〇	相	—	〇〇	周波数	Hz	〇〇	回転数	rpm	〇〇	結線法	—	〇〇	冷却法	—	〇〇	個数	—	〇〇	取付箇所	系統名 (ライン名)	— 〇〇	設置床	— 〇〇	溢水防護上の区画番号	— 〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	— 〇〇	化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	— 〇〇	<table border="1"> <tr><td>技術基準</td><td>機能要求②</td><td>主な仕様 (詳細設計)</td></tr> <tr><td>様式-6,7</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>第六条 地震による損傷の防止</td><td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td><td>主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm</td></tr> <tr><td>第十二条 溢水防護</td><td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第十三条 化学薬品防護</td><td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td></tr> <tr><td>第二十九条 保安電源設備</td><td>・外部電源系統からの電気の供給が停止した場合における、再処理施設の安全性を確保するために必要な設備の機能維持に必要な内燃機関を原動力とする発電設備又はこれと同等以上の機能を有する非常用電源設備の設置</td><td>容量：〇〇kVA/台 力率：〇〇 電圧：〇〇V 相：〇〇 周波数：〇〇Hz 回転数：〇〇rpm 結線法：〇〇 冷却法：〇〇 個数：〇〇</td></tr> <tr><td>第三十六条 重大事故等対処設備</td><td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量</td><td></td></tr> <tr><td>第四十六条 電源設備</td><td>・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計</td><td></td></tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7			第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第二十九条 保安電源設備	・外部電源系統からの電気の供給が停止した場合における、再処理施設の安全性を確保するために必要な設備の機能維持に必要な内燃機関を原動力とする発電設備又はこれと同等以上の機能を有する非常用電源設備の設置	容量：〇〇kVA/台 力率：〇〇 電圧：〇〇V 相：〇〇 周波数：〇〇Hz 回転数：〇〇rpm 結線法：〇〇 冷却法：〇〇 個数：〇〇	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量		第四十六条 電源設備	・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計		<p>発電機の種類、機種、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <table border="1"> <tr><td>名称</td><td>—</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>非常用ディーゼル発電機*</td><td>—</td></tr> <tr><td>容量</td><td>量</td><td>kVA/個** 6500</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="2">主要寸法</td><td>たて</td><td>mm 4955** **</td><td>—</td></tr> <tr><td>横</td><td>mm 4200** **</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="2">高さ</td><td>mm</td><td>3240** **</td><td>—</td></tr> <tr><td>mm</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>力率</td><td>%**</td><td>80**</td><td>—</td></tr> <tr><td>電圧</td><td>V</td><td>6900</td><td>—</td></tr> <tr><td>相</td><td>—</td><td>3**</td><td>—</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>Hz</td><td>50</td><td>—</td></tr> <tr><td>回転速度**</td><td>min**</td><td>429</td><td>—</td></tr> <tr><td>結線法</td><td>—</td><td>星形</td><td>—</td></tr> <tr><td>冷却方法**</td><td>—</td><td>空風冷却</td><td>—</td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>2</td><td>—</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>系統名 (ライン名)</td><td>—</td><td>2C 非常用ディーゼル発電機*</td><td>2D 非常用ディーゼル発電機**</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>変更なし</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>CS-B1-5 CS-B1-3</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>EL.0.70 m 以上 EL.0.70 m 以上</td></tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既設申請書には「発電機」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既設申請書には「kVA」と記載。 *3：既設申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4：公称値を示す。 *5：既設申請書に記載がないため記載の適正化を行う。 *6：記載の適正化を行う。既設申請書には「0.80」と記載。 *7：記載の適正化を行う。既設申請書には「三相」と記載。 *8：記載の適正化を行う。既設申請書には「回転数」と記載。 *9：記載の適正化を行う。既設申請書には「r.p.m」と記載。 *10：記載の適正化を行う。既設申請書には「冷却法」と記載。</p>	名称	—	変更前	変更後	種類	—	非常用ディーゼル発電機*	—	容量	量	kVA/個** 6500	—	主要寸法	たて	mm 4955** **	—	横	mm 4200** **	—	高さ	mm	3240** **	—	mm	—	—	力率	%**	80**	—	電圧	V	6900	—	相	—	3**	—	周波数	Hz	50	—	回転速度**	min**	429	—	結線法	—	星形	—	冷却方法**	—	空風冷却	—	個数	—	2	—	系統名 (ライン名)	—	2C 非常用ディーゼル発電機*	2D 非常用ディーゼル発電機**	変更後	設置床	—	—	—	変更なし	溢水防護上の区画番号	—	—	—	CS-B1-5 CS-B1-3	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	—	EL.0.70 m 以上 EL.0.70 m 以上	<p>備考</p>
名称	—	同期発電機 A, B (00-0000)																																																																																																																																																																																																	
種類	—	〇〇																																																																																																																																																																																																	
設計条件	耐震クラス	〇〇																																																																																																																																																																																																	
仕様	用途	〇〇																																																																																																																																																																																																	
	容量	kVA/台 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	力率	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	電圧	V 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	相	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	周波数	Hz 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	回転数	rpm 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	結線法	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	冷却法	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	主要寸法	高さ mm 〇〇																																																																																																																																																																																																	
個数	— 〇〇																																																																																																																																																																																																		
名称	—	同期発電機 A, B (00-0000)																																																																																																																																																																																																	
種類	—	〇〇																																																																																																																																																																																																	
容量	量	kVA/台 〇〇																																																																																																																																																																																																	
主要寸法	たて	mm 〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																																																																																	
	横	mm 〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																																																																																	
高さ	mm	〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																																																																																	
	mm	〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																																																																																	
力率	—	〇〇																																																																																																																																																																																																	
電圧	V	〇〇																																																																																																																																																																																																	
相	—	〇〇																																																																																																																																																																																																	
周波数	Hz	〇〇																																																																																																																																																																																																	
回転数	rpm	〇〇																																																																																																																																																																																																	
結線法	—	〇〇																																																																																																																																																																																																	
冷却法	—	〇〇																																																																																																																																																																																																	
個数	—	〇〇																																																																																																																																																																																																	
取付箇所	系統名 (ライン名)	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	設置床	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	溢水防護上の区画番号	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
化学薬品防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																																																																																																																																	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	— 〇〇																																																																																																																																																																																																	
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																	
様式-6,7																																																																																																																																																																																																			
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm																																																																																																																																																																																																	
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																																																	
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																																																	
第二十九条 保安電源設備	・外部電源系統からの電気の供給が停止した場合における、再処理施設の安全性を確保するために必要な設備の機能維持に必要な内燃機関を原動力とする発電設備又はこれと同等以上の機能を有する非常用電源設備の設置	容量：〇〇kVA/台 力率：〇〇 電圧：〇〇V 相：〇〇 周波数：〇〇Hz 回転数：〇〇rpm 結線法：〇〇 冷却法：〇〇 個数：〇〇																																																																																																																																																																																																	
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量																																																																																																																																																																																																		
第四十六条 電源設備	・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計																																																																																																																																																																																																		
名称	—	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																
種類	—	非常用ディーゼル発電機*	—																																																																																																																																																																																																
容量	量	kVA/個** 6500	—																																																																																																																																																																																																
主要寸法	たて	mm 4955** **	—																																																																																																																																																																																																
	横	mm 4200** **	—																																																																																																																																																																																																
高さ	mm	3240** **	—																																																																																																																																																																																																
	mm	—	—																																																																																																																																																																																																
力率	%**	80**	—																																																																																																																																																																																																
電圧	V	6900	—																																																																																																																																																																																																
相	—	3**	—																																																																																																																																																																																																
周波数	Hz	50	—																																																																																																																																																																																																
回転速度**	min**	429	—																																																																																																																																																																																																
結線法	—	星形	—																																																																																																																																																																																																
冷却方法**	—	空風冷却	—																																																																																																																																																																																																
個数	—	2	—																																																																																																																																																																																																
系統名 (ライン名)	—	2C 非常用ディーゼル発電機*	2D 非常用ディーゼル発電機**	変更後																																																																																																																																																																																															
設置床	—	—	—	変更なし																																																																																																																																																																																															
溢水防護上の区画番号	—	—	—	CS-B1-5 CS-B1-3																																																																																																																																																																																															
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	—	EL.0.70 m 以上 EL.0.70 m 以上																																																																																																																																																																																															

仕様表記載例（機種：電気設備（1号無停電電源装置））

既認可の仕様表		仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考
【認可番号：平成22・07・23原第6号 平成22年8月12日】					
表-1 (2/2) 非常用設備の仕様（非常用電源設備 無停電電源装置）					
技術基準に 対する 仕様	警報設備等	—			
	廃棄施設	—			
	放射線管理施設	—			
	非常用電源設備	1号無停電電源装置 A-2 及び B-2 は、外部電源瞬時電圧降下又は外部電源喪失時に、シリング圧力の計測制御回路等安全に必要な計測制御装置に連続して電電力を供給する。			
その他事業許可で求める仕様	—				
添付図	図-1~5				

該当しないため、記載を削除。

基本設計方針で展開。

該当しないため、記載を削除。

仕様表記載例（機種：電力貯蔵装置（蓄電池））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																							
<p>基本設計方針で展開。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <p>(4) 非常用直流電源設備 (4.1) 蓄電池</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td>110V第2非常用蓄電池A1, B1</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>〇〇〇〇 式据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td>耐震クラス</td> <td>A s</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">仕様</td> <td>用途</td> <td>非常用系</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah 〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V 〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>主要寸法 高さ</td> <td>mm 〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>〇</td> </tr> </table> <p>構造図：第3.2.1.1.11-13図及び第3.2.1.1.11-14図に示す。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	名称	-	110V第2非常用蓄電池A1, B1	種類	-	〇〇〇〇 式据置鉛蓄電池	設計条件	耐震クラス	A s	仕様	用途	非常用系	容量	Ah 〇〇〇	電圧	V 〇〇〇	主要寸法 高さ	mm 〇〇〇	個数	-	〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td>110V第2非常用蓄電池 (00-00-00)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td></td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td></td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm 〇〇^{*1*}</td> <td>mm 〇〇^{*1*}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 〇〇^{*2*}</td> <td>mm 〇〇^{*2*}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 〇〇^{*1*}</td> <td>mm 〇〇^{*1*}</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>化学薬品防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工事申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称		110V第2非常用蓄電池 (00-00-00)		種類		〇〇	〇〇	容量		〇〇	〇〇	電圧		〇〇	〇〇	主要寸法	たて	mm 〇〇 ^{*1*}	mm 〇〇 ^{*1*}	横	mm 〇〇 ^{*2*}	mm 〇〇 ^{*2*}	高さ	mm 〇〇 ^{*1*}	mm 〇〇 ^{*1*}	取付箇所	系統名(ライン名)	-	〇〇	設置床	-	〇〇	溢水防護上の区画番号	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	化学薬品防護上の区画番号	-	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様(詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>様式-6,7 ・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第二十九条 保安電源設備</td> <td>・再処理施設の安全性を確保するために特に必要な設備に対する無停電電源装置又はこれと同等以上の機能を有する設備の設置</td> <td>容量：〇〇Ah 電圧：〇〇V 個数：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第三十六条 重大事故等対処設備</td> <td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四十六条 電源設備</td> <td>・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	様式-6,7 ・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第二十九条 保安電源設備	・再処理施設の安全性を確保するために特に必要な設備に対する無停電電源装置又はこれと同等以上の機能を有する設備の設置	容量：〇〇Ah 電圧：〇〇V 個数：〇〇	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量		第四十六条 電源設備	・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計		<p>(2) 電力貯蔵装置の名称、種類、容量、電圧、主要寸法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。） ・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> <td>緊急用125V系蓄電池</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td></td> <td>制御弁式据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah/組</td> <td></td> <td>6000 (10時間率)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td>125^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>組</td> <td>-</td> <td>1 (1組当たり120個)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>緊急用125V系蓄電池</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>EL. 8.20 m / EL. 10.50 m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>EW-1-7</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>EL. 8.20 m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：通常運転時、充電器にて浮動充電電圧を133.8 V±2%に維持する。 *2：公称値を示す。 *3：() 内は架台数を示す。</p>			変更前	変更後	名称			緊急用125V系蓄電池	種類			制御弁式据置鉛蓄電池	容量	Ah/組		6000 (10時間率)	電圧	V		125 ^{*1}	主要寸法	たて	mm	mm	横	mm	mm	高さ	mm	mm	個数	組	-	1 (1組当たり120個)	取付箇所	系統名(ライン名)	-	緊急用125V系蓄電池	設置床	-	EL. 8.20 m / EL. 10.50 m	溢水防護上の区画番号	-	EW-1-7	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	EL. 8.20 m以上	<p>備考</p>
名称	-	110V第2非常用蓄電池A1, B1																																																																																																																																									
種類	-	〇〇〇〇 式据置鉛蓄電池																																																																																																																																									
設計条件	耐震クラス	A s																																																																																																																																									
仕様	用途	非常用系																																																																																																																																									
	容量	Ah 〇〇〇																																																																																																																																									
	電圧	V 〇〇〇																																																																																																																																									
	主要寸法 高さ	mm 〇〇〇																																																																																																																																									
	個数	-	〇																																																																																																																																								
		変更前	変更後																																																																																																																																								
名称		110V第2非常用蓄電池 (00-00-00)																																																																																																																																									
種類		〇〇	〇〇																																																																																																																																								
容量		〇〇	〇〇																																																																																																																																								
電圧		〇〇	〇〇																																																																																																																																								
主要寸法	たて	mm 〇〇 ^{*1*}	mm 〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																								
	横	mm 〇〇 ^{*2*}	mm 〇〇 ^{*2*}																																																																																																																																								
	高さ	mm 〇〇 ^{*1*}	mm 〇〇 ^{*1*}																																																																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	-	〇〇																																																																																																																																								
	設置床	-	〇〇																																																																																																																																								
	溢水防護上の区画番号	-	-																																																																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-																																																																																																																																								
	化学薬品防護上の区画番号	-	-																																																																																																																																								
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																									
第六条 地震による損傷の防止	様式-6,7 ・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm																																																																																																																																									
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																																																									
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																																																									
第二十九条 保安電源設備	・再処理施設の安全性を確保するために特に必要な設備に対する無停電電源装置又はこれと同等以上の機能を有する設備の設置	容量：〇〇Ah 電圧：〇〇V 個数：〇〇																																																																																																																																									
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量																																																																																																																																										
第四十六条 電源設備	・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計																																																																																																																																										
		変更前	変更後																																																																																																																																								
名称			緊急用125V系蓄電池																																																																																																																																								
種類			制御弁式据置鉛蓄電池																																																																																																																																								
容量	Ah/組		6000 (10時間率)																																																																																																																																								
電圧	V		125 ^{*1}																																																																																																																																								
主要寸法	たて	mm	mm																																																																																																																																								
	横	mm	mm																																																																																																																																								
	高さ	mm	mm																																																																																																																																								
個数	組	-	1 (1組当たり120個)																																																																																																																																								
取付箇所	系統名(ライン名)	-	緊急用125V系蓄電池																																																																																																																																								
	設置床	-	EL. 8.20 m / EL. 10.50 m																																																																																																																																								
	溢水防護上の区画番号	-	EW-1-7																																																																																																																																								
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	EL. 8.20 m以上																																																																																																																																								

仕様表記載例（機種：電力貯蔵装置（充電器盤））

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																												
<p>基本設計方針で展開。</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>110V 非常用充電器盤 A, B (00-000-0)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td>耐震クラス 〇〇</td> </tr> <tr> <td>仕様</td> <td>用途 〇〇</td> </tr> <tr> <td>交流入力</td> <td>相 〇〇</td> </tr> <tr> <td>交流入力</td> <td>周波数 Hz 〇〇</td> </tr> <tr> <td>交流入力</td> <td>電圧 V 〇〇</td> </tr> <tr> <td>直流出力</td> <td>電圧 V 〇〇</td> </tr> <tr> <td>直流出力</td> <td>電流 A 〇〇</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ mm 〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>構造図：第 3.2.1.1.12-4 図及び第 3.2.1.1.12-5 図に示す</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>		名称	110V 非常用充電器盤 A, B (00-000-0)	種類	〇〇	設計条件	耐震クラス 〇〇	仕様	用途 〇〇	交流入力	相 〇〇	交流入力	周波数 Hz 〇〇	交流入力	電圧 V 〇〇	直流出力	電圧 V 〇〇	直流出力	電流 A 〇〇	主要寸法	高さ mm 〇〇	個数	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>110V 非常用充電器盤 A, B (00-000-0)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交流入力</td> <td>相 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交流入力</td> <td>周波数 Hz 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交流入力</td> <td>電圧 V 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>直流出力</td> <td>電圧 V 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>直流出力</td> <td>電流 A 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ mm 〇〇^{*1}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名) 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>化学薬品防護上の区画番号 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>化学薬品防護上の配慮が必要な高さ 〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>		変更前		変更後		名称	110V 非常用充電器盤 A, B (00-000-0)			種類	〇〇			交流入力	相 〇〇			交流入力	周波数 Hz 〇〇			交流入力	電圧 V 〇〇			直流出力	電圧 V 〇〇			直流出力	電流 A 〇〇			主要寸法	高さ mm 〇〇 ^{*1}			個数	〇〇			取付箇所	系統名 (ライン名) 〇〇			取付箇所	設置床 〇〇			取付箇所	溢水防護上の区画番号 〇〇			取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇			取付箇所	化学薬品防護上の区画番号 〇〇			取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ 〇〇			<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第十三条 化学薬品防護</td> <td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第二十九条 保安電源設備</td> <td>・再処理施設の安全性を確保するために特に必要な設備に対する無停電電源装置又はこれと同等以上の機能を有する設備の設置</td> <td>交流入力 相：〇〇 周波数：〇〇Hz 電圧：〇〇V 直流出力 電圧：〇〇V 電流：〇〇A</td> </tr> <tr> <td>第三十六条 重大事故等対処設備</td> <td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四十六条 電源設備</td> <td>・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上	第二十九条 保安電源設備	・再処理施設の安全性を確保するために特に必要な設備に対する無停電電源装置又はこれと同等以上の機能を有する設備の設置	交流入力 相：〇〇 周波数：〇〇Hz 電圧：〇〇V 直流出力 電圧：〇〇V 電流：〇〇A	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量		第四十六条 電源設備	・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計		<p><発電炉の要目表なし></p>			
名称	110V 非常用充電器盤 A, B (00-000-0)																																																																																																																			
種類	〇〇																																																																																																																			
設計条件	耐震クラス 〇〇																																																																																																																			
仕様	用途 〇〇																																																																																																																			
交流入力	相 〇〇																																																																																																																			
交流入力	周波数 Hz 〇〇																																																																																																																			
交流入力	電圧 V 〇〇																																																																																																																			
直流出力	電圧 V 〇〇																																																																																																																			
直流出力	電流 A 〇〇																																																																																																																			
主要寸法	高さ mm 〇〇																																																																																																																			
個数	〇〇																																																																																																																			
変更前		変更後																																																																																																																		
名称	110V 非常用充電器盤 A, B (00-000-0)																																																																																																																			
種類	〇〇																																																																																																																			
交流入力	相 〇〇																																																																																																																			
交流入力	周波数 Hz 〇〇																																																																																																																			
交流入力	電圧 V 〇〇																																																																																																																			
直流出力	電圧 V 〇〇																																																																																																																			
直流出力	電流 A 〇〇																																																																																																																			
主要寸法	高さ mm 〇〇 ^{*1}																																																																																																																			
個数	〇〇																																																																																																																			
取付箇所	系統名 (ライン名) 〇〇																																																																																																																			
取付箇所	設置床 〇〇																																																																																																																			
取付箇所	溢水防護上の区画番号 〇〇																																																																																																																			
取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ 〇〇																																																																																																																			
取付箇所	化学薬品防護上の区画番号 〇〇																																																																																																																			
取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ 〇〇																																																																																																																			
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																		
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 たて：〇〇mm 横：〇〇mm 高さ：〇〇mm																																																																																																																		
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																		
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 化学薬品防護上の区画番号：〇〇 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L 〇〇〇m 以上																																																																																																																		
第二十九条 保安電源設備	・再処理施設の安全性を確保するために特に必要な設備に対する無停電電源装置又はこれと同等以上の機能を有する設備の設置	交流入力 相：〇〇 周波数：〇〇Hz 電圧：〇〇V 直流出力 電圧：〇〇V 電流：〇〇A																																																																																																																		
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量																																																																																																																			
第四十六条 電源設備	・重大事故等に対処するために必要な電力を確保するために必要な容量を有する設計																																																																																																																			

仕様表記載例（機種：計装／放管設備(計測装置)）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																												
<p>主要設備リストで展開</p> <table border="1"> <tr><td>名</td><td>称</td><td>-</td><td>モニタリングポスト</td></tr> <tr><td>設計条件</td><td>耐震クラス</td><td>-</td><td>○○</td></tr> <tr><td rowspan="5">仕様</td><td>検出器の種類</td><td>-</td><td>○○^{*1}</td></tr> <tr><td>計測範囲</td><td>μ Gy/h</td><td>○○~○○</td></tr> <tr><td>警報動作範囲</td><td>μ Gy/h</td><td>○○~○○</td></tr> <tr><td>検出器個数</td><td>-</td><td>○○</td></tr> <tr><td>表示場所</td><td>-</td><td>○○</td></tr> </table> <p>*1：使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設に係る設備で申請。</p> <p>基本設計方針で展開</p>	名	称	-	モニタリングポスト	設計条件	耐震クラス	-	○○	仕様	検出器の種類	-	○○ ^{*1}	計測範囲	μ Gy/h	○○~○○	警報動作範囲	μ Gy/h	○○~○○	検出器個数	-	○○	表示場所	-	○○	<table border="1"> <tr><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>モニタリングポスト</td><td></td></tr> <tr><td>検出器の種類</td><td>○○</td></tr> <tr><td>計測範囲</td><td>μ Gy/h</td></tr> <tr><td>警報動作範囲</td><td>μ Gy/h</td></tr> <tr><td>個数¹</td><td>○○</td></tr> </table> <p>変更なし</p>	変更前	変更後	モニタリングポスト		検出器の種類	○○	計測範囲	μ Gy/h	警報動作範囲	μ Gy/h	個数 ¹	○○	<table border="1"> <tr><td>技術基準</td><td>機能要求②</td><td>主な仕様(詳細設計)</td></tr> <tr><td>第四条 臨界防止</td><td>・溶解槽並びに臨界事故を想定した場合に、従事者に著しい放射線被ばくをもたらすおそれのあるセル及び室の周辺には、臨界の発生を直ちに検知するため臨界警報装置を設置する</td><td></td></tr> <tr><td>第十条 閉じ込めの機能</td><td>・漏えい検知装置により漏えいを検知し、漏えいの拡大を防止する設計</td><td></td></tr> <tr><td>第十二条 溢水防護</td><td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名（ライン名）：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上</td></tr> <tr><td>第十三条 化学薬品防護</td><td>・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td><td>取付箇所： 系統名（ライン名）：○○ 設置床：○○ 化学薬品防護上の区画番号：○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上</td></tr> <tr><td>第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等</td><td>・燃焼度計測装置を用いて使用済燃料集合体の平均濃度を測定する設計。 ・漏えい検知装置を用いて漏えいを検知する設計</td><td></td></tr> <tr><td>第二十条 計測制御系統施設</td><td>・再処理施設の運転時、停止時及び運転時の異常な過渡変化時において、安全機能を有する施設の健全性を確保するために必要なパラメータを想定される範囲内に制御できるとともに、想定される範囲内で監視できる設計</td><td></td></tr> <tr><td>第二十一条 放射線管理施設</td><td>・測定値を中央制御室並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室の環境監視盤において指示及び記録し、空間放射線量率又は放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えたときは、環境監視盤において警報を発する設計</td><td>検出器の種類：○○ 計測範囲：○○~○○ μ Gy/h 警報動作範囲：○○~○○ μ Gy/h 個数：○○ 設置床：（監視・記録は○○）</td></tr> <tr><td>第三十六条 重大事故等対処設備</td><td>・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計</td><td></td></tr> <tr><td>第四十五条 重大事故等への対処に必要な水の供給設備</td><td>・水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、再処理施設の運転中又は停止中に、水位を定期的に確認することができる設計</td><td></td></tr> <tr><td>第四十七条 計装設備</td><td>・重要計器及び重要代替計器は、再処理施設の状態を推定するための計測範囲を有する設計とする</td><td></td></tr> <tr><td>第四十九条 監視測定設備</td><td>・重大事故等が発生した場合に、再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録する設計。</td><td></td></tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第四条 臨界防止	・溶解槽並びに臨界事故を想定した場合に、従事者に著しい放射線被ばくをもたらすおそれのあるセル及び室の周辺には、臨界の発生を直ちに検知するため臨界警報装置を設置する		第十条 閉じ込めの機能	・漏えい検知装置により漏えいを検知し、漏えいの拡大を防止する設計		第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上	第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：○○ 設置床：○○ 化学薬品防護上の区画番号：○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上	第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等	・燃焼度計測装置を用いて使用済燃料集合体の平均濃度を測定する設計。 ・漏えい検知装置を用いて漏えいを検知する設計		第二十条 計測制御系統施設	・再処理施設の運転時、停止時及び運転時の異常な過渡変化時において、安全機能を有する施設の健全性を確保するために必要なパラメータを想定される範囲内に制御できるとともに、想定される範囲内で監視できる設計		第二十一条 放射線管理施設	・測定値を中央制御室並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室の環境監視盤において指示及び記録し、空間放射線量率又は放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えたときは、環境監視盤において警報を発する設計	検出器の種類：○○ 計測範囲：○○~○○ μ Gy/h 警報動作範囲：○○~○○ μ Gy/h 個数：○○ 設置床：（監視・記録は○○）	第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計		第四十五条 重大事故等への対処に必要な水の供給設備	・水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、再処理施設の運転中又は停止中に、水位を定期的に確認することができる設計		第四十七条 計装設備	・重要計器及び重要代替計器は、再処理施設の状態を推定するための計測範囲を有する設計とする		第四十九条 監視測定設備	・重大事故等が発生した場合に、再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録する設計。		<p>(3) 固定式測定モニタリング設備の名称、検出器の種類、計測範囲、取付箇所（監視・記録の場所を付記すること。）及び個数</p> <table border="1"> <tr><td>名</td><td>称</td><td>変更前</td><td>変更後</td></tr> <tr><td>検出器の種類</td><td>-</td><td>モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用）^{*1}</td><td>電離箱^{*2}</td></tr> <tr><td>計測範囲</td><td>-</td><td>シンチレーション^{*2}</td><td>10⁰~10² μ Gy/h</td></tr> <tr><td>警報動作範囲</td><td>-</td><td>10⁰~10² μ Gy/h^{*2}</td><td>10⁰~10² Gy/h^{*2}</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>系統名（ライン名）</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>-</td><td>屋外 E.L.約4 m, E.L.約8m, E.L.約17 m, E.L.約25 m</td><td>発電所周辺監視区域境界近傍（監視・記録は中央制御室）^{*4}</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>-</td><td>4^{*5}</td><td>4^{*5}</td></tr> <tr><td>個数</td><td>-</td><td>4^{*5}</td><td>4^{*5}</td></tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「モニタリングポスト（東海発電所と共用）」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「シンチレーション及び電離箱」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「計測範囲内で可変」と記載。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「発電所周辺監視区域境界近傍に4箇所設置（監視・記録は中央制御室にて行う）」と記載。 *5：モニタリング・ポストは4箇所あり、モニタリング・ポスト1箇所あたりの検出器の個数は「1」である。</p>	名	称	変更前	変更後	検出器の種類	-	モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用） ^{*1}	電離箱 ^{*2}	計測範囲	-	シンチレーション ^{*2}	10 ⁰ ~10 ² μ Gy/h	警報動作範囲	-	10 ⁰ ~10 ² μ Gy/h ^{*2}	10 ⁰ ~10 ² Gy/h ^{*2}	取付箇所	系統名（ライン名）	-	-	設置床	-	屋外 E.L.約4 m, E.L.約8m, E.L.約17 m, E.L.約25 m	発電所周辺監視区域境界近傍（監視・記録は中央制御室） ^{*4}	溢水防護上の区画番号	-	-	-	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	4 ^{*5}	4 ^{*5}	個数	-	4 ^{*5}	4 ^{*5}	
名	称	-	モニタリングポスト																																																																																																													
設計条件	耐震クラス	-	○○																																																																																																													
仕様	検出器の種類	-	○○ ^{*1}																																																																																																													
	計測範囲	μ Gy/h	○○~○○																																																																																																													
	警報動作範囲	μ Gy/h	○○~○○																																																																																																													
	検出器個数	-	○○																																																																																																													
	表示場所	-	○○																																																																																																													
変更前	変更後																																																																																																															
モニタリングポスト																																																																																																																
検出器の種類	○○																																																																																																															
計測範囲	μ Gy/h																																																																																																															
警報動作範囲	μ Gy/h																																																																																																															
個数 ¹	○○																																																																																																															
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																														
第四条 臨界防止	・溶解槽並びに臨界事故を想定した場合に、従事者に著しい放射線被ばくをもたらすおそれのあるセル及び室の周辺には、臨界の発生を直ちに検知するため臨界警報装置を設置する																																																																																																															
第十条 閉じ込めの機能	・漏えい検知装置により漏えいを検知し、漏えいの拡大を防止する設計																																																																																																															
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上																																																																																																														
第十三条 化学薬品防護	・没液の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：○○ 設置床：○○ 化学薬品防護上の区画番号：○○ 化学薬品防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上																																																																																																														
第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等	・燃焼度計測装置を用いて使用済燃料集合体の平均濃度を測定する設計。 ・漏えい検知装置を用いて漏えいを検知する設計																																																																																																															
第二十条 計測制御系統施設	・再処理施設の運転時、停止時及び運転時の異常な過渡変化時において、安全機能を有する施設の健全性を確保するために必要なパラメータを想定される範囲内に制御できるとともに、想定される範囲内で監視できる設計																																																																																																															
第二十一条 放射線管理施設	・測定値を中央制御室並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室の環境監視盤において指示及び記録し、空間放射線量率又は放射能レベルがあらかじめ設定した値を超えたときは、環境監視盤において警報を発する設計	検出器の種類：○○ 計測範囲：○○~○○ μ Gy/h 警報動作範囲：○○~○○ μ Gy/h 個数：○○ 設置床：（監視・記録は○○）																																																																																																														
第三十六条 重大事故等対処設備	・想定される重大事故等の収束に必要な個数及び容量を有する設計																																																																																																															
第四十五条 重大事故等への対処に必要な水の供給設備	・水供給設備の第1貯水槽及び第2貯水槽は、再処理施設の運転中又は停止中に、水位を定期的に確認することができる設計																																																																																																															
第四十七条 計装設備	・重要計器及び重要代替計器は、再処理施設の状態を推定するための計測範囲を有する設計とする																																																																																																															
第四十九条 監視測定設備	・重大事故等が発生した場合に、再処理施設から大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視し、及び測定し、並びにその結果を記録する設計。																																																																																																															
名	称	変更前	変更後																																																																																																													
検出器の種類	-	モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用） ^{*1}	電離箱 ^{*2}																																																																																																													
計測範囲	-	シンチレーション ^{*2}	10 ⁰ ~10 ² μ Gy/h																																																																																																													
警報動作範囲	-	10 ⁰ ~10 ² μ Gy/h ^{*2}	10 ⁰ ~10 ² Gy/h ^{*2}																																																																																																													
取付箇所	系統名（ライン名）	-	-																																																																																																													
設置床	-	屋外 E.L.約4 m, E.L.約8m, E.L.約17 m, E.L.約25 m	発電所周辺監視区域境界近傍（監視・記録は中央制御室） ^{*4}																																																																																																													
溢水防護上の区画番号	-	-	-																																																																																																													
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	4 ^{*5}	4 ^{*5}																																																																																																													
個数	-	4 ^{*5}	4 ^{*5}																																																																																																													

仕様表記載例（機種：容器）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																			
MOX 施設の既認可に仕様表なし	<table border="1"> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td>グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット (PA000)</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>L/個</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使用圧力 MPa</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使用温度 °C</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>外</td> <td>径 mm</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>さ mm</td> </tr> <tr> <td>胴</td> <td>部 厚 さ mm</td> </tr> <tr> <td>底</td> <td>部 厚 さ mm</td> </tr> <tr> <td>主</td> <td>要</td> <td>材 料</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系</td> <td>統 名 (ラ イ ン 名)</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置 床</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> </tr> </table> <p>注記：*1 公称値を示す。</p>	名	称	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット (PA000)	種	類	—	容	量	L/個	最	高	使用圧力 MPa	最	高	使用温度 °C	主要寸法	外	径 mm	高	さ mm	胴	部 厚 さ mm	底	部 厚 さ mm	主	要	材 料	個	数	—	取付箇所	系	統 名 (ラ イ ン 名)	設	置 床	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	<table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様</th> </tr> <tr> <td>様式-6.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十一条 第二十九条 火災等による損傷の防止</td> <td>・消火設備は、想定される火災に対して十分な量の消火剤容量を有する設計</td> <td>容量：〇〇L/個 個数：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計</td> <td>最高使用温度：〇〇°C 最高使用圧力：〇〇MPa 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様	様式-6.7			第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十一条 第二十九条 火災等による損傷の防止	・消火設備は、想定される火災に対して十分な量の消火剤容量を有する設計	容量：〇〇L/個 個数：〇〇	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上	第十五条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	最高使用温度：〇〇°C 最高使用圧力：〇〇MPa 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	<p>(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td></td> <td>ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>一般継目なし容器</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>L/個</td> <td>■以上(■*)</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使用圧力 MPa</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使用温度 °C</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>外</td> <td>径 mm</td> <td>■mm*</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>さ mm</td> <td>■mm*</td> </tr> <tr> <td>胴</td> <td>部 厚 さ mm</td> <td>□(■mm*)</td> </tr> <tr> <td>底</td> <td>部 厚 さ mm</td> <td>□(■mm*)</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系</td> <td>統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用) 消火系</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置 床</td> <td>EL. ■mm</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名	称		ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)	種	類	—	一般継目なし容器	容	量	L/個	■以上(■*)	最	高	使用圧力 MPa	■	最	高	使用温度 °C	■	主 要 寸 法	外	径 mm	■mm*	高	さ mm	■mm*	胴	部 厚 さ mm	□(■mm*)	底	部 厚 さ mm	□(■mm*)	材	料	—	■	個	数	—	■	取 付 箇 所	系	統 名 (ラ イ ン 名)	ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用) 消火系	設	置 床	EL. ■mm	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
名	称	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット (PA000)																																																																																																																					
種	類	—																																																																																																																					
容	量	L/個																																																																																																																					
最	高	使用圧力 MPa																																																																																																																					
最	高	使用温度 °C																																																																																																																					
主要寸法	外	径 mm																																																																																																																					
	高	さ mm																																																																																																																					
	胴	部 厚 さ mm																																																																																																																					
	底	部 厚 さ mm																																																																																																																					
主	要	材 料																																																																																																																					
個	数	—																																																																																																																					
取付箇所	系	統 名 (ラ イ ン 名)																																																																																																																					
	設	置 床																																																																																																																					
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号																																																																																																																					
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ																																																																																																																					
技術基準	機能要求②	主な仕様																																																																																																																					
様式-6.7																																																																																																																							
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																																																					
第十一条 第二十九条 火災等による損傷の防止	・消火設備は、想定される火災に対して十分な量の消火剤容量を有する設計	容量：〇〇L/個 個数：〇〇																																																																																																																					
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.〇〇〇m以上																																																																																																																					
第十五条 材料及び構造	・使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料 ・設計上定める条件において、全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・設計上定める条件において、座屈が生じない設計	最高使用温度：〇〇°C 最高使用圧力：〇〇MPa 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																					
		変更前	変更後																																																																																																																				
名	称		ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)																																																																																																																				
種	類	—	一般継目なし容器																																																																																																																				
容	量	L/個	■以上(■*)																																																																																																																				
最	高	使用圧力 MPa	■																																																																																																																				
最	高	使用温度 °C	■																																																																																																																				
主 要 寸 法	外	径 mm	■mm*																																																																																																																				
	高	さ mm	■mm*																																																																																																																				
	胴	部 厚 さ mm	□(■mm*)																																																																																																																				
	底	部 厚 さ mm	□(■mm*)																																																																																																																				
材	料	—	■																																																																																																																				
個	数	—	■																																																																																																																				
取 付 箇 所	系	統 名 (ラ イ ン 名)	ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用) 消火系																																																																																																																				
	設	置 床	EL. ■mm																																																																																																																				
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																																																																																				
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																																																																																				

仕様表記載例（機種：運搬・製品容器）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																																																
<p>第1.-3表 機器仕様</p> <p>許可番号(日付) 平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日)</p> <p>主要な設備及び機器の種類 貯蔵施設 粉末一時保管設備 粉末一時保管装置</p> <p>許可との対応 付 既認可では搬送により変わらうため所 属装置の設置場所を代表で記載。設計条件ではないため削除する。</p> <p>設備・機器名称 J60</p> <p>設置場所 燃料加工建屋地下0階 ○○室</p> <p>変更内容 新設</p> <p>数量 ○○基</p> <p>形式 -</p> <p>主要な構成材 ○○</p> <p>寸法(単位:mm) 幅 :○○ 奥行:○○ 高さ:○○</p> <p>その他の構成機器 -</p> <p>その他の性能 -</p> <p>核燃料物質の状態 粉末</p> <p>核燃料物質の臨界防止 ①貯蔵単位の形状(核燃料物質収納部寸法) ・外径:○○mm以下 ・内径:○○mm以上 ②貯蔵単位の高さ ・高さ:○○mm以上</p> <p>火災等による損傷の防止 -</p> <p>耐震性 -</p> <p>材料及び構造 -</p> <p>閉じ込めの機能 -</p> <p>しゃへい -</p> <p>換気 -</p> <p>核燃料物質等による汚染の防止 -</p> <p>安全上重要な施設 -</p> <p>搬送設備 -</p> <p>警報設備等 -</p> <p>廃棄施設 -</p> <p>放射線管理施設 -</p> <p>非常用電源設備 -</p> <p>その他事業許可で求める仕様 -</p> <p>添付図 第2.1-2図 J60構造図</p> <p>特記事項 -</p> <p>注1 技術基準に対する仕様の補足説明 (1) 核燃料物質の臨界防止 貯蔵単位である J60 は、核燃料物質を収容する部分の寸法が貯蔵単位の形状寸法になるように設計する。また、移動時を考慮して高さを制限する設計とする。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td></td> <td>J60</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類*3</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨界管理</td> <td>外径</td> <td></td> <td>○○以下</td> </tr> <tr> <td>内径</td> <td></td> <td>○○以上</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td></td> <td>○○以上</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kg・MOX</td> <td></td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*4</td> <td>外径</td> <td>mm</td> <td>○○*1*8</td> </tr> <tr> <td>内径</td> <td>mm</td> <td>○○*1*8</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>○○*1*8</td> </tr> <tr> <td>主要材料*5</td> <td></td> <td></td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>個数*6</td> <td></td> <td></td> <td>○○</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1:公称値を示す。 *2:記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3:記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4:記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *5:記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *6:記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *7:記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *8:記載内容は、平成●年●月●日付け平成●原第●号にて認可を受けた設工認申請書の本文添付図「1.-●図 貯蔵施設の機器配置図」による。</p> <p>変更なし</p>				変更前	変更後	名称*2			J60	種類*3		-	○○	臨界管理	外径		○○以下	内径		○○以上	高さ		○○以上	容量	kg・MOX		○○	最高使用温度	℃		○○	主要寸法*4	外径	mm	○○*1*8	内径	mm	○○*1*8	高さ	mm	○○*1*8	主要材料*5			○○	個数*6			○○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様(詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>様式-6 様式-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四条</td> <td></td> <td>形状 寸法:○○</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の臨界防止</td> <td>(2) 複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニット評価における粉末容器の形状寸法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)		様式-6 様式-7		第四条		形状 寸法:○○	核燃料物質の臨界防止	(2) 複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニット評価における粉末容器の形状寸法		<p>(6) 固体状の放射性廃棄物の運搬用容器の名称、種類、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに放射線遮蔽材の種類、冷却方法、主要寸法及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種 類</td> <td>-</td> <td>旧炉内構造物運搬用容器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">全 長</td> <td>mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">胴 内 径</td> <td>mm</td> <td>■■■■ (注1)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">胴 板 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">上ふた板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">下ふた板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">材 料</td> <td>-</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>-</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種 類</td> <td>-</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">冷 却 方 法</td> <td>-</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">胴 板 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">上ふた板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">吊りふた板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">下ふた板厚さ</td> <td>mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td colspan="2">材 料</td> <td>-</td> <td>■■■■</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 公称値</p>		名称		変更前	変更後	種 類		-	旧炉内構造物運搬用容器	最高使用温度		℃	■■■■	全 長		mm	■■■■	胴 内 径		mm	■■■■ (注1)	胴 板 厚 さ		mm	■■■■	上ふた板厚さ		mm	■■■■	下ふた板厚さ		mm	■■■■	材 料		-	■■■■	個 数		-	■	種 類		-	■■■■	冷 却 方 法		-	■■■■	胴 板 厚 さ		mm	■■■■	上ふた板厚さ		mm	■■■■	吊りふた板厚さ		mm	■■■■	下ふた板厚さ		mm	■■■■	材 料		-	■■■■	<p>冷却方法は放射線による熱影響はわずかであるため、記載対象としていない。</p>
		変更前	変更後																																																																																																																																					
名称*2			J60																																																																																																																																					
種類*3		-	○○																																																																																																																																					
臨界管理	外径		○○以下																																																																																																																																					
	内径		○○以上																																																																																																																																					
	高さ		○○以上																																																																																																																																					
容量	kg・MOX		○○																																																																																																																																					
最高使用温度	℃		○○																																																																																																																																					
主要寸法*4	外径	mm	○○*1*8																																																																																																																																					
	内径	mm	○○*1*8																																																																																																																																					
	高さ	mm	○○*1*8																																																																																																																																					
主要材料*5			○○																																																																																																																																					
個数*6			○○																																																																																																																																					
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																						
	様式-6 様式-7																																																																																																																																							
第四条		形状 寸法:○○																																																																																																																																						
核燃料物質の臨界防止	(2) 複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニット評価における粉末容器の形状寸法																																																																																																																																							
名称		変更前	変更後																																																																																																																																					
種 類		-	旧炉内構造物運搬用容器																																																																																																																																					
最高使用温度		℃	■■■■																																																																																																																																					
全 長		mm	■■■■																																																																																																																																					
胴 内 径		mm	■■■■ (注1)																																																																																																																																					
胴 板 厚 さ		mm	■■■■																																																																																																																																					
上ふた板厚さ		mm	■■■■																																																																																																																																					
下ふた板厚さ		mm	■■■■																																																																																																																																					
材 料		-	■■■■																																																																																																																																					
個 数		-	■																																																																																																																																					
種 類		-	■■■■																																																																																																																																					
冷 却 方 法		-	■■■■																																																																																																																																					
胴 板 厚 さ		mm	■■■■																																																																																																																																					
上ふた板厚さ		mm	■■■■																																																																																																																																					
吊りふた板厚さ		mm	■■■■																																																																																																																																					
下ふた板厚さ		mm	■■■■																																																																																																																																					
材 料		-	■■■■																																																																																																																																					
<p>臨界の適合説明書の中で展開する。</p>																																																																																																																																								

仕様表記載例（機種：ろ過装置）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																															
<p>MOX 施設の既認可に仕様表なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>○○○装置 ○○○ (PA000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>○○</td></tr> <tr><td>容量</td><td>m³/h/個</td><td>○○</td></tr> <tr><td>効</td><td>—</td><td>—^{*2}</td></tr> <tr><td>最高使用圧力</td><td>MPa</td><td>○○</td></tr> <tr><td>最高使用温度</td><td>℃</td><td>○○</td></tr> <tr><td rowspan="10">主要寸法</td><td>胴内径</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>銅板厚さ</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>上部鏡板厚さ</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>上部鏡板の形状に係る寸法</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>下部鏡板厚さ</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>下部鏡板の形状に係る寸法</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>処理液入口管台外径</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>処理液入口管台厚さ</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>処理液出口管台外径</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>処理液出口管台厚さ</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td>高さ</td><td>mm ○○^{*1}</td></tr> <tr><td rowspan="2">主要材料</td><td>胴板</td><td>—</td></tr> <tr><td>鏡板</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">個</td><td>系統名 (ライン名)</td><td>—</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>—</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>—</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>注記：*1 公称値を示す。 *2 本機器は、廃液の放射性物質の濃度が規定値未満に達するまで処理を行うため、効率を求めないことから「—」とする。</p>	名称		○○○装置 ○○○ (PA000)	種類	—	○○	容量	m ³ /h/個	○○	効	—	— ^{*2}	最高使用圧力	MPa	○○	最高使用温度	℃	○○	主要寸法	胴内径	mm ○○ ^{*1}	銅板厚さ	mm ○○ ^{*1}	上部鏡板厚さ	mm ○○ ^{*1}	上部鏡板の形状に係る寸法	mm ○○ ^{*1}	下部鏡板厚さ	mm ○○ ^{*1}	下部鏡板の形状に係る寸法	mm ○○ ^{*1}	処理液入口管台外径	mm ○○ ^{*1}	処理液入口管台厚さ	mm ○○ ^{*1}	処理液出口管台外径	mm ○○ ^{*1}	処理液出口管台厚さ	mm ○○ ^{*1}	高さ	mm ○○ ^{*1}	主要材料	胴板	—	鏡板	—	個	系統名 (ライン名)	—	設置床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m 以上</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計</td> <td>主要寸法：○○mm 主要材料：○○ 最高使用圧力：○○MPa 最高使用温度：○○℃</td> </tr> <tr> <td>第二十条 廃棄施設</td> <td>・低レベル廃液処理能力を有する設計</td> <td>容量：○○ m³/h/個</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m 以上	第十五条 材料及び構造	・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	主要寸法：○○mm 主要材料：○○ 最高使用圧力：○○MPa 最高使用温度：○○℃	第二十条 廃棄施設	・低レベル廃液処理能力を有する設計	容量：○○ m ³ /h/個	<p>(6) ろ過装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td colspan="2">フィルタ脱塩器</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td colspan="2">たて置円筒形^{*1}</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td colspan="2">m³/h/個 (125^{*2})</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td>1.38^{*3}</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主</td> <td rowspan="10">要</td> <td>胴内径</td> <td>mm 1100^{*4}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">銅板厚さ^{*5}</td> <td>上部銅板^{*6}：</td> <td>mm (13^{*7}、^{*5})</td> </tr> <tr> <td>下部銅板^{*6}：</td> <td>mm (13^{*7}、^{*5})</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ^{*7}</td> <td>mm (13^{*7})</td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td>mm 1100^{*8}、^{*6} (鏡板中央部内半径)</td> </tr> <tr> <td>銅板の形状に係る寸法</td> <td>mm 110^{*9}、^{*6} (鏡板隅の丸み半径)</td> </tr> <tr> <td>入口管台外径</td> <td>mm 165.2^{*10}、^{*6}</td> </tr> <tr> <td>入口管台厚さ</td> <td>mm (7.1^{*11}、^{*6})</td> </tr> <tr> <td>出口管台外径</td> <td>mm 165.2^{*10}、^{*6}</td> </tr> <tr> <td>出口管台厚さ</td> <td>mm (7.1^{*11}、^{*6})</td> </tr> <tr> <td>本体フランジ厚さ</td> <td>mm (70^{*12}、^{*6})</td> </tr> <tr> <td>平板厚さ^{*13}</td> <td>mm (110^{*14}、^{*15})</td> </tr> <tr> <td>高さ^{*16}</td> <td>mm 2538^{*16}、^{*6}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材</td> <td rowspan="4">料</td> <td>胴板^{*17}</td> <td>— 上部銅板^{*6}：SB42^{*18} 下部銅板^{*6}：SUS304^{*19}</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>— SUS304</td> </tr> <tr> <td>平板^{*13}</td> <td>— SF45^{*20}</td> </tr> <tr> <td>本体フランジ</td> <td>— SF45^{*20}</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">取</td> <td rowspan="4">付</td> <td rowspan="2">系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>フィルタ脱塩器 A</td> <td>フィルタ脱塩器 B</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却</td> <td>燃料プール冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 置 床</td> <td>浄化系^{*12}</td> <td>浄化系^{*12}</td> </tr> <tr> <td>EL. 38.80 m^{*14}</td> <td>EL. 38.80 m^{*14}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒型 (四脚支持)」と記載。 *2：公称値を示す。 *3：S I 単位に換算したもの。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「銅板厚」と記載。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「銅板厚 13mm」と記載。 *6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年8月30日付け建機第98号にて届け出した工事計画の添付書類「III-1-5 燃料プール冷却浄化系機器・配管の規格計算書」のうち、「III-1-5-2 フィルタ脱塩器 (III-1-4-2)」による。 *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「銅板厚」と記載。 *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全長」と記載。 *9：記載の適正化を行う。既工事計画書には、脚からベントフランジ中心までの高さである「4035」と記載。記載内容は、設計図書による。 *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。 *11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴 SB42」と記載。 *12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴 SUS304」と記載。 *13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「上蓋板」と記載。 *14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF45」と記載。 *15：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年8月30日付け建機第98号にて届け出した工事計画の添付図面「第6-2図 燃料プール冷却浄化系系統図 (その2)」による。 *16：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名	称	フィルタ脱塩器		種	類	たて置円筒形 ^{*1}		容	量	m ³ /h/個 (125 ^{*2})		最	高 使 用 圧 力	MPa	1.38 ^{*3}	最	高 使 用 温 度	℃	94	主	要	胴内径	mm 1100 ^{*4}	銅板厚さ ^{*5}	上部銅板 ^{*6} ：	mm (13 ^{*7} 、 ^{*5})	下部銅板 ^{*6} ：	mm (13 ^{*7} 、 ^{*5})	鏡板厚さ ^{*7}	mm (13 ^{*7})	鏡板の形状に係る寸法	mm 1100 ^{*8} 、 ^{*6} (鏡板中央部内半径)	銅板の形状に係る寸法	mm 110 ^{*9} 、 ^{*6} (鏡板隅の丸み半径)	入口管台外径	mm 165.2 ^{*10} 、 ^{*6}	入口管台厚さ	mm (7.1 ^{*11} 、 ^{*6})	出口管台外径	mm 165.2 ^{*10} 、 ^{*6}	出口管台厚さ	mm (7.1 ^{*11} 、 ^{*6})	本体フランジ厚さ	mm (70 ^{*12} 、 ^{*6})	平板厚さ ^{*13}	mm (110 ^{*14} 、 ^{*15})	高さ ^{*16}	mm 2538 ^{*16} 、 ^{*6}	材	料	胴板 ^{*17}	— 上部銅板 ^{*6} ：SB42 ^{*18} 下部銅板 ^{*6} ：SUS304 ^{*19}	鏡板	— SUS304	平板 ^{*13}	— SF45 ^{*20}	本体フランジ	— SF45 ^{*20}	個	数	—	2			変更前	変更後	取	付	系 統 名 (ラ イ ン 名)	フィルタ脱塩器 A	フィルタ脱塩器 B	燃料プール冷却	燃料プール冷却	設 置 床	浄化系 ^{*12}	浄化系 ^{*12}	EL. 38.80 m ^{*14}	EL. 38.80 m ^{*14}	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<p>変更後</p> <p>変更なし</p> <p>変更なし</p>
名称		○○○装置 ○○○ (PA000)																																																																																																																																																																	
種類	—	○○																																																																																																																																																																	
容量	m ³ /h/個	○○																																																																																																																																																																	
効	—	— ^{*2}																																																																																																																																																																	
最高使用圧力	MPa	○○																																																																																																																																																																	
最高使用温度	℃	○○																																																																																																																																																																	
主要寸法	胴内径	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	銅板厚さ	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	上部鏡板厚さ	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	上部鏡板の形状に係る寸法	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	下部鏡板厚さ	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	下部鏡板の形状に係る寸法	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	処理液入口管台外径	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	処理液入口管台厚さ	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	処理液出口管台外径	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
	処理液出口管台厚さ	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																	
高さ	mm ○○ ^{*1}																																																																																																																																																																		
主要材料	胴板	—																																																																																																																																																																	
	鏡板	—																																																																																																																																																																	
個	系統名 (ライン名)	—																																																																																																																																																																	
	設置床	—																																																																																																																																																																	
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																																																																	
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																	
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																																																																																																	
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m 以上																																																																																																																																																																	
第十五条 材料及び構造	・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	主要寸法：○○mm 主要材料：○○ 最高使用圧力：○○MPa 最高使用温度：○○℃																																																																																																																																																																	
第二十条 廃棄施設	・低レベル廃液処理能力を有する設計	容量：○○ m ³ /h/個																																																																																																																																																																	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																
名	称	フィルタ脱塩器																																																																																																																																																																	
種	類	たて置円筒形 ^{*1}																																																																																																																																																																	
容	量	m ³ /h/個 (125 ^{*2})																																																																																																																																																																	
最	高 使 用 圧 力	MPa	1.38 ^{*3}																																																																																																																																																																
最	高 使 用 温 度	℃	94																																																																																																																																																																
主	要	胴内径	mm 1100 ^{*4}																																																																																																																																																																
		銅板厚さ ^{*5}	上部銅板 ^{*6} ：	mm (13 ^{*7} 、 ^{*5})																																																																																																																																																															
			下部銅板 ^{*6} ：	mm (13 ^{*7} 、 ^{*5})																																																																																																																																																															
		鏡板厚さ ^{*7}	mm (13 ^{*7})																																																																																																																																																																
		鏡板の形状に係る寸法	mm 1100 ^{*8} 、 ^{*6} (鏡板中央部内半径)																																																																																																																																																																
		銅板の形状に係る寸法	mm 110 ^{*9} 、 ^{*6} (鏡板隅の丸み半径)																																																																																																																																																																
		入口管台外径	mm 165.2 ^{*10} 、 ^{*6}																																																																																																																																																																
		入口管台厚さ	mm (7.1 ^{*11} 、 ^{*6})																																																																																																																																																																
		出口管台外径	mm 165.2 ^{*10} 、 ^{*6}																																																																																																																																																																
		出口管台厚さ	mm (7.1 ^{*11} 、 ^{*6})																																																																																																																																																																
本体フランジ厚さ	mm (70 ^{*12} 、 ^{*6})																																																																																																																																																																		
平板厚さ ^{*13}	mm (110 ^{*14} 、 ^{*15})																																																																																																																																																																		
高さ ^{*16}	mm 2538 ^{*16} 、 ^{*6}																																																																																																																																																																		
材	料	胴板 ^{*17}	— 上部銅板 ^{*6} ：SB42 ^{*18} 下部銅板 ^{*6} ：SUS304 ^{*19}																																																																																																																																																																
		鏡板	— SUS304																																																																																																																																																																
		平板 ^{*13}	— SF45 ^{*20}																																																																																																																																																																
		本体フランジ	— SF45 ^{*20}																																																																																																																																																																
個	数	—	2																																																																																																																																																																
		変更前	変更後																																																																																																																																																																
取	付	系 統 名 (ラ イ ン 名)	フィルタ脱塩器 A	フィルタ脱塩器 B																																																																																																																																																															
			燃料プール冷却	燃料プール冷却																																																																																																																																																															
		設 置 床	浄化系 ^{*12}	浄化系 ^{*12}																																																																																																																																																															
			EL. 38.80 m ^{*14}	EL. 38.80 m ^{*14}																																																																																																																																																															
溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																																																																																																	
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																																																	

仕様表記載例（機種：ポンプ）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																									
MOX 施設の既認可に仕様表なし	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>〇〇ポンプ (PA000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>種 類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>核 的 制 限 値</td><td>—</td><td>—^{*2}</td></tr> <tr><td>容 量</td><td>m³/h/個</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>揚 程</td><td>m</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>最 高 使 用 圧 力</td><td>MPa</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>最 高 使 用 温 度</td><td>℃</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>吸 込 内 径</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>吐 出 内 径</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>ケーシング厚さ</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>た て</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>横</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>高 さ</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>ケ ー シ ン グ</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個 数</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>設 置 床</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>種 類</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>出 力</td><td>kW/個</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個 数</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>取 付 箇 所</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> </tbody> </table>	名称		〇〇ポンプ (PA000)	種 類	—	〇〇	核 的 制 限 値	—	— ^{*2}	容 量	m ³ /h/個	〇〇	揚 程	m	〇〇	最 高 使 用 圧 力	MPa	〇〇	最 高 使 用 温 度	℃	〇〇	吸 込 内 径	mm	〇〇 ^{*1}	吐 出 内 径	mm	〇〇 ^{*1}	ケーシング厚さ	mm	〇〇 ^{*1}	た て	mm	〇〇 ^{*1}	横	mm	〇〇 ^{*1}	高 さ	mm	〇〇 ^{*1}	ケ ー シ ン グ	—	〇〇	個 数	—	〇〇	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	〇〇	設 置 床	—	〇〇	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇	種 類	—	〇〇	出 力	kW/個	〇〇	個 数	—	〇〇	取 付 箇 所	—	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・設水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第二十条 廃棄施設</td> <td>・低レベル廃液処理設備の検査槽に導入し、廃液貯槽に送液する設計</td> <td>容量：〇〇m³/h/個 揚程：〇〇m 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 主要材料	第十二条 溢水防護	・設水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上	第二十条 廃棄施設	・低レベル廃液処理設備の検査槽に導入し、廃液貯槽に送液する設計	容量：〇〇m ³ /h/個 揚程：〇〇m 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇	<p>(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ^{*1}</td> <td>うず巻形^{*2}</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>m³/h/個</td> <td>124.9 以上^{*3} (124.9^{*4})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚 程^{*5}</td> <td>m</td> <td>91.4 以上^{*3} (91.4^{*4})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td>1.37^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>65.6^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸 込 内 径</td> <td>mm</td> <td>150^{*4, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吐 出 内 径</td> <td>mm</td> <td>80^{*4, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシング厚さ</td> <td>mm</td> <td>14.0^{*3, *4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>185^{*4, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>968^{*3, *4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>704^{*4, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ ー シ ン グ^{*7}</td> <td>—</td> <td>SC46</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>EL. 29.00 m^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td></td> <td>RB-4-19</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td></td> <td>EL. 29.20 m 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>変更なし</p>	名称		変更前	変更後	種 類	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ ^{*1}	うず巻形 ^{*2}	容 量	m ³ /h/個	124.9 以上 ^{*3} (124.9 ^{*4})		揚 程 ^{*5}	m	91.4 以上 ^{*3} (91.4 ^{*4})		最 高 使 用 圧 力	MPa	1.37 ^{*3}		最 高 使 用 温 度	℃	65.6 ^{*3}		吸 込 内 径	mm	150 ^{*4, *6}		吐 出 内 径	mm	80 ^{*4, *6}		ケーシング厚さ	mm	14.0 ^{*3, *4}		た て	mm	185 ^{*4, *6}		横	mm	968 ^{*3, *4}		高 さ	mm	704 ^{*4, *6}		ケ ー シ ン グ ^{*7}	—	SC46		個 数	—	2		系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系 ^{*3}		設 置 床	—	EL. 29.00 m ^{*3}		溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		RB-4-19	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		EL. 29.20 m 以上	
名称		〇〇ポンプ (PA000)																																																																																																																																																											
種 類	—	〇〇																																																																																																																																																											
核 的 制 限 値	—	— ^{*2}																																																																																																																																																											
容 量	m ³ /h/個	〇〇																																																																																																																																																											
揚 程	m	〇〇																																																																																																																																																											
最 高 使 用 圧 力	MPa	〇〇																																																																																																																																																											
最 高 使 用 温 度	℃	〇〇																																																																																																																																																											
吸 込 内 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																											
吐 出 内 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																											
ケーシング厚さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																											
た て	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																											
横	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																											
高 さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																											
ケ ー シ ン グ	—	〇〇																																																																																																																																																											
個 数	—	〇〇																																																																																																																																																											
系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	〇〇																																																																																																																																																											
設 置 床	—	〇〇																																																																																																																																																											
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇																																																																																																																																																											
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇																																																																																																																																																											
種 類	—	〇〇																																																																																																																																																											
出 力	kW/個	〇〇																																																																																																																																																											
個 数	—	〇〇																																																																																																																																																											
取 付 箇 所	—	〇〇																																																																																																																																																											
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																											
第六条 地震による損傷の防止	・耐震重要度に応じた地震力に十分耐えることができる設計 ・基準地震動による地震力に対してその安全機能が損なわれるおそれがない設計	主要寸法 主要材料																																																																																																																																																											
第十二条 溢水防護	・設水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇m 以上																																																																																																																																																											
第二十条 廃棄施設	・低レベル廃液処理設備の検査槽に導入し、廃液貯槽に送液する設計	容量：〇〇m ³ /h/個 揚程：〇〇m 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇																																																																																																																																																											
名称		変更前	変更後																																																																																																																																																										
種 類	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ ^{*1}	うず巻形 ^{*2}																																																																																																																																																										
容 量	m ³ /h/個	124.9 以上 ^{*3} (124.9 ^{*4})																																																																																																																																																											
揚 程 ^{*5}	m	91.4 以上 ^{*3} (91.4 ^{*4})																																																																																																																																																											
最 高 使 用 圧 力	MPa	1.37 ^{*3}																																																																																																																																																											
最 高 使 用 温 度	℃	65.6 ^{*3}																																																																																																																																																											
吸 込 内 径	mm	150 ^{*4, *6}																																																																																																																																																											
吐 出 内 径	mm	80 ^{*4, *6}																																																																																																																																																											
ケーシング厚さ	mm	14.0 ^{*3, *4}																																																																																																																																																											
た て	mm	185 ^{*4, *6}																																																																																																																																																											
横	mm	968 ^{*3, *4}																																																																																																																																																											
高 さ	mm	704 ^{*4, *6}																																																																																																																																																											
ケ ー シ ン グ ^{*7}	—	SC46																																																																																																																																																											
個 数	—	2																																																																																																																																																											
系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系 ^{*3}																																																																																																																																																											
設 置 床	—	EL. 29.00 m ^{*3}																																																																																																																																																											
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		RB-4-19																																																																																																																																																										
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		EL. 29.20 m 以上																																																																																																																																																										
	<p>注記 *1：公称値を示す。 *2：核燃料物質を取扱わない設備のため、核的制限値は記載しない。</p>		<p>(続き)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*8}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出 力</td> <td>kW/個</td> <td>55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>—</td> <td>ポンプと同じ^{*2}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>変更なし</p>	名称		変更前	変更後	種 類	—	誘導電動機 ^{*8}		出 力	kW/個	55		個 数	—	2		取 付 箇 所	—	ポンプと同じ ^{*2}																																																																																																																																							
名称		変更前	変更後																																																																																																																																																										
種 類	—	誘導電動機 ^{*8}																																																																																																																																																											
出 力	kW/個	55																																																																																																																																																											
個 数	—	2																																																																																																																																																											
取 付 箇 所	—	ポンプと同じ ^{*2}																																																																																																																																																											
			<p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ポンプ」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻型」と記載。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4：公称値を示す。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。 *6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 51 年 8 月 30 日付け建建発第 98 号にて届け出した工事計画書の添付図面「第 6-5 図 燃料プール冷却浄化系ポンプ外形図」による。 *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。 *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。</p>																																																																																																																																																										

仕様表記載例（機種：ファン）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																														
<p>MOX 施設の既認可に仕様表なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名</th> <th colspan="2">称</th> <th colspan="2">グローブボックス排風機 (PA000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>m³/h/個</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主</td> <td rowspan="4">要</td> <td>吸</td> <td>込</td> <td>口</td> <td>径</td> </tr> <tr> <td>吐</td> <td>出</td> <td>口</td> <td>径</td> </tr> <tr> <td>た</td> <td>て</td> <td>横</td> <td>た</td> </tr> <tr> <td>た</td> <td>て</td> <td>高</td> <td>さ</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>ケ</td> <td>ー</td> <td>シ</td> <td>ン</td> <td>グ</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取</td> <td rowspan="4">付</td> <td>系</td> <td>統</td> <td>名</td> <td>(</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置</td> <td>床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> </tr> <tr> <td>上</td> <td>の</td> <td>区</td> <td>画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原</td> <td rowspan="2">出</td> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>力</td> <td>kW/個</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取</td> <td rowspan="2">付</td> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>所</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>計</td> <td>上</td> <td>の</td> <td>空</td> <td>気</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>空</td> <td>気</td> <td>の</td> <td>流</td> <td>入</td> </tr> <tr> <td>率</td> <td>回/h</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記：*1 公称値を示す。 *2 本機器は、居住性の維持に係る機器ではないため「—」とする。</p>	名		称		グローブボックス排風機 (PA000)		種	類	—	〇〇	〇〇	〇〇	容	量	m ³ /h/個	〇〇	〇〇	主	要	吸	込	口	径	吐	出	口	径	た	て	横	た	た	て	高	さ	材	ケ	ー	シ	ン	グ	個	数	—	〇〇	〇〇	〇〇	取	付	系	統	名	(設	置	床	—	溢	水	防	護	上	の	区	画	原	出	種	類	—	〇〇	力	kW/個	〇〇	〇〇	取	付	個	数	—	〇〇	所	—	〇〇	〇〇	設	計	上	の	空	気	の	空	気	の	流	入	率	回/h	—	〇〇	〇〇	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>・建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くし、漏えいの拡大を防止する設計 ・グローブ 1 個破損した場合において、開口部風速を設定値以上確保する設計</td> <td>容量：〇〇m³/h/個 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第二十条 廃棄施設</td> <td>・気体廃棄設備は排気設備の排気側の高性能エアフィルタを複数段設け、核燃料物質を除去し排気する設計</td> <td>容量：〇〇m³/h/個 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第十条 閉じ込めの機能	・建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くし、漏えいの拡大を防止する設計 ・グローブ 1 個破損した場合において、開口部風速を設定値以上確保する設計	容量：〇〇m ³ /h/個 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇	第二十条 廃棄施設	・気体廃棄設備は排気設備の排気側の高性能エアフィルタを複数段設け、核燃料物質を除去し排気する設計	容量：〇〇m ³ /h/個 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇	<p>(5) 排風機の名称、種類、容量、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）並びに設計上の空気の流れ率</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名</th> <th colspan="2">称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">排</td> <td rowspan="6">風</td> <td>種</td> <td>類</td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン*1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>m³/h/個*3</td> <td>5100以上 (5100*9)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主</td> <td rowspan="4">要</td> <td>吸</td> <td>込</td> <td>口</td> <td>径</td> </tr> <tr> <td>吐</td> <td>出</td> <td>口</td> <td>径</td> </tr> <tr> <td>た</td> <td>て</td> <td>横</td> <td>た</td> </tr> <tr> <td>た</td> <td>て</td> <td>高</td> <td>さ</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">機</td> <td rowspan="4">取</td> <td>系</td> <td>統</td> <td>名</td> <td>(</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置</td> <td>床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> </tr> <tr> <td>上</td> <td>の</td> <td>区</td> <td>画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原</td> <td rowspan="2">出</td> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機*5</td> </tr> <tr> <td>力</td> <td>kW/個</td> <td>7.5*5</td> <td>7.5*5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取</td> <td rowspan="2">付</td> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>2*5</td> </tr> <tr> <td>所</td> <td>—</td> <td>排風機と同じ*5</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>計</td> <td>上</td> <td>の</td> <td>空</td> <td>気</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>流</td> <td>入</td> <td>率</td> <td>回/h</td> <td>1.0*5</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「排風機」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「遠心」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「m³/hr」と記載。 *4：公称値を示す。 *5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	名		称		変更前	変更後	排	風	種	類	中央制御室換気系フィルタ系ファン*1	変更なし	容	量	m ³ /h/個*3	5100以上 (5100*9)	主	要	吸	込	口	径	吐	出	口	径	た	て	横	た	た	て	高	さ	個	数	—	2	2	機	取	系	統	名	(設	置	床	—	溢	水	防	護	上	の	区	画	原	出	種	類	—	誘導電動機*5	力	kW/個	7.5*5	7.5*5	取	付	個	数	—	2*5	所	—	排風機と同じ*5	設	計	上	の	空	気	の	流	入	率	回/h	1.0*5	
名		称		グローブボックス排風機 (PA000)																																																																																																																																																																																																														
種	類	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																													
	容	量	m ³ /h/個	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																													
主	要	吸	込	口	径																																																																																																																																																																																																													
		吐	出	口	径																																																																																																																																																																																																													
		た	て	横	た																																																																																																																																																																																																													
		た	て	高	さ																																																																																																																																																																																																													
材	ケ	ー	シ	ン	グ																																																																																																																																																																																																													
個	数	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																													
取	付	系	統	名	(
		設	置	床	—																																																																																																																																																																																																													
		溢	水	防	護																																																																																																																																																																																																													
		上	の	区	画																																																																																																																																																																																																													
原	出	種	類	—	〇〇																																																																																																																																																																																																													
		力	kW/個	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																													
取	付	個	数	—	〇〇																																																																																																																																																																																																													
		所	—	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																													
設	計	上	の	空	気																																																																																																																																																																																																													
の	空	気	の	流	入																																																																																																																																																																																																													
率	回/h	—	〇〇	〇〇	〇〇																																																																																																																																																																																																													
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																																																																																																																																																
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																																																																																
第十条 閉じ込めの機能	・建屋、工程室、グローブボックス等の順に負圧を低くし、漏えいの拡大を防止する設計 ・グローブ 1 個破損した場合において、開口部風速を設定値以上確保する設計	容量：〇〇m ³ /h/個 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇																																																																																																																																																																																																																
第二十条 廃棄施設	・気体廃棄設備は排気設備の排気側の高性能エアフィルタを複数段設け、核燃料物質を除去し排気する設計	容量：〇〇m ³ /h/個 原動機 種類：〇〇 出力：〇〇kW/個 個数：〇〇																																																																																																																																																																																																																
名		称		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																													
排	風	種	類	中央制御室換気系フィルタ系ファン*1	変更なし																																																																																																																																																																																																													
		容	量	m ³ /h/個*3	5100以上 (5100*9)																																																																																																																																																																																																													
		主	要	吸	込	口	径																																																																																																																																																																																																											
				吐	出	口	径																																																																																																																																																																																																											
				た	て	横	た																																																																																																																																																																																																											
				た	て	高	さ																																																																																																																																																																																																											
個	数	—	2	2																																																																																																																																																																																																														
機	取	系	統	名	(
		設	置	床	—																																																																																																																																																																																																													
		溢	水	防	護																																																																																																																																																																																																													
		上	の	区	画																																																																																																																																																																																																													
原	出	種	類	—	誘導電動機*5																																																																																																																																																																																																													
		力	kW/個	7.5*5	7.5*5																																																																																																																																																																																																													
取	付	個	数	—	2*5																																																																																																																																																																																																													
		所	—	排風機と同じ*5																																																																																																																																																																																																														
設	計	上	の	空	気																																																																																																																																																																																																													
の	流	入	率	回/h	1.0*5																																																																																																																																																																																																													

仕様表記載例（機種：主要弁）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																								
MOX 施設にて既認可仕様表なし	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>〇〇〇遮断弁*2</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>呼び径</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>弁箱厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>弁ふた厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>弁箱</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>弁ふた</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>弁体</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">駆動方法</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </table>	名称		〇〇〇遮断弁*2	種類	—	〇〇	最高使用圧力	Pa	〇〇〇	最高使用温度	℃	〇〇〇	主要寸法	呼び径	—	弁箱厚さ	mm	弁ふた厚さ	mm	主要材料	弁箱	—	弁ふた	—	弁体	—	駆動方法		—	個数		—	取付箇所	系統名(ライン名)	—	設置床	—	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	<p>【様式-6,7の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な使用 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第六条 地震による 損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水による 損傷の防止</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>・水素濃度が〇%を超える場合に、焼結炉及び小規模焼結処理装置への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。</td> <td>—</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)	第六条 地震による 損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十二条 溢水による 損傷の防止	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第十八条 警報設備等	・水素濃度が〇%を超える場合に、焼結炉及び小規模焼結処理装置への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。	—	<p>(7) 主要弁の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>変 更 前*</th> <th>変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>止め弁</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td>〇〇〇〇</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>〇〇〇〇</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 寸 法</td> <td>呼 び 径</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>弁 箱 厚 さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 質</td> <td>弁 箱</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁 体</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">駆 動 方 法</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇 m</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇 m 以上</td> </tr> </tbody> </table>	名 称		変 更 前*	変 更 後	種 類	—	〇〇〇〇	止め弁	最 高 使 用 圧 力	MPa	〇〇〇〇		最 高 使 用 温 度	℃	〇〇〇〇		主 要 寸 法	呼 び 径	—	〇〇〇〇	弁 箱 厚 さ	mm		材 質	弁 箱	—		弁 体	—		駆 動 方 法		—	〇〇〇〇	個 数		—	〇〇〇〇	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	〇〇〇〇	設 置 床	—	〇〇〇〇 m	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇〇〇	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇〇〇 m 以上	
名称		〇〇〇遮断弁*2																																																																																																										
種類	—	〇〇																																																																																																										
最高使用圧力	Pa	〇〇〇																																																																																																										
最高使用温度	℃	〇〇〇																																																																																																										
主要寸法	呼び径	—																																																																																																										
	弁箱厚さ	mm																																																																																																										
	弁ふた厚さ	mm																																																																																																										
主要材料	弁箱	—																																																																																																										
	弁ふた	—																																																																																																										
	弁体	—																																																																																																										
駆動方法		—																																																																																																										
個数		—																																																																																																										
取付箇所	系統名(ライン名)	—																																																																																																										
	設置床	—																																																																																																										
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																										
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)																																																																																																										
第六条 地震による 損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																																										
第十二条 溢水による 損傷の防止	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																										
第十八条 警報設備等	・水素濃度が〇%を超える場合に、焼結炉及び小規模焼結処理装置への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。	—																																																																																																										
名 称		変 更 前*	変 更 後																																																																																																									
種 類	—	〇〇〇〇	止め弁																																																																																																									
最 高 使 用 圧 力	MPa	〇〇〇〇																																																																																																										
最 高 使 用 温 度	℃	〇〇〇〇																																																																																																										
主 要 寸 法	呼 び 径	—	〇〇〇〇																																																																																																									
	弁 箱 厚 さ	mm																																																																																																										
材 質	弁 箱	—																																																																																																										
	弁 体	—																																																																																																										
駆 動 方 法		—	〇〇〇〇																																																																																																									
個 数		—	〇〇〇〇																																																																																																									
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	〇〇〇〇																																																																																																									
	設 置 床	—	〇〇〇〇 m																																																																																																									
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇〇〇																																																																																																									
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇〇〇 m 以上																																																																																																									
	<p>注記 *1：公称値を示す。</p> <p>*2：本機器は、〇〇〇混合ガス水素濃度高によるインターロック(検出器：〇〇〇混合ガス受槽入口水素濃度検出器)の信号により水素濃度が〇vol%を超える場合には、〇〇〇への水素・アルゴン混合ガスの供給を遮断する。</p> <p>(補足) インターロックに係る作動内容を注記で記載。</p>																																																																																																											

仕様表記載例（機種：主配管）

第1.-2表 設計条件及び仕様

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																												
<p>本設備の今回の申請範囲</p> <p>検査槽までの配管のうち、燃料加工等、工建屋の壁、床等に埋設する部分を含む配管等</p> <p>排水口から再処理施設までの配管等</p> <p>注1 技術基準に対する仕様として、系統図により排水口以外からの排水がないこと</p>		<p>取り扱う廃液の種類</p> <table border="1"> <tr> <td>空調機器ドレン</td> <td>空調機器からの凝縮水</td> </tr> <tr> <td>金相試験機ドレン</td> <td>金相試験機からの排水</td> </tr> <tr> <td>純水製造機ドレン</td> <td>純水製造機からの排水</td> </tr> <tr> <td>手洗水・シャワー水</td> <td>手洗・シャワーからの排水</td> </tr> <tr> <td>床ドレン・消火水</td> <td>床に排水された消火水等</td> </tr> </table> <p>排水口からの排水</p>		空調機器ドレン	空調機器からの凝縮水	金相試験機ドレン	金相試験機からの排水	純水製造機ドレン	純水製造機からの排水	手洗水・シャワー水	手洗・シャワーからの排水	床ドレン・消火水	床に排水された消火水等	<p>主要な構成材</p> <p>〇〇〇〇</p>		<p>耐震クラス</p> <p>Cクラス</p>		<p>系統図(注1)</p> <p>系統図凡例</p> <p>第1.-1図 低レベル廃液処理設備の系統図(1/5)</p> <p>第1.-2図 低レベル廃液処理設備の系統図(2/5)</p> <p>第1.-3図 低レベル廃液処理設備の系統図(3/5)</p> <p>第1.-4図 低レベル廃液処理設備の系統図(4/5)</p> <p>第1.-5図 低レベル廃液処理設備の系統図(5/5)</p> <p>第1.-6図 低レベル廃液処理設備の系統図(5/5)</p>		<p>添付図面の目次で示す。</p> <p>耐震クラスは主要設備リストで整理する。</p>																																
空調機器ドレン	空調機器からの凝縮水																																																			
金相試験機ドレン	金相試験機からの排水																																																			
純水製造機ドレン	純水製造機からの排水																																																			
手洗水・シャワー水	手洗・シャワーからの排水																																																			
床ドレン・消火水	床に排水された消火水等																																																			
<p>名称^{※1}</p> <p>検査槽の配管のうち、燃料加工等、工建屋の壁、床等に埋設する部分を含む配管等</p> <p>〇〇〇〇</p> <p>～</p> <p>〇〇〇〇</p> <p>〇〇〇〇</p>		<p>主要材料^{※1}</p> <p>〇〇〇〇</p> <p>〇〇〇〇</p>		<p>名称^{※1}</p> <p>〇〇〇〇</p> <p>〇〇〇〇</p>		<p>最高使用圧力^{※2}</p> <p>hPa</p> <p>—</p> <p>〇〇</p>		<p>最高使用温度^{※2}</p> <p>℃</p> <p>—</p> <p>—</p>		<p>外径^{※3}</p> <p>mm</p> <p>—</p> <p>〇〇</p>		<p>厚さ^{※3}</p> <p>mm</p> <p>—</p> <p>〇〇</p>		<p>主要材料^{※4}</p> <p>—</p> <p>〇〇</p>		<p>最高使用圧力^{※5}</p> <p>hPa</p> <p>—</p> <p>—</p>		<p>最高使用温度^{※5}</p> <p>℃</p> <p>—</p> <p>—</p>		<p>外径^{※6}</p> <p>mm</p> <p>—</p> <p>—</p>		<p>厚さ^{※6}</p> <p>mm</p> <p>—</p> <p>—</p>		<p>主要材料^{※7}</p> <p>—</p> <p>—</p>																												
<p>注記</p> <p>※1：公称値を示す。</p> <p>※2：記載の適正化。既設工認では「本設備の今回の申請範囲」と記載。</p> <p>※3：記載の適正化。既設工認では「排水口から再処理施設までの配管等」と記載。</p> <p>※4：記載の適正化。既設工認には記載がないため、記載内容は、設計図書による。</p> <p>※5：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。</p> <p>※6：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。</p>		<p>注記</p> <p>※1：公称値を示す。</p> <p>※2：記載の適正化。既設工認では「本設備の今回の申請範囲」と記載。</p> <p>※3：記載の適正化。既設工認では「排水口から再処理施設までの配管等」と記載。</p> <p>※4：記載の適正化。既設工認には記載がないため、記載内容は、設計図書による。</p> <p>※5：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。</p> <p>※6：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。</p>		<p>【様式-6,7の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な使用 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計</td> <td>最高使用圧力：〇 MPa 最高使用温度：〇 ℃ 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> </table> <p>共通09申請対象設備の結果、主配管に該当しない既認可の配管は、変更後を「-」とし、注釈において主配管に該当しないことを記載する。</p>		技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十五条 材料及び構造	・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	最高使用圧力：〇 MPa 最高使用温度：〇 ℃ 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	<p>(8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>外径^{※1} (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドレンポンプ</td> <td>0.70</td> <td>149</td> <td>406.4 (9.5^{※2})</td> <td>SB42</td> </tr> <tr> <td>第6給水加熱器</td> <td>0.35</td> <td>149</td> <td>406.4 (12.7^{※2})</td> <td>SCW3</td> </tr> <tr> <td>第6給水加熱器</td> <td>0.35^{※3}</td> <td>149</td> <td>711.2 (12.7^{※2})</td> <td>SCW3</td> </tr> <tr> <td>第6給水加熱器</td> <td>0.35^{※3}</td> <td>149</td> <td>508.0^{※4} (9.5^{※2})</td> <td>SB42</td> </tr> <tr> <td>弁 LCV-5-16.5A, B, C</td> <td>0.35^{※3}</td> <td>149</td> <td>508.0^{※4} (9.5^{※2})</td> <td>SB42</td> </tr> <tr> <td>弁 LCV-5-16.5A, B, C</td> <td>0.35^{※3}</td> <td>149</td> <td>508.0^{※4} (9.5^{※2})</td> <td>SB42</td> </tr> </tbody> </table> <p>給水加熱器とシリンダ</p> <p>注記</p> <p>※1：公称値を示す。</p> <p>※2：記載の適正化を行う。既設工認には「第1給水加熱器および第2給水加熱器および主配管入口調整弁まで」と記載。</p> <p>※3：S1単位に換算したもの。</p> <p>※4：当該ラインについては、主配管に該当しないため、記載の適正化を行う。</p> <p>※5：記載の適正化を行う。既設工認には「第3給水加熱器および主配管入口調整弁まで」と記載。</p> <p>※6：記載の適正化を行う。既設工認には「第4給水加熱器および主配管入口調整弁まで」と記載。</p> <p>※7：既設工認には記載がないため、記載内容は、昭和51年11月12日付け51東庁第1234号にて認可された工事計画の添付書類「図-1-8 給水加熱器ドレン系配管の規格計算書」による。</p>		名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 ^{※1} (mm)	厚さ (mm)	材料	ドレンポンプ	0.70	149	406.4 (9.5 ^{※2})	SB42	第6給水加熱器	0.35	149	406.4 (12.7 ^{※2})	SCW3	第6給水加熱器	0.35 ^{※3}	149	711.2 (12.7 ^{※2})	SCW3	第6給水加熱器	0.35 ^{※3}	149	508.0 ^{※4} (9.5 ^{※2})	SB42	弁 LCV-5-16.5A, B, C	0.35 ^{※3}	149	508.0 ^{※4} (9.5 ^{※2})	SB42	弁 LCV-5-16.5A, B, C	0.35 ^{※3}	149	508.0 ^{※4} (9.5 ^{※2})	SB42
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)																																																		
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																		
第十五条 材料及び構造	・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	最高使用圧力：〇 MPa 最高使用温度：〇 ℃ 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																		
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 ^{※1} (mm)	厚さ (mm)	材料																																															
ドレンポンプ	0.70	149	406.4 (9.5 ^{※2})	SB42																																																
第6給水加熱器	0.35	149	406.4 (12.7 ^{※2})	SCW3																																																
第6給水加熱器	0.35 ^{※3}	149	711.2 (12.7 ^{※2})	SCW3																																																
第6給水加熱器	0.35 ^{※3}	149	508.0 ^{※4} (9.5 ^{※2})	SB42																																																
弁 LCV-5-16.5A, B, C	0.35 ^{※3}	149	508.0 ^{※4} (9.5 ^{※2})	SB42																																																
弁 LCV-5-16.5A, B, C	0.35 ^{※3}	149	508.0 ^{※4} (9.5 ^{※2})	SB42																																																

仕様表記載例（機種：フィルタ）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																							
MOX 施設の既認可に仕様表なし	<table border="1"> <tr><td>名</td><td>称</td><td>〇〇〇排気フィルタユニット (PA000)</td></tr> <tr><td>種</td><td>類</td><td>—</td></tr> <tr><td>最 高 使 用 圧 力</td><td>kPa</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>最 高 使 用 温 度</td><td>℃</td><td>〇〇^{*2}</td></tr> <tr><td>容 量</td><td>m³/h/個</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>効 率</td><td>単 体 %</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td></td><td>総 合 %</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="4">主 要 寸 法</td><td>吸 込 口 径</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>吐 出 口 径</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>た て</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td>横</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td></td><td>高 さ</td><td>mm</td><td>〇〇^{*1}</td></tr> <tr><td rowspan="2">主 要 材 料</td><td>ケ ー シ ン グ</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>ろ 材</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>個</td><td>数</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td rowspan="4">取 付 箇 所</td><td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>設 置 床</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td><td>—</td><td>〇〇</td></tr> </table>	名	称	〇〇〇排気フィルタユニット (PA000)	種	類	—	最 高 使 用 圧 力	kPa	〇〇	最 高 使 用 温 度	℃	〇〇 ^{*2}	容 量	m ³ /h/個	〇〇	効 率	単 体 %	〇〇		総 合 %	〇〇	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	〇〇 ^{*1}	吐 出 口 径	mm	〇〇 ^{*1}	た て	mm	〇〇 ^{*1}	横	mm	〇〇 ^{*1}		高 さ	mm	〇〇 ^{*1}	主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	〇〇	ろ 材	—	〇〇	個	数	—	〇〇	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	〇〇	設 置 床	—	〇〇	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇	<table border="1"> <tr> <th>術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第二十条 廃棄施設</td> <td>・気体廃棄設備は排気設備の排気側の高性能エアフィルタを複数段設け、核燃料物質を除去し排気する設計</td> <td>効率：〇〇%以上</td> </tr> <tr> <td>第三十三条 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備</td> <td>・MOX粉末の外部放出を抑制する設計</td> <td>効率：〇〇%以上</td> </tr> </table>	術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第二十条 廃棄施設	・気体廃棄設備は排気設備の排気側の高性能エアフィルタを複数段設け、核燃料物質を除去し排気する設計	効率：〇〇%以上	第三十三条 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備	・MOX粉末の外部放出を抑制する設計	効率：〇〇%以上	<p>(6) フィルター（公衆の放射線障害の防止及び中央制御室の従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。）の名称、種類、効率、主要寸法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td colspan="2">緊急時対策所非常用フィルタ装置 (東海、東海第二発電所共用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種 類</td> <td colspan="2">高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">効 率</td> <td>単 体</td> <td>高性能粒子フィルタ %</td> <td>99.97 以上 (0.15 μm 以上の粒子に対して)</td> </tr> <tr> <td>よ う 素 用</td> <td>チャコールフィルタ %</td> <td>99.75 以上 (相対湿度 70 % 以下、温度 10 ℃ 以下において)</td> </tr> <tr> <td>高 性 能 粒 子</td> <td>フィルタ %</td> <td>99.99 以上 (0.5 μm 粒子)</td> </tr> <tr> <td>よ う 素 用</td> <td>チャコールフィルタ %</td> <td>99.75 以上 (相対湿度 70 %, 温度 10 ℃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 口 径</td> <td>mm</td> <td>355.6*</td> </tr> <tr> <td>吐 出 口 径</td> <td>mm</td> <td>355.6*</td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>1500*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>7700*</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>2100*</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td>緊急時対策所非常用 フィルタ装置 A 緊急時対策所換気系</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>緊急時対策所非常用 フィルタ装置 B 緊急時対策所換気系</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>緊急時対策所棟屋 EL. 37.00 m</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>緊急時対策所棟屋 EL. 37.10 m</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変 更 後	名 称		緊急時対策所非常用フィルタ装置 (東海、東海第二発電所共用)		種 類		高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ		効 率	単 体	高性能粒子フィルタ %	99.97 以上 (0.15 μm 以上の粒子に対して)	よ う 素 用	チャコールフィルタ %	99.75 以上 (相対湿度 70 % 以下、温度 10 ℃ 以下において)	高 性 能 粒 子	フィルタ %	99.99 以上 (0.5 μm 粒子)	よ う 素 用	チャコールフィルタ %	99.75 以上 (相対湿度 70 %, 温度 10 ℃)	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	355.6*	吐 出 口 径	mm	355.6*	た て	mm	1500*	横	mm	7700*	高 さ	mm	2100*	個 数	—	—	2	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	緊急時対策所非常用 フィルタ装置 A 緊急時対策所換気系	設 置 床	—	緊急時対策所非常用 フィルタ装置 B 緊急時対策所換気系	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	緊急時対策所棟屋 EL. 37.00 m	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	緊急時対策所棟屋 EL. 37.10 m	
名	称	〇〇〇排気フィルタユニット (PA000)																																																																																																																																									
種	類	—																																																																																																																																									
最 高 使 用 圧 力	kPa	〇〇																																																																																																																																									
最 高 使 用 温 度	℃	〇〇 ^{*2}																																																																																																																																									
容 量	m ³ /h/個	〇〇																																																																																																																																									
効 率	単 体 %	〇〇																																																																																																																																									
	総 合 %	〇〇																																																																																																																																									
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																								
	吐 出 口 径	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																								
	た て	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																								
	横	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																								
	高 さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																								
主 要 材 料	ケ ー シ ン グ	—	〇〇																																																																																																																																								
	ろ 材	—	〇〇																																																																																																																																								
個	数	—	〇〇																																																																																																																																								
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	〇〇																																																																																																																																								
	設 置 床	—	〇〇																																																																																																																																								
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	〇〇																																																																																																																																								
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	〇〇																																																																																																																																								
術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																									
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																																																																									
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																																																									
第二十条 廃棄施設	・気体廃棄設備は排気設備の排気側の高性能エアフィルタを複数段設け、核燃料物質を除去し排気する設計	効率：〇〇%以上																																																																																																																																									
第三十三条 閉じ込める機能の喪失に対処するための設備	・MOX粉末の外部放出を抑制する設計	効率：〇〇%以上																																																																																																																																									
		変更前	変 更 後																																																																																																																																								
名 称		緊急時対策所非常用フィルタ装置 (東海、東海第二発電所共用)																																																																																																																																									
種 類		高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ																																																																																																																																									
効 率	単 体	高性能粒子フィルタ %	99.97 以上 (0.15 μm 以上の粒子に対して)																																																																																																																																								
	よ う 素 用	チャコールフィルタ %	99.75 以上 (相対湿度 70 % 以下、温度 10 ℃ 以下において)																																																																																																																																								
	高 性 能 粒 子	フィルタ %	99.99 以上 (0.5 μm 粒子)																																																																																																																																								
	よ う 素 用	チャコールフィルタ %	99.75 以上 (相対湿度 70 %, 温度 10 ℃)																																																																																																																																								
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	355.6*																																																																																																																																								
	吐 出 口 径	mm	355.6*																																																																																																																																								
	た て	mm	1500*																																																																																																																																								
	横	mm	7700*																																																																																																																																								
高 さ	mm	2100*																																																																																																																																									
個 数	—	—	2																																																																																																																																								
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	緊急時対策所非常用 フィルタ装置 A 緊急時対策所換気系																																																																																																																																								
	設 置 床	—	緊急時対策所非常用 フィルタ装置 B 緊急時対策所換気系																																																																																																																																								
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	緊急時対策所棟屋 EL. 37.00 m																																																																																																																																								
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	緊急時対策所棟屋 EL. 37.10 m																																																																																																																																								
	<p>注記 *1：公称値を示す。 *2：重大事故時等における使用時の値を示す。</p>		<p>注記 *：公称値を示す。</p>																																																																																																																																								

仕様表記載例（機種：建物・構築物）

既認可の仕様表		仕様表案			要求事項の整理			発電炉類似設備要目表			備考																																																																																																																																																												
<p>主要設備リストで展開</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <td>燃料加工建屋</td> </tr> <tr> <th>耐震クラス</th> <td>B</td> </tr> <tr> <th>放射線防護(しゃへい)</th> <td>しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。</td> </tr> <tr> <th>航空機に対する防護</th> <td>航空機の衝突に対し、安全確保上支障がないように設計するものとする。</td> </tr> <tr> <th>基本設計方針で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>支持地盤の許容支持力度</th> <td>長期：OMP 短期：OMP</td> </tr> <tr> <th>主要構造</th> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <th>南北方向：〇m(外壁外面寸法)</th> <td></td> </tr> <tr> <th>東西方向：〇m(外壁外面寸法)</th> <td></td> </tr> <tr> <th>階数：地上2階、地下3階(一部中2階)</th> <td></td> </tr> <tr> <th>高さ：地上〇m</th> <td></td> </tr> <tr> <th>壁厚等：第1.-3表に示す。</th> <td></td> </tr> <tr> <th>鉄筋：JIS 〇〇〇(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める〇及び〇</th> <td></td> </tr> <tr> <th>コンクリート：〇〇〇の規定による普通コンクリート設計基準強度</th> <td></td> </tr> <tr> <th>密度 〇kg/m³以上</th> <td></td> </tr> <tr> <th>添付図(平面図及び断面図)</th> <td>第1.1-1図～第1.1-9図に示す。</td> </tr> <tr> <th>基本設計方針で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>特記事項</th> <td>① 管理区域内の汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は、除染が容易で腐食し難い材料で仕上げる設計とする。(汚染防止に係る措置の範囲を第1.-2表に示す。) ② 「建築基準法」の耐火建築物とする。 ③ 原料受払室、粉末調整第1室等の部屋で構成する区域の境界の構築物を安全上重要な施設とする。(安全上重要な施設である構築物の範囲を第1.-2表に示す。) ④ 臨界安全上必要がある場合には、中性子相互干渉を考慮する貯蔵施設等の周囲に〇cm以上のコンクリートを配置し、核的に隔離する設計とする。</td> </tr> <tr> <th>建屋平面図・断面図で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>遮蔽設備の仕様表で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>主要材料</th> <td></td> </tr> <tr> <th>添付図(平面図及び断面図)</th> <td></td> </tr> <tr> <th>基本設計方針で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>特記事項</th> <td></td> </tr> <tr> <th>建屋平面図で展開</th> <td></td> </tr> <tr> <th>臨界の基本設計方針、単一ユニットの装置の仕様表で展開</th> <td></td> </tr> </table>		名称	燃料加工建屋	耐震クラス	B	放射線防護(しゃへい)	しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。	航空機に対する防護	航空機の衝突に対し、安全確保上支障がないように設計するものとする。	基本設計方針で展開		支持地盤の許容支持力度	長期：OMP 短期：OMP	主要構造	〇〇〇	南北方向：〇m(外壁外面寸法)		東西方向：〇m(外壁外面寸法)		階数：地上2階、地下3階(一部中2階)		高さ：地上〇m		壁厚等：第1.-3表に示す。		鉄筋：JIS 〇〇〇(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める〇及び〇		コンクリート：〇〇〇の規定による普通コンクリート設計基準強度		密度 〇kg/m ³ 以上		添付図(平面図及び断面図)	第1.1-1図～第1.1-9図に示す。	基本設計方針で展開		特記事項	① 管理区域内の汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は、除染が容易で腐食し難い材料で仕上げる設計とする。(汚染防止に係る措置の範囲を第1.-2表に示す。) ② 「建築基準法」の耐火建築物とする。 ③ 原料受払室、粉末調整第1室等の部屋で構成する区域の境界の構築物を安全上重要な施設とする。(安全上重要な施設である構築物の範囲を第1.-2表に示す。) ④ 臨界安全上必要がある場合には、中性子相互干渉を考慮する貯蔵施設等の周囲に〇cm以上のコンクリートを配置し、核的に隔離する設計とする。	建屋平面図・断面図で展開		遮蔽設備の仕様表で展開		主要材料		添付図(平面図及び断面図)		基本設計方針で展開		特記事項		建屋平面図で展開		臨界の基本設計方針、単一ユニットの装置の仕様表で展開		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>燃料加工建屋^{*5}</td> <td>燃料加工建屋^{*2*3} (再処理施設と共用)</td> </tr> <tr> <td>種類(主要構造)*1</td> <td>上部構造：〇〇〇 基礎：〇〇〇</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>支持地盤の許容支持力度</td> <td>MPa 長期：〇 短期：〇</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支持地盤の極限支持力度</td> <td>MPa —</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>マンメイドロックの強度</td> <td>MPa 〇^{*5}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <th rowspan="7">主要寸法</th> <td>たて×横</td> <td>m 〇〇〇^{*4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m 〇〇〇^{*4}</td> <td>〇〇〇^{*4}</td> </tr> <tr> <td>東壁</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> <td>〇〇～〇〇^{*4}</td> </tr> <tr> <td>西壁</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> <td>〇〇～〇〇^{*4}</td> </tr> <tr> <td>南壁</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> <td>〇〇～〇〇^{*4}</td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> <td>〇〇～〇〇^{*4}</td> </tr> <tr> <td>床・天井</td> <td>m 〇〇～〇〇^{*4*6}</td> <td>〇〇～〇〇^{*4}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>鉄筋コンクリート^{*7}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：記載の適正化。既設工認には「主要構造」と記載。 *2：燃料加工建屋は、再処理施設と一部共用する。 *3：燃料加工建屋は、MOX燃料加工施設にて設備登録を行っている。 *4：公称値を示す。 *5：記載内容は、平成〇年〇月〇日付け平成〇原第〇号にて認可を受けた設工認申請書の「別添イ、建物1.燃料加工建屋(その1)及び貯蔵容器搬送用洞道(5)工事の方法」において記載したマンメイドロックの強度による。 *6：記載内容は、平成〇年〇月〇日付け〇号にて認可を受けた設工認申請書の添付書類「Ⅲ-2-1-1-2 燃料加工建屋の耐震計算書 図面リスト 第14図(1)燃料加工建屋 断面壁断面リストから第14図(6)燃料加工建屋 断面壁断面リスト」及び添付書類「V 添付-1-2-1 燃料加工建屋の航空機に対する防護計算書 図面リスト 第1図 燃料加工建屋 防護壁断面リストから第4図 燃料加工建屋 防護スラブ断面リスト」による。 *7：記載の適正化。既設工認には「鉄筋：JIS 〇〇〇(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める〇及び〇 コンクリート：〇〇〇の規定による普通コンクリート設計基準強度〇N/mm² 密度〇kg/m³以上」と記載。</p>			名称	変更前	変更後	名称	燃料加工建屋 ^{*5}	燃料加工建屋 ^{*2*3} (再処理施設と共用)	種類(主要構造)*1	上部構造：〇〇〇 基礎：〇〇〇	変更なし	支持地盤の許容支持力度	MPa 長期：〇 短期：〇	—	支持地盤の極限支持力度	MPa —	〇	マンメイドロックの強度	MPa 〇 ^{*5}	変更なし	主要寸法	たて×横	m 〇〇〇 ^{*4}		高さ	m 〇〇〇 ^{*4}	〇〇〇 ^{*4}	東壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}	西壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}	南壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}	北壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}	床・天井	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}	主要材料	鉄筋コンクリート ^{*7}	変更なし	個数	—	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様(詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第五条 地盤</td> <td>建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置</td> <td>支持地盤の極限支持力度：OMP マンメイドロック強度：OMP</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第八条 外部からの衝撃による損傷の防止</td> <td>・設計荷重(竜巻)に対して機械的強度を有する設計 ・設計荷重(火山)に対して安全余裕を有する設計 その他外部衝撃に対して機械的強度を有する設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十二条 遮蔽</td> <td>直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置 基準線量率を達成するため遮蔽体の設置</td> <td>主要寸法(厚さ)：〇〇 主要材料：〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>第三十条 重大事故等対処設備</td> <td>基準地震動を1.2倍した地震力に対して、必要な機能が損なわれない設計</td> <td>主要寸法：〇〇 主要材料：〇〇〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>遮蔽設備として別途、仕様表展開</p>			技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	第五条 地盤	建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置	支持地盤の極限支持力度：OMP マンメイドロック強度：OMP	第六条 地震による損傷の防止	適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	・設計荷重(竜巻)に対して機械的強度を有する設計 ・設計荷重(火山)に対して安全余裕を有する設計 その他外部衝撃に対して機械的強度を有する設計	主要寸法 主要材料	第十二条 遮蔽	直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置 基準線量率を達成するため遮蔽体の設置	主要寸法(厚さ)：〇〇 主要材料：〇〇〇〇	第三十条 重大事故等対処設備	基準地震動を1.2倍した地震力に対して、必要な機能が損なわれない設計	主要寸法：〇〇 主要材料：〇〇〇〇	<p>2 原子炉建屋に係る次の事項 (1) 原子炉建屋原子炉棟の名称、種類、設計気密度、主要寸法、材料及び個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋原子炉棟^{*1}</td> <td>原子炉建屋原子炉棟^{*7}</td> </tr> <tr> <td>設計気密度</td> <td>%/d</td> <td>鉄筋コンクリート造 (屋根は鉄骨構造)</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <th rowspan="5">主要寸法</th> <td>たて×横</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東壁</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西壁</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南壁</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北壁</td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート及び鋼材^{*2}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>1^{*4}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋[原子炉棟(2次格納施設)、付属棟]と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載。 *3：公称値を示す。 *4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年4月9日付け47公第12076号にて認可された工事計画書の添付図面「第3-2図 原子炉建屋耐力壁断面リスト(No.1)」、「第3-3図 原子炉建屋 耐力壁断面リスト(No.2)」による。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鋼材：JIS G 3101一般構造用圧延鋼材 JIS G 3106溶接構造用圧延鋼材、鉄筋：JIS G 3112鉄筋コンクリート用棒鋼、セメント：JIS R 5210普通ポルトランドセメントおよび中熱セメント JIS R 5213フライアッシュセメント、骨材：天然砂および川砂利」と記載。 *6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *7：圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉建屋ガス処理系 非常用ガス再循環系、非常用ガス処理系、水素濃度抑制系)と兼用する。</p>			名称		変更前	変更後	種類	—	原子炉建屋原子炉棟 ^{*1}	原子炉建屋原子炉棟 ^{*7}	設計気密度	%/d	鉄筋コンクリート造 (屋根は鉄骨構造)	変更なし	主要寸法	たて×横	mm		高さ	mm		東壁	mm		西壁	mm		南壁	mm		北壁	mm			材料	—	鉄筋コンクリート及び鋼材 ^{*2}		個数	—	1 ^{*4}		<p>沸騰水型原子炉では、建屋気密性を被ばく評価の条件に用いているが、MOX燃料加工施設では、建屋には気密性を設定していないことから、記載は不要と判断する</p> <p>航空機防護版、Sクラスの床・天井の評価のため、燃料加工建屋の床・天井の厚さを記載</p> <p>既認可記載事項である地盤の仕様項目(支持地盤の強度)を記載。 また、マンメイドロックの強度を記載。</p>
名称	燃料加工建屋																																																																																																																																																																						
耐震クラス	B																																																																																																																																																																						
放射線防護(しゃへい)	しゃへい設計の基準となる線量率を満足するものとする。																																																																																																																																																																						
航空機に対する防護	航空機の衝突に対し、安全確保上支障がないように設計するものとする。																																																																																																																																																																						
基本設計方針で展開																																																																																																																																																																							
支持地盤の許容支持力度	長期：OMP 短期：OMP																																																																																																																																																																						
主要構造	〇〇〇																																																																																																																																																																						
南北方向：〇m(外壁外面寸法)																																																																																																																																																																							
東西方向：〇m(外壁外面寸法)																																																																																																																																																																							
階数：地上2階、地下3階(一部中2階)																																																																																																																																																																							
高さ：地上〇m																																																																																																																																																																							
壁厚等：第1.-3表に示す。																																																																																																																																																																							
鉄筋：JIS 〇〇〇(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める〇及び〇																																																																																																																																																																							
コンクリート：〇〇〇の規定による普通コンクリート設計基準強度																																																																																																																																																																							
密度 〇kg/m ³ 以上																																																																																																																																																																							
添付図(平面図及び断面図)	第1.1-1図～第1.1-9図に示す。																																																																																																																																																																						
基本設計方針で展開																																																																																																																																																																							
特記事項	① 管理区域内の汚染のおそれのある部屋の床及び人が触れるおそれのある壁の表面は、除染が容易で腐食し難い材料で仕上げる設計とする。(汚染防止に係る措置の範囲を第1.-2表に示す。) ② 「建築基準法」の耐火建築物とする。 ③ 原料受払室、粉末調整第1室等の部屋で構成する区域の境界の構築物を安全上重要な施設とする。(安全上重要な施設である構築物の範囲を第1.-2表に示す。) ④ 臨界安全上必要がある場合には、中性子相互干渉を考慮する貯蔵施設等の周囲に〇cm以上のコンクリートを配置し、核的に隔離する設計とする。																																																																																																																																																																						
建屋平面図・断面図で展開																																																																																																																																																																							
遮蔽設備の仕様表で展開																																																																																																																																																																							
主要材料																																																																																																																																																																							
添付図(平面図及び断面図)																																																																																																																																																																							
基本設計方針で展開																																																																																																																																																																							
特記事項																																																																																																																																																																							
建屋平面図で展開																																																																																																																																																																							
臨界の基本設計方針、単一ユニットの装置の仕様表で展開																																																																																																																																																																							
名称	変更前	変更後																																																																																																																																																																					
名称	燃料加工建屋 ^{*5}	燃料加工建屋 ^{*2*3} (再処理施設と共用)																																																																																																																																																																					
種類(主要構造)*1	上部構造：〇〇〇 基礎：〇〇〇	変更なし																																																																																																																																																																					
支持地盤の許容支持力度	MPa 長期：〇 短期：〇	—																																																																																																																																																																					
支持地盤の極限支持力度	MPa —	〇																																																																																																																																																																					
マンメイドロックの強度	MPa 〇 ^{*5}	変更なし																																																																																																																																																																					
主要寸法	たて×横	m 〇〇〇 ^{*4}																																																																																																																																																																					
	高さ	m 〇〇〇 ^{*4}	〇〇〇 ^{*4}																																																																																																																																																																				
	東壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}																																																																																																																																																																				
	西壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}																																																																																																																																																																				
	南壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}																																																																																																																																																																				
	北壁	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}																																																																																																																																																																				
	床・天井	m 〇〇～〇〇 ^{*4*6}	〇〇～〇〇 ^{*4}																																																																																																																																																																				
主要材料	鉄筋コンクリート ^{*7}	変更なし																																																																																																																																																																					
個数	—	1																																																																																																																																																																					
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																																																					
第五条 地盤	建物・構築物を接地圧に対する十分な支持性能を有する事業変更許可を受けた地盤に設置	支持地盤の極限支持力度：OMP マンメイドロック強度：OMP																																																																																																																																																																					
第六条 地震による損傷の防止	適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																																																																																																					
第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	・設計荷重(竜巻)に対して機械的強度を有する設計 ・設計荷重(火山)に対して安全余裕を有する設計 その他外部衝撃に対して機械的強度を有する設計	主要寸法 主要材料																																																																																																																																																																					
第十二条 遮蔽	直接線、スカイシャイン線に対して遮蔽体の設置 基準線量率を達成するため遮蔽体の設置	主要寸法(厚さ)：〇〇 主要材料：〇〇〇〇																																																																																																																																																																					
第三十条 重大事故等対処設備	基準地震動を1.2倍した地震力に対して、必要な機能が損なわれない設計	主要寸法：〇〇 主要材料：〇〇〇〇																																																																																																																																																																					
名称		変更前	変更後																																																																																																																																																																				
種類	—	原子炉建屋原子炉棟 ^{*1}	原子炉建屋原子炉棟 ^{*7}																																																																																																																																																																				
設計気密度	%/d	鉄筋コンクリート造 (屋根は鉄骨構造)	変更なし																																																																																																																																																																				
主要寸法	たて×横	mm																																																																																																																																																																					
	高さ	mm																																																																																																																																																																					
	東壁	mm																																																																																																																																																																					
	西壁	mm																																																																																																																																																																					
	南壁	mm																																																																																																																																																																					
北壁	mm																																																																																																																																																																						
材料	—	鉄筋コンクリート及び鋼材 ^{*2}																																																																																																																																																																					
個数	—	1 ^{*4}																																																																																																																																																																					
<p>注1 対応する加工事業許可番号(日付)：平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日) 注2 本建屋がBクラスのしゃへい壁を有していることを示す。また、本建屋はBクラスのしゃへい壁を有していることから、Bクラスの施設に適用される地震力に耐えるように設計する。なお、本建屋は、Sクラスの設備・機器を設置するため、基準地震動 Ss で間接支持構造物としての支持機能が維持されている</p> <p>耐震の添付書類(耐震重要度分類)で展開。</p>																																																																																																																																																																							

仕様表記載例（機種：建物・構築物（火災区域構築物））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>既認可の仕様表に該当なし</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">主要寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">主要材料</th> <th colspan="3">名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">主要寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">主要材料</th> </tr> <tr> <th>火災区域名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th>火災区域名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align:center;">-</td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> <td rowspan="6" style="text-align:center;">壁</td> <td rowspan="6" style="text-align:center;">〇以上 (〇*1)</td> <td rowspan="6" style="text-align:center;">鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>〇〇室</td> <td>火災区域</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 公称値のうち最小のものを示す。</p>	変更前					変更後					名称			種類	主要寸法 (mm)	主要材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	主要材料	火災区域名称	区分	番号	火災区域名称	区分	番号	-					〇〇室	火災区域	〇〇	壁	〇以上 (〇*1)	鉄筋コンクリート						〇〇室	火災区域	〇〇						〇〇室	火災区域	〇〇						〇〇室	火災区域	〇〇						〇〇室	火災区域	〇〇						〇〇室	火災区域	〇〇	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th colspan="2">機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">様式-6 様式-7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一 条 第二十 九条 火災等 による 損傷の 防止</td> <td colspan="2">3時間以上の耐火能力を有する耐火壁の設置</td> <td>主要寸法：〇〇mm以上 主要材料：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②		主な仕様 (詳細設計)	様式-6 様式-7		第十一 条 第二十 九条 火災等 による 損傷の 防止	3時間以上の耐火能力を有する耐火壁の設置		主要寸法：〇〇mm以上 主要材料：〇〇	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th>種類</th> <th>名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火災区域 (区画)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>火災区域 (区画)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-1) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-1</td> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-1) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-3) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-3</td> <td>原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-3) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-3</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (B-4) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-4</td> <td>原子炉建屋付属棟 (B-4) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-4</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (B-5) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-5</td> <td>原子炉建屋付属棟 (B-5) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-5</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (B-6) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-6</td> <td>原子炉建屋付属棟 (B-6) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (B-7) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-7</td> <td>原子炉建屋付属棟 (B-7) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-7</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟 (B-8) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-8</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 (B-8) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-8</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟 (B-10) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-10</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 (B-10) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-10</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟 (B-11) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-11</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 (B-11) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-11</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉棟 (B-12) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-12</td> <td>原子炉建屋原子炉棟 (B-12) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-12</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>0-4</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>0-4</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>0-5</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>0-5</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>0-6</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>0-6</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>0-7</td> <td>原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>0-7</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (B-1) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-1</td> <td>原子炉建屋付属棟 (B-1) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (B-5) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-5</td> <td>原子炉建屋付属棟 (B-5) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-5</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟 (B-6) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-6</td> <td>原子炉建屋付属棟 (B-6) *</td> <td>火災区域</td> <td></td> <td>B-6</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本設備は既存の設備である。 *2: 公称値のうち最小のものを示す。</p>	変更前				変更後				名称	区分	番号	種類	名称	区分	番号	種類	火災区域 (区画)				火災区域 (区画)				原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-1) *	火災区域		B-1	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-1) *	火災区域		B-1	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-3) *	火災区域		B-3	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-3) *	火災区域		B-3	原子炉建屋付属棟 (B-4) *	火災区域		B-4	原子炉建屋付属棟 (B-4) *	火災区域		B-4	原子炉建屋付属棟 (B-5) *	火災区域		B-5	原子炉建屋付属棟 (B-5) *	火災区域		B-5	原子炉建屋付属棟 (B-6) *	火災区域		B-6	原子炉建屋付属棟 (B-6) *	火災区域		B-6	原子炉建屋付属棟 (B-7) *	火災区域		B-7	原子炉建屋付属棟 (B-7) *	火災区域		B-7	原子炉建屋原子炉棟 (B-8) *	火災区域		B-8	原子炉建屋原子炉棟 (B-8) *	火災区域		B-8	原子炉建屋原子炉棟 (B-10) *	火災区域		B-10	原子炉建屋原子炉棟 (B-10) *	火災区域		B-10	原子炉建屋原子炉棟 (B-11) *	火災区域		B-11	原子炉建屋原子炉棟 (B-11) *	火災区域		B-11	原子炉建屋原子炉棟 (B-12) *	火災区域		B-12	原子炉建屋原子炉棟 (B-12) *	火災区域		B-12	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-4	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-4	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-5	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-5	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-6	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-6	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-7	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-7	原子炉建屋付属棟 (B-1) *	火災区域		B-1	原子炉建屋付属棟 (B-1) *	火災区域		B-1	原子炉建屋付属棟 (B-5) *	火災区域		B-5	原子炉建屋付属棟 (B-5) *	火災区域		B-5	原子炉建屋付属棟 (B-6) *	火災区域		B-6	原子炉建屋付属棟 (B-6) *	火災区域		B-6	
変更前					変更後																																																																																																																																																																																																																																																								
名称			種類	主要寸法 (mm)	主要材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	主要材料																																																																																																																																																																																																																																																		
火災区域名称	区分	番号				火災区域名称	区分	番号																																																																																																																																																																																																																																																					
-					〇〇室	火災区域	〇〇	壁	〇以上 (〇*1)	鉄筋コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																			
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
					〇〇室	火災区域	〇〇																																																																																																																																																																																																																																																						
技術基準	機能要求②		主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																										
	様式-6 様式-7																																																																																																																																																																																																																																																												
第十一 条 第二十 九条 火災等 による 損傷の 防止	3時間以上の耐火能力を有する耐火壁の設置		主要寸法：〇〇mm以上 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																																										
変更前				変更後																																																																																																																																																																																																																																																									
名称	区分	番号	種類	名称	区分	番号	種類																																																																																																																																																																																																																																																						
火災区域 (区画)				火災区域 (区画)																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-1) *	火災区域		B-1	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-1) *	火災区域		B-1																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-3) *	火災区域		B-3	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (B-3) *	火災区域		B-3																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (B-4) *	火災区域		B-4	原子炉建屋付属棟 (B-4) *	火災区域		B-4																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (B-5) *	火災区域		B-5	原子炉建屋付属棟 (B-5) *	火災区域		B-5																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (B-6) *	火災区域		B-6	原子炉建屋付属棟 (B-6) *	火災区域		B-6																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (B-7) *	火災区域		B-7	原子炉建屋付属棟 (B-7) *	火災区域		B-7																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋原子炉棟 (B-8) *	火災区域		B-8	原子炉建屋原子炉棟 (B-8) *	火災区域		B-8																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋原子炉棟 (B-10) *	火災区域		B-10	原子炉建屋原子炉棟 (B-10) *	火災区域		B-10																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋原子炉棟 (B-11) *	火災区域		B-11	原子炉建屋原子炉棟 (B-11) *	火災区域		B-11																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋原子炉棟 (B-12) *	火災区域		B-12	原子炉建屋原子炉棟 (B-12) *	火災区域		B-12																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-4	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-4																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-5	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-5																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-6	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-6																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-7	原子炉建屋付属棟 (DC-20A-サブペンダントファン室) *	火災区域		0-7																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (B-1) *	火災区域		B-1	原子炉建屋付属棟 (B-1) *	火災区域		B-1																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (B-5) *	火災区域		B-5	原子炉建屋付属棟 (B-5) *	火災区域		B-5																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋付属棟 (B-6) *	火災区域		B-6	原子炉建屋付属棟 (B-6) *	火災区域		B-6																																																																																																																																																																																																																																																						

仕様表記載例（機種：建物・構築物（施設外漏えい堰））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																
<p>MOX 施設の既認可に仕様表なし。</p>	<table border="1" data-bbox="744 304 1344 674"> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上*2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇〇 T.M.S.L.〇m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p data-bbox="736 682 1038 735">注記 *1：公称値を示す。 *2：T.M.S.L.〇m からの高さ。</p>	名称		—	〇〇〇〇	種類		—	堰	主要寸法	高さ	mm	〇〇以上*2	主要材料		—	〇〇	取付箇所	系統名（ライン名）	—	—	設置床	—	〇〇〇 T.M.S.L.〇m	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<table border="1" data-bbox="1374 310 1982 751"> <tr> <td>技術基準</td> <td>機能要求② 様式-6 様式-7</td> <td>主な仕様 (詳細設計)</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>適用をされる地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十条閉じ込め</td> <td>・放射性液体が漏えいした場合に堰等により施設外への漏えいを防止する設計</td> <td>主要寸法(高さ) ：〇〇mm 以上</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	適用をされる地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十条閉じ込め	・放射性液体が漏えいした場合に堰等により施設外への漏えいを防止する設計	主要寸法(高さ) ：〇〇mm 以上	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	<p data-bbox="2012 262 2650 367">3 堰その他の設備に係る次の事項 (2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰（放射性廃棄物運搬容器にあっては、流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する設備）の名称、主要寸法、材料及び取付箇所並びに床面及び壁面の塗装の範囲及び材料</p> <table border="1" data-bbox="2033 367 2597 961"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種 類*2</td> <td>—</td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>堰 の 高 さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上*3 *4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料</td> <td>床面及び壁面の塗装の範囲*4</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>堰</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>床面及び壁面の塗装*4</td> <td>—</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>系 統 名 (ラ イ ン 名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>EL.〇〇〇m*5</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="2033 966 2650 1123">注記 *1：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。 *2：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合は事項を記載。 *3：EL.〇〇〇m からの高さ。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 cm 以上」と記載。</p>	名称		変更前	変更後	名 称		〇〇〇〇	〇〇〇〇	種 類*2		—	堰	主要寸法	堰 の 高 さ	mm	〇〇以上*3 *4	材 料	床面及び壁面の塗装の範囲*4	—	〇〇〇〇	堰	—	〇〇〇〇	取付箇所	床面及び壁面の塗装*4	—	〇〇〇〇	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	—	設 置 床	—	EL.〇〇〇m*5	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	<p data-bbox="2680 525 2864 640">床、壁の塗装については基本設計方針、添付書類で展開する。</p>
名称		—	〇〇〇〇																																																																																	
種類		—	堰																																																																																	
主要寸法	高さ	mm	〇〇以上*2																																																																																	
主要材料		—	〇〇																																																																																	
取付箇所	系統名（ライン名）	—	—																																																																																	
	設置床	—	〇〇〇 T.M.S.L.〇m																																																																																	
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																	
技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																		
第六条 地震による損傷の防止	適用をされる地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																		
第十条閉じ込め	・放射性液体が漏えいした場合に堰等により施設外への漏えいを防止する設計	主要寸法(高さ) ：〇〇mm 以上																																																																																		
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																		
名称		変更前	変更後																																																																																	
名 称		〇〇〇〇	〇〇〇〇																																																																																	
種 類*2		—	堰																																																																																	
主要寸法	堰 の 高 さ	mm	〇〇以上*3 *4																																																																																	
材 料	床面及び壁面の塗装の範囲*4	—	〇〇〇〇																																																																																	
	堰	—	〇〇〇〇																																																																																	
取付箇所	床面及び壁面の塗装*4	—	〇〇〇〇																																																																																	
	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	—																																																																																	
	設 置 床	—	EL.〇〇〇m*5																																																																																	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—																																																																																	
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																		

仕様表記載例（機種：建物・構築物(保管・廃棄エリア)）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																			
<p>MOX 施設の既認可に仕様表なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>容量</th> <th>たて</th> <th>横</th> <th>高さ</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウラン貯蔵エリア</td> <td>建物</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> <tr> <td>燃料棒受入一時保管エリア</td> <td>建物</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>荷卸室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体輸送容器一時保管エリア</td> <td>建物</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>輸送容器保管室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> <tr> <td>ウラン輸送容器一時保管エリア</td> <td>建物</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>〇</td> <td>輸送容器保管室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ウラン貯蔵室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>出入庫室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>輸送容器保管室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L.⁴⁾ 〇m²⁾</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：保管エリアの寸法を示す。</p>	名称	種類	容量	たて	横	高さ	設置場所	ウラン貯蔵エリア	建物	〇	〇	〇	〇	燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾	燃料棒受入一時保管エリア	建物	〇	〇	〇	〇	荷卸室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾	燃料集合体輸送容器一時保管エリア	建物	〇	〇	〇	〇	輸送容器保管室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾	ウラン輸送容器一時保管エリア	建物	〇	〇	〇	〇	輸送容器保管室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾							ウラン貯蔵室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾							固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾							出入庫室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾							輸送容器保管室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾							燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十七条 核燃料物質の貯蔵施設</td> <td>様式-6,7 ・核燃料物質を貯蔵するために必要な容量</td> <td>容量：〇〇t・HM</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十七条 核燃料物質の貯蔵施設	様式-6,7 ・核燃料物質を貯蔵するために必要な容量	容量：〇〇t・HM	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>建物 地上■階 地下■階</th> <th>固体廃棄物貯蔵庫 地上■階 地下■階</th> <th>建物 地上■階 地下■階</th> <th>固体廃棄物貯蔵庫 地上■階 地下■階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>建物</td> <td>建物</td> <td>建物</td> <td>建物</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> <td>200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> <td>200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> <td>200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 廃棄物貯蔵庫の名称、種類、容量、主要寸法及び材料 注記：* () 内は、貯蔵エリアを示す。 ：変更後の最右欄は今回増設分を示す。</p>	名称	変更前		変更後		建物 地上■階 地下■階	固体廃棄物貯蔵庫 地上■階 地下■階	建物 地上■階 地下■階	固体廃棄物貯蔵庫 地上■階 地下■階	種類	建物	建物	建物	建物	容量	200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	たて	■	■	■	■	横	■	■	■	■	高さ	■	■	■	■	材料	■	■	■	■	<p>材料については、建物・構築物側の仕様表の主要材料で記載しているため、記載しない。</p> <p>外寸については、建物・構築物側の仕様表の主要寸法（たて×横、高さ）で示しているため、保管エリア寸法を記載する。</p>
名称	種類	容量	たて	横	高さ	設置場所																																																																																																																	
ウラン貯蔵エリア	建物	〇	〇	〇	〇	燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
燃料棒受入一時保管エリア	建物	〇	〇	〇	〇	荷卸室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
燃料集合体輸送容器一時保管エリア	建物	〇	〇	〇	〇	輸送容器保管室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
ウラン輸送容器一時保管エリア	建物	〇	〇	〇	〇	輸送容器保管室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
						ウラン貯蔵室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
						固体廃棄物私出準備室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
						出入庫室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
						輸送容器保管室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
						燃料集合体組立クレーン室 T.M.S.L. ⁴⁾ 〇m ²⁾																																																																																																																	
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																					
第十七条 核燃料物質の貯蔵施設	様式-6,7 ・核燃料物質を貯蔵するために必要な容量	容量：〇〇t・HM																																																																																																																					
名称	変更前		変更後																																																																																																																				
	建物 地上■階 地下■階	固体廃棄物貯蔵庫 地上■階 地下■階	建物 地上■階 地下■階	固体廃棄物貯蔵庫 地上■階 地下■階																																																																																																																			
種類	建物	建物	建物	建物																																																																																																																			
容量	200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本	200tドラム缶 約■本相当 上段約■本 中段約■本 下段約■本																																																																																																																			
たて	■	■	■	■																																																																																																																			
横	■	■	■	■																																																																																																																			
高さ	■	■	■	■																																																																																																																			
材料	■	■	■	■																																																																																																																			

仕様表記載例（機種：排気筒）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																	
<p>既認可に仕様表なし</p>	<table border="1" data-bbox="736 346 1341 525"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th colspan="2">排気筒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支持地盤の許容支持力度</td> <td>MPa</td> <td>—^{*2}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支持地盤の極限支持力度</td> <td>MPa</td> <td>—^{*2}</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>出口内径</td> <td>m</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>地上高さ</td> <td>m</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個 数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="736 541 1240 588">注記：*1 公称値を示す。 *2 燃料加工建屋躯体から支持をとるため「—」とする。</p>	名 称		排気筒		種 類	—	〇〇		支持地盤の許容支持力度	MPa	— ^{*2}		支持地盤の極限支持力度	MPa	— ^{*2}		主要寸法	出口内径	m	〇〇 ^{*1}	地上高さ	m	〇〇 ^{*1}	主要材料		—	〇〇	個 数		—	〇〇	<table border="1" data-bbox="1371 310 1982 436"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6.7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6.7	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	<p data-bbox="2012 262 2558 304">2.4 その他 (16) 排気筒の名称、種類、主要寸法、材料及び個数（内筒及び外筒の別に記載すること。）</p> <table border="1" data-bbox="2012 315 2567 609"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変 更 前</th> <th>変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td></td> <td>主排気筒</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>鉄塔支持型鋼製 (制震装置付[減衰係数：<input type="text"/>]*)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>内 径^{*2}</td> <td>mm</td> <td>4500^{*3} ^{*4}</td> </tr> <tr> <td>地表上の高さ</td> <td>m</td> <td>140^{*4}</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td>—</td> <td>SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="2012 613 2433 697">注記 *1：オイルダンパの減衰係数を示す。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「筒身内径」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「4.5 m」と記載。 *4：公称値を示す。</p>			変 更 前	変 更 後	名 称		主排気筒		種 類	—	鉄塔支持型鋼製 (制震装置付[減衰係数： <input type="text"/>]*)		主要寸法	内 径 ^{*2}	mm	4500 ^{*3} ^{*4}	地表上の高さ	m	140 ^{*4}	材 料	—	SS400		個 数	—	1		
名 称		排気筒																																																																			
種 類	—	〇〇																																																																			
支持地盤の許容支持力度	MPa	— ^{*2}																																																																			
支持地盤の極限支持力度	MPa	— ^{*2}																																																																			
主要寸法	出口内径	m	〇〇 ^{*1}																																																																		
	地上高さ	m	〇〇 ^{*1}																																																																		
主要材料		—	〇〇																																																																		
個 数		—	〇〇																																																																		
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																			
	様式-6.7																																																																				
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																			
		変 更 前	変 更 後																																																																		
名 称		主排気筒																																																																			
種 類	—	鉄塔支持型鋼製 (制震装置付[減衰係数： <input type="text"/>]*)																																																																			
主要寸法	内 径 ^{*2}	mm	4500 ^{*3} ^{*4}																																																																		
	地表上の高さ	m	140 ^{*4}																																																																		
材 料	—	SS400																																																																			
個 数	—	1																																																																			

仕様表記載例（機種：ラック/ピット/棚）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考	
第1-2表 機器仕様		● ○○○○設備 ● ラック							
対応する加工事業許可	許可番号(日付) 平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日)	名称*2 ○○○○ピット (PA○○-○-○○)		変更前 ○○○○ピット (PA○○-○-○○)		機能要求② 様式-6 様式-7		主な仕様 (詳細設計)	技術基準
主要な設備及び機器の種類	核燃料物質の貯蔵施設 ○○○○設備 ○○○○ピット	種類*3 —		—		適用される地震力に十分耐えることができる設計			
許可との対応	本体	臨界管理		行方向○○以上 列方向○○以上		(2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。		臨界管理： ・中心間距離(ピット間隔)：○○ ・設置する室の壁・床・天井までの距離：○○ ・設置室の周囲の壁等厚さ：○○	第六条 地震による損傷の防止
設備・機器名称	貯蔵容器一時保管設備 ○○○○○○(PA○○-○-○○)	設置する室の壁・床・天井までの距離		南壁 mm ○○○以上 北壁 mm ○○○以上 床 mm ○○○以上 天井 mm ○○○以上		第十二条 溢水による損傷防止		取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. ○○○m以上	第十四条 核燃料物質の貯蔵のための必要な容量
設置場所	燃料加工建屋地下0階 ○○○室	設置室の周囲の壁等厚さ		mm ○○○以上*10		第十七条 貯蔵施設		・核燃料物質を貯蔵するために必要な容量	
変更内容	新設	容量*4		t・HM ○○ (○○ピット)				・容量：○○t・HM	
数量	○台	主要寸法*5		たて mm ○○○*1 横 mm ○○○*1 高さ mm ○○○*1					
一般仕様	形式 ○○○方式	主要材料*6		—					
	主要な構成材 ○○	個数*7		—					
	寸法(単位:mm) ・幅：○○○ ・奥行：○○○ ・高さ：○○○	系統名(ライン名)		—					
	その他の構成機器 —	設置床		—					
	その他の性能 最大貯蔵能力 ・○○t・HM(○ピット)	溢水防護上の区画番号		—					
核燃料物質の状態	粉末	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—					
核燃料物質の臨界防止	①単一ユニット又は複数ユニットの区分 ・複数ユニット(配列：○行×○列) ②貯蔵単位 混合酸化物貯蔵容器 ③貯蔵する核燃料物質の形態(注2) ・混合酸化物貯蔵容器：原料MOX粉末 ④貯蔵単位相互間の距離 ・中心間距離(ピット間隔)：行方向○mm以上、列方向○mm以上	取付箇所*8		設置室 T.M.S.L. ○m*11 ○○ T.M.S.L. ○m以上					
基本設計方針・添付書類で展開		注記		*1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *9：貯蔵単位(混合酸化物貯蔵容器)の配列(○行×○列)を核的に安全な配置とする。 *10：記載内容は、平成○年○月○日付け平成○原第○号にて認可を受けた設工認申請書の「別添イ. 燃料加工建屋(その1)及び貯蔵容器搬送用同道(4)設計条件及び仕様 特記事項」において記載したコンクリート厚さによる。 *11：記載内容は、平成○年○月○日付け平成○原第○号にて認可を受けた設工認申請書の本文添付図「第1-○図組立施設の機器配置図」による。					
基本設計方針・添付書類で展開		火災等による損傷の防止		○○○○には不燃性の材料を使用する。					
主要設備リストで展開		耐震性		○○○ピット ・耐震クラス：Bクラス(注3) ・主要材料：○○○(○○○, ○○○) ・基礎ボルト材質：○○○(○○○) ・基礎ボルト本数：○○○×○○○本 ・基礎ボルト配置：○○○mm×○○○mm ・取付ボルト材質：○○○(○○○) ・取付ボルト本数：○○○×○○○本 ・取付ボルト配置：○○○mm					
構造図で展開		材料及び構造		—					
		閉じ込めの機能		—					
		しゃへい		—					
		換気		—					
		核燃料物質等による汚染の防止		—					
安全上重要な施設	適切な方法により、安全機能を確認するための検査又は試験並びに安全機能を健全に維持するための保守	主要設備リストで展開							

(3) 使用済燃料貯蔵ラックの名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数

名称		変更前		変更後	
名	称	使用済燃料貯蔵ラック		使用済燃料貯蔵ラック*5	
種	類	—	○○○○式	—	—
容	量	体	○○	○○	変更なし
主	高	さ	mm	mm	
寸	中	心	間	距	
法	内	の	り	mm	
厚	さ	mm	mm	mm	
材	料	—	—	—	
個	数	—	○○	○○	

注記 *1：公称値を示す。
*2：記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである「○○」と記載。記載内容は、設計図書による。
*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日付け(資序第○○号)にて認可された工事計画の添付書類「○○○○○○○○○○」による。
*4：別紙 [] 規格表参照。
*5：「○○○○○○○設備(○○○○○○○系、○○○○○○○系)と兼用する。」

	又は修理ができる設計とする。				
搬送設備	—				
警報設備等	—				
廃棄施設	—				
放射線管理施設	—				
非常用電源設備	—				
その他事業許可で求める仕様	—				
添付図	第1.-1図 核燃料物質の貯蔵施設の機器配置図(1/2) 第2.1-1図○○○○○○(PA○○-○-○○)構造図(1/2) 第2.1-2図○○○○○○(PA○○-○-○○)構造図(2/2)				
特記事項	運転管理にて貯蔵量が最大貯蔵能力を超えないように管理する。	保安規定で展開			
注1 技術基準に対する仕様の補足説明	<p>(1) 核燃料物質の臨界防止</p> <p>本装置は、貯蔵単位である混合酸化物貯蔵容器(第1.-3表参照)及び核燃料物質の形態(原料MOX粉末)を管理し、貯蔵単位の配列(○行×○列)が核的に安全な配置となるよう貯蔵単位相互間の距離(行方向○○○mm以上、列方向○○○mm以上)を維持することにより臨界を防止する設計とする。貯蔵する混合酸化物貯蔵容器から最も近い○○○○室の壁・床・天井までの距離について、南壁までの距離○○○mm以上、北壁までの距離○○○mm以上、床までの距離○○○mm以上、及び、天井までの距離○○○mm以上となるように設置する。</p> <p>臨界防止に係る計算結果は、添付書類Ⅰ「核燃料物質の臨界防止に関する説明書」に示す。</p> <p>(2) 火災等による損傷の防止</p> <p>○○○○ピットは安全上重要な施設であるため、不燃性の○○を使用することにより火災による損傷を防止する。</p> <p>(3) 耐震性</p> <p>○○○○ピットは、耐震Bクラスとする。また、耐震設計上の主要な評価部位は装置を直接支持する構造物に固定するボルト(基礎ボルト)及び貯蔵単位相互間の距離を維持するのに必要なボルト(取付ボルト)とする。設備構造設計上の耐震設計結果は、添付書類Ⅲ「主要な加工施設の耐震性に関する説明書」に示す。</p> <p>(4) 安全上重要な施設</p> <p>○○○○ピットは、安全上重要な施設であり、外観検査等により、加工施設の安全を確保する機能のピット間距離の確認は実施できる。また、周囲にメンテナンススペースを設けておりこれらの機能を健全に維持するための保守又は修理が可能である。なお、他の原子力施設と共用しない。</p>	基本設計方針・添付書類で展開	→臨界管理に記載		
注2 貯蔵施設で取り扱う核燃料物質の形態及び設定条件を第1.-5表に示す。					
注3 ○○○○ピットは、基準地震動Ssによる地震力に対して過大な変形等が生じないように設計する。					

仕様表記載例（機種：防水区画構造物）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																				
<p>MOX 施設の既認可に仕様表なし</p>	<table border="1" data-bbox="736 306 1320 520"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>〇〇〇</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>堰</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm 〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>堰</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>T.M.S.L. 〇〇m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：T.M.S.L. 〇m からの高さ</p>	名称		〇〇〇	種類	堰	〇〇	主要寸法	高さ	mm 〇〇*1	主要材料	堰	〇〇	取付箇所	系統名（ライン名）	—		設置床	〇〇		T.M.S.L. 〇〇m	—		溢水防護上の区画番号	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	<table border="1" data-bbox="1374 306 1982 646"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6 様式-7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇 取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・堰により溢水伝播を防止する設計</td> <td>主要寸法(高さ)：〇〇mm</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇 取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上		・堰により溢水伝播を防止する設計	主要寸法(高さ)：〇〇mm	<p>2 内郭浸水防護設備に係る次の事項 (1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所</p> <table border="1" data-bbox="2027 327 2650 814"> <thead> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">名</td> <td></td> <td>タービン建屋管理区域外 伝播防止堰 1-2</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種</td> <td></td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>450 以上*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>堰</td> <td></td> <td></td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床</td> <td></td> <td></td> <td>EL. 8.20 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL. 8.20 m からの高さ。</p>	名称			変更前	変更後	名				タービン建屋管理区域外 伝播防止堰 1-2	種				堰	主要寸法	高さ	mm		450 以上*	材料	堰			鉄筋コンクリート	取付箇所	系統名（ライン名）			—		設置床			EL. 8.20 m		溢水防護上の区画番号			—		溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	
名称		〇〇〇																																																																																						
種類	堰	〇〇																																																																																						
主要寸法	高さ	mm 〇〇*1																																																																																						
主要材料	堰	〇〇																																																																																						
取付箇所	系統名（ライン名）	—																																																																																						
	設置床	〇〇																																																																																						
	T.M.S.L. 〇〇m	—																																																																																						
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																						
技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																						
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																						
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇 取付箇所： 系統名（ライン名）：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																						
	・堰により溢水伝播を防止する設計	主要寸法(高さ)：〇〇mm																																																																																						
名称			変更前	変更後																																																																																				
名				タービン建屋管理区域外 伝播防止堰 1-2																																																																																				
種				堰																																																																																				
主要寸法	高さ	mm		450 以上*																																																																																				
材料	堰			鉄筋コンクリート																																																																																				
取付箇所	系統名（ライン名）			—																																																																																				
	設置床			EL. 8.20 m																																																																																				
	溢水防護上の区画番号			—																																																																																				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ			—																																																																																				

仕様表記載例（機種：搬送設備）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																																																																																						
<p>第1-4表 機器仕様</p> <table border="1"> <tr> <td>対応する加工事業許可</td> <td>許可番号(日付)</td> <td>平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主要な設備及び機器の種類</td> <td>〇〇施設 〇〇〇工程 〇〇〇設備 〇〇クレーン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>許可との対応</td> <td>本体</td> </tr> <tr> <td>設備・機器名称</td> <td colspan="2">〇〇〇設備 〇〇クレーン(PA000)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td colspan="2">燃料加工建屋地下〇〇〇階 〇〇〇室</td> </tr> <tr> <td>変更内容</td> <td colspan="2">新設</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td colspan="2">〇〇台</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">一般仕様</td> <td>形式</td> <td>〇〇式</td> </tr> <tr> <td>主要な構成材</td> <td>本体：〇〇</td> </tr> <tr> <td>寸法(単位：mm)</td> <td>・幅：〇〇 ・奥行：〇〇 ・高さ：〇〇 ・可動範囲：〇〇(走行) 〇〇(横行)</td> </tr> <tr> <td>その他の構成機器</td> <td>PWR燃料集合体吊具, BWR燃料集合体吊具</td> </tr> <tr> <td>その他の性能</td> <td colspan="2">— 工程情報であり設計条件ではないため削除する。</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">技術基準に対する仕様</td> <td>核燃料物質の臨界防止</td> <td colspan="2">①ユニット区分 ・単一ユニット(〇〇クレーンユニット) ②臨界防止管理の方法 ・体数管理 ③核的制限値 ・〇〇体(形態：BWR燃料集合体, PWR燃料集合体)^(注2)</td> </tr> <tr> <td>火災等による損傷の防止</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>耐震性</td> <td colspan="2">①組立クレーン ・耐震クラス：Bクラス ・主要材料：〇〇(〇〇) ・転倒防止金具材料：〇〇(〇〇) ・取付ボルト材質：〇〇(〇〇) ・取付ボルト本数：M〇×〇〇本 ・ガイドローラ軸材料：〇〇(〇〇) ・ガイドローラ軸径(走行用/横行用)：〇〇mm/ 〇〇mm</td> </tr> <tr> <td>材料及び構造</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>閉じ込めの機能</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>しゃへい</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>換気</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>核燃料物質等による汚染の防止</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>安全上重要な施設</td> <td colspan="2">—</td> </tr> </table>		対応する加工事業許可	許可番号(日付)	平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日)		主要な設備及び機器の種類	〇〇施設 〇〇〇工程 〇〇〇設備 〇〇クレーン		許可との対応	本体	設備・機器名称	〇〇〇設備 〇〇クレーン(PA000)		設置場所	燃料加工建屋地下〇〇〇階 〇〇〇室		変更内容	新設		数量	〇〇台		一般仕様	形式	〇〇式	主要な構成材	本体：〇〇	寸法(単位：mm)	・幅：〇〇 ・奥行：〇〇 ・高さ：〇〇 ・可動範囲：〇〇(走行) 〇〇(横行)	その他の構成機器	PWR燃料集合体吊具, BWR燃料集合体吊具	その他の性能	— 工程情報であり設計条件ではないため削除する。		核燃料物質の状態	燃料集合体		技術基準に対する仕様	核燃料物質の臨界防止	①ユニット区分 ・単一ユニット(〇〇クレーンユニット) ②臨界防止管理の方法 ・体数管理 ③核的制限値 ・〇〇体(形態：BWR燃料集合体, PWR燃料集合体) ^(注2)		火災等による損傷の防止	—		耐震性	①組立クレーン ・耐震クラス：Bクラス ・主要材料：〇〇(〇〇) ・転倒防止金具材料：〇〇(〇〇) ・取付ボルト材質：〇〇(〇〇) ・取付ボルト本数：M〇×〇〇本 ・ガイドローラ軸材料：〇〇(〇〇) ・ガイドローラ軸径(走行用/横行用)：〇〇mm/ 〇〇mm		材料及び構造	—			閉じ込めの機能	—			しゃへい	—			換気	—			核燃料物質等による汚染の防止	—			安全上重要な施設	—		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">変更前</td> <td colspan="2">変更後</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名称^{*2}</td> <td colspan="2">〇〇クレーン(PA000)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類^{*3}</td> <td colspan="2">— 〇〇式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理</td> <td>核的制限値^{*9}</td> <td>燃料集合体取扱体数</td> <td>体 〇〇</td> </tr> <tr> <td>容量^{*4}</td> <td>kg</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法^{*5}</td> <td>走行レール間距離</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード距離</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード幅</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体取扱高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇以下</td> </tr> <tr> <td>主要材料^{*6}</td> <td>ガード</td> <td>—</td> <td>〇〇^{*12}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*7}</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所^{*8}</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇室 T.M.S.L. 〇〇m^{*11}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>— 〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>— 〇〇</td> </tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位：mm)」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *9：本装置に単一ユニット(〇〇クレーンユニット)を設定する。 *10：記載内容は、記載内容は、平成22年10月22日付け平成22・05・21原第9号にて認可を受けた設工認申請書の「別添イ、燃料加工建屋(その1)及び貯蔵容器搬送用洞道(4)設計条件及び仕様 特記事項」において記載したコンクリート厚さによる。 *11：記載内容は、平成24年6月26日付け平成23・02・24原第6号にて認可を受けた設工認申請書の本文添付図「第1-1図組立施設の機器配置図」による。 *12：記載の適正化。既設工認では「鋼材」と記載。</p>		変更前		変更後		名称 ^{*2}		〇〇クレーン(PA000)		種類 ^{*3}		— 〇〇式		臨界管理	核的制限値 ^{*9}	燃料集合体取扱体数	体 〇〇	容量 ^{*4}	kg	〇〇	主要寸法 ^{*5}	走行レール間距離	mm	〇〇 ^{*1}	クレーン本体ガード距離	mm	〇〇 ^{*1}	高さ	mm	〇〇 ^{*1}	クレーン本体ガード幅	mm	〇〇 ^{*1}	クレーン本体ガード高さ	mm	〇〇 ^{*1}	燃料集合体取扱高さ	mm	〇〇以下	主要材料 ^{*6}	ガード	—	〇〇 ^{*12}	個数 ^{*7}	—	—	〇〇	取付箇所 ^{*8}	系統名(ライン名)	—	—	設置床	—	〇〇室 T.M.S.L. 〇〇m ^{*11}	溢水防護上の区画番号	—	— 〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— 〇〇	<table border="1"> <tr> <td>技術基準</td> <td>機能要求^②</td> <td>主な仕様(詳細設計)</td> </tr> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>(1) 単一ユニットの臨界安全設計 混合酸化物貯蔵容器及び燃料集合体を取り扱う工程では、体数管理とし、単一ユニットは設備・機器に設定する。 (2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。</td> <td>核的制限値 ・取扱体数：〇体 ・他の単一ユニットとの相互間隔：〇〇mm以上</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水による損傷防止</td> <td>・設水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十六条 搬送設備</td> <td>・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計 ・混合酸化物貯蔵容器、燃料棒並びに燃料集合体が落下しても破損しない高さ以下で取り扱う設計</td> <td>・容量：〇〇kg ・取扱高さ：〇〇mm以下</td> </tr> </table>		技術基準	機能要求 ^②	主な仕様(詳細設計)	第四条 核燃料物質の臨界防止	(1) 単一ユニットの臨界安全設計 混合酸化物貯蔵容器及び燃料集合体を取り扱う工程では、体数管理とし、単一ユニットは設備・機器に設定する。 (2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。	核的制限値 ・取扱体数：〇体 ・他の単一ユニットとの相互間隔：〇〇mm以上	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十二条 溢水による損傷防止	・設水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第十六条 搬送設備	・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計 ・混合酸化物貯蔵容器、燃料棒並びに燃料集合体が落下しても破損しない高さ以下で取り扱う設計	・容量：〇〇kg ・取扱高さ：〇〇mm以下	<p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 1 燃料取扱設備に係る次の事項 (1) 新燃料又は使用済燃料を取り扱う機器の名称、種類、容量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>〇〇〇式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>〇〇〇 t</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>〇〇〇 mm</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>〇〇〇 mm</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>EL. 〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日 付け平成 資第 号にて認可された工事計画の添付図面「第 図 構造図」による。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日 付け平成11・06・25資第1号にて認可された工事計画の添付書類「 」による。</p>	名称	〇〇〇	種類	〇〇〇式	容量	〇〇〇 t	寸法	〇〇〇 mm	主要寸法	〇〇〇 mm	材料	〇〇〇	個数	〇〇〇	取付箇所	—	系統名(ライン名)	—	設置床	EL. 〇〇 ^{*2}	溢水防護上の区画番号	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	
対応する加工事業許可	許可番号(日付)	平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日)																																																																																																																																																																												
	主要な設備及び機器の種類	〇〇施設 〇〇〇工程 〇〇〇設備 〇〇クレーン																																																																																																																																																																												
	許可との対応	本体																																																																																																																																																																												
設備・機器名称	〇〇〇設備 〇〇クレーン(PA000)																																																																																																																																																																													
設置場所	燃料加工建屋地下〇〇〇階 〇〇〇室																																																																																																																																																																													
変更内容	新設																																																																																																																																																																													
数量	〇〇台																																																																																																																																																																													
一般仕様	形式	〇〇式																																																																																																																																																																												
	主要な構成材	本体：〇〇																																																																																																																																																																												
	寸法(単位：mm)	・幅：〇〇 ・奥行：〇〇 ・高さ：〇〇 ・可動範囲：〇〇(走行) 〇〇(横行)																																																																																																																																																																												
	その他の構成機器	PWR燃料集合体吊具, BWR燃料集合体吊具																																																																																																																																																																												
その他の性能	— 工程情報であり設計条件ではないため削除する。																																																																																																																																																																													
核燃料物質の状態	燃料集合体																																																																																																																																																																													
技術基準に対する仕様	核燃料物質の臨界防止	①ユニット区分 ・単一ユニット(〇〇クレーンユニット) ②臨界防止管理の方法 ・体数管理 ③核的制限値 ・〇〇体(形態：BWR燃料集合体, PWR燃料集合体) ^(注2)																																																																																																																																																																												
	火災等による損傷の防止	—																																																																																																																																																																												
	耐震性	①組立クレーン ・耐震クラス：Bクラス ・主要材料：〇〇(〇〇) ・転倒防止金具材料：〇〇(〇〇) ・取付ボルト材質：〇〇(〇〇) ・取付ボルト本数：M〇×〇〇本 ・ガイドローラ軸材料：〇〇(〇〇) ・ガイドローラ軸径(走行用/横行用)：〇〇mm/ 〇〇mm																																																																																																																																																																												
	材料及び構造	—																																																																																																																																																																												
	閉じ込めの機能	—																																																																																																																																																																												
	しゃへい	—																																																																																																																																																																												
	換気	—																																																																																																																																																																												
	核燃料物質等による汚染の防止	—																																																																																																																																																																												
	安全上重要な施設	—																																																																																																																																																																												
変更前		変更後																																																																																																																																																																												
名称 ^{*2}		〇〇クレーン(PA000)																																																																																																																																																																												
種類 ^{*3}		— 〇〇式																																																																																																																																																																												
臨界管理	核的制限値 ^{*9}	燃料集合体取扱体数	体 〇〇																																																																																																																																																																											
	容量 ^{*4}	kg	〇〇																																																																																																																																																																											
主要寸法 ^{*5}	走行レール間距離	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																											
	クレーン本体ガード距離	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																											
	高さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																											
	クレーン本体ガード幅	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																											
	クレーン本体ガード高さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																																																																																																											
燃料集合体取扱高さ	mm	〇〇以下																																																																																																																																																																												
主要材料 ^{*6}	ガード	—	〇〇 ^{*12}																																																																																																																																																																											
個数 ^{*7}	—	—	〇〇																																																																																																																																																																											
取付箇所 ^{*8}	系統名(ライン名)	—	—																																																																																																																																																																											
	設置床	—	〇〇室 T.M.S.L. 〇〇m ^{*11}																																																																																																																																																																											
	溢水防護上の区画番号	—	— 〇〇																																																																																																																																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— 〇〇																																																																																																																																																																											
技術基準	機能要求 ^②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																																																												
第四条 核燃料物質の臨界防止	(1) 単一ユニットの臨界安全設計 混合酸化物貯蔵容器及び燃料集合体を取り扱う工程では、体数管理とし、単一ユニットは設備・機器に設定する。 (2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。	核的制限値 ・取扱体数：〇体 ・他の単一ユニットとの相互間隔：〇〇mm以上																																																																																																																																																																												
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																												
第十二条 溢水による損傷防止	・設水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																																																																																																												
第十六条 搬送設備	・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計 ・混合酸化物貯蔵容器、燃料棒並びに燃料集合体が落下しても破損しない高さ以下で取り扱う設計	・容量：〇〇kg ・取扱高さ：〇〇mm以下																																																																																																																																																																												
名称	〇〇〇																																																																																																																																																																													
種類	〇〇〇式																																																																																																																																																																													
容量	〇〇〇 t																																																																																																																																																																													
寸法	〇〇〇 mm																																																																																																																																																																													
主要寸法	〇〇〇 mm																																																																																																																																																																													
材料	〇〇〇																																																																																																																																																																													
個数	〇〇〇																																																																																																																																																																													
取付箇所	—																																																																																																																																																																													
系統名(ライン名)	—																																																																																																																																																																													
設置床	EL. 〇〇 ^{*2}																																																																																																																																																																													
溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																																																																													
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																																																																													

仕様表記載例 (機種：搬送設備)

既認可の仕様表		仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考
搬送設備	組立クレーン ・定格荷重：〇〇t ・動力喪失時に燃料集合体の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。	<p>仕様表「容量」で展開</p>			
添付書類で展開					
警報設備等	—				
廃棄施設	—				
放射線管理施設	—				
非常用電源設備	—				
その他事業許可で求める仕様 ^(注1)	<p>①移動時に燃料集合体の落下を防止するため、以下の仕様とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落下防止扉を閉じて移動する。 ・ワイヤロープを二重化する。 ・吊具には開閉検出器、着座検出器、機械的な固定機構を有し、つかみ不良の場合には燃料集合体を持ち上げられず、荷重がなくならなければ爪が開放しない落下防止機構を設ける。 ・燃料集合体の取扱いは、落下しても破損しない高さである〇〇m以下とする。 <p>②本装置で使用するポリエチレンは、ステンレス鋼製のカバーで覆い極力露出しない構造とする。</p>	<p>添付書類で展開</p>			
搬送設備の適合性説明書/構造図で展開					
火災の基本方針/添付資料で展開					
添付図	<p>第1.1-1図 〇〇施設の機器配置図</p> <p>第2.1-1図 〇〇クレーン(PA0154-M-10101)構造図</p>				
特記事項	—				
注1 技術基準に対する仕様の補足説明	<p>(1) 核燃料物質の臨界防止 本装置に単一ユニットを設定する。単一ユニットでは、体数管理により、構成する設備・機器が構造的に核的制限値以下の体数でしか取り扱えない設計とする。臨界防止に係る計算結果は、添付書類I「核燃料物質の臨界防止に関する説明書」に示す。なお、複数ユニットの評価は、隣接する単一ユニットを申請する際に実施する。</p> <p>(2) 耐震性 本装置は、耐震Bクラスとする。また、耐震設計上の主要な評価部位は転倒防止金具用の取付ボルト及びガイドローラ軸とする。設備構造設計上の耐震設計結果は、添付書類III「主要な加工施設の耐震性に関する説明書」に示す。</p> <p>(3) 搬送設備 本装置は、クレーン等安全規則に基づき、搬送物を取り扱える重量を定格荷重として設計する。 本装置で取り扱う搬送物のうち、重量が最大となるのは、PWR燃料集合体(約〇〇kg)である。 組立クレーンは、燃料集合体上部を把持し、上下方向及び水平方向に移動させる機器であるため、燃料集合体吊具は機械固定方式により把持状態を維持するとともに、昇降用巻上ドラム(昇降装置)は無励磁作動ブレーキ付とし、電源喪失時に燃料集合体が落下しないようにする。</p>				<p>添付書類で展開</p>

仕様表記載例 (機種：搬送設備)

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考
<p>注2 組立施設で取り扱う核燃料物質の形態と核的制限値の設定条件を第1-3表に示す。</p> <p>注3 その他事業許可で求める仕様の補足説明</p> <p>(1) 本装置は、移動時の燃料集合体の落下を防止するため、燃料集合体を収納架台に収納し落下防止扉を閉じて移動する構造とする。</p> <p>(2) 本装置は、燃料集合体の落下を防止するため、ワイヤロープを二重化する。</p> <p>(3) 本装置は、燃料集合体の落下を防止するため、吊具に開閉検出器、着座検出器及び機械的な固定機構を設置し、つかみ不良の場合には燃料集合体を持ち上げられず、荷重がなくならなければ爪が開放しない設計とする。</p> <p>(4) PWR燃料集合体長さ○○m以上、BWR燃料集合体長さ○○m以上であるため、どちらの燃料集合体の場合も、専用吊具の長さを含めた燃料集合体の長さは○○m以上となる。○○床面(T.P.○○m)から組立クレーンの燃料集合体収納部上端までの高さは○○m以下と設計するため、燃料集合体の最大取扱い高さは○○m以下となる。</p> <p>(5) 本装置で使用するポリエチレンは可燃性のため、不燃性のステンレス鋼製のカバーで覆い、露出しない構造として火災による損傷を防止する。</p>	<p>添付書類で展開</p> <p>搬送設備の適合性説明書/構造図で展開</p> <p>火災の基本方針/添付書類で展開</p>			

仕様表記載例（機種：機械装置）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																
<p>第2-1表 機器仕様</p> <p>平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日)</p> <p>許可番号(日付)</p> <p>主要な設備及び機器の種類 成形施設 粉末調整工程 一次混合設備 ○○装置</p> <p>許可との対応 本体</p> <p>設備・機器名称 一次混合設備 ○○装置(PA○○○)</p> <p>設置場所 燃料加工建屋地下○○○階 ○○○室</p> <p>変更内容 新設</p> <p>数量 ○台</p> <p>形式 ○○○方式</p> <p>主要な構成材 ①本体：○○○ ②架台：○○○</p> <p>寸法(単位：mm) 架台寸法 ・幅：○○○ ・奥行：○○○ ・高さ：○○○</p> <p>その他の構成機器 -</p> <p>その他の性能 -</p> <p>核燃料物質の状態 粉末</p> <p>核燃料物質の臨界防止 本装置は、単一ユニットである○○○ユニットAとして管理する。</p> <p>火災等による損傷の防止 -</p> <p>耐震性 ○○装置 ・耐震クラス：Bクラス</p> <p>材料及び構造 -</p> <p>閉じ込めの機能 -</p> <p>しゃへい -</p> <p>換気 -</p> <p>核燃料物質等による汚染の防止 -</p> <p>安全上重要な施設 -</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*2</td> <td>○○○装置 (PA○○○)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>-</td> <td>○○○方式</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">臨界管理</td> <td>-</td> <td>-*9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">容量*4</td> <td>昇降装置</td> <td>kg</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>移載装置</td> <td>kg</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>反転装置</td> <td>kg</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>搬送コンベア</td> <td>kg</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法*5</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>○○*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>○○*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>○○*1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料*6</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>架台</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*7</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付*8</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>○○○室 T.M.S.L.○○m*10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">箇所*8</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認では「搬送設備」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位mm)」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *8：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。 *9：臨界管理に係る仕様は本機器を収納するグローブボックスに記載するため「-」とする。 *10：記載内容は、平成○年○月○日付け平成○○原第○号にて認可を受けた設工認申請書の本文添付図「第1-1 図被覆施設の機器配置図(1/2)」による。</p>				変更前	変更後	名称*2		○○○装置 (PA○○○)		種類*3	-	○○○方式		臨界管理		-	-*9	容量*4	昇降装置	kg	○○	移載装置	kg	○○	反転装置	kg	○○	搬送コンベア	kg	○○	主要寸法*5	たて	mm	○○*1	横	mm	○○*1	高さ	mm	○○*1	主要材料*6		本体	-	○○			架台	-	○○	個数*7		-	○○	取付*8	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	○○○室 T.M.S.L.○○m*10	箇所*8	溢水防護上の区画番号	-	○○	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	○○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6 様式-7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：○ ○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上</td> </tr> <tr> <td>第十六条 搬送設備</td> <td>・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計</td> <td>容量(定格荷重)：○ ○kg</td> </tr> </tbody> </table>		技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○ ○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上	第十六条 搬送設備	・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計	容量(定格荷重)：○ ○kg	<p><発電炉の要目表なし></p>			
		変更前	変更後																																																																																					
名称*2		○○○装置 (PA○○○)																																																																																						
種類*3	-	○○○方式																																																																																						
臨界管理		-	-*9																																																																																					
容量*4	昇降装置	kg	○○																																																																																					
	移載装置	kg	○○																																																																																					
	反転装置	kg	○○																																																																																					
	搬送コンベア	kg	○○																																																																																					
主要寸法*5	たて	mm	○○*1																																																																																					
	横	mm	○○*1																																																																																					
	高さ	mm	○○*1																																																																																					
	主要材料*6		本体	-	○○																																																																																			
		架台	-	○○																																																																																				
個数*7		-	○○																																																																																					
取付*8	系統名(ライン名)	-	-																																																																																					
	設置床	-	○○○室 T.M.S.L.○○m*10																																																																																					
箇所*8	溢水防護上の区画番号	-	○○																																																																																					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	○○																																																																																					
技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																						
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																						
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○ ○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上																																																																																						
第十六条 搬送設備	・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計	容量(定格荷重)：○ ○kg																																																																																						

仕様表記載例（機種：遮蔽設備）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="100 310 264 730">技術基準に対する仕様 (注1)</td> <td data-bbox="270 310 706 730"> <p>①昇降装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 <p>②移載装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため容器把持部を機械的にロックする機構を設置する。 <p>③反転装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 <p>④搬送コンベア (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg <p>⑤リフタ (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 730 264 762">警報設備等</td> <td data-bbox="270 730 706 762">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 762 264 793">廃棄施設</td> <td data-bbox="270 762 706 793">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 793 264 846">放射線管理施設</td> <td data-bbox="270 793 706 846">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 846 264 898">非常用電源設備</td> <td data-bbox="270 846 706 898">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 898 264 1056">その他事業許可で求める仕様 (注2)</td> <td data-bbox="270 898 706 1056"> <p>①グローブボックス内で使用するポリエチレンは、ステンレス鋼製のカバーで覆い極力露出しない構造とする。</p> <p>②搬送コンベアに容器の逸走を防止するため、サイドローラを設置する。</p> <p>③移載装置及び反転装置の逸走を防止するため、メカニカルストップを設置する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 1056 264 1203">添付図</td> <td data-bbox="270 1056 706 1203"> <p>第1.-1図 成形施設の機器配置図「地下○○○階」(1/2)</p> <p>第1.-2図 成形施設の機器配置図「地下○○○階」(2/2)</p> <p>第2.2-1図 ○○装置 (PA○○○) 構造図</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 1203 264 1213">特記事項</td> <td data-bbox="270 1203 706 1213">-</td> </tr> </table>	技術基準に対する仕様 (注1)	<p>①昇降装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 <p>②移載装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため容器把持部を機械的にロックする機構を設置する。 <p>③反転装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 <p>④搬送コンベア (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg <p>⑤リフタ (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 	警報設備等	-	廃棄施設	-	放射線管理施設	-	非常用電源設備	-	その他事業許可で求める仕様 (注2)	<p>①グローブボックス内で使用するポリエチレンは、ステンレス鋼製のカバーで覆い極力露出しない構造とする。</p> <p>②搬送コンベアに容器の逸走を防止するため、サイドローラを設置する。</p> <p>③移載装置及び反転装置の逸走を防止するため、メカニカルストップを設置する。</p>	添付図	<p>第1.-1図 成形施設の機器配置図「地下○○○階」(1/2)</p> <p>第1.-2図 成形施設の機器配置図「地下○○○階」(2/2)</p> <p>第2.2-1図 ○○装置 (PA○○○) 構造図</p>	特記事項	-	<p>搬送設備の適合性説明書/構造図で展開</p> <p>火災の基本方針/添付書類で展開</p> <p>搬送設備の適合性説明書/構造図で展開</p> <p>添付書類で展開</p> <p>添付書類で展開</p>			
技術基準に対する仕様 (注1)	<p>①昇降装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 <p>②移載装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため容器把持部を機械的にロックする機構を設置する。 <p>③反転装置 (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 <p>④搬送コンベア (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg <p>⑤リフタ (PA○○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定格荷重：○○kg ・動力喪失時に容器の落下を防止するため昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とする。 																			
警報設備等	-																			
廃棄施設	-																			
放射線管理施設	-																			
非常用電源設備	-																			
その他事業許可で求める仕様 (注2)	<p>①グローブボックス内で使用するポリエチレンは、ステンレス鋼製のカバーで覆い極力露出しない構造とする。</p> <p>②搬送コンベアに容器の逸走を防止するため、サイドローラを設置する。</p> <p>③移載装置及び反転装置の逸走を防止するため、メカニカルストップを設置する。</p>																			
添付図	<p>第1.-1図 成形施設の機器配置図「地下○○○階」(1/2)</p> <p>第1.-2図 成形施設の機器配置図「地下○○○階」(2/2)</p> <p>第2.2-1図 ○○装置 (PA○○○) 構造図</p>																			
特記事項	-																			
<p>注1 技術基準に対する仕様の補足説明</p> <p>(1) 核燃料物質の臨界防止 本装置は、単一ユニットを設定している○○○グローブボックス内に設置する機器であるため、○○○ユニットとして管理する。具体的な仕様は、○○○グローブボックスの機器仕様に示す。</p> <p>(2) 耐震性 本装置は、耐震 B クラスとする。設備構造設計上の耐震設計結果は、添付書類Ⅲ「主要な加工施設の耐震性に関する説明書」に示す。</p> <p>(3) 搬送設備 搬送装置は、装置の定格荷重が実用負荷を上回る設計とする。 昇降装置、移載装置及び反転装置で取り扱う容器のうち、核燃料物質を収納して重量が最大になるのは、粉末缶(約○○kg)である。 搬送コンベア及びリフタで取り扱う容器のうち、核燃料物質を収納して重量が最大となるのは、J18(約○○kg)である。 昇降装置及びリフタは、容器底部を保持し、上下方向に移動させる機器であるため、昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とし、電源喪失時に容器が落下しないようにする。 移載装置は、粉末缶頭部を把持し、水平方向及び上下方向に移動させる機器であるため、粉末缶把持部を機械的にロックする機構を設置する設計とする。また、昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とし、電源喪失時に容器が落下しないようにする。 反転装置は、粉末缶を上下方向より把持し、反転する機器であるため、昇降用モータは無励磁作動ブレーキ付とし、電源喪失時に把持状態を維持し容器が落下しないようにする。 搬送コンベアは、容器底部を保持し、水平方向に移動させる機器であるため、電源喪失時に容器が落下することはない。</p>																				

仕様表記載例（機種：遮蔽設備）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考
<p>注2 その他事業許可で求める仕様の補足説明</p> <p>(1) 本グローブボックス内で使用するポリエチレンは可燃性のため、不燃性のステンレス鋼製のカバーで覆い露出しない構造として火災による損傷を防止する。</p> <p>(2) 搬送コンベアに容器の逸走を防止するため、容器の両サイドを支持するサイドローラを設置し、グローブボックスの閉じ込めに影響を及ぼさないようにする。</p> <p>(3) 移載装置及び反転装置の逸走を防止するため、メカニカルストップを設置し、グローブボックスの閉じ込めに影響を及ぼさないようにする。</p>	<p>火災の基本方針/ 添付書類で展開</p> <p>搬送設備の適合性説 明書/構造図で展開</p>			

仕様表記載例（機種：機械装置(焼結装置・乾燥装置)）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																						
MOX 施設の既認可に仕様表なし	<table border="1" data-bbox="736 323 1350 871"> <thead> <tr> <th colspan="2">名</th> <th>称</th> <th>焼結炉 (PA000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>kg</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">臨界管理</td> <td>核的制限値*2</td> <td>取扱Pu*質量</td> <td>kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井までの距離</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上</td> </tr> <tr> <td>設置床からの核燃料物質の取扱高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上</td> </tr> <tr> <td>設置室の周囲の壁等厚さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇以上</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇*1</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>漏れ率</td> <td>vol%/h</td> <td>—</td> <td>〇〇以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="736 892 1350 997"> 注記：*1 公称値を示す。 *2 本機器に単一ユニット(〇〇ユニット)を設定する。 *3 本機器は、過加熱防止回路によるインターロック(検出器：〇〇〇温度検出器)の信号により炉内温度が熱的制限値〇℃を超える場合には、ヒータ電源を遮断する。 </p>	名		称	焼結炉 (PA000)	種	類	—	〇〇	容	量	kg	〇〇	臨界管理	核的制限値*2	取扱Pu*質量	kg・Pu*	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	〇〇以上	設置する室の壁・天井までの距離	mm	〇〇以上	設置床からの核燃料物質の取扱高さ	mm	〇〇以上	設置室の周囲の壁等厚さ	mm	〇〇以上	最高使用温度	℃	〇〇	最高使用圧力	Pa	〇〇	主要寸法	たて	mm	〇〇*1	横	mm	〇〇*1	高さ	mm	〇〇*1	主要材料	—	〇〇	漏れ率	vol%/h	—	〇〇以下	取付箇所	系統名(ライン名)	—	〇〇	設置床	—	〇〇	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<table border="1" data-bbox="1374 310 1985 1199"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>(1) 単一ユニットの臨界安全設計 質量管理を行うグローブボックス、焼結炉等に単一ユニットを設定する。 (2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。</td> <td>臨界管理： 核的制限値 ・取扱Pu*質量：〇〇kg・Pu* 臨界管理： ・他の単一ユニットとの相互間隔：〇mm以上 ・設置する室の壁・天井までの距離：〇mm以上 ・設置床からの核燃料物質の取扱高さ：〇mm以上 ・設置室の周囲の壁等厚さ：〇mm以上</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込め機能</td> <td>・グローブボックス等は密閉できる構造とする。</td> <td>気密性(漏れ率)：〇〇vol%/h以下</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>・焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気混入を防止するため、熱的制限値を設定し、炉内温度が熱的制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・汲水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上</td> </tr> <tr> <td>第十六条 搬送装置</td> <td>・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計</td> <td>・容量(定格荷重)：〇〇kg</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第四条 核燃料物質の臨界防止	(1) 単一ユニットの臨界安全設計 質量管理を行うグローブボックス、焼結炉等に単一ユニットを設定する。 (2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。	臨界管理： 核的制限値 ・取扱Pu*質量：〇〇kg・Pu* 臨界管理： ・他の単一ユニットとの相互間隔：〇mm以上 ・設置する室の壁・天井までの距離：〇mm以上 ・設置床からの核燃料物質の取扱高さ：〇mm以上 ・設置室の周囲の壁等厚さ：〇mm以上	第十条 閉じ込め機能	・グローブボックス等は密閉できる構造とする。	気密性(漏れ率)：〇〇vol%/h以下	第十一条 火災等による損傷の防止	・焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気混入を防止するため、熱的制限値を設定し、炉内温度が熱的制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計。	—	第十二条 溢水防護	・汲水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上	第十六条 搬送装置	・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計	・容量(定格荷重)：〇〇kg	<発電炉の要目表なし>	
名		称	焼結炉 (PA000)																																																																																							
種	類	—	〇〇																																																																																							
容	量	kg	〇〇																																																																																							
臨界管理	核的制限値*2	取扱Pu*質量	kg・Pu*																																																																																							
	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	〇〇以上																																																																																							
	設置する室の壁・天井までの距離	mm	〇〇以上																																																																																							
	設置床からの核燃料物質の取扱高さ	mm	〇〇以上																																																																																							
	設置室の周囲の壁等厚さ	mm	〇〇以上																																																																																							
最高使用温度	℃	〇〇																																																																																								
最高使用圧力	Pa	〇〇																																																																																								
主要寸法	たて	mm	〇〇*1																																																																																							
	横	mm	〇〇*1																																																																																							
	高さ	mm	〇〇*1																																																																																							
主要材料	—	〇〇																																																																																								
漏れ率	vol%/h	—	〇〇以下																																																																																							
取付箇所	系統名(ライン名)	—	〇〇																																																																																							
	設置床	—	〇〇																																																																																							
	溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																							
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																							
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																								
	様式-6,7																																																																																									
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																								
第四条 核燃料物質の臨界防止	(1) 単一ユニットの臨界安全設計 質量管理を行うグローブボックス、焼結炉等に単一ユニットを設定する。 (2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。	臨界管理： 核的制限値 ・取扱Pu*質量：〇〇kg・Pu* 臨界管理： ・他の単一ユニットとの相互間隔：〇mm以上 ・設置する室の壁・天井までの距離：〇mm以上 ・設置床からの核燃料物質の取扱高さ：〇mm以上 ・設置室の周囲の壁等厚さ：〇mm以上																																																																																								
第十条 閉じ込め機能	・グローブボックス等は密閉できる構造とする。	気密性(漏れ率)：〇〇vol%/h以下																																																																																								
第十一条 火災等による損傷の防止	・焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気混入を防止するため、熱的制限値を設定し、炉内温度が熱的制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計。	—																																																																																								
第十二条 溢水防護	・汲水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m以上																																																																																								
第十六条 搬送装置	・核燃料物質を搬送する設備は搬送物の重量を上回る容量を有する設計	・容量(定格荷重)：〇〇kg																																																																																								

仕様表記載例（機種：核物質取扱ボックス）

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																						
<p>第5.-2表 機器仕様</p> <p>対応する加工事業許可 許可番号(日付) 平成17・04・20原第18号(平成22年5月13日)</p> <p>主要な設備及び機器の種類 成形施設 粉末調整工程 ○○○処理設備 ○○○グローブボックス</p> <p>許可との対応 本体</p> <p>設備・機器名称 ○○○設備 ○○○グローブボックス(PA0127-B-03700)</p> <p>設置場所 ○○○建屋地下○階 ○○○○室</p> <p>変更内容 新設</p> <p>数量 ○基</p> <p>一般仕様 形式 - 主要な構成材 ①本体：○○○ ②窓板：○○○</p> <p>寸法(単位：mm) 本体寸法 ・幅：○○ ・奥行：○○ ・高さ：○○</p> <p>その他の構成機器 - (注1)</p> <p>その他の性能 -</p> <p>核燃料物質の状態 粉末</p> <p>核燃料物質の臨界防止 ①単一ユニット又は複数ユニットの区分 ・単一ユニット(○○ユニット)</p> <p>②臨界管理の方法 ・質量管理</p> <p>③核的制限値 ・○○kg・Pu* (形態：MOX粉末-2, MOX粉末-4)</p> <p>④他の単一ユニットとの相互間隔 ・隣接する単一ユニット：一次混合ユニットB</p> <p>・単一ユニット間距離：○○mm以上</p> <p>基準に対する 火災等による損傷の防止 グローブボックスには窓板を除き可能な限り不燃性又は難燃性の材料を使用する。</p> <p>耐震性 ○○グローブボックス ・耐震クラス：Bクラス</p> <p>主要設備リストで展開 ・主要材料(本体)：○○○(○○○, ○○○) (耐震サポート)：○○○(○○○) ・基礎ボルト材質：○○○(○○○) ・基礎ボルト本数：○×○本 ・取付ボルト材質：○○○(○○○) ・取付ボルト本数：○×○本 ・取付ボルト配置：○○○mm×○○○mm</p> <p>構造図で展開 材料及び構造 -</p>		<p>● ○○○設備 ● 核物質取扱ボックス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称*2</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">○○○グローブボックス (○○-○-○○)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類*3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>核的制限値*12</td> <td>取扱Pu*質量</td> <td>kg・Pu*</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>他の単一ユニットとの相互間隔</td> <td>mm</td> <td>○○○以上</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置する室の壁・天井までの距離*6</td> <td>mm</td> <td>○○○以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床からの核燃料物質の取扱高さ*6</td> <td>mm</td> <td>○○○以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置室の周囲の壁等厚さ</td> <td>mm</td> <td>○○○以上*13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>Pa</td> <td>○○○</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>○○○</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>漏れ率*4</td> <td>vol%/h</td> <td>○○○以下</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>開口部風速*11</td> <td>m/s</td> <td>○○○以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法*7</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>○○○*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>○○○*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>○○○*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料*8</td> <td>本体</td> <td>-</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>窓板部</td> <td>-</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>個数*9</td> <td>-</td> <td>○○○</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所*10</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>○○○室 T.M.S.L.○○○m*14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">溢水防護上の区画番号</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>○○</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>T.M.S.L.○○○m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化。既設工認では「設備・機器名称」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認では「形式」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認では「気密性(漏れ率)」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認では「その他事業許可で求める仕様」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認では「注2 技術基準に対する仕様の補足説明 (1) 核燃料物質の臨界防止」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認では「寸法(単位 mm)」と記載。 *8：記載の適正化。既設工認では「主要な構成材」と記載。 *9：記載の適正化。既設工認では「数量」と記載。 *10：記載の適正化。既設工認では「設置場所」と記載。</p>		名称*2		変更前	変更後	○○○グローブボックス (○○-○-○○)				種類*3	-	-		核的制限値*12	取扱Pu*質量	kg・Pu*	○○○	他の単一ユニットとの相互間隔	mm	○○○以上	変更なし	設置する室の壁・天井までの距離*6	mm	○○○以上		設置床からの核燃料物質の取扱高さ*6	mm	○○○以上		設置室の周囲の壁等厚さ	mm	○○○以上*13		最高使用圧力	Pa	○○○	○○○	最高使用温度	℃	○○○	○○○	漏れ率*4	vol%/h	○○○以下	変更なし	開口部風速*11	m/s	○○○以上		主要寸法*7	たて	mm	○○○*1	横	mm	○○○*1	高さ	mm	○○○*1	主要材料*8	本体	-	○○○	窓板部	-	○○○	個数*9	-	○○○	変更なし	取付箇所*10	系統名(ライン名)	-	-	設置床	-	○○○室 T.M.S.L.○○○m*14	溢水防護上の区画番号	溢水防護上の区画番号	-	○○	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L.○○○m以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6 様式-7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法 主要材料</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>(1) 単一ユニットの臨界安全設計 質量管理を行うグローブボックス、焼結炉等に単一ユニットを設定する。</td> <td>核的制限値 ・取扱Pu*質量 ：○○kg・Pu*</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。</td> <td>・他の単一ユニットとの相互間隔：○○mm以上 ・設置する室の壁・天井までの距離：○○mm以上 ・設置床からの核燃料物質の取扱高さ：○○mm以上 ・設置室の周囲の壁等厚さ：○○mm以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第十条 閉じ込め機能</td> <td>・グローブボックス等は密閉できる構造とする。</td> <td>気密性(漏れ率)：○○vol%/h以下</td> </tr> <tr> <td>・グローブ1個破損した場合において、開口部風速を設定値以上確保する設計</td> <td>開口部風速：○○m/s以上</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水による損傷防止</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上</td> </tr> </tbody> </table>		技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料	第四条 核燃料物質の臨界防止	(1) 単一ユニットの臨界安全設計 質量管理を行うグローブボックス、焼結炉等に単一ユニットを設定する。	核的制限値 ・取扱Pu*質量 ：○○kg・Pu*	(2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。	・他の単一ユニットとの相互間隔：○○mm以上 ・設置する室の壁・天井までの距離：○○mm以上 ・設置床からの核燃料物質の取扱高さ：○○mm以上 ・設置室の周囲の壁等厚さ：○○mm以上	第十条 閉じ込め機能	・グローブボックス等は密閉できる構造とする。	気密性(漏れ率)：○○vol%/h以下	・グローブ1個破損した場合において、開口部風速を設定値以上確保する設計	開口部風速：○○m/s以上	第十二条 溢水による損傷防止	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上	該当する施設なし	
名称*2		変更前	変更後																																																																																																										
○○○グローブボックス (○○-○-○○)																																																																																																													
種類*3	-	-																																																																																																											
核的制限値*12	取扱Pu*質量	kg・Pu*	○○○																																																																																																										
他の単一ユニットとの相互間隔	mm	○○○以上	変更なし																																																																																																										
設置する室の壁・天井までの距離*6	mm	○○○以上																																																																																																											
設置床からの核燃料物質の取扱高さ*6	mm	○○○以上																																																																																																											
設置室の周囲の壁等厚さ	mm	○○○以上*13																																																																																																											
最高使用圧力	Pa	○○○	○○○																																																																																																										
最高使用温度	℃	○○○	○○○																																																																																																										
漏れ率*4	vol%/h	○○○以下	変更なし																																																																																																										
開口部風速*11	m/s	○○○以上																																																																																																											
主要寸法*7	たて	mm	○○○*1																																																																																																										
	横	mm	○○○*1																																																																																																										
	高さ	mm	○○○*1																																																																																																										
主要材料*8	本体	-	○○○																																																																																																										
	窓板部	-	○○○																																																																																																										
個数*9	-	○○○	変更なし																																																																																																										
取付箇所*10	系統名(ライン名)	-	-																																																																																																										
	設置床	-	○○○室 T.M.S.L.○○○m*14																																																																																																										
溢水防護上の区画番号	溢水防護上の区画番号	-	○○																																																																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	T.M.S.L.○○○m以上																																																																																																										
技術基準	機能要求② 様式-6 様式-7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																											
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法 主要材料																																																																																																											
第四条 核燃料物質の臨界防止	(1) 単一ユニットの臨界安全設計 質量管理を行うグローブボックス、焼結炉等に単一ユニットを設定する。	核的制限値 ・取扱Pu*質量 ：○○kg・Pu*																																																																																																											
	(2) 複数ユニットの臨界安全設計 単一ユニット相互間は、十分な厚さのコンクリート等の設置又は単一ユニット相互間の距離を確保する。	・他の単一ユニットとの相互間隔：○○mm以上 ・設置する室の壁・天井までの距離：○○mm以上 ・設置床からの核燃料物質の取扱高さ：○○mm以上 ・設置室の周囲の壁等厚さ：○○mm以上																																																																																																											
第十条 閉じ込め機能	・グローブボックス等は密閉できる構造とする。	気密性(漏れ率)：○○vol%/h以下																																																																																																											
	・グローブ1個破損した場合において、開口部風速を設定値以上確保する設計	開口部風速：○○m/s以上																																																																																																											
第十二条 溢水による損傷防止	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上																																																																																																											

既認可の仕様表		仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考
閉じ込めの機能	給排気口を除き密封できる構造とする。 ・気密性(漏れ率)：〇〇vol%/h以下	仕様表「漏れ率」で展開			
しゃへい	-	閉込の基本設計方針で展開			
換気	-				
核燃料物質等による汚染の防止	-	安有の基本設計方針で展開			
安全上重要な施設	適切な方法により、安全機能を確認するための検査又は試験並びに安全機能を健全に維持するための保守又は修理ができる設計とする。				
搬送設備	-				
警報設備等	①グローブボックス内の温度及び温度上昇率が設定値以上となった場合に警報を発する火災警報を設置する。 ・設定値：温度〇℃，温度上昇率〇℃/min ②グローブボックス内の気圧が設置場所に対して設定値以上となった場合に警報を発する負圧警報を設置する。 ・設定値：-〇Pa	閉込の基本設計方針で展開 グローブボックス温度監視装置の仕様表で展開			
廃棄施設	-	閉じ込めの基本設計方針/添付書類で展開			
放射線管理施設	-				
非常用電源設備	-				
その他事業許可で求める仕様 ^(注3)	グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を〇m/s以上とする。	仕様表「開口部風速」で展開			
注1	今回の申請範囲は管台までであり、管台から接続配管等の第1弁まではグローブボックスとして後次回に申請する。				
注2	技術基準に対する仕様の補足説明				
(1)	核燃料物質の臨界防止 本グローブボックスに単一ユニットを設定する。単一ユニットでは質量管理により、核的制限値を超えないように管理する設計とする。また、単一ユニット間の中性子相互作用については、単一ユニット間距離を維持することにより臨界安全を確保する設計とする。本グローブボックスから〇〇〇室の壁・天井までの距離を〇〇mm以上となるように設置するとともに、〇〇〇室の床から核燃料物質取扱高さ下限までの距離を〇〇mm以上となるように設置する。臨界防止に係る計算結果は、添付書類Ⅰ「核燃料物質の臨界防止に関する説明書」に示す。				
(2)	火災等による損傷の防止 本グローブボックスは、安全上重要な施設であるため本体には不燃性の〇〇〇〇を使用し火災による損傷を防止する。ただし、視認性及び耐震性の観点から窓板には〇〇〇〇製の〇〇〇を使用する。				
(3)	耐震性 本グローブボックスは、耐震Bクラスとする。また、耐震設計上の主要な評価部位は、グローブボックスを直接支持する構造物に固定するボルト(基礎ボルト、取付ボルト)とする。設備構造設計上の耐震設計結果は、添付書類Ⅲ「主要な加工施設の耐震性に関する説明書」に示す。				
(4)	閉じ込め機能 本グローブボックスは、給排気口を除き密封できる構造とし、漏れ率は〇vol%/h以下とする。給排気口を除き密封できる構造とは、他のグローブボックスと伸縮継手を介して連結し、ユーティリティ配管類に弁類が設置され気密境界を形成できる状態をいう。また、気体廃棄物の廃棄設備によりその内部を設置場所に対して常時負圧に維持する設計とする。常時負圧についての仕様は、気体廃棄物の廃棄設備にて申請する。				
		添付書類で展開 仕様表「臨界管理」で展開			
			*11：グローブ1個が破損した場合にグローブポートの開口部における風速を示す。 *12：〇〇グローブボックスに単一ユニット(〇〇ユニット)を設定する。 *13：記載内容は、平成22年10月22日付け平成22・05・21原第9号にて認可を受けた設工認申請書の「別添イ.燃料加工建屋(その1)及び貯蔵容器搬送用同道(4)設計条件及び仕様 特記事項」において記載したコンクリート厚さによる。 *14：記載内容は、平成24年6月26日付け平成23・02・24原第6号にて認可を受けた設工認申請書の本文添付図「第1. -1 図被覆施設の機器配置図(1/2)」による。 *15：重大事故等時における使用時の値を示す。		

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考
<p>(5) 安全上重要な施設 本グローブボックスは、安全上重要な施設であり、外観検査、負圧確認等により、加工施設の安全を確保する機能の負圧維持の確認は実施できる。また、周囲にメンテナンススペースを設けておりこれらの機能を健全に維持するための保守又は修理が可能である。なお、他の原子力施設と共用しない。</p> <p>(6) 警報設備等 本グローブボックスには、グローブボックス内の温度が60℃以上、かつ、温度上昇率が15℃/min以上となった場合に、所定の場所で警報を発するための検出器を設置する。また、グローブボックス内火災の消火のため火災警報信号をガス消火装置(消火設備)に送信する。 本グローブボックスには、グローブボックス内の気圧が設置場所に対して-50Pa以上となった場合に、所定の場所で警報を発するための検出器を設置する。また、負圧警報により窒素循環ファン(窒素循環設備)を停止させるために、負圧警報信号を換気空調設備制御盤(気体廃棄物の廃棄設備)に送信する。</p> <p>注3 Pu*は、プルトニウム-239、プルトニウム-241及びウラン-235の総称とし、kg・Pu*はその合計質量とする。</p> <p>注4 成形施設で取り扱う核燃料物質の形態と核的制限値の設定条件を第1.-6表に示す。 注5 その他事業許可で求める仕様の補足説明</p> <p>(1) グローブ1個が破損をした時は、グローブボックス排風機により外部空気を吸入し開口部における風速0.5m/s以上を確保する。グローブ1個の破損とは、全グローブボックスに対する1個の開口部とする。</p>	<p>添付書類で展開</p> <p>注釈で展開</p> <p>添付書類で展開</p>			

仕様表記載例（機種：発電機）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																									
<p>MOX 施設の既認可に仕様表なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>非常用ガスタービン発電機 (00-0000)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/台</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>回転速度</td> <td>min⁻¹</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>冷却法</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原動機</td> <td>種別</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/台</td> </tr> <tr> <td>燃料使用量</td> <td>L/h</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記：*1 公称値を示す。</p>	名 称		非常用ガスタービン発電機 (00-0000)	種類	—	〇〇	容量	kVA/台	〇〇	主要寸法	たて	mm	横	mm	高さ	mm	力率	—	〇〇	電圧	V	〇〇	相	—	〇〇	周波数	Hz	〇〇	回転速度	min ⁻¹	〇〇	結線法	—	〇〇	冷却法	—	〇〇	個数	—	〇〇	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	設置床	—	溢水防護上の区画番号	—	原動機	種別	—	出力	kW/台	燃料使用量	L/h	個数	—	〇〇	取付箇所	—	〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>様式-6.7</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第二十四条 非常用電源設備</td> <td>・外部電源系統の機能喪失時に、必要な設備の安全機能を確実に実行するため、十分な容量を有する設計</td> <td>容量：〇〇kVA/台 原動機出力：〇 kW/台</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6.7	—	—	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第二十四条 非常用電源設備	・外部電源系統の機能喪失時に、必要な設備の安全機能を確実に実行するため、十分な容量を有する設計	容量：〇〇kVA/台 原動機出力：〇 kW/台	<p>(5) 発電機に係る次の事項 イ 発電機の種類、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>非常用ディーゼル発電機*1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個**</td> <td>6500</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4955**、**</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>4200**、**</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>3240**、**</td> </tr> <tr> <td>力率</td> <td>%**</td> <td>80**</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>6900</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3**</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>回転速度**</td> <td>min⁻¹**</td> <td>429</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>結線法</td> <td>—</td> <td>星形</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷却方法**</td> <td>—</td> <td>空冷冷却</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">系 統 名 (ライン名)</th> <th>2C 非常用ディーゼル発電機*1</th> <th>2D 非常用ディーゼル発電機*1</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>EL. 0.70 m*1</td> <td>EL. 0.70 m*1</td> <td>CS-B1-5</td> <td>CS-B1-3</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>EL. 0.70 m 以上</td> <td>EL. 0.70 m 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「発電機」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「XVA」と記載。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4：公称値を示す。 *5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.80」と記載。 *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相」と記載。 *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。 *9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「r.p.m」と記載。 *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却法」と記載。</p>	名 称		変更前	変更後	種類	—	非常用ディーゼル発電機*1	—	容量	kVA/個**	6500	—	主要寸法	たて	mm	4955**、**	横	mm	4200**、**	高さ	mm	3240**、**	力率	%**	80**	—	電圧	V	6900	—	相	—	3**	—	周波数	Hz	50	—	回転速度**	min ⁻¹ **	429	—	結線法	—	星形	—	冷却方法**	—	空冷冷却	—	個数	—	2	—	系 統 名 (ライン名)		2C 非常用ディーゼル発電機*1	2D 非常用ディーゼル発電機*1	変更後		取付箇所	設置床	—	—	変更なし		取付箇所	溢水防護上の区画番号	EL. 0.70 m*1	EL. 0.70 m*1	CS-B1-5	CS-B1-3	取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	EL. 0.70 m 以上	EL. 0.70 m 以上	
名 称		非常用ガスタービン発電機 (00-0000)																																																																																																																																																											
種類	—	〇〇																																																																																																																																																											
容量	kVA/台	〇〇																																																																																																																																																											
主要寸法	たて	mm																																																																																																																																																											
	横	mm																																																																																																																																																											
	高さ	mm																																																																																																																																																											
力率	—	〇〇																																																																																																																																																											
電圧	V	〇〇																																																																																																																																																											
相	—	〇〇																																																																																																																																																											
周波数	Hz	〇〇																																																																																																																																																											
回転速度	min ⁻¹	〇〇																																																																																																																																																											
結線法	—	〇〇																																																																																																																																																											
冷却法	—	〇〇																																																																																																																																																											
個数	—	〇〇																																																																																																																																																											
取付箇所	系統名 (ライン名)	—																																																																																																																																																											
	設置床	—																																																																																																																																																											
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																																																											
原動機	種別	—																																																																																																																																																											
	出力	kW/台																																																																																																																																																											
	燃料使用量	L/h																																																																																																																																																											
個数	—	〇〇																																																																																																																																																											
取付箇所	—	〇〇																																																																																																																																																											
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																											
様式-6.7	—	—																																																																																																																																																											
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法																																																																																																																																																											
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																																																																																											
第二十四条 非常用電源設備	・外部電源系統の機能喪失時に、必要な設備の安全機能を確実に実行するため、十分な容量を有する設計	容量：〇〇kVA/台 原動機出力：〇 kW/台																																																																																																																																																											
名 称		変更前	変更後																																																																																																																																																										
種類	—	非常用ディーゼル発電機*1	—																																																																																																																																																										
容量	kVA/個**	6500	—																																																																																																																																																										
主要寸法	たて	mm	4955**、**																																																																																																																																																										
	横	mm	4200**、**																																																																																																																																																										
	高さ	mm	3240**、**																																																																																																																																																										
力率	%**	80**	—																																																																																																																																																										
電圧	V	6900	—																																																																																																																																																										
相	—	3**	—																																																																																																																																																										
周波数	Hz	50	—																																																																																																																																																										
回転速度**	min ⁻¹ **	429	—																																																																																																																																																										
結線法	—	星形	—																																																																																																																																																										
冷却方法**	—	空冷冷却	—																																																																																																																																																										
個数	—	2	—																																																																																																																																																										
系 統 名 (ライン名)		2C 非常用ディーゼル発電機*1	2D 非常用ディーゼル発電機*1	変更後																																																																																																																																																									
取付箇所	設置床	—	—	変更なし																																																																																																																																																									
取付箇所	溢水防護上の区画番号	EL. 0.70 m*1	EL. 0.70 m*1	CS-B1-5	CS-B1-3																																																																																																																																																								
取付箇所	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	EL. 0.70 m 以上	EL. 0.70 m 以上																																																																																																																																																								

仕様表記載例（機種：電力貯蔵装置）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																												
<p>MOX 施設の既認可に仕様表なし</p>	<table border="1" data-bbox="736 323 1350 646"> <tr> <td>名称</td> <td colspan="2">〇〇蓄電池 (PA000)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>Ah</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*1}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>注記：*1 公称値を示す。</p>	名称	〇〇蓄電池 (PA000)		種類	—	〇〇	容量	Ah	〇〇	電圧	V	〇〇	主要寸法	たて	mm	〇〇 ^{*1}	横	mm	〇〇 ^{*1}	高さ	mm	〇〇 ^{*1}	個数	—	〇〇	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	〇〇	溢水防護上の区画番号	—	〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇	<table border="1" data-bbox="1374 310 1985 651"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>・適用される地震力に十分耐えることができる設計</td> <td>主要寸法</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水防護</td> <td>・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第二十四条 非常用電源設備</td> <td>・外部電源系統の機能喪失時に、必要な設備の安全機能を確実に行うため、十分な容量を有する設計</td> <td>容量：〇〇Ah</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法	第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上	第二十四条 非常用電源設備	・外部電源系統の機能喪失時に、必要な設備の安全機能を確実に行うため、十分な容量を有する設計	容量：〇〇Ah	<p>(2) 電力貯蔵装置の名称、種類、容量、電圧、主要寸法、個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。) ・常設</p> <table border="1" data-bbox="2009 317 2653 653"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>種</td> <td>—</td> <td>緊急用 125V 系蓄電池</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>量</td> <td>Ah/組</td> <td>制御弁式耐震鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>—</td> <td>6000 (10 時間率)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>125^{*1}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>〇〇^{*2}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>1 (1 組当たり 120 個)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>緊急用 125V 系蓄電池</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>EL. 8.20 m / EL. 10.50 m</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>EW-1-7</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>EL. 8.20 m 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：通常運転時、充電器にて浮動充電電圧を 133.8 V±2 % に維持する。 *2：公称値を示す。 *3：() 内は架台数を示す。</p>			変更前	変更後	名称	種	—	緊急用 125V 系蓄電池	容量	量	Ah/組	制御弁式耐震鉛蓄電池	電圧	V	—	6000 (10 時間率)	主要寸法	たて	mm	125 ^{*1}	横	mm	〇〇 ^{*2}	取付箇所	設置床	—	〇〇 ^{*2}	溢水防護上の区画番号	—	1 (1 組当たり 120 個)	取付箇所	設置床	—	緊急用 125V 系蓄電池	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	EL. 8.20 m / EL. 10.50 m				EW-1-7				EL. 8.20 m 以上	
名称	〇〇蓄電池 (PA000)																																																																																															
種類	—	〇〇																																																																																														
容量	Ah	〇〇																																																																																														
電圧	V	〇〇																																																																																														
主要寸法	たて	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																													
	横	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																													
	高さ	mm	〇〇 ^{*1}																																																																																													
個数	—	〇〇																																																																																														
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	〇〇																																																																																													
	溢水防護上の区画番号	—	〇〇																																																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	〇〇																																																																																													
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																														
第六条 地震による損傷の防止	・適用される地震力に十分耐えることができる設計	主要寸法																																																																																														
第十二条 溢水防護	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名 (ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L. 〇〇〇m 以上																																																																																														
第二十四条 非常用電源設備	・外部電源系統の機能喪失時に、必要な設備の安全機能を確実に行うため、十分な容量を有する設計	容量：〇〇Ah																																																																																														
		変更前	変更後																																																																																													
名称	種	—	緊急用 125V 系蓄電池																																																																																													
容量	量	Ah/組	制御弁式耐震鉛蓄電池																																																																																													
電圧	V	—	6000 (10 時間率)																																																																																													
主要寸法	たて	mm	125 ^{*1}																																																																																													
	横	mm	〇〇 ^{*2}																																																																																													
取付箇所	設置床	—	〇〇 ^{*2}																																																																																													
	溢水防護上の区画番号	—	1 (1 組当たり 120 個)																																																																																													
取付箇所	設置床	—	緊急用 125V 系蓄電池																																																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	EL. 8.20 m / EL. 10.50 m																																																																																													
			EW-1-7																																																																																													
			EL. 8.20 m 以上																																																																																													

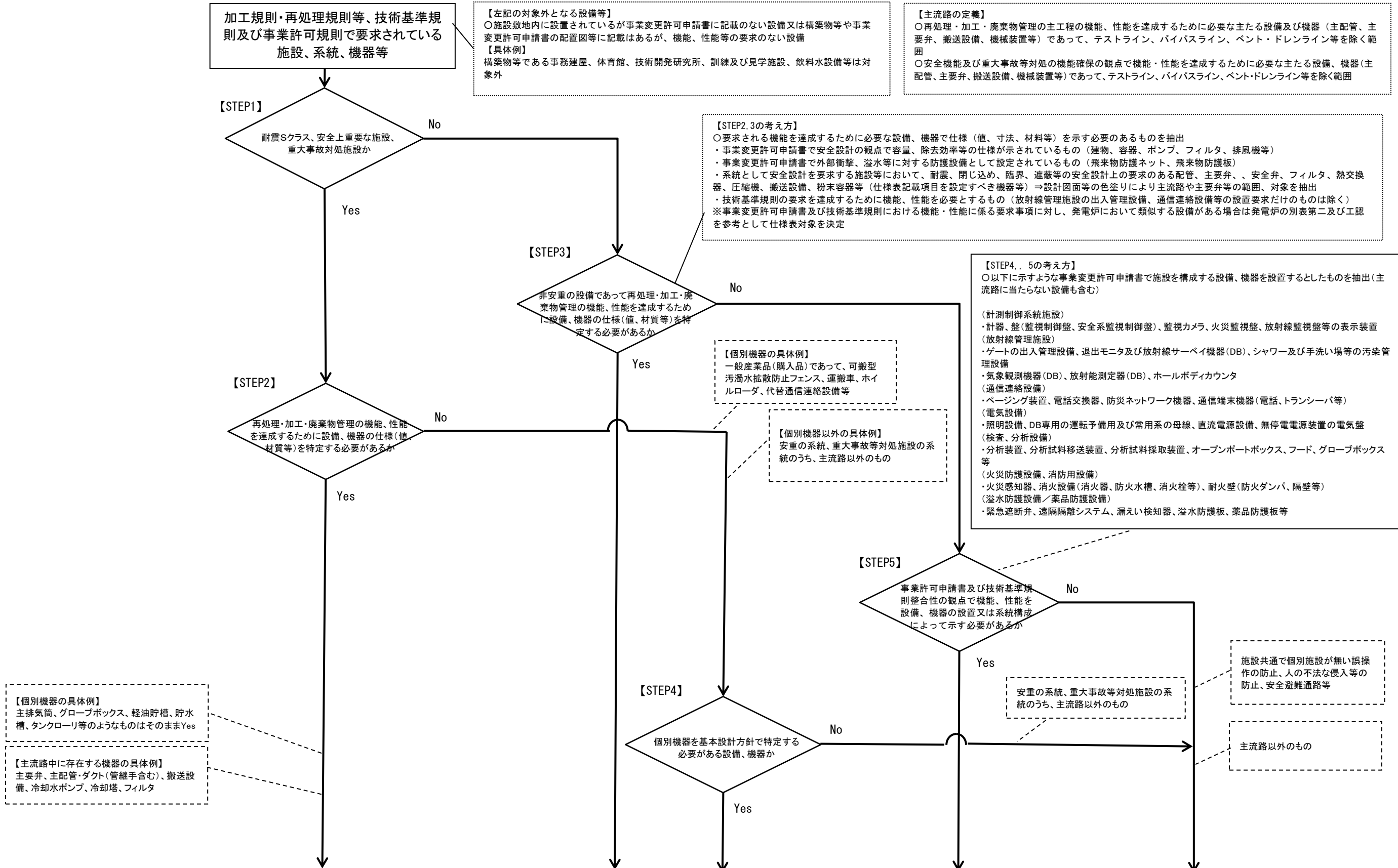
仕様表記載例（機種：計装／放管設備）（計測装置）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																									
<p>MOX 施設にて既認可仕様表なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>〇〇〇混合ガス受槽入口 水素濃度検出器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>〇〇式</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>%</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>%</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>〇〇〇〇 T.M.S.L. 〇m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>T.M.S.L. 〇〇m 以上</td> </tr> </tbody> </table>	名称		〇〇〇混合ガス受槽入口 水素濃度検出器	検出器の種類	—	〇〇式	計測範囲	%	〇〇	警報動作範囲	%	〇〇	個数	—	〇〇	取付箇所	系統名(ライン名)	〇〇〇〇	設置床	〇〇〇〇 T.M.S.L. 〇m	溢水防護上の区画番号	〇〇〇〇	溢水防護上の配慮が必要な高さ	T.M.S.L. 〇〇m 以上	<p>【様式-6,7の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な使用 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十二条 溢水による 損傷の防止</td> <td>・ 没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計</td> <td>取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇m 以上</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>・ 水素濃度が設定値を超える場合に、焼結炉等への供給を停止する設計</td> <td>計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)	第十二条 溢水による 損傷の防止	・ 没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇m 以上	第十八条 警報設備等	・ 水素濃度が設定値を超える場合に、焼結炉等への供給を停止する設計	計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>〇〇〇〇 内水素濃度*1</td> <td>変更なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>〇〇〇〇 式水素検出器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>〇～〇 〇～〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所 系統名 (ライン名)</td> <td>〇〇〇〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>〇〇〇〇 m*2 〇〇〇〇 m*3</td> <td></td> <td>〇〇〇〇 m*2 〇〇〇〇 m*3</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td></td> <td>〇〇〇〇 m 以上*2 〇〇〇〇 m 以上*3</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：対象計器は、〇〇〇〇 *3：対象計器は、〇〇〇〇</p>	変更前		変更後		名称	〇〇〇〇 内水素濃度*1	変更なし		検出器の種類	〇〇〇〇 式水素検出器			計測範囲	〇～〇 〇～〇			警報動作範囲	—			個数	〇			取付箇所 系統名 (ライン名)	〇〇〇〇			設置床	〇〇〇〇 m*2 〇〇〇〇 m*3		〇〇〇〇 m*2 〇〇〇〇 m*3	溢水防護上の区画番号	—		〇〇〇〇 m 以上*2 〇〇〇〇 m 以上*3	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			
名称		〇〇〇混合ガス受槽入口 水素濃度検出器																																																																											
検出器の種類	—	〇〇式																																																																											
計測範囲	%	〇〇																																																																											
警報動作範囲	%	〇〇																																																																											
個数	—	〇〇																																																																											
取付箇所	系統名(ライン名)	〇〇〇〇																																																																											
	設置床	〇〇〇〇 T.M.S.L. 〇m																																																																											
	溢水防護上の区画番号	〇〇〇〇																																																																											
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	T.M.S.L. 〇〇m 以上																																																																											
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)																																																																											
第十二条 溢水による 損傷の防止	・ 没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：〇〇 設置床：〇〇 溢水防護上の区画番号：〇〇 溢水防護上の配慮が必要な高さ： T.M.S.L. 〇〇m 以上																																																																											
第十八条 警報設備等	・ 水素濃度が設定値を超える場合に、焼結炉等への供給を停止する設計	計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇																																																																											
変更前		変更後																																																																											
名称	〇〇〇〇 内水素濃度*1	変更なし																																																																											
検出器の種類	〇〇〇〇 式水素検出器																																																																												
計測範囲	〇～〇 〇～〇																																																																												
警報動作範囲	—																																																																												
個数	〇																																																																												
取付箇所 系統名 (ライン名)	〇〇〇〇																																																																												
設置床	〇〇〇〇 m*2 〇〇〇〇 m*3		〇〇〇〇 m*2 〇〇〇〇 m*3																																																																										
溢水防護上の区画番号	—		〇〇〇〇 m 以上*2 〇〇〇〇 m 以上*3																																																																										
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																												

仕様表記載例（機種：計装／放管設備）（インターロック）

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																	
<p>MOX 施設にて既認可仕様表なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="483 1522 655 1766">インターロックの種類</th> <th data-bbox="483 1325 655 1522">検出器の種類</th> <th data-bbox="483 1203 655 1325">個数</th> <th data-bbox="483 926 655 1203">取付箇所</th> <th data-bbox="483 611 655 926">インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th data-bbox="483 464 655 611">設定値</th> <th data-bbox="483 296 655 464">インターロックの起動信号を発生させない条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="655 1522 958 1766"> ○○○○ 混合ガス 水素濃度高*2 </td> <td data-bbox="655 1325 958 1522"> 焼結炉系混合 ガス受槽入口 水素濃度 検出器 </td> <td data-bbox="655 1203 958 1325"> ○ </td> <td data-bbox="655 926 958 1203"> <table border="1"> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>T.M.S.L.Om</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高 さ</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>T.M.S.L.Om 以上</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="655 611 958 926"> ○ </td> <td data-bbox="655 464 958 611"> ○% 以上 </td> <td data-bbox="655 296 958 464"> -*1 </td> </tr> </tbody> </table> <p>注記○*1：本インターロックは、起動信号を発生させない条件を設定しないため、「-」とする。 *2：本インターロックは、燃料加工建屋に受け入れられる水素・アルゴン混合ガス中の水素濃度が○%を超える場合には、焼結炉混合ガス濃度異常遮断弁により焼結炉への水素・アルゴン混合ガスの供給を遮断する。</p>	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの起動信号を発生させない条件	○○○○ 混合ガス 水素濃度高*2	焼結炉系混合 ガス受槽入口 水素濃度 検出器	○	<table border="1"> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>T.M.S.L.Om</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高 さ</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>T.M.S.L.Om 以上</td> </tr> </table>	系統名 (ライン名)	○○○	設置床	○○○	溢水防護上の 区画番号	T.M.S.L.Om	溢水防護上の 配慮が必要な高 さ	○○○		T.M.S.L.Om 以上	○	○% 以上	-*1	<p>【様式-6,7の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1270 268 1389 300">技術基準</th> <th data-bbox="1389 268 1730 300">機能要求② 様式-6,7</th> <th data-bbox="1730 268 1878 300">主な使用 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1270 300 1389 510"> 第十二条 溢水による 損傷の防止 </td> <td data-bbox="1389 300 1730 510"> ・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計 </td> <td data-bbox="1730 300 1878 510"> 取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 510 1389 657"> 第十八条 警報設備等 </td> <td data-bbox="1389 510 1730 657"> ・水素濃度が設定値を超える場合に、焼結炉等への供給を停止する設計 </td> <td data-bbox="1730 510 1878 657"> 設定値：○○% インターロックの起動に要する信号の個数：○○ </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)	第十二条 溢水による 損傷の防止	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上	第十八条 警報設備等	・水素濃度が設定値を超える場合に、焼結炉等への供給を停止する設計	設定値：○○% インターロックの起動に要する信号の個数：○○	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> <tr> <th>原子炉非常停止信号の種類*1</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>原子炉非常停止に要する信号の個数*2</th> <th>設定値</th> <th>原子炉非常停止信号を発生させない条件*3</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中性子束低*17</td> <td>平均出力 領域計装</td> <td>○</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 ○○○○m*5</td> <td>○ *18, *20</td> <td>○%以上*19</td> <td>-</td> <td>変更なし 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能検出器高*22, *27</td> <td>主蒸気管放射能検出器</td> <td>○</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 ○○○○m*5</td> <td>○ *20</td> <td>通報運転時の放射能の検出値 ○倍以下</td> <td>-</td> <td>変更なし 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉スクラム信号の種類」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉スクラムに要する個数」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉スクラムをバイパスするインターロック」と記載。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「圧力検出器」と記載。 *5：既工事計画書に記載のないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *17：本信号は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。 *18：個数はチャンネル数を示す。 *20：スクラム回路は、個の検出器からなるA、B2系統のチャンネルで構成され、A、B各々に属する最低個の検出器が同時に動作すれば、原子炉はスクラムされる。 *21：スクラム回路は、個の検出器からなるA、B2系統のチャンネルで構成され、A、B各々に属する最低個の検出器が同時に動作すれば、原子炉はスクラムされる。 *27：本検出器は、工学的安全施設等の起動信号のうち主蒸気管放射能の「主蒸気管放射能高」として使用する検出器と同じである。</p>			変更前			変更後			原子炉非常停止信号の種類*1	検出器の種類	個数	取付箇所	原子炉非常停止に要する信号の個数*2	設定値	原子炉非常停止信号を発生させない条件*3	取付箇所	中性子束低*17	平均出力 領域計装	○	系統名 (ライン名) 設置床 ○○○○m*5	○ *18, *20	○%以上*19	-	変更なし 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ	主蒸気管放射能検出器高*22, *27	主蒸気管放射能検出器	○	系統名 (ライン名) 設置床 ○○○○m*5	○ *20	通報運転時の放射能の検出値 ○倍以下	-	変更なし 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ	<p>備考</p>
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの起動信号を発生させない条件																																																															
○○○○ 混合ガス 水素濃度高*2	焼結炉系混合 ガス受槽入口 水素濃度 検出器	○	<table border="1"> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>T.M.S.L.Om</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高 さ</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>T.M.S.L.Om 以上</td> </tr> </table>	系統名 (ライン名)	○○○	設置床	○○○	溢水防護上の 区画番号	T.M.S.L.Om	溢水防護上の 配慮が必要な高 さ	○○○		T.M.S.L.Om 以上	○	○% 以上	-*1																																																					
系統名 (ライン名)	○○○																																																																				
設置床	○○○																																																																				
溢水防護上の 区画番号	T.M.S.L.Om																																																																				
溢水防護上の 配慮が必要な高 さ	○○○																																																																				
	T.M.S.L.Om 以上																																																																				
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な使用 (詳細設計)																																																																			
第十二条 溢水による 損傷の防止	・没水の影響により、防護すべき設備が機能を喪失しないための設計	取付箇所： 系統名(ライン名)：○○ 設置床：○○ 溢水防護上の区画番号：○○ 溢水防護上の配慮が必要な高さ：T.M.S.L.○○○m以上																																																																			
第十八条 警報設備等	・水素濃度が設定値を超える場合に、焼結炉等への供給を停止する設計	設定値：○○% インターロックの起動に要する信号の個数：○○																																																																			
		変更前			変更後																																																																
原子炉非常停止信号の種類*1	検出器の種類	個数	取付箇所	原子炉非常停止に要する信号の個数*2	設定値	原子炉非常停止信号を発生させない条件*3	取付箇所																																																														
中性子束低*17	平均出力 領域計装	○	系統名 (ライン名) 設置床 ○○○○m*5	○ *18, *20	○%以上*19	-	変更なし 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ																																																														
主蒸気管放射能検出器高*22, *27	主蒸気管放射能検出器	○	系統名 (ライン名) 設置床 ○○○○m*5	○ *20	通報運転時の放射能の検出値 ○倍以下	-	変更なし 溢水防護上の区画番号 溢水防護上の配慮が必要な高さ																																																														

設工認申請設備選定フロー



区分	【グレード①】 仕様表対象機器の具体例	【グレード②-a】 基本設計方針対象機器の具体例	【グレード②-b】 基本設計方針対象の具体例
再処理	<p>【耐震クラス、安全上重要な施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安重設備(燃料貯蔵プール等、溶解槽、よう素追出し槽、中継槽、抽出塔、プルトニウム溶液TBP洗浄器、分離建屋一時貯留処理槽、プルトニウム濃縮缶、精製建屋一時貯留処理槽、一時貯槽、焙焼炉、還元炉、粉末充填機、保管容器、粉末缶、混合酸化物貯蔵容器、高レベル濃縮廃液貯槽、Sクラスグローブボックス、計測制御設備又は安全保護回路からの信号で作動する主要弁、固化セル圧力放出系の逆止弁(安全弁及び逃がし弁)等) ・安重Sクラスの塔槽類廃ガス処理設備又は換気設備のフィルタ、ダクト、排風機 ・安重Sクラスの計測制御設備、安全保護回路、制御室換気設備、主排気筒、主排気筒ガスモニタ、遮蔽設備(セル遮蔽、遮蔽扉、遮蔽窓といった補助遮蔽等) ・電気設備(非常用所内電源系統)、安全冷却水系(冷却塔、ポンプ、熱交換器等)、安全圧縮空気系(圧縮機、貯槽等)、安全蒸気系(安全蒸気ボイラ等)、プール水冷却系(ポンプ、熱交換器等)、補給水設備(貯槽、ポンプ等) <p>【重大事故等対応設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイフォンブレーカ、止水板及び蓋、代替/重大事故時可溶性中性子吸収材供給系の供給槽、供給弁等、代替安全圧縮空気系の可搬型ホースを接続する管路、系統上に設置する弁及びダンパ、水封安全器(安全弁及び逃がし弁)等、代替安全冷却水系の可搬型ホースを接続する管路、系統上に設置する弁及びダンパ、可搬型排水貯槽、可搬型中型移送ポンプ、代替換気設備/廃ガス貯留設備の廃ガス貯留槽、廃ガス貯留槽の安全弁、空圧圧縮機、凝縮器、予備凝縮器、可搬型ダクト、可搬型フィルタ、可搬型排風機、大型移送ポンプ車、放水砲、可搬型建屋外ホース、軽油貯槽、軽油用タンクローリ、代替モニタリング設備、計装設備、代替電源設備、代替試料分析関係設備、代替放射能観測設備、代替気象観測設備、アルファベータ線用サーベイメータ等 <p>【上記以外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再処理施設の主流路となる塔槽類廃ガス処理設備又は換気設備排気系統、フィルタ、主排気筒、北換気筒、低レベル廃棄物処理建屋換気筒 ・再処理施設の主流路となる廃液系統に設置される配管、廃液貯槽、蒸発缶、ろ過装置、海洋放出ポンプ、海洋放出管 ・再処理施設の主流路となる系統(使用済燃料の受入れ～分離～精製～脱酸～酸回収及び溶媒回収)に設置される配管、貯槽、蒸発缶、搬送設備、機械装置等 ・火災防護対象設備の固定式消火設備(ガス消火設備等)、耐火壁のうち火災区域/火災区画構造物(コンクリート壁) ・溢水防護対象設備/化学薬品防護設備の防水区画境界に設置する防水区画構造物(堰、防水扉、水密扉) ・竜巻防護対策設備の飛来物防護ネット及び飛来物防護板 ・遮蔽設備(外部遮蔽、遮蔽扉、遮蔽窓、遮蔽ハッチ、遮蔽体付グローブボックスといった補助遮蔽等) 	<p>【設計基準対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再処理工程のうち、主たる経路にあたらぬ以下の設備 ・計測制御系統施設の計器、盤等 ・電気設備の照明設備等 ・溢水防護設備及び化学薬品防護設備の溢水防護板・薬品防護板、自動検知・遠隔隔離システム、緊急遮断弁等 ・分析設備の分析装置、気送設備、フード等 ・空キヤスクの保管エリア、保管廃棄する区画(エリア) ・空キヤスクの保守に用いるクレーン、台車等 ・DB設備の個人管理設備、出入管理設備、気象観測設備、放射線サーベイ機器 ・通信連絡設備(通信筐、通信端末) ・火災防護設備の火災感知器、消火器、固定式消火設備(消火栓等)、耐火壁(防火ダンパ、隔壁) <p>【重大事故等対応設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型汚濁水拡散防止フェンス、運搬車、ホイローダ、代替通信連絡設備等 	<p>【設計基準対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤操作の防止、人の不法な侵入等の防止、安全避難通路等 ・①、②-a以外のテストライン、バイパスライン、ペント・ドレンライン等の機器 <p>【重大事故等対応施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①、②-a以外のテストライン、バイパスライン、ペント・ドレンライン等の機器
MOX	<p>【耐震クラス、安全上重要な施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安重設備(Sクラスグローブボックス、焼結炉、貯蔵設備、臨界管理用の高さ制限ゲート、混合酸化物貯蔵容器等)安重グローブボックスに内蔵する核燃料物質を取り扱う機器 ・安重Sクラスのフィルタ、ダクト、排風機 ・安重Sクラスのグローブボックス消火装置(ポンベ、主配管、主要弁、安全弁) <p>【重大事故等対応設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローブボックス排気設備のダクトのうちSAとして使用する範囲及び可搬型ダクトを接続する管路、系統上に設置するダンパ、可搬型排風機付フィルタユニット、可搬型ダクト等 ・大型移送ポンプ車、放水砲、可搬型建屋外ホース、軽油貯槽、軽油用タンクローリ、代替モニタリング設備、代替試料分析関係設備、代替放射能観測設備、代替気象観測設備、可搬型ダンパ出口風速計、アルファベータ線用サーベイメータ等 <p>【上記以外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設の主流路となる排気系統、フィルタ、排気筒 ・加工施設の主流路となる廃液系統に設置される配管、検査槽、廃液貯槽、検査槽/廃液貯槽間及び排水口から共有する再処理施設への送液用のポンプ、ろ過処理装置、吸着処理装置(処理装置に付随する貯槽、ポンプ含む) 	<p>【設計基準対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工工程のうち、添加剤、被覆材等の部材取扱設備、立ち合い検査設備等の加工の主たる経路にあたらぬ設備 ・グローブボックス内に設置する分析設備 ・オープンポートボックス、フード ・排水口から海洋放出管までの経路 ・輸送容器の保管エリア、保管廃棄する区画(エリア) ・DB設備の個人管理設備、出入管理設備、気象観測設備、放射線サーベイ機器 ・自動火災報知機、消火器、耐火壁、消火栓、避難・誘導設備、運転保安灯、非常用母線、常用母線、通信連絡設備、水素・アルゴン混合ガス設備(供給停止回路、遮断弁等を除く)、荷役設備、選別・保管設備等 <p>【重大事故等対応設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視測定用運搬車、可搬型汚濁水拡散防止フェンス、運搬車、代替通信連絡設備等 	<p>【設計基準対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤操作の防止、人の不法な侵入等の防止、安全避難通路等 ・①、②-a以外のテストライン、バイパスライン、ペント・ドレンライン等の機器 <p>【重大事故等対応施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①、②-a以外のテストライン、バイパスライン、ペント・ドレンライン等の機器
廃棄物管理	<p>【耐震クラス、安全上重要な施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収納管、通風管 ・遮蔽設備(床面走行クレーン(遮蔽容器)、貯蔵区域遮蔽等) <p>【上記以外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物管理施設の主流路(返還ガラス固化体の受入れ～貯蔵)を行う系統に設置されるクレーン、台車等の搬送設備、ガラス固化体の各種検査装置、床面走行クレーン等 ・廃棄物管理施設の主流路となる排気系統、フィルタ、排風機、北換気筒 ・遮蔽設備(外部遮蔽、遮蔽扉、遮蔽窓、遮蔽ハッチ、遮蔽体付グローブボックスといった補助遮蔽等) 	<p>【設計基準対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物管理工程のうち、主たる経路にあたらぬ以下の設備 ・計測制御系統施設の計器、盤等 ・電気設備の盤及び照明設備等 ・空キヤスクの保管エリア、保管廃棄する区画(エリア) ・空キヤスクの保守に用いるクレーン、台車、扉等 ・個人管理設備、出入管理設備、気象観測設備、放射線サーベイ機器 ・火災防護設備の火災感知器、消火器、固定式消火設備(消火栓等)、耐火壁、通信連絡設備(通信筐、通信端末) 	<p>【設計基準対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤操作の防止、人の不法な侵入等の防止、安全避難通路等 ・①、②-a以外のテストライン、バイパスライン、ペント・ドレンライン等の機器
濃縮	<p>【耐震クラス、安全上重要な施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし <p>【重大事故等対応設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし <p>【上記以外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設の主流路(UF6を内包する系統(第1類、第2類))に設置される配管、発生槽、遠心分離機、各コールドトラップ、各回収槽、排気系統、廃液系統、フィルタ等 ・インターロック等の機能を有するロータリポンプ、高周波インバータ装置 ・UF6を内包する機器(第1類、第2類)を搬送するクレーン、搬送台車 ・放射線監視測定機器(排気用モニタ、モニタリングポスト等)、非常用設備(無停電電源、DG、遠隔消火設備等)、その他(搬送、洗浄、除染設備等) 	<p>【設計基準対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工工程のうち、主たる経路(UF6を内包する系統(第1類、第2類))にあたらぬ以下の設備 ・保管廃棄する区画(エリア) ・個人管理設備、出入管理設備、気象観測設備、放射線サーベイ機器 ・自動火災報知機、消火器、消火栓、避難・誘導設備、非常用照明、通信連絡設備等 <p>【重大事故等対応設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし 	<p>【設計基準対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤操作の防止、人の不法な侵入等の防止、安全避難通路等 ・①、②-a以外のテストライン、バイパスライン、ペント・ドレンライン等の機器

設工認申請対象設備 (申請対象設備リスト)

添付書類の発電炉との比較

【添付書類 ○○】

発電炉（東海第二）	MOX 燃料加工施設	備考
<div data-bbox="80 456 882 855" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>添付書類の記載内容に対して項目単位でその記載程度を発電炉と比較し、記載すべき事項の抜けや論点として扱うべき差がないかを確認する ※規則の名称、添付書類の名称など差があることが明らかな項目は比較対象としない。</p> </div>	<div data-bbox="1122 895 2134 1273" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【備考】 差に対して記載の変更が必要と判断した場合はその旨を記載し、修正案を示す。 差に対して記載修正が必要なく、新たな論点が生じるものではない場合はその旨を示す。 また、記載位置が異なるが、記載がある場合はその旨を記載する。</p> </div>	

発電炉 工認手続きガイド	仕様表対象選定手引き
<p>2. 工事の計画の認可及び届出及び認可手続の範囲 (2) 工事計画に記載すべき設備及び機器等の範囲 工事計画に記載しなければならない事項は、規則第9条第2項又は第12条第2項で発電用原子炉施設の種類に応じて規則別表第2の中欄で定めるものとされており、規則別表第2の中欄において、設備ごとにさらに機器等の単位で記載要求事項を定めている。この規則別表第2に規定されている記載要求事項については、少なくとも技術基準規則への適合性を示す上で必要十分な内容が記載される必要があり、以下では、規則別表第1における設備及び機器等の規定も含めて、機器等の仕様に関する記載要求範囲と設備及び機器等の記載要求範囲に分けて示す。</p>	<p>1. 目的 再処理規則第2条に規定される再処理施設，加工規則第3条の2の2に規定される加工施設，廃棄物管理規則第4条に規定される特定廃棄物管理施設に記載する施設のうち新規制基準対応として事業変更許可申請書への整合及び技術基準規則への適合を機器等の仕様で示す設備（以下「仕様表対象設備」という。）について、設備及び機器等の記載要求範囲，機器等の仕様に関する記載要求範囲に関する記載の統一及び一貫性を図ることを目的とする。</p>
<p>仕様表対象選定手引きの基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発電炉工認ガイドは、法令化されている別表第1及び別表第2を補足する観点から追加記載が必要な事項等について纏められているが、当社はこれが無いことを踏まえて「①設備及び機器等の記載要求範囲（仕様表対象設備の考え方⇒具体的な個別機器⇒個別施設）」「②個別機器の仕様表記載項目（記載項目の考え方，具体的な記載項目）」「③仕様表の記載方法（具体的な記載方法及び記載例）」の順に展開し、わかりやすいように展開して仕様表対象選定手引きを構成、記載する。 ・ 発電炉別表第1及び別表第2が無い場合、記載にあたっては対象としたものの根拠（理由）がわかるように記載する。（空欄を活用） ・ 仕様表対象選定手引きは発電炉工認ガイドの記載内容、記載程度を参考（対比）としているものは比較できるように記載する。 ・ 本手引きで用いる用語の定義は、可能な限り事業指定基準規則、技術基準規則、事業変更許可申請書等において定義しているものと一致させることで、理解し易いように記載する。また、手引きに基づき仕様表対象を選定する作業者が混乱、バラツキが発生しないよう必要に応じて理解できる程度まで噛み砕いた記載とする。 ・ 記載はなるべく簡潔に記載するように努め、特に簡潔に記載するにあたって考え方、対象が極力不明確とならないよう「～を含む。」「～を除く。」といった表現を用いるとともに、「○○等」は対象を列記して記載する場合のみに使用する。 	
	<p>2. 設備及び機器等の記載要求範囲</p>

発電炉 工認手続きガイド	仕様表対象選定手引き
<p>2) 設備及び機器等の記載要求範囲</p> <p>規則別表第2の中欄においては、同表の上欄で示している発電用原子炉施設の種類として、原子炉本体、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設、放射性廃棄物の廃棄施設、放射線管理施設、原子炉格納施設及びその他発電用原子炉の附属施設に区分し、設備ごとに熱交換器、ポンプ、容器、貯蔵槽、ろ過装置、安全弁及び逃がし弁、主要弁、主配管、送風機、排風機並びにフィルター等の機器等を記載することとされている。これらについて、まず個別機器等の記載要求範囲を示すとともに、個別施設ごとに設備及び機器等の記載要求範囲を示す。</p>	<p>再処理規則第2条に規定される再処理施設、加工規則第3条の2の2に規定される加工施設、廃棄物管理規則第4条に規定される特定廃棄物管理施設に示す施設（以下「個別施設」という。）に区分し、個別施設毎に建物・構築物、熱交換器、ポンプ、容器、貯槽、ろ過装置、安全弁及び逃がし弁、主要弁、主配管、ファン及びフィルタ等の機器（以下「個別機器等」という。）を記載する。これらについて、まず核燃料施設の特徴を踏まえた個別機器等の記載要求範囲を示すとともに、個別施設毎に設備の記載要求範囲を示す。</p> <p>仕様表対象設備は、「事業変更許可申請書本文に示す各施設の主たる機能（当該設備の主たる機能及び安全機能）とその達成のために設置する主要な設備＝主流路※」及び「公衆及び放射線業務従事者への影響を可能な限り低減する」という規制要求事項の主旨を踏まえ、公衆に対する影響の程度に応じた以下に示す3つの分類に該当する個別機器等を対象とする。</p> <p>※主流路とは、当該設備が果たすべき主たる機能（例：使用済燃料の受入れ及び貯蔵、せん断等）を達成するための本流に含まれる個別機器等の纏まり（系統、設備）であり、プロセス・ユーティリティ設備であれば容器、主配管、主要弁といったもの、搬送・機械設備であればクレーン、台車といったものを纏めたものをいう。</p>

発電炉 工認手続きガイド	仕様表対象選定手引き
	<p><仕様表対象設備の基本的な考え方></p> <p>【分類A】</p> <p>・機能の喪失により、公衆又は放射線業務従事者に放射線障害を及ぼすおそれがあるもの及び運転時における異常な過渡変化時、設計基準事故時又は重大事故時等において公衆又は放射線業務従事者に及ぼすおそれがある放射線障害を防止するため、放射性物質又は放射線が核燃料施設を設置する工場又は事業所（以下「工場等」という。）外へ放出されることを抑制し、又は防止するものとして、安全上重要な施設、重大事故等対処施設及び耐震重要施設等（耐震Sクラス設備、常設耐震重要重大事故等対処設備、1.2倍の基準地震動による地震力により機能喪失しない設備及びこれら設備の総称をいう。）のうち主要な個別機器等</p> <p>【分類B】</p> <p>(1) 通常運転状態において公衆又は放射線業務従事者に及ぼすおそれがある放射線障害を防止するため、放射性物質又は放射線が核燃料施設を設置する工場等外へ放出されることを抑制し、又は防止するものとして、安全機能を有する施設 <u>(分類Aを除く)</u> のうち、核燃料物質等の貯蔵・保管・廃棄・<u>落下／転倒防止</u>機能に係る確認を必要とする使用済燃料の貯蔵施設、製品貯蔵施設及び放射性廃棄物の廃棄施設（気体・液体・固体）の主要な個別機器 <u>の他、各施設の状況を把握するための計測制御系統施設（警報設備等及び制御室等を含む）、放射線管理施設の主要な個別機器等</u></p> <p>(2) 事業変更許可申請書本文に記載している再処理、廃棄物管理、MOX燃料加工を行うための使用済燃料又は核燃料物質等を含む溶液又は粉末等を取り扱う主要な個別機器等</p> <p>【分類C】</p> <p>・設計想定事象（自然現象、工場若しくは事業所内又はその周辺における核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの（故意によるものを除く。）、火災、溢水その他の核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象）において、安全上重要な施設、重大事故等対処施設、耐震重要施設等の機器等の機能喪失を防止するものとして、安全機能を有する施設 <u>(分類Aを除く)</u> のうち、その他加工施設、その他再処理設備の附属施設、その他廃棄物管理設備の附属施設の火災防護設備、溢水防護設備、竜巻防護対策設備等の主要な個別機器 <u>の他、各施設への必要なユーティリティを供給する電気設備、圧縮空気設備、給水処理設備、冷却水設備、蒸気供給設備、化学薬品貯蔵供給設備等の主要な個別機器等</u></p> <p><u>※次頁以降に示す具体的な個別機器等で、上記分類A～Cにおいて仕様表対象設備が混在することから選定される上位の分類区分にて考え方と対象となるもの、対象外（基本設計方針対象）となるものが識別し易いよう個別機器等を例示する。</u></p>

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き																
(個別機器等事項)	(個別機器等事項) 個別機器等事項では、核燃料施設（再処理施設、廃棄物管理施設、MOX 燃料加工施設）に設置される機器等が、前項で示す基本的な考え方に該当する機器等の仕様を仕様表で記載するにあたり、機能、性能及び構造上の類似性を考慮し、複数の種類（機種）に区分する。 種類（機種）の区分は、 <u>核燃料施設の特徴と仕様表に記載すべき当該個別機器の主要な仕様項目を踏まえ類似性があるものに分けて、以下に示すとおり区分する。</u>																
	(a) 容器⇒主たる機能が流体保持性能（仕様表項目：容量）																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="905 550 1009 592">分類</th> <th data-bbox="1023 550 1573 592">対象（考え方）</th> <th data-bbox="1587 550 2309 592">各施設における個別機器等の例</th> <th data-bbox="2323 550 2686 592">対象外の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="905 592 1009 819">A</td> <td data-bbox="1023 592 1573 819"> <ul style="list-style-type: none"> 設計基準における臨界防止機能、閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、廃棄（浄化含む）機能、落下・転倒防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち、以下に示すもの。 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。 </td> <td data-bbox="1587 592 2309 819"></td> <td data-bbox="2323 592 2686 819"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="905 819 1009 1491"></td> <td data-bbox="1023 819 1573 1491"> <臨界防止機能、ソースターム制限機能> ・単一ユニット及び複数ユニットにおいて核的制限値を設定するもの ・セルから液プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液が漏えいした場合において臨界を防止するためのもの ・臨界事故時における拡大防止及び抑制のために中性子吸収材を供給するもの </td> <td data-bbox="1587 819 2309 1491"> 【設計基準対処施設】 ✓ 再処理設備本体の溶解施設のよう素追出し槽、中間ポット、中継槽、可溶性中性子吸収材緊急供給槽等、分離施設の溶解液供給槽、プルトニウム溶液受槽、一時貯留処理槽等、精製施設のプルトニウム溶液供給槽、油水分離槽、一時貯留処理槽等、脱硝施設のシール槽、硝酸プルトニウム貯槽等 その他再処理設備の附属施設（その他主要な事項：分析設備）の分析溶液受槽、セルから液プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液が漏えいした場合において溶液を保持する漏えい液受皿等（事業変更許可申請書の臨界安全管理表に示すもの） ✓ 再処理設備本体の溶解施設の溶解槽において臨界事故が発生した場合に未臨界とするための中性子吸収材を保有する可溶性中性子吸収材緊急供給槽 【重大事故等対処設備】 ✓ 再処理設備本体（溶解施設、精製施設）の代替可溶性中性子吸収材緊急供給系及び重大事故時可溶性中性子吸収材供給系の重大事故時代替可溶性中性子吸収材緊急供給槽、重大事故時可溶性中性子吸収材供給槽等 </td> <td data-bbox="2323 819 2686 1491">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="905 1491 1009 1934"></td> <td data-bbox="1023 1491 1573 1934"> <閉じ込め：放射性物質の保持機能> ・プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末を保有するもの、高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液、不溶解残渣廃液、抽出廃液等）を保有するもの ・臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処のうち、重大事故等を仮定する容器で設計基準対処施設と兼用するもの </td> <td data-bbox="1587 1491 2309 1934"> 【設計基準対処施設】 <プルトニウムを含む溶液又は粉末を保有するもの> ✓ 再処理設備本体の溶解施設の溶解槽、よう素追出し槽、中間ポット、リサイクル槽等、分離施設の溶解液中間槽、抽出塔、第1/第2洗浄塔、プルトニウム溶液TBP洗浄器、プルトニウム溶液中間貯槽、一時貯留処理槽等、精製施設の第1脱ガス塔、第1酸化塔、逆抽出塔、核分裂生成物洗浄塔、ウラン洗浄塔、TBP洗浄器、プルトニウム溶液受槽、補助油水分離槽、プルトニウム濃縮缶、一時貯留処理槽等、脱硝施設の混合槽、一時貯槽、定量ポット、固気分離器、粉末ホッパ等 <高レベル放射性液体廃棄物を保有するもの> </td> <td data-bbox="2323 1491 2686 1934"></td> </tr> </tbody> </table>	分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例	A	<ul style="list-style-type: none"> 設計基準における臨界防止機能、閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、廃棄（浄化含む）機能、落下・転倒防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち、以下に示すもの。 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。 				<臨界防止機能、ソースターム制限機能> ・単一ユニット及び複数ユニットにおいて核的制限値を設定するもの ・セルから液プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液が漏えいした場合において臨界を防止するためのもの ・臨界事故時における拡大防止及び抑制のために中性子吸収材を供給するもの	【設計基準対処施設】 ✓ 再処理設備本体の溶解施設のよう素追出し槽、中間ポット、中継槽、可溶性中性子吸収材緊急供給槽等、分離施設の溶解液供給槽、プルトニウム溶液受槽、一時貯留処理槽等、精製施設のプルトニウム溶液供給槽、油水分離槽、一時貯留処理槽等、脱硝施設のシール槽、硝酸プルトニウム貯槽等 その他再処理設備の附属施設（その他主要な事項：分析設備）の分析溶液受槽、セルから液プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液が漏えいした場合において溶液を保持する漏えい液受皿等（事業変更許可申請書の臨界安全管理表に示すもの） ✓ 再処理設備本体の溶解施設の溶解槽において臨界事故が発生した場合に未臨界とするための中性子吸収材を保有する可溶性中性子吸収材緊急供給槽 【重大事故等対処設備】 ✓ 再処理設備本体（溶解施設、精製施設）の代替可溶性中性子吸収材緊急供給系及び重大事故時可溶性中性子吸収材供給系の重大事故時代替可溶性中性子吸収材緊急供給槽、重大事故時可溶性中性子吸収材供給槽等	-		<閉じ込め：放射性物質の保持機能> ・プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末を保有するもの、高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液、不溶解残渣廃液、抽出廃液等）を保有するもの ・臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処のうち、重大事故等を仮定する容器で設計基準対処施設と兼用するもの	【設計基準対処施設】 <プルトニウムを含む溶液又は粉末を保有するもの> ✓ 再処理設備本体の溶解施設の溶解槽、よう素追出し槽、中間ポット、リサイクル槽等、分離施設の溶解液中間槽、抽出塔、第1/第2洗浄塔、プルトニウム溶液TBP洗浄器、プルトニウム溶液中間貯槽、一時貯留処理槽等、精製施設の第1脱ガス塔、第1酸化塔、逆抽出塔、核分裂生成物洗浄塔、ウラン洗浄塔、TBP洗浄器、プルトニウム溶液受槽、補助油水分離槽、プルトニウム濃縮缶、一時貯留処理槽等、脱硝施設の混合槽、一時貯槽、定量ポット、固気分離器、粉末ホッパ等 <高レベル放射性液体廃棄物を保有するもの>	
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例														
A	<ul style="list-style-type: none"> 設計基準における臨界防止機能、閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、廃棄（浄化含む）機能、落下・転倒防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち、以下に示すもの。 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。 																
	<臨界防止機能、ソースターム制限機能> ・単一ユニット及び複数ユニットにおいて核的制限値を設定するもの ・セルから液プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液が漏えいした場合において臨界を防止するためのもの ・臨界事故時における拡大防止及び抑制のために中性子吸収材を供給するもの	【設計基準対処施設】 ✓ 再処理設備本体の溶解施設のよう素追出し槽、中間ポット、中継槽、可溶性中性子吸収材緊急供給槽等、分離施設の溶解液供給槽、プルトニウム溶液受槽、一時貯留処理槽等、精製施設のプルトニウム溶液供給槽、油水分離槽、一時貯留処理槽等、脱硝施設のシール槽、硝酸プルトニウム貯槽等 その他再処理設備の附属施設（その他主要な事項：分析設備）の分析溶液受槽、セルから液プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液が漏えいした場合において溶液を保持する漏えい液受皿等（事業変更許可申請書の臨界安全管理表に示すもの） ✓ 再処理設備本体の溶解施設の溶解槽において臨界事故が発生した場合に未臨界とするための中性子吸収材を保有する可溶性中性子吸収材緊急供給槽 【重大事故等対処設備】 ✓ 再処理設備本体（溶解施設、精製施設）の代替可溶性中性子吸収材緊急供給系及び重大事故時可溶性中性子吸収材供給系の重大事故時代替可溶性中性子吸収材緊急供給槽、重大事故時可溶性中性子吸収材供給槽等	-														
	<閉じ込め：放射性物質の保持機能> ・プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末を保有するもの、高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液、不溶解残渣廃液、抽出廃液等）を保有するもの ・臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処のうち、重大事故等を仮定する容器で設計基準対処施設と兼用するもの	【設計基準対処施設】 <プルトニウムを含む溶液又は粉末を保有するもの> ✓ 再処理設備本体の溶解施設の溶解槽、よう素追出し槽、中間ポット、リサイクル槽等、分離施設の溶解液中間槽、抽出塔、第1/第2洗浄塔、プルトニウム溶液TBP洗浄器、プルトニウム溶液中間貯槽、一時貯留処理槽等、精製施設の第1脱ガス塔、第1酸化塔、逆抽出塔、核分裂生成物洗浄塔、ウラン洗浄塔、TBP洗浄器、プルトニウム溶液受槽、補助油水分離槽、プルトニウム濃縮缶、一時貯留処理槽等、脱硝施設の混合槽、一時貯槽、定量ポット、固気分離器、粉末ホッパ等 <高レベル放射性液体廃棄物を保有するもの>															

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
			<p>✓ 再処理設備本体の溶解施設の清澄機，不溶解残渣回収槽等，分離施設のTBP洗浄塔，抽出廃液受槽，一時貯留処理槽等</p> <p>✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の液体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液供給槽，高レベル廃液濃縮缶，高レベル濃縮廃液貯槽，不溶解残渣廃液貯槽，高レベル廃液共用貯槽等，固体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液混合槽，供給槽，供給液槽，ガラス溶融炉等</p> <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>✓ 臨界事故の発生を仮定する機器（再処理設備本体の溶解施設の溶解槽，ハル洗浄槽，エンドピース酸洗浄槽，精製施設の一時貯留処理槽等）</p> <p>✓ 蒸発乾固の発生を仮定する機器（再処理設備本体の溶解施設の間中ポット，リサイクル槽，中継槽，計量・調整槽等，分離施設の溶解液供給槽，抽出廃液中間貯槽，一時貯留処理槽等，精製施設のプルトニウム濃縮液受槽，希釈槽，一時貯留処理槽等，脱硝施設の混合槽，一時貯槽等，放射性廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液濃縮缶，供給液槽，高レベル濃縮廃液貯槽，高レベル廃液共用貯槽等</p> <p>✓ 放射線分解により発生する水素爆発の発生を仮定する機器（再処理設備本体の溶解施設の中継槽，計量前中間貯槽等，分離施設の抽出廃液受槽，プルトニウム溶液受槽，一時貯留処理槽等，精製施設の油水分離槽，リサイクル槽，プルトニウム濃縮缶，一時貯留処理槽等，脱硝施設の硝酸プルトニウム貯槽等，放射性廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液濃縮缶，高レベル濃縮廃液一時貯槽，供給槽，高レベル廃液混合槽等）</p> <p>✓ TBP等の錯体の急激な反応による爆発の発生を仮定する機器（再処理設備本体の精製施設のプルトニウム濃縮缶）</p>
	(続き)	<p><閉じ込め：放出経路の維持機能，捕集・浄化機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷却機能喪失による蒸発乾固が発生した際に，当該機器から気相中に移行する放射性物質を含む廃ガスをセルへ導出し，大気中へ放出される放射性物質を低減するためのもの ・臨界事故又はTBP等の錯体の急激な反応による爆発が発生した際に，当該機器から発生する放射性物質を含む廃ガスを貯留し，大気中へ放出される放射性物質を低減するためのもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>該当無し</p> <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>✓ 代替換気設備のセル導出設備の高レベル廃液ガラス固化建屋の気液分離器，前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備，分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系），精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系（Pu系）），高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（高レベル濃縮廃液廃ガス処理系）の設計基準対処施設と兼用する水封安全器等</p> <p>✓ 代替換気設備の代替セル排気系の高レベル廃液ガラス固化建屋の可搬型デミスタ等</p> <p>✓ 代替換気設備の廃ガス貯留設備（前処理建屋用，精製建屋用）の廃ガス貯留槽</p>

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
	(続き)	<閉じ込め：崩壊熱等の除去機能，燃料貯蔵プール等の水位維持機能> <ul style="list-style-type: none"> 燃料貯蔵プール等の冷却（崩壊熱除去）を行うもの 燃料貯蔵プール等の水位の維持を行うもの 放射性物質の保持機能を有する容器等の冷却（崩壊熱除去）を行うもの 蒸発乾固を防止するための冷却（崩壊熱除去）を行うもの 再処理施設及び燃料加工施設の重大事故等の対処に必要な水源を保持するもの 	【設計基準対処施設】 <ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設において燃料貯蔵プール等の冷却を行うためのプール水を保持する燃料取出し設備の燃料取出しピット，燃料仮置きピット，燃料移送設備の燃料移送水路，燃料貯蔵設備の燃料貯蔵プール，チャンネルボックス・バーナブルポイズン取扱ピット，燃料送出し設備の燃料送出しピット 燃料貯蔵プール等の水位を維持するための補給水を保持する補給水設備の補給水槽 高レベル廃液処理設備の高レベル廃液濃縮缶の冷却を行うための高レベル廃液処理設備の高レベル濃縮廃液処理系に設置されている加熱時における凝縮水・冷却時における冷却水を保持するためのフラッシュドラム等 【重大事故等対処設備】 <ul style="list-style-type: none"> 代替安全冷却水系の水を一時的に貯留及び第1貯水槽へ移送し，排水を水源として使用する可搬型排水受槽 重大事故等の対処に必要な水源を保持する水供給設備の第1貯水槽，第2貯水槽，放水設備の大型移送ポンプ車 	✓ 安全冷却水系（内部／外部ループ）の熱膨張を緩和するための膨張槽等（発電炉の原子炉補機冷却設備の膨張槽のようなDBA/SA機能は無いため）
		<火災発生防止：水素掃気機能> <ul style="list-style-type: none"> 安全上重要な施設へ圧縮空気（放射線分解により発生する水素の掃気に使用するもの）を供給するもの 放射線分解により発生する水素爆発に対処するために必要な圧縮空気を供給するもの 臨界事故による発生する放射線分解により発生する水素爆発に対処するために必要な圧縮空気を供給するもの 	【設計基準対処施設】 <ul style="list-style-type: none"> 圧縮空気設備の安全圧縮空気系から放射線分解により発生する水素を掃気するための圧縮空気を供給する水素掃気用空気貯槽等 【重大事故等対処設備】 <ul style="list-style-type: none"> 代替安全圧縮空気系の圧縮空気を供給する圧縮空気自動供給貯槽，圧縮空気自動供給／機器圧縮空気自動供給／圧縮空気手動供給ユニット（ポンプ） 代替安全圧縮空気系の臨界事故時水素掃気系で設計基準対処施設と兼用する再処理設備本体用の一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系の圧縮空気貯槽 	
		<閉じ込め：ソースターム制限機能> <ul style="list-style-type: none"> セルから液体状の高レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において溶液を保持するもの セルから液体状の高レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において沸騰を防止するための希釈水を保有するもの ガラス溶融炉の流下を停止するための冷却用空気を供給するもの 	【設計基準対処施設】 <ul style="list-style-type: none"> 溶解設備及び清澄・計量設備，高レベル廃液処理設備，高レベル廃液ガラス固化設備の機器から液体状の高レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において漏えい液を保持する漏えい液受皿 溶解設備及び清澄・計量設備，高レベル廃液処理設備，高レベル廃液ガラス固化設備の機器から液体状の高レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において沸騰を防止するための希釈水を供給する超音波洗浄槽，漏えい液希釈水供給槽，漏えい液希釈溶液供給槽，純水中間貯槽 高レベル廃液ガラス固化設備のガラス溶融炉の流下を停止するための冷却用空気を供給する流下ノズル冷却用空気貯槽 	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
(続き)	<閉じ込め：グローブボックス火災防止機能> ・燃料加工施設のプルトニウムを含む粉末を取り扱うグローブボックスにおいて火災が発生した場合に消火を行うもの	【設計基準対処施設】 ✓ 火災防護設備のグローブボックス消火装置の消火剤を保有するポンペ 【重大事故等対処設備】 ✓ 代替消火設備の遠隔消火装置の消火剤を保有するポンペ	
	<支援機能：電源供給機能> ・安全上重要な施設へ電源を供給する非常用発電機へ燃料を供給するもの ・重大事故等へ対処するための電源を供給する非常用発電機へ燃料を供給するもの（緊急時対策所に係るものを含む）	【設計基準対処施設】 ✓ 安全上重要な施設の機器へ電源供給を行う非常用ディーゼル発電機への燃料を供給する重油タンク，燃料油貯蔵タンク，燃料デイトンク，燃料油サービスタンク，非常用ディーゼル発電機の起動時に必要な圧縮空気を貯留する空気だめ 【重大事故等対処設備】 ✓ 重大事故等対処設備へ必要な電源供給を行う可搬型発電機への燃料を供給する補機駆動用燃料補給設備の第1軽油貯槽，第2軽油貯槽，軽油タンクローリ及び緊急時対策所に必要な電源供給を行う発電機への燃料を供給する重油貯槽	
	<支援機能：蒸気供給機能> ・安全上重要な施設へ蒸気を供給するもの	【設計基準対処施設】 ✓ セルから液体状の高レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において沸騰を防止するための特殊ポンプに蒸気供給を行う安全蒸気系ボイラの起動時に必要な可燃性ガスを貯留するポンペ等 【重大事故等対処設備】 該当無し	
	<支援機能：圧縮空気供給機能> ・安全上重要な施設へ圧縮空気（計測制御設備等に使用するもの）を供給するもの ・重大事故等へ対処するための設備に圧縮空気を供給するもの（代替安全圧縮空気系，臨界事故時水素掃気系以外に供給するもの）	【設計基準対処施設】 ✓ 安全上重要な施設の計測制御設備等へ計測用の圧縮空気を供給する安全圧縮空気系の計測制御用空気貯槽等 【重大事故等対処設備】 ✓ 重大事故等へ対処するための設備で廃ガス貯留処理設備の空気圧縮機，主要弁，計装設備への計測用の圧縮空気を供給する一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系の空気貯槽等	
	<支援機能：水供給機能> ・気体廃棄物の廃棄施設に係る安全上重要な施設の閉じ込め支援として水を供給するもの	【設計基準対処施設】 ✓ 高レベル廃液ガラス固化設備の吸収塔へ水を供給する純水中間貯槽 【重大事故等対処設備】 該当無し	
	<支援機能：居住性維持機能> ・事故に対処する要員の居住性を確保するうえで必要なもの	【設計基準対処施設】 ※該当する個別機器等はない。 【重大事故等対処設備】 ✓ 緊急時対策所の居住性を維持するための緊急時対策建屋換気設備の加圧ユニット（ポンペ）	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き								
	B	<p>(1) 安全機能を有する施設 <u>(分類Aを除く)</u> のうち、核燃料物質等の廃棄（処理、廃棄、貯蔵）機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち、以下に示すもの</p> <p>(2) 安全機能を有する施設 <u>(分類Aを除く)</u> のうち、事業変更許可申請書本文に記載している再処理、MOX 燃料加工を行うための使用済燃料又は核燃料物質等を含む溶液又は粉末等を取り扱う設備のうち、以下に示すもの</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1584 367 1724 1927"> <p><廃棄：気体廃棄物の廃棄機能、捕集・浄化機能></p> <p>・ウラン又はプルトニウム（低濃度のものを含む）を含む溶液又は粉末を保有する系統、高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液、不溶解残渣廃液、抽出廃液等）を保有する系統、低レベル放射性液体廃棄物及び低レベル固体廃棄物を処理・保有・保管する系統、これら系統を収納セル及びグローブボックスからの気体状の放射性廃棄物を処理するためのもの</p> </td> <td data-bbox="1724 367 2309 1927"> <p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ せん断処理・溶解廃ガス処理設備のNOx 吸収塔, よう素追出し塔（本文対象） ✓ 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系）、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系（U系及びPu系））、ウラン脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、低レベル廃液処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、低レベル廃棄物処理建屋塔槽類廃ガス処理設備（低レベル濃縮廃液処理廃ガス処理系、廃溶媒処理廃ガス処理系、雑固体廃棄物焼却処理廃ガス処理系）、高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（高レベル濃縮廃液廃ガス処理系、不溶解残渣廃液廃ガス処理系）、分析建屋塔槽類廃ガス処理設備の廃ガス洗浄塔、NOx 廃ガス洗浄塔、<u>極低レベル廃ガス洗浄塔（本文対象）</u>、スプレイ塔、デミスタ等 ✓ 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の廃ガス洗浄器、吸収塔、ルテニウム吸着塔等 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）のうちセル及びグローブボックスの換気を行う高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備（固化セル換気系）の洗浄塔、ルテニウム吸着塔 <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>該当無し</p> </td> <td data-bbox="2309 367 2680 1927"> <p>・せん断処理・溶解廃ガス処理設備のよう素追出し塔は、当該設備のよう素フィルタで公衆に影響を及ぼす捕集・浄化機能を担保していることを踏まえて基本設計方針対象とする。</p> <p>極低レベル廃ガス洗浄塔は許可整合廃ガス洗浄液槽は捕集・浄化した洗浄水を保有するための容器であるため基本設計方針対象とする。</p> <p>配管収納容器、二重管は主配管側で整理</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1584 1270 1724 1927"> <p><廃棄：液体廃棄物の廃棄機能、捕集・浄化機能></p> <p>・燃料貯蔵プール等のプール水を処理（浄化）するためのもの</p> <p>・各施設で発生する放射性液体廃棄物（アルカリ濃縮廃液、低レベル濃縮廃液、廃溶媒、廃樹脂、分析済溶液）の処理（浄化含む）・貯蔵するためのもの</p> <p>・放射性物質を含む溶液及び低レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において溶液を保持するもの</p> </td> <td data-bbox="1724 1270 2309 1927"> <p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設のプール水浄化系のろ過装置、脱塩装置等 ✓ 高レベル廃液濃縮設備のアルカリ廃液濃縮系、アルカリ濃縮廃液貯蔵系のアルカリ廃液供給槽、アルカリ廃液濃縮缶、アルカリ濃縮廃液貯槽等 ✓ 低レベル廃液処理設備の低レベル廃液貯槽、低レベル廃液蒸発缶、低レベル濃縮廃液貯槽、除染ピット、海洋放出前貯槽、油分除去装置、洗濯廃液ろ過装置等 ✓ 低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液及び廃溶媒の貯槽及び低レベル固体廃棄物貯蔵設備の廃樹脂貯蔵系の廃樹脂貯槽等 ✓ その他再処理設備の附属施設の分析設備の分析済溶液受槽等 ✓ 廃棄物管理施設の廃水貯槽 ✓ 燃料加工施設の検査槽、廃液貯槽等 ✓ <u>ウラン等の放射性物質を含む溶液及び低レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において漏えい液を保持する漏えい液受皿</u> </td> <td data-bbox="2309 1270 2680 1927"> <p>・低レベル固体廃棄物を保管するためのドラム缶、収納缶、収納箱、空容器等</p> </td> </tr> </table>	<p><廃棄：気体廃棄物の廃棄機能、捕集・浄化機能></p> <p>・ウラン又はプルトニウム（低濃度のものを含む）を含む溶液又は粉末を保有する系統、高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液、不溶解残渣廃液、抽出廃液等）を保有する系統、低レベル放射性液体廃棄物及び低レベル固体廃棄物を処理・保有・保管する系統、これら系統を収納セル及びグローブボックスからの気体状の放射性廃棄物を処理するためのもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ せん断処理・溶解廃ガス処理設備のNOx 吸収塔, よう素追出し塔（本文対象） ✓ 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系）、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系（U系及びPu系））、ウラン脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、低レベル廃液処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、低レベル廃棄物処理建屋塔槽類廃ガス処理設備（低レベル濃縮廃液処理廃ガス処理系、廃溶媒処理廃ガス処理系、雑固体廃棄物焼却処理廃ガス処理系）、高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（高レベル濃縮廃液廃ガス処理系、不溶解残渣廃液廃ガス処理系）、分析建屋塔槽類廃ガス処理設備の廃ガス洗浄塔、NOx 廃ガス洗浄塔、<u>極低レベル廃ガス洗浄塔（本文対象）</u>、スプレイ塔、デミスタ等 ✓ 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の廃ガス洗浄器、吸収塔、ルテニウム吸着塔等 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）のうちセル及びグローブボックスの換気を行う高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備（固化セル換気系）の洗浄塔、ルテニウム吸着塔 <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>該当無し</p>	<p>・せん断処理・溶解廃ガス処理設備のよう素追出し塔は、当該設備のよう素フィルタで公衆に影響を及ぼす捕集・浄化機能を担保していることを踏まえて基本設計方針対象とする。</p> <p>極低レベル廃ガス洗浄塔は許可整合廃ガス洗浄液槽は捕集・浄化した洗浄水を保有するための容器であるため基本設計方針対象とする。</p> <p>配管収納容器、二重管は主配管側で整理</p>	<p><廃棄：液体廃棄物の廃棄機能、捕集・浄化機能></p> <p>・燃料貯蔵プール等のプール水を処理（浄化）するためのもの</p> <p>・各施設で発生する放射性液体廃棄物（アルカリ濃縮廃液、低レベル濃縮廃液、廃溶媒、廃樹脂、分析済溶液）の処理（浄化含む）・貯蔵するためのもの</p> <p>・放射性物質を含む溶液及び低レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において溶液を保持するもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設のプール水浄化系のろ過装置、脱塩装置等 ✓ 高レベル廃液濃縮設備のアルカリ廃液濃縮系、アルカリ濃縮廃液貯蔵系のアルカリ廃液供給槽、アルカリ廃液濃縮缶、アルカリ濃縮廃液貯槽等 ✓ 低レベル廃液処理設備の低レベル廃液貯槽、低レベル廃液蒸発缶、低レベル濃縮廃液貯槽、除染ピット、海洋放出前貯槽、油分除去装置、洗濯廃液ろ過装置等 ✓ 低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液及び廃溶媒の貯槽及び低レベル固体廃棄物貯蔵設備の廃樹脂貯蔵系の廃樹脂貯槽等 ✓ その他再処理設備の附属施設の分析設備の分析済溶液受槽等 ✓ 廃棄物管理施設の廃水貯槽 ✓ 燃料加工施設の検査槽、廃液貯槽等 ✓ <u>ウラン等の放射性物質を含む溶液及び低レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において漏えい液を保持する漏えい液受皿</u> 	<p>・低レベル固体廃棄物を保管するためのドラム缶、収納缶、収納箱、空容器等</p>
<p><廃棄：気体廃棄物の廃棄機能、捕集・浄化機能></p> <p>・ウラン又はプルトニウム（低濃度のものを含む）を含む溶液又は粉末を保有する系統、高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液、不溶解残渣廃液、抽出廃液等）を保有する系統、低レベル放射性液体廃棄物及び低レベル固体廃棄物を処理・保有・保管する系統、これら系統を収納セル及びグローブボックスからの気体状の放射性廃棄物を処理するためのもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ せん断処理・溶解廃ガス処理設備のNOx 吸収塔, よう素追出し塔（本文対象） ✓ 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系）、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系（U系及びPu系））、ウラン脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、低レベル廃液処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、低レベル廃棄物処理建屋塔槽類廃ガス処理設備（低レベル濃縮廃液処理廃ガス処理系、廃溶媒処理廃ガス処理系、雑固体廃棄物焼却処理廃ガス処理系）、高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（高レベル濃縮廃液廃ガス処理系、不溶解残渣廃液廃ガス処理系）、分析建屋塔槽類廃ガス処理設備の廃ガス洗浄塔、NOx 廃ガス洗浄塔、<u>極低レベル廃ガス洗浄塔（本文対象）</u>、スプレイ塔、デミスタ等 ✓ 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の廃ガス洗浄器、吸収塔、ルテニウム吸着塔等 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）のうちセル及びグローブボックスの換気を行う高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備（固化セル換気系）の洗浄塔、ルテニウム吸着塔 <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>該当無し</p>	<p>・せん断処理・溶解廃ガス処理設備のよう素追出し塔は、当該設備のよう素フィルタで公衆に影響を及ぼす捕集・浄化機能を担保していることを踏まえて基本設計方針対象とする。</p> <p>極低レベル廃ガス洗浄塔は許可整合廃ガス洗浄液槽は捕集・浄化した洗浄水を保有するための容器であるため基本設計方針対象とする。</p> <p>配管収納容器、二重管は主配管側で整理</p>							
<p><廃棄：液体廃棄物の廃棄機能、捕集・浄化機能></p> <p>・燃料貯蔵プール等のプール水を処理（浄化）するためのもの</p> <p>・各施設で発生する放射性液体廃棄物（アルカリ濃縮廃液、低レベル濃縮廃液、廃溶媒、廃樹脂、分析済溶液）の処理（浄化含む）・貯蔵するためのもの</p> <p>・放射性物質を含む溶液及び低レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において溶液を保持するもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設のプール水浄化系のろ過装置、脱塩装置等 ✓ 高レベル廃液濃縮設備のアルカリ廃液濃縮系、アルカリ濃縮廃液貯蔵系のアルカリ廃液供給槽、アルカリ廃液濃縮缶、アルカリ濃縮廃液貯槽等 ✓ 低レベル廃液処理設備の低レベル廃液貯槽、低レベル廃液蒸発缶、低レベル濃縮廃液貯槽、除染ピット、海洋放出前貯槽、油分除去装置、洗濯廃液ろ過装置等 ✓ 低レベル固体廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液及び廃溶媒の貯槽及び低レベル固体廃棄物貯蔵設備の廃樹脂貯蔵系の廃樹脂貯槽等 ✓ その他再処理設備の附属施設の分析設備の分析済溶液受槽等 ✓ 廃棄物管理施設の廃水貯槽 ✓ 燃料加工施設の検査槽、廃液貯槽等 ✓ <u>ウラン等の放射性物質を含む溶液及び低レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において漏えい液を保持する漏えい液受皿</u> 	<p>・低レベル固体廃棄物を保管するためのドラム缶、収納缶、収納箱、空容器等</p>							

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
		<p><閉じ込め：放射性物質の保持機能></p> <p>・業変更許可申請書本文に記載している再処理，MOX 燃料加工を行うためのウラン又はプルトニウム（低濃度のもの）を含む溶液及び粉末等を貯留するもの</p>	<p>【重大事故等対処設備】 該当無し</p> <p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 再処理設備本体の溶解施設の溶解設備の水バッファ槽，エンドピース水洗浄槽，硝酸調整槽，硝酸供給槽等 ✓ 再処理設備本体の分離施設の分離設備の補助抽出廃液受槽，分配設備のウラン逆抽出器，ウラン溶液 TBP 洗浄器，ウラン濃縮缶供給槽，ウラン濃縮缶，ウラン濃縮液受槽，ウラン濃縮缶凝縮液受槽等，分離建屋一時貯留処理設備の第 5，6，9，10 一時貯留処理槽等 ✓ 再処理設備本体の精製施設のウラン精製設備のウラン溶液供給槽，抽出器，抽出廃液 TBP 洗浄器，核分裂生成物洗浄器，逆抽出器，ウラン溶液 TBP 洗浄器，ウラン濃縮缶供給槽，ウラン濃縮缶，ウラン濃縮缶凝縮液受槽，ウラン濃縮液第 1 受槽，ウラン濃縮液第 1 中間貯槽，ウラン濃縮液第 2 受槽，ウラン濃縮液第 2 中間貯槽，ウラン濃縮液第 3 中間貯槽，リサイクル槽，ウラナス製造器，第 1 気液分離槽，第 2 気液分離槽，洗浄塔，ウラナス溶液受槽，ウラナス溶液中間貯槽等，プルトニウム精製設備の低濃度プルトニウム溶液受槽，ウラン逆抽出器，逆抽出液 TBP 洗浄器，逆抽出液受槽，凝縮液受槽等，精製建屋一時貯留処理設備の第 2，4，5 一時貯留処理槽等 ✓ 再処理設備本体の脱硝施設のウラン脱硝設備の硝酸ウラニル貯槽，硝酸ウラニル供給槽，濃縮缶，濃縮液受槽，脱硝塔，シール槽，規格外製品受槽，UO₃受槽，UO₃溶解槽等，ウラン・プルトニウム混合脱硝系の凝縮廃液ろ過器，凝縮廃液受槽，凝縮廃液貯槽等 ✓ 再処理設備本体の酸及び溶媒の回収施設の酸回収設備の第 1 酸回収系の第 1，2 供給槽，蒸発缶，精留塔，回収酸受槽，低レベル無塩廃液受槽，相分離槽等，第 2 酸回収系の供給液受槽，供給槽，蒸発缶，精留塔，回収硝酸受槽等，溶媒回収設備の溶媒再生系（分離・分配系，ウラン精製系，プルトニウム精製系）の第 1～3 洗浄器等，溶媒処理系の溶媒供給槽，第 1，2 蒸発缶，溶媒蒸留塔，回収希釈剤中間貯槽，回収希釈剤第 1 貯槽，回収溶媒中間貯槽，回収溶媒第 1 貯槽，廃有機溶媒残渣中間貯槽，回収溶媒第 3 貯槽等 <p>【重大事故等対処設備】 該当無し</p>
	C	<p>➤ 設計想定事象（自然現象，工場若しくは事業所内又はその周辺における核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であつて人為によるもの（故意によるものを除く。），火災，溢水その他の核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象）において，安全上重要な施設，重大事故等対処施設，耐震重要施設等の機器等の機能喪失を防止するものとして，安全機能を有する施設（分類 A を除く）のうち，その他加工施設，その他再処理設備の附属施設，その他廃棄物管理設備の附属施設の火災防護設備，溢水防護設備，竜巻防護対策設備の他，各施設への必要なユーティリティを供給する電気設備，圧縮空気設備，給水処理設備，冷却水設備，蒸気供給設備，化学薬品貯蔵供給設備等のうち，以下に示すもの。</p>	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
	<支援機能：電源供給機能> ・安全機能を有する施設へ電源を供給する発電機へ燃料を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・再処理施設の電気設備の運転予備用廃棄物管理施設の予備電源用ディーゼル発電機は設置すること要求事項としており、非常用ディーゼル発電機のように具体的な対処に必要な期間を有する性能を要求しているものではないため対象外
	<支援機能：圧縮空気供給機能> ・安全機能を有する施設へ圧縮空気を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・一般圧縮空気系の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用の空気圧縮機、空気貯槽、安全圧縮空気系のかくはん用空気貯槽は各施設への圧縮空気供給のために必要な設備であるが安全機能に直接関係しないため対象外
	<支援機能：水供給機能> ・安全機能を有する施設へ水を供給するもの ・安全機能を有する施設へ冷却水を供給するもの	【設計基準対処施設】 ・その他再処理設備の附属施設の給水処理設備のろ過水貯槽 ※火災防護機能に係る水源 【重大事故等対処設備】 該当無し	・給水処理設備の純水貯槽は各施設への水供給のために必要な設備であるが安全機能に直接関係しないため対象外 ・冷却水設備の一般冷却水系の膨張槽等は各施設への圧縮空気供給のために必要な設備であるが安全機能に直接関係しないため対象外
	<支援機能：蒸気供給機能> ・安全機能を有する施設へ蒸気を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・蒸気供給設備の一般蒸気系の還水タンク、ボイラ給水供給タンク、フラッシュタンク、凝縮水受槽、膨張槽等は各施設への蒸気供給のために必要な設備であるが安全機能に直接関係しないため対象外
	<支援機能：化学薬品等供給機能> ・安全機能を有する施設へ化学薬品、窒素ガス、酸素ガスを供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・化学薬品貯蔵供給設備の化学薬品貯蔵供給系、NO _x 製造設備、窒素ガス製造供給系、酸素ガス製造供給系の化学薬品を保有する貯槽、窒素ガス及び酸素ガスを保有する貯槽等は各施設への化学薬品等供給のために必要な設備であるが安全機能に直接関係しないため対象外
	<支援機能：火災防護（消火）機能> ・火災区域を設定する安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設の消火を行うための消火剤を保有するもの	【設計基準対処施設】 ・火災防護設備の消火水供給設備の消火用水貯槽、ろ過水貯槽（給水処理設備と兼用）、緊急時対策建屋の消火水供給設備の消火水槽及び防火水槽（緊急時対策建屋用）	・建築基準法、消防法の一般法令に基づき設置する消火設備のうち、火災区域を設定しない建屋の消火設備に使用する消火設備は対象外

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
<p>主配管中に設置される流体を一時的のみ保持するもの又は浄化機能等を期待しない容器（小型ポット等）は、主配管と同等の経路維持のために構造強度を有することで適合性を示す必要がある機器は、基本設計方針及び添付書類（強度及び耐食性に関する説明書、添付図面）で示す。</p> <p>他施設と共用する給水処理設備のろ過水貯槽、圧縮空気設備の空気貯槽、火災防護設備の消火用水貯槽、消火水槽（緊急時対策建屋用）、水供給設備の第1、2貯水槽等の主登録先は再処理施設とする。</p> <p>(b) 運搬・製品容器⇒主たる機能がウラン・MOX 粉末・放射性廃棄物保持性能（仕様表項目：容量）</p>			<p>・火災防護設備の固定式消火設備の消火剤（二酸化炭素、窒素、ハロゲン化物（HFC-227ea, ハロン 1301, FK-5-1-12）、泡消火薬剤）を保有するポンペ</p> <p>【重大事故等対処設備】 無し</p>	
	分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
	<p>A</p>	<p>➤ 設計基準における臨界防止機能を維持するための安全上重要な施設（可搬型）のうち、以下に示すもの。</p> <p>➤ 使用済燃料貯蔵槽の冷却機能喪失に対する重大事故等への対処機能（冷却機能、臨界防止機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能）を維持するための可搬型重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。</p> <p><臨界防止機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨界管理を行うウラン酸化物粉末、MOX 粉末、使用済燃料等を収納するもの ・使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための重大事故等への対処のうち、臨界防止を行うための使用済燃料の仮置き、を行うためのもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の燃料送出し設備のバスケット ・再処理設備本体のウラン脱硝設備の規格外製品容器、ウラン・プルトニウム混合脱硝設備の保管容器 ・製品貯蔵施設のウラン酸化物貯蔵設備のウラン酸化物貯蔵容器、貯蔵バスケット、ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵設備の粉末缶、混合酸化物貯蔵容器 <p>【重大事故等対処設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計基準対処施設と兼用する使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の燃料送出し設備のバスケット 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料輸送容器は、発電事業者等で型式認定等により製作される運搬容器であることから対象外
<p>B</p>	<p>(1) 核燃料物質等の臨界防止、廃棄（処理、廃棄、貯蔵）機能に係る安全機能を有する施設（可搬型）のうち、以下に示すもの。</p> <p><臨界防止機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨界管理を行う MOX 粉末、燃料棒等を収納するもの <p><閉じ込め：廃棄・保管・散逸防止機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高濃縮度燃料貯蔵ラックへ使用済燃料（破損燃料を含む）を保管するもの ・キャスクから燃料を取り出す際に水中においてキャスクの転倒を防止するためのもの ・溶融ガラスを保管するもの ・固体廃棄物を運搬するもの ・核燃料物質を運搬するもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料加工施設の核燃料物質の貯蔵施設、被覆施設・組立施設において MOX 粉末、ペレット、燃料棒を収納する運搬容器 ・使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の燃料貯蔵設備の使用済燃料収納缶 ・使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の燃料取出し設備の防染バケツ ・放射性廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備のガラス固化体容器 ・放射性廃棄物の廃棄施設の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の運搬容器（高プルトニウムを含む溶液若しくは粉末又は高レベル廃液等により汚染された廃棄物に接触したものであって、運搬容器に補助遮蔽を使用するものに限る。） ・MOX 燃料加工施設の核燃料物質の貯蔵施設等において粉末等の核燃料物質を収納・運搬する粉末、ペレットの収納容器、収納パレット、貯蔵マガジン、組立マガジン <p>【重大事故等対処設備】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低レベル固体廃棄物を運搬する際に用いる運搬容器、少量の放射性物質を含む分析試料等を運搬する際に用いる運搬容器は対象外 	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
		該当無し		
C	該当する個別機器等はない。			
➤ ガラス溶融炉は閉じ込め機能を維持しながら運転状態で保守等を行うための特殊な保守設備（レンガ回収治具，負圧維持治具，メルタ用シャッタ等）を有することから仕様表の注記にこれら必要な保守設備の仕様等（材料，寸法）を纏めて記載する。				
(c) ろ過装置⇒主たる機能が処理性能（仕様表項目：容量(処理量)）				
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例		対象外の例
A	該当する個別機器等はない。			
B	(1)安全機能を有する施設 <u>(分類Aを除く)</u> のうち，核燃料物質等の廃棄（処理，廃棄，貯蔵）機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち，以下に示すもの			
	<廃棄：液体廃棄物の廃棄機能，捕集・浄化機能> ・燃料貯蔵プール等のプール水を処理（浄化）するためのもの ・各施設で発生する低レベル放射性液体廃棄物の処理（浄化含む）するためのもの	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設のプール水浄化系のろ過装置，脱塩装置等 ✓ 低レベル廃液処理設備のろ過装置，脱塩装置 ✓ MOX 燃料加工施設の放射性廃棄物の廃棄施設の低レベル廃液処理設備及びその他の加工施設の分析済液処理装置のろ過装置 【重大事故等対処設備】 該当無し		・低レベル固体廃棄物を保管するためのドラム缶，収納缶，収納箱，空容器等
C	該当する個別機器等はない。			
(d) 熱交換器⇒主たる機能が加熱・冷却性能（仕様表項目：設計熱交換量，伝熱面積，冷却空気流量，蒸気発生量）				
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例		対象外の例
A	➤ 設計基準における閉じ込め機能（冷却），安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち，以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止，放射線分解による水素爆発防止，冷却機能喪失による蒸発乾固防止，TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持，冷却機能，放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能，支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及のうち，以下に示すもの。			
	<閉じ込め：崩壊熱等の除去機能> ・燃料貯蔵プール等の冷却（崩壊熱除去）を行うもの ・容器又は固化セル内の冷却（崩壊熱除去）を行うもの ・蒸発乾固を防止するための冷却（崩壊熱除去）を行うもの	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設において燃料貯蔵プール等の冷却を行うためのプール水冷却系の熱交換器 ✓ その他再処理設備の附属施設の冷却水設備の安全冷却水系の冷却塔，熱交換器，冷水冷凍機，安全冷水冷却器 【重大事故等対処設備】 ✓ 蒸発乾固の発生を仮定する機器に附属する冷却コイル，冷却ジャケット（再処理設備本体の溶解施設の中間ポット，リサイクル槽，中継槽，計量・調整槽等，分離施設の溶解液供給槽，抽出廃液中間貯槽，一時貯留処理槽等，精製施設のプルトニウム濃縮液受槽，希釈槽，一時貯留処理槽等，脱硝施設の混合槽，一時貯槽等，放射性廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液濃縮缶，供給液槽，高レベル濃縮廃液貯槽，高レベル廃液共用貯槽		崩壊熱除去に係らない安全冷却水系に補助的に設置する冷凍機，熱交換器

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
		等) <閉じ込め：捕集・浄化機能> ・冷却機能喪失による蒸発乾固の際に発生した際に、廃ガスを冷却して除湿することにより、廃ガス中の放射性トリチウム、揮発性ルテニウム等を除去するもの <支援機能：冷却機能> ・臨界事故時における拡大防止、TBP等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能に係る支援として冷却を行うもの <支援機能：捕集・浄化機能> ・廃ガス中の放射性よう素を除去するために加熱を行うもの <支援機能：蒸気供給機能> ・安全上重要な施設へ蒸気を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 ✓ 代替換気設備の凝縮器、予備凝縮器 【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の廃ガス貯留設備の空気圧縮機の冷却を行うための冷却水を冷却する一般冷却水（各建屋換気空調用）の冷却塔、熱交換器 【設計基準対処施設】 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設のせん断処理・溶解廃ガス処理設備のよう素除去を行うため設置する加熱器（電気ヒータ） 【重大事故等対処設備】 該当無し 【設計基準対処施設】 ✓ セルから液体状の高レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において沸騰を防止するための特殊ポンプに蒸気供給を行う安全蒸気系ボイラ 【重大事故等対処設備】 該当無し	
	B	(1)安全機能を有する施設（ <u>分類Aを除く</u> ）のうち、核燃料物質等の廃棄（浄化含む）機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち、以下に示すもの <廃棄：捕集・浄化機能> ・廃ガスを冷却して除湿することにより、廃ガス中の放射性トリチウムを除去するもの ・廃ガス中の放射性よう素を除去するために加熱を行うもの	【設計基準対処施設】 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）のせん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備（前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系）、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系：ウラン系、プルトニウム系）、ウラン脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（不溶解残渣廃液廃ガス処理系、高レベル濃縮廃液廃ガス処理系）、低レベル廃液処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、低レベル廃棄物処理建屋塔槽類廃ガス処理設備（低レベル濃縮廃液廃ガス処理系、廃溶媒処理廃ガス処理系、雑固体廃棄物焼却処理廃ガス処理系）、分析建屋塔槽類廃ガス処理設備）、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の凝縮器 ✓ 塔槽類廃ガス処理設備（前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系）、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系：プルトニウム系）、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（不溶解残渣廃液廃ガス処理系、高レベル濃縮廃液廃ガス処理	廃ガスの浄化に係らない換気・空調、製品製造・廃液処理等の機器加熱・冷却用の冷却塔、冷凍機、熱交換器（加熱コイル、加熱ジャケット、凝縮器、冷却器、冷却コイル、冷却ジャケット、温水加熱器、蒸気発生器、一般蒸気系ボイラ等）は除く。

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
			系), 低レベル廃液処理建屋塔槽類廃ガス処理設備, 低レベル廃棄物処理建屋塔槽類廃ガス処理設備 (低レベル濃縮廃液廃ガス処理系, 廃溶媒処理廃ガス処理系), 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の加熱器 【重大事故等対処設備】 該当無し	
	C	該当する個別機器等はない。		
		<支援機能：水供給機能> ・安全機能を有する施設へ冷却水を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・冷却水設備の一般冷却水系のうち, 分類A以外の各建屋空調用, 使用済燃料輸送容器管理建屋用, 再処理設備本体用, 運転予備用ディーゼル発電機用, 再処理設備本体の運転予備負荷用の冷却塔, 冷凍機, 熱交換器, 冷却器等は各施設への冷却水供給のために必要な設備であるが安全機能に直接関係しないため対象外
		<支援機能：蒸気供給機能> ・安全機能を有する施設へ蒸気(温水)を供給するもの	【設計基準対処施設】 無し 【重大事故等対処設備】 無し	・蒸気供給設備の一般蒸気系の熱交換器, 温水加熱器等は各施設への蒸気供給のために必要な設備であるが安全機能に直接関係しないため対象外
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 容器等の一部である冷却を行う冷却コイル, 冷却ジャケット等は, 熱交換器に係る仕様項目を当該容器の仕様表に纏めて記載する。 ➤ 容器等の一部である加熱を行う蒸発缶(加熱部)は, 熱交換器に係る仕様項目を当該容器の仕様表にまとめて記載する。 ➤ 冷却塔/冷凍機/ボイラのようなユニット品である場合は, 当該熱交換器に係る仕様表に関連する仕様項目を纏めて記載する。 				
(e) ポンプ⇒主たる機能は供給性能(容量(供給流量), 吐出圧力, 揚程)				
	A	対象(考え方) ➤ 設計基準における臨界防止機能, 閉じ込め機能, 安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設(常設又は可搬型)のうち, 以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止, 放射線分解による水素爆発防止, 冷却機能喪失による蒸発乾固防止, TBP等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能(溶液保持, 冷却機能, 放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能, 支援機能)を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち, 以下に示すもの。	各施設における個別機器等の例 【設計基準対処施設】 ✓ 再処理設備本体の精製施設のプルトニウム精製設備のプルトニウム濃縮液ポンプ, 脱硝施設のウラン・プルトニウム混合脱硝設備の溶液系の一時貯槽ポンプ, 漏えい液移送ポンプ	対象外の例 -

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
			✓ その他再処理設備の附属施設の分析設備の分析残液受槽ポンプ, 分析残液受槽濃縮工程移送ポンプ, 分析済溶液受槽ポンプ, 濃縮液受槽ポンプ, 濃縮液供給槽ポンプ, 抽出残液受槽濃縮工程移送ポンプ, 抽出液受槽かくはんポンプ, 分析残液希釈槽ポンプ, 凝縮液受槽ポンプ, 抽出液受槽ポンプ 【重大事故等対処設備】 該当無し	
		<閉じ込め：崩壊熱等の除去機能, 燃料貯蔵プール等の水位維持機能> ・燃料貯蔵プール等の冷却（崩壊熱除去）を行うもの ・燃料貯蔵プール等の水位の維持を行うもの ・容器又は固化セル内の冷却（崩壊熱除去）を行うもの ・燃料貯蔵プール等の損傷による冷却機能を喪失した場合の重大事故対処として冷却を行うもの ・蒸発乾固を防止するための冷却（崩壊熱除去）を行うもの	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設において燃料貯蔵プール等の冷却の循環を行うためのプール水冷却系ポンプ ✓ 燃料貯蔵プール等の水位を維持するための補給水を供給する補給水設備の補給水設備ポンプ ✓ その他再処理設備の附属施設の安全冷却水系（外部ループ／内部ループ）の冷却水循環ポンプ ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の冷水循環ポンプ（安全冷却水系） 【重大事故等対処設備】 ✓ 代替注水設備の可搬型中型移送ポンプ ✓ 代替安全冷却水系の可搬型中型移送ポンプ	
		<閉じ込め：放出抑制機能> ・重大事故等が発生した場合に大気への放射性物質の放出を抑制するための水を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 ✓ その他再処理設備の附属施設の放出抑制設備の放水設備の大型移送ポンプ車	
	(続き)	<閉じ込め：ソースターム制限機能> ・セルから液体状の高レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において溶液を回収するもの	【設計基準対処施設】 ✓ セルから液体状の高レベル放射性液体廃棄物が漏えいした場合において沸騰を防止するために漏えい液を回収するためのポンプ（駆動源が電源のもの）、スチームジェットポンプ（駆動源が蒸気のもの）	
		<支援機能：電源供給機能> ・安全上重要な施設へ電源を供給する非常用発電機へ燃料を供給するもの ・重大事故等へ対処するための電源を供給する非常用発電機へ燃料を供給するもの（緊急時対策所に係るものを含む）	【設計基準対処施設】 ✓ 安全上重要な施設の機器へ電源供給を行う非常用ディーゼル発電機への燃料を供給する燃料移送ポンプ, 燃料油移送ポンプ 【重大事故等対処設備】 ✓ 緊急時対策所に必要な電源供給を行う緊急時対策建屋用発電機への燃料を供給する燃料油移送ポンプ	ドラム缶から発電機等へ燃料を補給する際に使用する可搬型のハンドポンプ
		<支援機能：蒸気供給機能> ・安全上重要な施設へ蒸気を供給するための水を供給するもの	【設計基準対処施設】 ✓ その他再処理設備の附属施設の蒸気供給設備の安全蒸気系の安全蒸気ボイラへ蒸気を発生させるための水を供給する給水ポンプ 【重大事故等対処設備】 該当無し	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
		<支援機能：冷却機能> ・臨界事故時における拡大防止，TBP等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能に係る支援として冷却を行うもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の廃ガス貯留設備の空気圧縮機の冷却を行うための冷却水を供給する一般冷却水（各建屋換気空調用）の冷却水循環ポンプ	
	B	(1)安全機能を有する施設（ <u>分類Aを除く</u> ）のうち，核燃料物質等の廃棄（浄化含む）機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち，以下に示すもの		
		<廃棄：気体廃棄物の廃棄機能，捕集・浄化機能> ・ウラン又はプルトニウム（低濃度のものを含む）を含む溶液又は粉末を保有する系統からの気体状の放射性廃棄物を処理するためのもの	【設計基準対処施設】 ✓ 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（溶媒廃ガス処理系）の真空ポンプ 【重大事故等対処設備】 該当無し	
		<廃棄：液体廃棄物の廃棄機能，捕集・浄化機能> ・燃料貯蔵プール等のプール水を処理（浄化）するためのもの ・低レベル放射性液体廃棄物を海洋へ放出するためのもの ・放射性液体廃棄物を処理するためのもの	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設のプール水浄化系のプール水浄化系ポンプ ✓ 低レベル廃液処理設備の海洋放出系の海洋放出ポンプ ✓ MOX燃料加工施設の放射性廃棄物の廃棄施設の低レベル廃液処理設備及びその他の加工施設の分析済液処理装置のポンプ 【重大事故等対処設備】 該当無し	・製品製造，処理等の安全機能に 関係しない溶液移送等を行うポンプは安全機能に直接関係しないため対象外
		C ➤ 設計想定事象（自然現象，工場若しくは事業所内又はその周辺における核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものを除く。），火災，溢水その他の核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象）において，安全上重要な施設，重大事故等対処施設，耐震重要施設等の機器等の機能喪失を防止するものとして，安全機能を有する施設（分類Aを除く）のうち，その他加工施設，その他再処理設備の附属施設，その他廃棄物管理設備の附属施設の火災防護設備，溢水防護設備，竜巻防護対策設備の他，各施設への必要なユーティリティを供給する電気設備，圧縮空気設備，給水処理設備，冷却水設備，蒸気供給設備，化学薬品貯蔵供給設備等のうち，以下に示すもの。		
		<支援機能：電源供給機能> ・安全機能を有する施設へ電源を供給する発電機へ燃料を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・再処理施設の電気設備の運転予備用廃棄物管理施設の予備電源用ディーゼル発電機は設置すること要求事項であり，非常用ディーゼル発電機のように具体的な対処に必要な期間を有する性能を要求しているものではないため対象外
	<支援機能：水供給機能> ・安全機能を有する施設へ水を供給するもの ・安全機能を有する施設へ冷却水を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・給水処理設備のろ過水貯槽，純水貯槽は各施設への水供給及び消火用水貯槽への水を補給するためのポンプはあるが安全機能に直接関係しないため対象外 ※水源多様化のためのろ過水供給はポンプを使用しない。 ・冷却水設備の一般冷却水系のう	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
				ち、分類 A 以外の各建屋空調用、使用済燃料輸送容器管理建屋用、再処理設備本体用、運転予備用ディーゼル発電機用、再処理設備本体の運転予備負荷用の各施設への冷却水供給のために必要なポンプはあるが安全機能に直接関係しないため対象外
		<支援機能：蒸気供給機能> ・安全機能を有する施設へ蒸気（温水）を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・蒸気供給設備の一般蒸気系の還水、復水（凝縮水）、温水等を移送するポンプはあるが安全機能に直接関係しないため対象外
		<支援機能：化学薬品等供給機能> ・安全機能を有する施設へ化学薬品、窒素ガス、酸素ガスを供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・化学薬品貯蔵供給設備の化学薬品貯蔵供給系、NO _x 製造設備、窒素ガス製造供給系、酸素ガス製造供給系の化学薬品を保有する貯槽、窒素ガス及び酸素ガスを保有する貯槽から各施設への化学薬品等供給するためのポンプはあるが安全機能に直接関係しないため対象外
(続き)		<支援機能：火災防護（消火）機能> ・火災区域を設定する安全機能を有する施設及び重大事故等対処施設の消火を行うための消火剤（水）を供給するもの	【設計基準対処施設】 ✓ 火災防護設備の消火水供給設備の消火用水貯槽、緊急時対策建屋の消火水供給設備の消火水槽から水を屋内／屋外消火栓設備等への水を供給するためのディーゼル駆動消火ポンプ、電動機駆動消火ポンプ 【重大事故等対処設備】 該当無し	・消火配管の系統内圧力を維持する圧力調整用消火ポンプは対象外。
		<支援機能：地下水位の維持機能> ・耐震重要施設等の建物・構築物の地下水位を維持するためのもの	【設計基準対処施設】 ✓ 耐震重要施設等に附属する地下水排水設備のポンプ 【重大事故等対処設備】 該当無し	・耐震重要施設等の建物・構築物の地下水位を維持するためのポンプは安全機能（設計基準事故又は重大事故等対処）に直接関係しないため対象外
➤ 他施設と共用する消火設備の消火剤（水）を供給するポンプの主登録先は再処理施設とする。				
(f) 圧縮機 ⇒ 主たる機能は供給性能（容量（供給流量）、吐出圧力）				
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例	
A	➤ 設計基準における火災及び爆発防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち、以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事			

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
	故等への対処機能（溶液保持，冷却機能，放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能，支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち，以下に示すもの。		
	<火災発生防止：水素掃気機能> ・安全上重要な施設へ圧縮空気（放射線分解により発生する水素の掃気に使用するもの）を供給するもの ・放射線分解により発生する水素爆発に対処するために必要な圧縮空気を供給するもの ・臨界事故による発生する放射線分解により発生する水素爆発に対処するために必要な圧縮空気を供給するもの	【設計基準対処施設】 ✓ その他再処理設備の附属施設の圧縮空気設備の安全圧縮空気系から放射線分解により発生する水素を掃気するための圧縮空気を供給する空気圧縮機 【重大事故等対処設備】 ✓ その他再処理設備の附属施設の代替安全圧縮空気系から圧縮空気を供給する可搬型空気圧縮機 ✓ 代替安全圧縮空気系の臨界事故時水素掃気系で設計基準対処施設と兼用する再処理設備本体用の一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系の空気圧縮機	
	<支援機能：圧縮空気供給機能> ・安全上重要な施設へ圧縮空気（計測制御設備等に使用するもの）を供給するもの ・重大事故等へ対処するための設備に圧縮空気を供給するもの（代替安全圧縮空気系，臨界事故時水素掃気系以外に供給するもの）	【設計基準対処施設】 ✓ 安全上重要な施設の計測制御設備等へ計測用の圧縮空気を供給するその他再処理設備の附属施設の圧縮空気設備の安全圧縮空気系の空気圧縮機 【重大事故等対処設備】 ✓ 重大事故等へ対処するための設備で廃ガス貯留処理設備の空気圧縮機，主要弁，計装設備への計測用の圧縮空気を供給する設計基準対処施設と兼用する再処理設備本体用の一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系の空気圧縮機	
	B 該当する個別機器等はない。		
	C 該当する個別機器等はない。		
<支援機能：圧縮空気供給機能> ・安全機能を有する施設へ圧縮空気を供給するもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 該当無し	・一般圧縮空気系の使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用の空気圧縮機，運転予備用の負荷へ圧縮空気を供給する空気圧縮機は当該施設への圧縮空気供給のために必要な設備であるが安全機能に直接関係しないため対象外 ・一般圧縮空気系及び安全圧縮空気系の計測制御用の空気を製造するための除湿機は安全機能と直接関係しないことから対象外 ・圧縮空気設備以外で個別に設置する機械装置駆動用，発電機始動用等の空気圧縮機は安全機能に直接関係しないため対象外	
➤ 他施設と共用する圧縮機の主登録先は再処理施設とする。			

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
(g) ファン⇒主たる機能は廃棄・換気性能（容量（排気風量）、空気流入率）				
	分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
	A	<p>➤ 設計基準における臨界防止機能、閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、廃棄（浄化含む）機能、落下・転倒防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち、以下に示すもの。</p> <p>➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。</p>		
		<p><閉じ込め：排気機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末を保有するもの、高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液、不溶解残渣廃液、抽出廃液等）を保有する系統及びこれら系統を収納するセル及びグローブボックスからの気体状の放射性廃棄物を大気中へ放出される放射性物質の抑制・低減を目的として排気するもの ・重大事故等により大気中へ放出される放射性物質の抑制・低減を目的として放射性気体廃棄物を排気するもの ・重大事故等で核燃料物質等を閉じ込める機能の回復として工程室からグローブボックス排気経路への気流を確保するもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）のせん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備（前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系、パルセータ廃ガス処理系）、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系：プルトニウム系、パルセータ廃ガス処理系）、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（不溶解残渣廃液廃ガス処理系、高レベル濃縮廃液廃ガス処理系）、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の排風機 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の前処理建屋換気設備、分離建屋換気設備、精製建屋換気設備、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備、高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備のセル及びグローブボックスからの排気を行う排風機 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の前処理建屋換気設備、分離建屋換気設備、精製建屋換気設備、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備、高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備の汚染のおそれのある区域からの排気を行う排風機 ✓ MOX 燃料加工施設の放射性廃棄物の廃棄施設（気体）のグローブボックス排気設備の排風機、窒素循環設備の窒素循環ファン <p>【重大事故等対処設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 代替換気設備の代替セル排気系の可搬型排風機 ✓ MOX 燃料加工施設の放射性廃棄物の廃棄施設の代替グローブボックス排気設備の可搬型排風機付きフィルタユニット 	
	(続き)	<p><保管廃棄：崩壊熱除去機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プルトニウムを含む粉末を保有する貯蔵ピット等の冷却を行うもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備の貯蔵室の排気を行う排風機 <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>該当無し</p>	
		<p><支援機能：居住性維持機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計基準事故、重大事故等に対処する要員の居住性を確保するうえで必要なもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 計測制御系統施設の制御建屋中央制御室換気設備の送風機 <p>【重大事故等対処設備】</p>	<p>・制御室の居住性維持に排風機は関係しないため対象外？</p>

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
			<p>✓ 計測制御系統施設の代替制御建屋中央制御室換気設備，代替使用済燃料受入れ・貯蔵建屋制御室換気設備の可搬型送風機，設計基準対処施設と兼用する制御建屋中央制御室換気設備，使用済燃料受入れ・貯蔵建屋制御室換気設備の送風機</p> <p>✓ 緊急時対策所の緊急時対策建屋換気設備の送・排風機</p>
	B	<p>(1)安全機能を有する施設（分類Aを除く）のうち，核燃料物質等の廃棄（浄化含む）機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち，以下に示すもの</p> <p><廃棄・換気：排気機能></p> <p>・ウラン・プルトニウム（低濃度のものを）を含む溶液又は粉末を保有するもの，低レベル放射性廃棄物を保有する系統及びこれら系統を収納する室及びフード，収納管等からの気体状の放射性廃棄物を大気中へ放出される放射性物質の抑制・低減を目的として排気するもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系：ウラン系），ウラン脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備，低レベル廃液処理建屋塔槽類廃ガス処理設備，低レベル廃棄物処理建屋塔槽類廃ガス処理設備（低レベル濃縮廃液廃ガス処理系，廃溶媒処理廃ガス処理系，雑固体廃棄物焼却処理廃ガス処理系，塔槽類廃ガス処理系），チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋塔槽類廃ガス処理設備，ハル・エンドピース貯蔵建屋塔槽類廃ガス処理設備，分析建屋塔槽類廃ガス処理設備），高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の排風機</p> <p>✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の使用済燃料輸送容器管理建屋，使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備，ウラン脱硝建屋換気設備，ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備，高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備，第1ガラス固化体貯蔵建屋換気設備，低レベル廃液処理建屋換気設備，低レベル廃棄物処理建屋換気設備，チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋換気設備，ハル・エンドピース貯蔵建屋換気設備，分析建屋換気設備，汚染のおそれのある区域の排気・換気を行う建屋排風機，フード等の排気・換気を行うフード排風機，ガラス固化体を収納する収納管の排気・換気を行う収納管排風機</p> <p>✓ MOX燃料加工施設の放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の建屋排気設備，工程室排気設備の排風機</p> <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>該当無し</p>
	C	<p>該当する個別機器等はない。</p>	<p>・廃棄・換気・崩壊熱除去機能に係らない換気・空調用の送風機は対象外</p>

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
B. 主要弁 主配管に施設する弁のうち、「原子炉冷却材圧力バウンダリの隔離弁」、「原子炉非常停止信号又は工学的安全施設等起動(作動)信号により直接作動する自動操作弁(原子炉格納容器バウンダリの隔離弁を含む。)」及び「加圧水型発電用原子炉施設の主蒸気逃がし弁(設置許可基準規則第2条第2項第14号の重大事故等対処設備として最終的な熱の逃がし場へ輸送する設備として機能するもの)」をいう。	(h) 主要弁⇒主たる機能は開閉性能(仕様表項目:閉止時間)			
	分類	対象(考え方)	各施設における個別機器等の例	対象外の例
	A	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 設計基準における臨界防止機能, 閉じ込め機能, 火災及び爆発防止機能, 安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設(常設)のうち, 以下に示すもの。 ▶ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止, 放射線分解による水素爆発防止, 冷却機能喪失による蒸発乾固防止, TBP等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能(溶液保持, 冷却機能, 放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能, 支援機能)を維持するための常設重大事故等対処設備のうち, 以下に示すもの。 		
	<プロセス量等の維持機能> <ソースターム制限機能> ・火災, 爆発及び臨界防止, 閉じ込め等のために核的・熱的・化学的制限値等による安全保護動作を行う計測制御系統施設等からの自動操作信号により作動するもの ・重大事故等への対処のために必要な安全保護動作を行う計測制御系統施設等からの自動操作信号により作動するもの	【設計基準対処施設】 ✓ 計測制御系統施設(計測制御設備, 安全保護回路)及び警報設備等からの安全保護動作信号により作動する弁・ダンパ ・使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設のプール水冷却系及び補給水設備のプール水又は補給水の異常漏出防止を行う遮断弁 ・再処理設備本体の溶解設備の溶解槽の臨界事故の拡大を防止するための可溶性中性子吸収材緊急供給弁 ・再処理設備本体の分配設備のプルトニウム分配塔からプルトニウム洗浄器への有機溶媒の供給を停止する遮断弁, ウラン濃縮缶の加熱を停止するための遮断弁 ・再処理設備本体のプルトニウム精製設備の逆抽出塔の加熱用の温水供給を停止する遮断弁, プルトニウム濃縮缶の加熱を停止するための遮断弁 ・再処理設備本体の酸回収設備の第2酸回収系の蒸発缶の加熱を停止するための遮断弁 ・再処理設備本体のウラン脱硝設備の脱硝塔への硝酸ウラン濃縮液の供給を停止する遮断弁 ・再処理設備本体の, 蒸発缶等の加熱停止遮断弁, 流下停止系の冷却空気供給弁, 建屋給気閉止ダンパ, 固化セル隔離ダンパ, 硝酸ウラン濃縮液供給停止系の遮断弁, 還元ガス供給系の遮断弁, プール水又は冷却水の異常漏出防止を行う遮断弁, プルトニウム洗浄器停止系 ✓ MOX燃料加工施設のグローブボックス内の火災感知信号により作動する火災防護設備の延焼防止ダンパ及びピストンダンパ ✓ MOX燃料加工施設のその他の加工施設の水素・アルゴン混合ガス設備の水素・アルゴン混合ガス濃度異常遮断弁 【重大事故等対処設備】 ✓ 計測制御系統施設(代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路, 重大事故時可溶性中性子吸収材供給回路, 重大事故時供給停止回路)からの安全保護動作信号により作動する代替可溶性中性子吸収材緊急供給系, 重大事故時可溶性中性子吸収材供給系の可溶性中性子吸収材供給弁の他, プルトニウム濃縮缶供給槽ゲデオンを停止するための重大事故時供給液停止弁, 廃ガス貯留設備の隔離弁		

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
<p>C. 安全弁及び逃がし弁 通常運転状態, 工学的安全施設の作動状態又は重大事故等対処設備の作動状態において, 容器又は主配管の過圧破損を防止するために設置する安全弁又は逃がし弁をいう。</p>	<p>B</p>	<p><閉じ込め：放出経路の維持機能> <閉じ込め：崩壊熱除去機能> ・計測制御系統施設等からの自動操作信号により作動する弁, ダンパ以外で, 設計基準事故への対処及び当該系統の安全機能を維持するために必要な主配管に設置する弁のうち, 安全評価上その機能, 性能 (バウンダリ含む) を期待しているもの ・計測制御系統施設等からの自動操作信号により作動する弁, ダンパ以外で, 重大事故等への対処のために必要な主配管に設置する弁のうち有効性評価上その機能, 性能 (バウンダリ含む) を期待しているもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 高レベル廃液ガラス固化設備の熔融ガラスの漏えい時における固化セル圧力放出系からの放出を行うために作動する逆止弁 ✓ プール水冷却系又は安全冷却水系の機能維持の観点から下位クラスとの接続部に設置され冷却水の異常な漏出を防止するために作動する逆止弁 ✓ 高レベル廃液処理設備の高レベル濃縮缶への加熱蒸気と冷却水の供給を切り替える切替弁 <p>【重大事故等対処設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 放射線分解により発生する水素の発生防止のために代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給槽から所定の圧力又は流量で水素掃気用の空気を供給するために作動する減圧弁 	
	<p>B</p>	<p>> 設計基準における臨界防止機能, 閉じ込め機能, 火災及び爆発防止機能等を維持するための安全機能を有する施設 (常設) のうち, 以下に示すもの。 <プロセス量等の維持機能> ・核的・熱的・化学的制限値等による計測制御系統施設等からのインターロック動作信号により作動するもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 計測制御系統施設 (計測制御設備) 及び警報設備等からのインターロック動作信号により作動する弁・ダンパのうち以下のもの ・再処理設備本体の分離設備の溶解槽の臨界事故の拡大を防止するための可溶性中性子吸収材緊急供給弁 (抽出塔の停止系, 補助抽出器の停止系) <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>該当無し</p>	
	<p>C</p>	<p>該当する個別機器等はない。</p>		
<p>(i) 安全弁及び逃がし弁⇒主たる機能は過圧防止性能 (仕様表項目：吹出圧力, 吹出量)</p>				
<p>分類</p>	<p>対象 (考え方)</p>	<p>各施設における個別機器等の例</p>	<p>対象外の例</p>	
<p>A</p>	<p>> 設計基準における閉じ込め機能, 火災及び爆発防止機能, 安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設 (常設) のうち, 以下に示すもの。 > 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止, 放射線分解による水素爆発防止, 冷却機能喪失による蒸発乾固防止, TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能 (溶液保持, 冷却機能, 放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能, 支援機能) を維持するための常設重大事故等対処設備のうち, 以下に示すもの。</p>			
	<p>通常運転状態, 安全上重要な施設の作動状態又は重大事故等対処設備の作動状態において, 容器又は主配管の過圧破損を防止するために使用時に密閉過圧状態で使用される系統に設置する安全弁又は逃がし弁 <閉じ込め：放出経路の維持機能, 捕集・浄化機能> ・臨界事故又はTBP等の錯体の急激な反応による爆発が発生した際に, 当該機器から発生する放射性物質を含</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>該当無し</p> <p>【重大事故等対処設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 重大事故時において放射線分解により発生する水素の発生防止のために代替安全圧縮空気系の圧縮空気自動供給槽等から水素掃気用の空気を供給する系統の容器又は主配管の過圧破損を防止するために設置する安全弁及び逃がし弁 ✓ 臨界事故時における拡大防止又はTBP等の錯体の急激な反応における火災 	<p>過圧状態にならない系統に設置される安全弁及び逃がし弁は対象外 労安法に基づき設置している安全弁及び逃がし弁は対象外</p>	

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き							
<p>A. 主配管</p> <p>通常運転状態, 工学的安全施設の作動状態又は重大事故等時においてその配管が属する系統に求める主たる機能を果たすために本流が流れる配管をいう。使用済樹脂移送配管のように, 流体が常時流れないものも含むこととする。</p> <p>ただし, 放射線管理施設の換気設備においては, 事故時において公衆並びに中央制御室, 緊急時制御室及び緊急時対策所の従事者等の放射線障害の防止の機能として必要なもので他の設備に属さないものとする。</p> <p>本流が流れる箇所の管継手も主配管とし, 要目表に記載する必要があるが, クラス3管, 重大事故等クラス3管又は発電用火力設備に関する技術基準を定める省令(平成9年通商産業省令第51号。以下「火力省令」という。)を準用する管に接続する管継手であって, JIS規格若しくは設計・建設規格に適合し, 管と同等以上の肉厚を有するもの又はそれらと同等の保安水準の確保が達成できるものにあつては, 要目表への記載を必要としないこととする。</p> <p>また, クラス1管, クラス2管, 重大事故等クラス1管又は重大事故等クラス2管であつて, 母管から分岐する主配管に接続するための管台については, 要目表に明記することとする。</p> <p>テストライン, ミニマムフローライン, バイパスライン(沸騰水型発電用原子炉施設に係るタービンバイパスラインは除く。), 循環ライン(容器の攪拌を目的とするライン), ドレンライン, ベントライン及び計装ラインは主たる機能を果たすために本流が流れる配管ではな</p>	<p>む廃ガスを貯留し, 大気中へ放出される放射性物質を低減するためのもの</p>	<p>及び爆発の拡大防止として代替換気設備の廃ガス貯留設備において発生した廃ガスを貯留する容器及び主配管の過圧破損を防止するための安全弁及び逃がし弁</p>						
	B	該当する個別機器等はない。						
	C	該当する個別機器等はない。						
(j) 主配管⇒主たる機能は経路維持性能(仕様表項目: 最高使用温度, 最高使用圧力)								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="914 596 1032 638">分類</th> <th data-bbox="1032 596 1801 638">対象(考え方)</th> <th data-bbox="1801 596 2689 638">対象外の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="914 638 1032 1134">共通</td> <td data-bbox="1032 638 1801 1134"> <ul style="list-style-type: none"> ・通常運転状態, 安全上重要な施設の作動状態又は重大事故時等において, その配管が属する系統に求める主たる機能を果たすために本流が流れる常設又は可搬型の配管(減衰器含む), ダクト, ホースとする。液体状の放射性廃棄物の移送配管のように, 流体が常時流れないものも含むこととする。 ・計測制御系統施設及びその他再処理設備の附属施設等の制御室換気設備, 緊急時対策建屋の換気設備においては, 設計基準事故及び重大事故等時において公衆並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室, 中央制御室及び緊急時対策所の従事者等の放射線障害の防止の機能として必要なもので, 気体状の放射性物質を含む気体廃棄物の廃棄施設の換気設備に属さない換気設備の常設又は可搬型のダクトとする。 </td> <td data-bbox="1801 638 2689 1134"> <ul style="list-style-type: none"> ・各設備の保守を行う際に使用するテストライン, 主配管へ流体を流す際に一部エア抜き等のための流体が流れるミニマムフローライン, 非定常の流体の移送及び機器等の保守を行う際に流体を流すバイパスライン, 容器の攪拌を目的とする循環ライン, 保守時において主配管中の流体を排出するためにドレンライン, ベントライン, 計測用空気が流れる計装ライン(放射線監視設備のモニタリング設備の計測ライン含む), 流体が容器に過剰供給された際に連結されている容器へ流体を流すための非定常オーバーフローライン, 溶液の液性状を調整するための試薬等を供給する試薬・水・蒸気供給ライン(崩壊熱除去機能に係るものを除く), 溶液の分析溶液を採取するための分析採取ライン, 一般ユーティリティ設備であつて当該流体の供給が安全機能維持及び重大事故等の対処に関係しない機器等へ供給する配管は, 主たる機能を果たすために本流が流れる配管ではないため対象外 ・閉じ込め(廃棄, 換気等)又は居住性維持に関係しない換気設備のダクトは対象外 </td> </tr> </tbody> </table>	分類	対象(考え方)	対象外の例	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・通常運転状態, 安全上重要な施設の作動状態又は重大事故時等において, その配管が属する系統に求める主たる機能を果たすために本流が流れる常設又は可搬型の配管(減衰器含む), ダクト, ホースとする。液体状の放射性廃棄物の移送配管のように, 流体が常時流れないものも含むこととする。 ・計測制御系統施設及びその他再処理設備の附属施設等の制御室換気設備, 緊急時対策建屋の換気設備においては, 設計基準事故及び重大事故等時において公衆並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室, 中央制御室及び緊急時対策所の従事者等の放射線障害の防止の機能として必要なもので, 気体状の放射性物質を含む気体廃棄物の廃棄施設の換気設備に属さない換気設備の常設又は可搬型のダクトとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各設備の保守を行う際に使用するテストライン, 主配管へ流体を流す際に一部エア抜き等のための流体が流れるミニマムフローライン, 非定常の流体の移送及び機器等の保守を行う際に流体を流すバイパスライン, 容器の攪拌を目的とする循環ライン, 保守時において主配管中の流体を排出するためにドレンライン, ベントライン, 計測用空気が流れる計装ライン(放射線監視設備のモニタリング設備の計測ライン含む), 流体が容器に過剰供給された際に連結されている容器へ流体を流すための非定常オーバーフローライン, 溶液の液性状を調整するための試薬等を供給する試薬・水・蒸気供給ライン(崩壊熱除去機能に係るものを除く), 溶液の分析溶液を採取するための分析採取ライン, 一般ユーティリティ設備であつて当該流体の供給が安全機能維持及び重大事故等の対処に関係しない機器等へ供給する配管は, 主たる機能を果たすために本流が流れる配管ではないため対象外 ・閉じ込め(廃棄, 換気等)又は居住性維持に関係しない換気設備のダクトは対象外 	<p>➤ 管継手及び管台については, 原則として, JIS規格品又はJIS規格相当品の場合は, 仕様表への記載を必要としないこととし, 特殊な異材継手等の管継手及び管台については, 仕様表へ記載し, 系統図において必要な仕様(外径, 厚さ及び材料等)を記載することとする。(管継手の扱いについては, 別添3を参照。)</p> <p>➤ 主配管からの分岐部は, 主配管の管台として必要に応じて評価対象となる。評価対象で必要となる管台の仕様は, 添付書類(強度及び耐食性に関する説明書, 系統図)で外径, 厚さ及び材料等を記載する。</p>
分類	対象(考え方)	対象外の例						
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・通常運転状態, 安全上重要な施設の作動状態又は重大事故時等において, その配管が属する系統に求める主たる機能を果たすために本流が流れる常設又は可搬型の配管(減衰器含む), ダクト, ホースとする。液体状の放射性廃棄物の移送配管のように, 流体が常時流れないものも含むこととする。 ・計測制御系統施設及びその他再処理設備の附属施設等の制御室換気設備, 緊急時対策建屋の換気設備においては, 設計基準事故及び重大事故等時において公衆並びに使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室, 中央制御室及び緊急時対策所の従事者等の放射線障害の防止の機能として必要なもので, 気体状の放射性物質を含む気体廃棄物の廃棄施設の換気設備に属さない換気設備の常設又は可搬型のダクトとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各設備の保守を行う際に使用するテストライン, 主配管へ流体を流す際に一部エア抜き等のための流体が流れるミニマムフローライン, 非定常の流体の移送及び機器等の保守を行う際に流体を流すバイパスライン, 容器の攪拌を目的とする循環ライン, 保守時において主配管中の流体を排出するためにドレンライン, ベントライン, 計測用空気が流れる計装ライン(放射線監視設備のモニタリング設備の計測ライン含む), 流体が容器に過剰供給された際に連結されている容器へ流体を流すための非定常オーバーフローライン, 溶液の液性状を調整するための試薬等を供給する試薬・水・蒸気供給ライン(崩壊熱除去機能に係るものを除く), 溶液の分析溶液を採取するための分析採取ライン, 一般ユーティリティ設備であつて当該流体の供給が安全機能維持及び重大事故等の対処に関係しない機器等へ供給する配管は, 主たる機能を果たすために本流が流れる配管ではないため対象外 ・閉じ込め(廃棄, 換気等)又は居住性維持に関係しない換気設備のダクトは対象外 						

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
<p>いため主配管にはならないが、主配管からの分岐部は主配管の管台として必要に応じて評価対象となるほか、系統図において必要な仕様（外径、厚さ及び材料等）を記載することとする。</p> <p>D. フィルター</p> <p>規則別表第2において「公衆の放射線障害の防止を目的として設置するものに限る。」又は「従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。」とされており、気体状の放射性よう素を除去するよう素（チャコール）フィルター及び放射性微粒子を除去する微粒子（高性能粒子）フィルターを記載する必要がある。</p> <p>「公衆の放射線障害の防止を目的として設置するもの」としては、環境へ排気することを想定した系統（循環運転が基本であっても排気筒等へ接続する排気系統を有するものを含む。）で、放射性物質の放出を抑制、低減、又は除去するために設置するものとする。ただし、「従事者等の放射線防護を目的として設置するもの」として給気側に設置するものは「公衆の放射線障害の防止を目的として設置するもの」には含めない。</p>	(k) フィルタ⇒主たる機能は浄化性能（仕様表項目：除去効率）			
	分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
	A	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 設計基準における閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち、通常運転時、設計基準事故時において「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち、「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 <p><閉じ込め：捕集・浄化機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末を保有するもの、高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液、不溶解残渣廃液、抽出廃液等）を保有する系統及びこれら系統を収納するセル及びグローブボックスからの気体状の放射性廃棄物を大気中へ放出される放射性物質の抑制・低減を目的として気体状の放射性よう素、放射性微粒子を除去するもの ・重大事故等により大気中へ放出される放射性物質の抑制・低減を目的として気体状の放射性微粒子を除去するもの ・重大事故等における核燃料物質等を閉じ込める機能の回復として工程室からグローブボックス排気経路への気流を確保するもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）のせん断処理・溶解廃ガス処理設備のよう素フィルタ、高性能粒子フィルタ ✓ 塔槽類廃ガス処理設備（前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備、分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系、パルセータ廃ガス処理系）、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系：プルトニウム系、パルセータ廃ガス処理系）、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（不溶解残渣廃液廃ガス処理系、高レベル濃縮廃液廃ガス処理系）、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の高性能粒子フィルタ ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の前処理建屋換気設備、分離建屋換気設備、精製建屋換気設備、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備、高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備のセル及びグローブボックスからの排気を行う換気設備のグローブボックス・セル排気フィルタユニットの高性能粒子フィルタ ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の前処理建屋換気設備、分離建屋換気設備、精製建屋換気設備、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備、高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備の汚染のおそれのある区域からの排気を行う換気設備の建屋排気フィルタユニットの高性能粒子フィルタ ✓ MOX燃料加工施設のグローブボックス排気設備の排気フィルタユニット、給気フィルタ及び排気フィルタ並びに工程室排気設備の排気フィルタユニットの高性能エアフィルタ <p>【重大事故等対処設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 代替換気設備のセル導出設備のセル導出ユニットフィルタ、代替セル排気 	放射性よう素、放射性微粒子の除去効率に関係しないミストフィルタ等は対象外

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
		<p>系の可搬型フィルタ，設計基準対処施設と兼用するせん断処理・溶解廃ガス処理設備，精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系：プルトニウム系），精製建屋換気設備のセル排気フィルタユニットの高性能粒子フィルタ</p> <p>✓ MOX 燃料加工施設の代替グローブボックス排気設備の可搬型フィルタユニット</p>	
	<p>＜支援機能：居住性維持機能＞</p> <p>・設計基準事故，重大事故等に対処する要員の居住性を確保するうえで放射性微粒子を除去するもの必要なもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>✓ 計測制御系統施設の制御建屋中央制御室換気設備の中央制御室フィルタユニットの高性能粒子フィルタ</p> <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>✓ 計測制御系統施設の代替制御建屋中央制御室換気設備，代替使用済燃料受入れ・貯蔵建屋制御室換気設備の設計基準対処施設と兼用する中央制御室フィルタユニット及び制御室フィルタユニットの高性能粒子フィルタ</p> <p>✓ 緊急時対策所の緊急時対策建屋換気設備の緊急時対策建屋フィルタユニットの高性能粒子フィルタ</p>	
	<p>B</p>	<p>(1)通常運転時において核燃料物質等の廃棄（浄化含む）機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設から「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」のうち，以下に示すもの</p> <p>＜廃棄：捕集・浄化機能＞</p> <p>・ウラン・プルトニウム（低濃度のものを）を含む溶液又は粉末を保有するもの，低レベル放射性廃棄物を保有する系統及びこれら系統を収納する室及びフード，収納管等からの気体状の放射性廃棄物を大気中へ放出される放射性物質の抑制・低減を目的として気体状の放射性よう素，放射性微粒子を除去するもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備，分離建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系），精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系：プルトニウム系），ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備，高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備（不溶解残渣廃液廃ガス処理系，高レベル濃縮廃液廃ガス処理系）高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備のよう素フィルタ</p> <p>✓ 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備（塔槽類廃ガス処理系：ウラン系），ウラン脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備，低レベル廃液処理建屋塔槽類廃ガス処理設備，低レベル廃棄物処理建屋塔槽類廃ガス処理設備（低レベル濃縮廃液廃ガス処理系，廃溶媒処理廃ガス処理系，雑固体廃棄物焼却処理廃ガス処理系，塔槽類廃ガス処理系），チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋塔槽類廃ガス処理設備，ハル・エンドピース貯蔵建屋塔槽類廃ガス処理設備，分析建屋塔槽類廃ガス処理設備の高性能粒子フィルタ</p> <p>✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の使用済燃料輸送容器管理建屋，使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気設備，ウラン脱硝建屋換気設備，ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備，高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備，第1ガラス固化体貯蔵建屋換気設備，低レベル廃液処理建屋換気設備，低レベル廃棄物処理建屋換気設備，チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋換気設備，ハル・エンドピース貯蔵建屋換気設備，分析建屋換気設備，汚染のおそれのある区域の排気・換気を行う建屋排風機，</p>

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
E. 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ 原子炉冷却材圧力バウンダリについては技術基準規則に定めるものとし、原子炉格納容器バウンダリについては、原子炉冷却材圧力バウンダリ、原子炉格納容器バウンダリの範囲を定める規程（JEAG4602-2004 日本電気協会）に定めるものをいう。			フード等の排気・換気を行うフード排風機、ガラス固化体を収納する収納管からの排気を行うフィルタユニットの高性能粒子フィルタ ✓ MOX 燃料加工施設の放射性廃棄物の廃棄施設（気体）の建屋排気設備の排気フィルタユニット及びグローブボックス排気設備の非安重グローブボックスの給排気に設置する給気フィルタ及び排気フィルタの高性能粒子フィルタ 【重大事故等対処設備】 該当無し	
	C	該当する個別機器等はない。		
	該当無し			
(1) 建物・構築物⇒主たる機能は支持性能（閉じ込め、閉じ込め支援）				
(1-1) 建物・構築物				
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例		対象外の例
共通	<閉じ込め機能、閉じ込め支援機能> ・閉じ込め機能を維持するため、放射性物質等を内包し、汚染等の発生が想定される建物・構築物 ・施設の閉じ込め機能を支援するため、放射性物質等を内包しないが設計基準事故及び重大事故等の対処のために必要な設備を収納する建物・構築物	✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料輸送容器管理建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 ✓ 再処理設備本体の前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 ✓ 放射性廃棄物の受入施設のガラス固化体受入れ建屋 ✓ 廃棄物管理設備本体のガラス固化体貯蔵建屋、ガラス固化体貯蔵建屋 B 棟 ✓ 加工設備本体の燃料加工建屋、貯蔵容器搬送用洞道 ✓ 製品貯蔵施設のウラン酸化物貯蔵建屋、ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋、低レベル廃液処理建屋、低レベル廃棄物貯蔵建屋、第 1 ガラス固化体貯蔵建屋、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋、ハル・エンドピース貯蔵建屋、第 1 低レベル廃棄物貯蔵建屋、第 2 低レベル廃棄物貯蔵建屋、第 4 低レベル廃棄物貯蔵建屋、放射性物質を内包する洞道等 ✓ 計測制御系統施設の制御建屋 ✓ 放射線管理施設の主排気筒管理建屋、北換気筒管理建屋		・放射性物質等を内包しないボイラ建屋、ユーティリティ建屋の耐震 C クラスの建物・構築物 ・事務建屋、体育館等の安全機能を有する施設を設置しない建物・構築物

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
		✓ その他再処理設備の附属施設の非常用電源建屋，分析建屋，出入管理建屋，第1保管庫・貯水所，第2保管庫・貯水所，緊急時対策建屋，放射性物質等を内包しない洞道		
▶ 他施設と共用する貯蔵容器搬送用洞道の主登録は燃料加工施設とする。 ▶ 主排気筒，冷却塔等の屋外構築物，電気設備の燃料油貯蔵タンク等の地下埋設物のような耐震重要施設の支持性能に係る仕様項目（基礎関連）は，容器，熱交換器側の仕様表に纏めて記載する。				
(1-2)火災区域構築物，施設外漏えい堰，保管・廃棄エリア⇒主たる機能は閉じ込め支援のための支持性能（仕様表項目：寸法（厚さ，高さ，幅））				
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例	
A	該当する個別機器等は無い。			
B	(1) 安全機能を有する施設（分類Aを除く）のうち，核燃料物質等の閉じ込め，廃棄・保管機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち，以下に示すもの <火災防止機能> ・火災防護の観点から火災区域を設定する安全上重要な施設及び貯蔵閉じ込め，重大事故等対処設備を収納するもの <閉じ込め：施設外への漏えい防止機能> ・液体状の放射性物質等を施設外へ漏えいすることを防止するもの <閉じ込め：保管・廃棄機能> ・使用済燃料輸送容器（実入り），核燃料物質等を一時保管するためのエリア ・ウラン酸化物粉末を貯蔵するためのエリア ・低レベル放射性固体廃棄物を貯蔵するための保管エリア	【設計基準対処施設】 ✓ その他再処理設備の附属施設，その他廃棄物管理設備の附属施設，その他加工施設の火災防護設備の火災区域（区画）構築物 ✓ 液体状の放射性物質等を内包する建物に設置する施設外漏えい防止堰 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料輸送容器受入れ・保管設備の使用済燃料収納使用済燃料輸送容器保管庫 ✓ 製品貯蔵施設のウラン酸化物貯蔵設備の貯蔵バスケット貯蔵エリア ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第1低レベル廃棄物貯蔵系，使用済燃料受入れ・貯蔵建屋低レベル廃棄物貯蔵系，第2低レベル廃棄物貯蔵系，第4低レベル廃棄物貯蔵系の保管エリア ✓ MOX燃料加工施設の核燃料物質の貯蔵施設のウラン貯蔵エリア，燃料棒受入一時保管エリア，燃料集合体輸送容器一時保管エリア，ウラン輸送容器一時保管エリア ✓ MOX燃料加工施設の放射性廃棄物の廃棄施設の廃油保管エリア，廃棄物保管エリア	・空の使用済燃料輸送容器を保管するための空使用済燃料輸送容器保管庫，空の核燃料物質又は低レベル固体廃棄物を封入するための容器等を保管するエリアは対象外	
C	該当する個別機器等は無い。			
▶ 他施設と共用する第2低レベル廃棄物貯蔵系の保管エリアの主登録は再処理施設とする。				
(m)排気筒				
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例	
A	▶ 設計基準における閉じ込め機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち，通常運転時，設計基準事故時において「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 ▶ 設計上の想定を超える条件で発生する放射線分解による水素爆発防止，冷却機能喪失による蒸発乾固防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持，冷却機能，放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能，支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備のうち，「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。			
	<閉じ込め：放出経路の維持機能>	【設計基準対処施設】	北換気筒，低レベル廃棄筒，MOX	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
	・通常運転時、設計基準事故時及び重大事故等時に おいて「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性 物質の放出量を合理的に達成できる限り低くするこ と）を目的として設置するもの」として、環境へ排 気（廃棄）することを想定した排気筒	✓ 気体廃棄物の廃棄施設の主排気筒 【重大事故等対処設備】 ✓ 設計基準対処施設と兼用する主排気筒	加工施設の排気筒は事故時、平常 時においても吹き上げ高さを期待 していないことから対象外
B	該当する個別機器等はない。		
C	該当する個別機器等はない。		
▶ 排気筒内に設置される各筒身の仕様項目及び支持性能に係る仕様項目（基礎関連）は排気筒の仕様項目として纏めて記載する。 ▶ 他施設と共用する北換気筒（鉄塔）の主登録は廃棄物管理施設とする。			
(n) 飛来物防護設備⇒主たる機能は飛来物防護性能（仕様表項目：材料、寸法（厚さ、メッシュ寸法等））			
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	該当する個別機器等はない。		
B	該当する個別機器等はない。		
C	▶ 設計想定事象（自然現象、工場若しくは事業所内又はその周辺における核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの（故意によるものを除く。）、火災、溢水その他の核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象）において、安全上重要な施設、重大事故等対処施設、耐震重要施設等の機器等の機能喪失を防止するものとして、安全機能を有する施設（分類Aを除く）のうち、その他加工施設、その他再処理設備の附属施設、その他廃棄物管理設備の附属施設の火災防護設備、溢水防護設備、竜巻防護対策設備の他、各施設への必要なユーティリティを供給する電気設備、圧縮空気設備、給水処理設備、冷却水設備、蒸気供給設備、化学薬品貯蔵供給設備等のうち、以下に示すもの。		
	<支援機能：飛来物防護機能> ・外部衝撃（竜巻等）において想定する設計飛来物からの安全上重要な施設の安全機能及び重大事故等対処設備の機能を確保するためのもの	【設計基準対処施設】 ・その他再処理設備の附属施設の竜巻防護対策設備の飛来物防護ネット、飛来物防護板 ・建物・構築物に附属する航空機が衝突した場合に安全機能を防護するために設置する防護扉等	
▶ 飛来物防護ネット及び飛来物防護板の仕様項目及び支持性能に係る仕様項目（基礎関連）は纏めて記載する。 ▶ 防護扉は遮蔽設備（補助遮蔽）と対象が同じである場合に遮蔽設備の仕様項目にて纏めて記載する。			
(o) ラック／ピット／棚⇒主たる機能は閉じ込め、臨界防止等に係る保持・支持性能（仕様表項目：材料、寸法（面間寸法等））			
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	▶ 設計基準における閉じ込め機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち、以下に示すもの。 ▶ 使用済燃料貯蔵槽の冷却機能喪失に対する重大事故等への対処機能（冷却機能、臨界防止機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能）を維持するための常設重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。		
	<臨界防止機能> ・使用済燃料又は MOX 粉末を保管するもので単一ユニット及び複数ユニットにおいて核的制限値を設定するもの ・使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための重大事故等へ	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料受入れ設備の燃料取出し設備の燃焼度計測前後の燃料仮置きラック、燃料貯蔵設備の低残留濃縮度及び高残留濃縮度の使用済燃料を貯蔵する燃料貯蔵ラック ✓ 製品貯蔵施設のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵設備の貯蔵ホール	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き			
	の対処のうち、臨界防止を行うための使用済燃料の仮置き、貯蔵を行うためのもの	✓ MOX 燃料加工施設の核燃料物質の貯蔵施設の一時保管ピット、原料 MOX 粉末缶一時保管装置、粉末一時保管装置、ペレット一時保管棚、スクラップ貯蔵棚、製品ペレット貯蔵棚、燃料棒貯蔵棚、燃料集合体貯蔵チャンネル 【重大事故等対処設備】 ✓ 設計基準対処施設と兼用する使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料受入れ設備の燃料取出し設備の燃焼度計測前後の燃料仮置きラック、燃料貯蔵設備の低残留濃縮度及び高残留濃縮度の使用済燃料を貯蔵する燃料貯蔵ラック		
	<閉じ込め：落下・転倒防止機能> ・キャスクから取り出した使用済燃料の運搬において一時的に使用済燃料集合体を収納するもの	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料貯蔵設備の燃料送出し設備のバスケット仮置き架台（実入り用／空用）		
	<閉じ込め：保管・崩壊熱除去機能> ・ガラス固化体の保管を行うもの ・ガラス固化体の崩壊熱除去を行うもの	【設計基準対処施設】 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）のガラス固化体貯蔵設備の高レベル廃液ガラス固化建屋及び第 1 ガラス固化体貯蔵建屋に設置する貯蔵ピット（収納管及び通風管含む） ✓ 廃棄物管理設備本体のガラス固化体貯蔵設備のガラス固化体貯蔵建屋及びガラス固化体貯蔵建屋 B 棟に設置する貯蔵ピット（収納管及び通風管含む） ✓ ガラス固化体を保管する貯蔵ピットを冷却するための冷却空気出口シャフト		空容器を収納するラックは対象外。
	B 安全機能を有する施設（分類 A を除く）のうち、核燃料物質等の閉じ込め、保管・廃棄機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち、以下に示すもの <閉じ込め：落下・転倒防止機能> ・高レベル固体廃棄物（ガラス固化体）の一時保管を行うもの。 ・ウラン粉末の一時保管を行うもの。	【設計基準対処施設】 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備、ガラス固化体貯蔵設備でガラス固化体を一時的に保管するガラス固化体仮置き架台 ✓ 廃棄物管理設備本体のガラス固化体受入れ設備、ガラス固化体貯蔵設備においてガラス固化体を一時的に保管するガラス固化体仮置き架台 ✓ MOX 燃料加工施設の核燃料物質の貯蔵施設のウラン貯蔵棚		・人による復旧が可能なウラン粉末等、低レベル固体廃棄物の一時保管を行うものは対象外
	C 該当する個別機器等はない。			➤ ガラス固化体貯蔵ピットは、収納管での保管に係る仕様項目の他、崩壊熱除去に係る仕様項目（収納管及び通風管の隙間寸法）、冷却空気出口シャフト（建物）の高さ等を纏めて記載する。 (p) 防水区画構造物⇒主たる機能は水等の侵入防止（溢水防護）性能（仕様表項目：材料、寸法（高さ、隙間等））
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例	
A	該当する個別機器等はない。			
B	該当する個別機器等はない。			
C	➤ 設計想定事象（自然現象、工場若しくは事業所内又はその周辺における核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものを除く。）、火災、溢水その他の核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象）において、安全上重要な施設、重大事故等対処施設、耐震重要施設等の機器等の機能喪失を防止するものとして、安全機能を有する施設（分類 A を除く）のうち、その他加工施設、その他再処理設備の附属施設、その他廃棄物管理設備の附属施設の火災防護設備、溢水防護設備、竜巻防護対策設備の他、各施設への必要なユーティリティを供給する電気設備、圧縮空気設備、給水処理設備、冷却水設備、蒸気供給設			

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き														
	<p>備, 化学薬品貯蔵供給設備等のうち, 以下に示すもの。</p> <p><支援機能：溢水, 薬品漏えい防止></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水又は化学薬品を溢水（化学薬品）防護区画へ侵入させないためのもの ・管理区域内で漏えいした水（薬品）を管理区域外へ流入させないためのもの ・使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための重大事故等への対処へのプール水による悪影響防止するためのもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ その他再処理設備の附属施設, その他加工施設の溢水防護設備の堰, 防水扉, 水密扉, 止水板及び蓋 ➤ その他再処理設備の附属施設の化学薬品防護設備の堰, 防水扉, 水密扉 <p>【重大事故等対処設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 設計基準対処施設と兼用するその他再処理設備の附属施設止水板及び蓋 													
	<p>➤ 蒸気拡散を抑制するためのターミナルエンド防護カバーを設置する必要がある場合は仕様表対象とする。（現時点で設置の予定は無い）</p> <p>(q) 遮蔽設備⇒主たる機能は遮蔽性能（仕様項目：材料, 寸法（厚さ））</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="905 728 1032 772">分類</th> <th data-bbox="1032 728 1528 772">対象（考え方）</th> <th data-bbox="1528 728 2315 772">各施設における個別機器等の例</th> <th data-bbox="2315 728 2671 772">対象外の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="905 772 1032 1045">A</td> <td data-bbox="1032 772 1528 1045"> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 設計基準における閉じ込め機能, 火災及び爆発防止機能, 安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち, 通常運転時, 設計基準事故時において「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止, 放射線分解による水素爆発防止, 冷却機能喪失による蒸発乾固防止, TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持, 冷却機能, 放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能, 支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備のうち, 「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 </td> <td data-bbox="1528 772 2315 1045"></td> <td data-bbox="2315 772 2671 1045"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="905 1045 1032 1938"></td> <td data-bbox="1032 1045 1528 1938"> <p><遮蔽機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウラン又はプルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末を保有する系統, 高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液, 不溶解残渣廃液, 抽出廃液等）を保有する系統からの放射線を遮蔽するための外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するもの） ・放射性固体廃棄物（ガラス固化体, チャンネルボックス・バーナブルポイズン, ハル・エンドピース）を保有する系統からの放射線を遮蔽するためのセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁, 機器等に設置するもの） ・重大事故等に対処する要員の放射線による被ばくを低減するために必要なもの </td> <td data-bbox="1528 1045 2315 1938"> <p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 再処理設備本体の前処理建屋, 分離建屋, 精製建屋, ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（液体）の高レベル廃液ガラス固化建屋, 第1 ガラス固化体貯蔵建屋, チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋, ハル・エンドピース貯蔵建屋, 分離建屋と精製建屋を接続する洞道, 精製建屋とウラン・プルトニウム混合脱硝建屋を接続する洞道, 分離建屋と高レベル廃液ガラス固化建屋を接続する洞道の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の高レベル廃液ガラス固化建屋のガラス固化体除染室, ガラス固化体検査室, ガラス固化体貯蔵ピット（貯蔵区域）, 第1 ガラス固化体貯蔵建屋のガラス固化体貯蔵ピット（貯蔵区域）, 受入れ室の他, 低レベル固体廃棄物貯蔵設備のチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋の貯蔵室, ハル・エンドピース貯蔵建屋の貯蔵プールのセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の第1 ガラス固化体貯蔵建屋のガラス固化体 </td> <td data-bbox="2315 1045 2671 1938"> <p>燃料貯蔵プール等の補助遮蔽（水）は遮蔽設備に含まない</p> </td> </tr> </tbody> </table>	分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例	A	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 設計基準における閉じ込め機能, 火災及び爆発防止機能, 安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち, 通常運転時, 設計基準事故時において「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止, 放射線分解による水素爆発防止, 冷却機能喪失による蒸発乾固防止, TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持, 冷却機能, 放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能, 支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備のうち, 「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 				<p><遮蔽機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウラン又はプルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末を保有する系統, 高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液, 不溶解残渣廃液, 抽出廃液等）を保有する系統からの放射線を遮蔽するための外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するもの） ・放射性固体廃棄物（ガラス固化体, チャンネルボックス・バーナブルポイズン, ハル・エンドピース）を保有する系統からの放射線を遮蔽するためのセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁, 機器等に設置するもの） ・重大事故等に対処する要員の放射線による被ばくを低減するために必要なもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 再処理設備本体の前処理建屋, 分離建屋, 精製建屋, ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（液体）の高レベル廃液ガラス固化建屋, 第1 ガラス固化体貯蔵建屋, チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋, ハル・エンドピース貯蔵建屋, 分離建屋と精製建屋を接続する洞道, 精製建屋とウラン・プルトニウム混合脱硝建屋を接続する洞道, 分離建屋と高レベル廃液ガラス固化建屋を接続する洞道の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の高レベル廃液ガラス固化建屋のガラス固化体除染室, ガラス固化体検査室, ガラス固化体貯蔵ピット（貯蔵区域）, 第1 ガラス固化体貯蔵建屋のガラス固化体貯蔵ピット（貯蔵区域）, 受入れ室の他, 低レベル固体廃棄物貯蔵設備のチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋の貯蔵室, ハル・エンドピース貯蔵建屋の貯蔵プールのセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の第1 ガラス固化体貯蔵建屋のガラス固化体 	<p>燃料貯蔵プール等の補助遮蔽（水）は遮蔽設備に含まない</p>		
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例												
A	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 設計基準における閉じ込め機能, 火災及び爆発防止機能, 安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち, 通常運転時, 設計基準事故時において「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止, 放射線分解による水素爆発防止, 冷却機能喪失による蒸発乾固防止, TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止に対する重大事故等への対処機能（溶液保持, 冷却機能, 放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能, 支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備のうち, 「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 														
	<p><遮蔽機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウラン又はプルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末を保有する系統, 高レベル放射性液体廃棄物（高レベル廃液, 不溶解残渣廃液, 抽出廃液等）を保有する系統からの放射線を遮蔽するための外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するもの） ・放射性固体廃棄物（ガラス固化体, チャンネルボックス・バーナブルポイズン, ハル・エンドピース）を保有する系統からの放射線を遮蔽するためのセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁, 機器等に設置するもの） ・重大事故等に対処する要員の放射線による被ばくを低減するために必要なもの 	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 再処理設備本体の前処理建屋, 分離建屋, 精製建屋, ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（液体）の高レベル廃液ガラス固化建屋, 第1 ガラス固化体貯蔵建屋, チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋, ハル・エンドピース貯蔵建屋, 分離建屋と精製建屋を接続する洞道, 精製建屋とウラン・プルトニウム混合脱硝建屋を接続する洞道, 分離建屋と高レベル廃液ガラス固化建屋を接続する洞道の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の高レベル廃液ガラス固化建屋のガラス固化体除染室, ガラス固化体検査室, ガラス固化体貯蔵ピット（貯蔵区域）, 第1 ガラス固化体貯蔵建屋のガラス固化体貯蔵ピット（貯蔵区域）, 受入れ室の他, 低レベル固体廃棄物貯蔵設備のチャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋の貯蔵室, ハル・エンドピース貯蔵建屋の貯蔵プールのセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ, 扉, 窓, プラグ, 蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の第1 ガラス固化体貯蔵建屋のガラス固化体 	<p>燃料貯蔵プール等の補助遮蔽（水）は遮蔽設備に含まない</p>												

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
			<p>貯蔵設備の床面走行クレーン、トレンチ移送台車の補助遮蔽（機器等に設置するもの蓋、プラグ等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 廃棄物管理設備本体のガラス固化体貯蔵建屋及びガラス固化体貯蔵建屋B棟のガラス固化体貯蔵設備のガラス固化体貯蔵ピット（貯蔵区域）の一次遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ、扉、窓、プラグ、蓋等） ✓ 放射性廃棄物の受入施設のガラス固化体受入れ設備のガラス固化体検査室の一次遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するハッチ、扉、窓、プラグ、蓋等） <p>【重大事故等対処設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 設計基準対処施設と兼用する計測制御系統施設の制御室遮蔽設備（中央制御室及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室用）の外部遮蔽（建屋外壁） ✓ 緊急時対策所の緊急時対策建屋の外部遮蔽（建屋外壁）
	B	<p>(1)分類Aを除くものであって、通常運転時において核燃料物質等を有する建物・構築物から「公衆の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として設置するもの」のうち、以下に示すもの</p> <p><遮蔽機能></p> <p>・ウラン又はプルトニウム（低濃度のものを含む）を含む溶液又は粉末を保有する系統、低レベル放射性廃棄物を保有する系統からの放射線を遮蔽するための外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（セル壁）並びに補助遮蔽（セル壁に設置するもの及び管理区域境界に設置するもの）</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料輸送容器管理建屋、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（室等）並びに補助遮蔽（管理区域境界に設置するハッチ、扉、窓、プラグ、蓋等） ✓ 製品貯蔵施設のウラン酸化物貯蔵建屋、ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（室等）並びに補助遮蔽（管理区域境界に設置するハッチ、扉、窓、プラグ、蓋等） ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋、低レベル廃液処理建屋、低レベル廃棄物貯蔵建屋、第1ガラス固化体貯蔵建屋、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋、ハル・エンドピース貯蔵建屋、第1低レベル廃棄物貯蔵建屋、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋、第4低レベル廃棄物貯蔵建屋、放射性物質を内包する洞道等の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（室等）並びに補助遮蔽（管理区域境界に設置するハッチ、扉、窓、プラグ、蓋等） ✓ その他再処理設備の附属施設の分析建屋、出入管理建屋の外部遮蔽（建屋外壁）及びセル遮蔽（室等）並びに補助遮蔽（管理区域境界に設置するハッチ、扉、窓、プラグ、蓋等） ✓ 放射性廃棄物管理設備本体のガラス固化体受入れ建屋の外部遮蔽（建屋外壁）及び二次遮蔽（室等）及び補助遮蔽（管理区域境界に設置するハッチ、扉、窓、プラグ、蓋等） ✓ 廃棄物管理設備本体のガラス固化体貯蔵建屋、ガラス固化体貯蔵建屋B棟の二次遮蔽（建屋外壁）及び補助遮蔽（管理区域境界に設置するハッチ、扉、窓、プラグ、蓋等）

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド		仕様表対象選定手引き	
		✓ 加工設備本体の燃料加工建屋、貯蔵容器搬送用洞道の遮蔽設備	
C	該当する個別機器等はない。		
▶ プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又は粉末，高レベル放射性液体廃棄物を取り扱う核燃料物質等取扱いボックス，これら溶液又は粉末を取り扱う系統との境界に設置されるポンプ，フィルタ等の個別機器等であって従事者への被ばくを防止するために補助遮蔽を設置しているものはポンプ，核燃料物質等取扱いボックス等側で遮蔽性能に係る仕様項目（材料，寸法等）を纏めて記載する。			
(r) 搬送設備⇒主たる機能は搬送性能（仕様項目：容量，核的制限値）			
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	▶ 設計基準における閉じ込め機能，安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち，使用済燃料等の落下・転倒によって「公衆及び従事者等の放射線障害の防止を目的として設置するもの」として以下に示すもの。 <閉じ込め：落下・転倒防止機能> ・使用済燃料等（輸送容器，ガラス固化体を含む）の運搬を行うもの	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の燃料取出し設備の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋天井クレーン ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液ガラス固化設備の固化セル移送台車 【重大事故等対処設備】 該当無し	
B	▶ 通常運転時において臨界防止機能，閉じ込め機能を維持するために必要な安全機能を有する施設（常設）のうち，以下に示すもの。 <閉じ込め：落下・転倒防止機能> ・使用済燃料等（輸送容器，ガラス固化体を含む）の運搬を行うもの	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の使用済燃料輸送容器受入れ・保管設備の使用済燃料輸送容器管理建屋天井クレーン，使用済燃料輸送容器移送台車，燃料取出し設備の燃料取出し装置，燃料移送設備の燃料水中台車，燃料貯蔵設備の燃料取扱装置，燃料送出し設備のバスケット取扱装置，バスケット搬送機 ✓ 再処理設備本体の溶解施設の燃料供給設備の燃料横転クレーン ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の高レベル廃液ガラス固化設備のガラス固化体検査室天井クレーン，除染装置，ガラス固化体取扱ジブクレーン，固化セルパワーマニプレータ，ガラス固化体貯蔵設備の第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーン，トレンチ移送台車，ガラス固化体受入れクレーン，ガラス固化体検査室パワーマニプレータ ✓ 放射性廃棄物の受入施設のガラス固化体受入れ設備の受入れ建屋天井クレーン，ガラス固化体検査室天井クレーン，輸送容器搬送台車 ✓ 廃棄物管理設備本体のガラス固化体貯蔵設備の貯蔵建屋床面走行クレーン ※上記の搬送設備で落下防止等のインターロック機能を有するものはインターロック内容について仕様表注記で記載するものとする。 ✓ MOX 燃料加工施設の加工設備本体及び核燃料物質の貯蔵施設の粉末容器等を搬送する装置	使用済燃料を収納しない輸送容器，空バスケット，公衆への影響が小さいウラン粉末や低レベル固体廃棄物等を運搬する搬送設備は対象外
	<臨界防止機能> ・単一ユニットで核的制限値（質量管理，体数管理，形状寸法管理）を設定しているもの	【設計基準対処施設】 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の燃料取出し設備の燃料取出し装置，燃料貯蔵設備の燃料取扱装置	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 再処理設備本体の燃料供給設備の燃料横転クレーン，せん断機 ✓ 再処理設備本体のウラン脱硝設備の充てん台車，貯蔵容器クレーン，ウラン・プルトニウム混合脱硝設備の保管容器移動装置，保管昇降機，粉末缶払出装 置，充てん台車，搬送台車 ✓ 製品貯蔵施設のウラン酸化物貯蔵設備の貯蔵容器搬送台車，移載クレーン，ウ ラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵設備の昇降機，貯蔵台車，貯蔵容器台車， 移載機，払出台車，洞道搬送台車 ✓ MOX 燃料加工施設の加工設備本体の混合酸化物貯蔵容器，貯蔵マガジン，組立 マガジン，燃料棒及び燃料集合体を搬送する単一ユニットを設定する搬送装置
	C	該当する個別機器等はない。	
▶ 他施設と共用する洞道搬送台車の主登録はMOX燃料加工施設とする。			
(s)機械装置			
(s-1)機械装置（一般）⇒主たる機能は処理性能（仕様項目：容量，核的制限値）			
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	▶ 設計基準における臨界防止機能，閉じ込め機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち，以下に示すもの。 <閉じ込め：放射性物質の保持機能> ・プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む粉末を 保有するもの	【設計基準対処施設】 ✓ 再処理設備本体の脱硝施設のウラン・プルトニウム混合脱硝設備の脱硝装置， 焙焼炉，還元炉，粉碎機，混合機，粉末充てん機等 【重大事故等対処設備】 該当無し	
	<臨界防止機能> ・単一ユニット及び複数ユニットにおいて核的制限値 を設定するもの	【設計基準対処施設】 ✓ 再処理設備本体の脱硝施設のウラン・プルトニウム混合脱硝設備の脱硝装置， 焙焼炉，還元炉，粉碎機，混合機，粉末充てん機，脱硝皿取扱装置等 ✓ MOX 燃料の主要な加工工程の装置（一次混合装置等） 【重大事故等対処設備】 該当無し	
B	(1) 安全機能を有する施設（ <u>分類Aを除く</u> ）のうち，核燃料物質等の廃棄（処理，廃棄，貯蔵）機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち，以下に示すもの (2) 安全機能を有する施設（ <u>分類Aを除く</u> ）のうち，事業変更許可申請書本文に記載している再処理，MOX燃料加工を行うための使用済燃料又は核燃料物質等を含む溶液又は粉末等 を取り扱う設備のうち，以下に示すもの		

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
	<p>【閉じ込め：廃棄・処理・保管機能】</p> <p>(1) 液体、固体状の放射性廃棄物の廃棄処理（検査を含む）を行うもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>✓ 放射性廃棄物の廃棄施設（固体）の高レベル廃液ガラス固化設備の溶接機、ガラス固化体外観検査装置、ガラス固化体表面汚染検査装置、ガラス固化体閉じ込め検査装置、低レベル廃棄物処理設備の低レベル濃縮廃液処理系の乾燥装置、圧縮成型装置、固化装置、廃溶媒処理系の熱分解装置、燃焼装置、圧縮成型装置、雑固体廃棄物処理系の焼却装置、圧縮減容装置、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理系のチャンネルボックス切断装置、バーナブルポイズン切断装置</p> <p>✓ 放射性廃棄物の受入施設のガラス固化体受入れ設備のガラス固化体外観検査装置、ガラス固化体表面汚染検査装置、ガラス固化体閉じ込め検査装置、ガラス固化体放射線量測定装置、ガラス固化体重量測定装置、ガラス固化体寸法測定装置、ガラス固化体発熱量測定装置</p>	
C	該当する個別機器等はない。		
(s-2)機械装置（閉じ込め）⇒主たる機能は閉じ込め（非密封 MOX 保持）性能（仕様項目：漏えい率）			
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	設計基準における閉じ込め機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち、以下に示すもの。		
	<p><閉じ込め：放射性物質の保持機能></p> <p>・プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む粉末を保有するもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>✓ MOX 燃料加工施設の焼結炉，小規模焼結処理装置</p> <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>該当無し</p>	
B	<p>(1) 安全機能を有する施設（<u>分類Aを除く</u>）のうち、核燃料物質等の廃棄（処理、廃棄、貯蔵）機能に係る放射性廃棄物の廃棄施設のうち、以下に示すもの</p> <p>(2) 安全機能を有する施設（<u>分類Aを除く</u>）のうち、事業変更許可申請書本文に記載している再処理、MOX 燃料加工を行うための使用済燃料又は核燃料物質等を含む溶液又は粉末等を取り扱う設備のうち、以下に示すもの</p>		
	<p><閉じ込め：放射性物質の保持機能></p> <p>・プルトニウム（少量且つ焼結されたもの）を含む粉末を保有するもの</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>✓ MOX 燃料加工施設のスタック乾燥装置</p> <p>【重大事故等対処設備】</p> <p>該当無し</p>	
C	該当する個別機器等はない。		
(t)核物質等取扱ボックス⇒主たる機能は閉じ込め（流体保持）性能（仕様項目：漏えい率，開口部風速）			
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	<p>➤ 設計基準における臨界防止機能，閉じ込め機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち、以下に示すもの。</p> <p>➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止，放射線分解による水素爆発防止，冷却機能喪失による蒸発乾固防止，TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止，MOX 燃料加工施設におけるグローブボックス内火災に対する重大事故等への対処機能（溶液保持，冷却機能，火災及び爆発防止機能，放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能，支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。</p>		
	<p><閉じ込め：流体保持機能></p> <p>・プルトニウム（低濃度のものを除く）を含む溶液又</p>	<p>【設計基準対処施設】</p> <p>✓ 再処理設備本体の精製施設のプルトニウム精製設備，ウラン・プルトニウム混</p>	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド		仕様表対象選定手引き	
	は粉末を保有するもの ・MOX 燃料加工施設のグローブボックス内における火災における重大事故等の発生及び対処を行うためのもの	合脱硝設備のグローブボックス ✓ MOX 燃料加工施設の成形施設，核燃料物質の貯蔵施設，その他の加工施設の小規模試験設備のグローブボックス 【重大事故等対処設備】 ✓ MOX 燃料加工施設の重大事故等対処設備のグローブボックス	
B	▶ 安全機能を有する施設 <u>(分類Aを除く)</u> のうち，密封されていない核燃料物質（ウラン及びはプルトニウムを含む溶液又は粉末）及び使用済燃料等（放射性廃棄物）を取り扱うものであって，閉じ込め機能（グローブボックスの密閉構造又はフードの風速維持）に係る以下に示すもの 密封されていない核燃料物質（ウラン及びはプルトニウムを含む溶液又は粉末）及び使用済燃料等（放射性廃棄物）を取り扱うものであって，閉じ込め機能（グローブボックスの密閉構造又はフードの風速維持）の観点から閉じ込め一次バウンダリとなるもの	【設計基準対処施設】 ✓ 再処理設備本体の溶解施設，分離施設，精製施設，脱硝施設等及びその他再処理設備の附属施設の分析設備のグローブボックス，フード ✓ MOX 燃料加工施設の被覆施設等のグローブボックス，フード，オープンポートボックス 【重大事故等対処設備】 該当無し	
C	該当する個別機器等はない。		

F. 非常用のもの

規則別表第 1 又は別表第 2 の原子炉冷却系統施設，計測制御系統施設，放射線管理施設及びその他発電用原子炉の附属施設の非常用電源設備で記載されており，設計基準事故時に機能が要求される機器等にあつては施設ごとに以下のものをいう。また，重大事故等対処設備を構成する機器等も含むものとする。

発電用原子炉施設の種別	沸騰水型発電用原子炉施設	改良型沸騰水型発電用原子炉施設	加圧水型発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設	○原子炉補機冷却設備にあつては，工学的安全施設等の機器へ冷却水を供給することにより，工学的安全施設等としての機能を間接的に果たすもの。また，非常用電源設備に冷却水を供給する場合はその範囲も含む。	○原子炉補機冷却設備にあつては，工学的安全施設等の機器へ冷却水を供給することにより，工学的安全施設等としての機能を間接的に果たすもの。また，非常用電源設備に冷却水を供給する場合はその範囲も含む。	○原子炉補機冷却設備にあつては，工学的安全施設等の機器へ冷却水を供給することにより，工学的安全施設等としての機能を間接的に果たすもの。また，非常用電源設備，原子炉停止系又は制御用空気設備に冷却水を供給する場合はその範囲も含む。
計測制御系統施設	○制御方式及び制御方法にあつては，発電用原子炉の緊急停止機能又は未臨界維持機能を有する以下のもの。 ・発電用原子炉の反応度の制御方式 ・ほう酸水注入の制御方式 ・制御棒の位置の制御方法 ・ほう酸水注入設備の制御方法 ・安全保護系等の制御	○制御方式及び制御方法にあつては，発電用原子炉の緊急停止機能又は未臨界維持機能を有する以下のもの。 ・発電用原子炉の反応度の制御方式 ・ほう酸水注入の制御方式 ・制御棒の位置の制御方法 ・ほう酸水注入設備の制御方法 ・安全保護系等の制御	○制御方式及び制御方法にあつては，発電用原子炉の緊急停止機能又は未臨界維持機能を有する以下のもの。 ・発電用原子炉の反応度の制御方式 ・制御棒の位置の制御方法 ・一次冷却材のほう酸濃度の制御方法 ・安全保護系等の制御

(u) 変圧器⇒主たる機能は電源供給（変圧）機能（仕様項目：容量，電圧等）

分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	▶ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止，TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止，MOX 燃料加工施設のグローブボックス内火災に対する重大事故等への対処機能（溶液保持，火災及び爆発防止機能，放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能，支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち，以下に示すもの。 <支援機能：電源供給機能> ・重大事故等への対処を行うために必要な電源供給機能を行うもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 ✓ その他再処理設備の附属施設の電気設備の受電開閉設備の変圧器，動力変圧器	
B	該当する個別機器等はない。		
C	該当する個別機器等はない。		

▶ 他施設と共用する受電開閉設備の変圧器の主登録は再処理施設とする。

(v) 受電開閉設備用遮断器⇒主たる機能は電源供給（遮断）機能（仕様項目：容量，電流等）

分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	▶ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止，TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止，MOX 燃料加工施設のグローブボックス内火災に対する重大事故等への対処機能（溶液保持，火災及び爆発防止機能，放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能，支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち，以下に示すもの。 <支援機能：電源供給機能> ・重大事故等への対処を行うために必要な電源供給機能を行うため，母線構成及び故障箇所の切り離しを行うもの	【設計基準対処施設】 該当無し 【重大事故等対処設備】 その他再処理設備の附属施設の電気設備の受電開閉設備の受電開閉設備用遮断器	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド				仕様表対象選定手引き			
	方式及び制御方法	方式及び制御方法	方式及び制御方法	B	該当する個別機器等はない。		
	○制御材駆動装置にあっては、原子炉の緊急停止機能及び未臨界維持機能を有する以下のもの。 ・制御棒駆動機構 ・制御棒駆動水圧設備（スクラム機能に係る容器、主要弁及び主配管に限る。）	○制御材駆動装置にあっては、原子炉の緊急停止機能及び未臨界維持機能を有する以下のもの。 ・制御棒駆動機構 ・制御棒駆動水圧設備（スクラム機能に係る容器、主要弁及び主配管に限る。）	○ほう酸注入機能を有する設備にあっては、未臨界維持機能を有する以下のもの。 ・ほう酸を内包するポンプ、容器、ろ過装置及び主配管	C	該当する個別機器等はない。		
				➤ 他施設と共用する受電開閉設備用遮断器の主登録は再処理施設とする。			
				(x) 電源盤⇒主たる機能は電源供給機能（仕様項目：電圧、電流等）			
				分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
				A	設計基準における臨界防止機能、閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、廃棄（浄化含む）機能、落下・転倒防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち、以下に示すもの。 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止、MOX燃料加工施設のグローブボックス内火災に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、火災及び爆発防止機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。	各施設における個別機器等の例 【設計基準対処施設】 ✓ その他再処理設備の附属施設の電気設備の非常用所内電源系統の電源盤（メタルクラッドギア開閉装置、パワーセンタ、モータコントロールセンタ、分電盤、計測交流電源盤、充電器盤） 【重大事故等対処設備】 ✓ その他再処理設備の附属施設の代替電源設備、代替所内電気設備の電源盤（メタルクラッドギア開閉装置、パワーセンタ、モータコントロールセンタ、分電盤、計測交流電源盤、充電器盤）	対象外の例
					<支援機能：電源供給機能> 外部電源喪失又は交流電源喪失時において、負荷先で使用するための電源を供給及び故障時において内蔵する配線遮断器等により故障箇所の切り離しを行うためのもの		
				B	該当する個別機器等はない。		
				C	該当する個別機器等はない。		
				➤ 電源供給を行う際に使用するケーブル（常設又は可搬型）は基本設計方針対象とする。			
				(y) 発電機⇒主たる機能は電源供給機能（仕様項目：容量、力率、電圧周波数・回転数（回転速度）、燃料消費量）			
				分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
				A	設計基準における臨界防止機能、閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、廃棄（浄化含む）機能、落下・転倒防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設又は可搬型）のうち、以下に示すもの。 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止、MOX燃料加工施設のグローブボックス内火災に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、火災及び爆発防止機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。	各施設における個別機器等の例 【設計基準対処施設】 ✓ その他再処理設備の附属施設の電気設備の非常用所内電源系統の発電機 ✓ MOX燃料加工施設のその他の加工施設の所内電源設備の非常用ガスタービン発電機 【重大事故等対処設備】 ✓ 計測制御系統施設の情報把握計装設備の発電機 ✓ 放射線管理施設の代替モニタリング設備、代替気象観測設備、環境モニタリング用代替電源設備の発電機	対象外の例
					<支援機能：電源供給機能> 外部電源喪失又は交流電源喪失時において、負荷先で使用するための動力電源を供給するためのもの		
(続き) 計測制御系統施設	○計測装置にあっては、以下を計測する装置であって、工学的安全施設等起動信号又は原子炉非常停止信号の発生機能を有するもの若しくは事故時のプラント状態の把握機能を有するもの。 ・中性子束（中性子源領域、中間領域、出力領域） ・原子炉压力容器本体内の圧力又は水位 ・原子炉格納容器本体内の圧力 ・原子炉格納容器本体内の水素ガス濃度 ・制御棒の位置 ・原子炉格納容器本体への冷却材流量 ・原子炉格納容器本体の水位 ・原子炉建屋内の水素ガス濃度	○計測装置にあっては、以下を計測する装置であって、工学的安全施設等起動信号又は原子炉非常停止信号の発生機能を有するもの若しくは事故時のプラント状態の把握機能を有するもの。 ・中性子束（中性子源領域、中間領域、出力領域） ・原子炉压力容器本体内の圧力又は水位 ・原子炉格納容器本体内の圧力 ・原子炉格納容器本体内の水素ガス濃度 ・炉心流量 ・制御棒の位置 ・制御棒駆動水の圧力 ・原子炉格納容器本体への冷却材流量 ・原子炉格納容器本体の水位 ・原子炉建屋内の水素ガス濃度	○計測装置にあっては、以下を計測する装置であって、工学的安全施設等起動信号又は原子炉非常停止信号の発生機能を有するもの若しくは事故時のプラント状態の把握機能を有するもの。 ・中性子束（中性子源領域、中間領域、出力領域） ・原子炉压力容器本体の入口又は出口の一次冷却材の圧力、温度又は流量 ・加圧器内の圧力又は水位 ・原子炉格納容器本体内の圧力 ・蒸気発生器内の水位 ・主蒸気の圧力又は流量 ・原子炉格納容器本体への冷却材流量 ・原子炉格納容器本体の水位 ・二次格納施設内の水素ガス濃度				
放射線管理施設	○プロセスモニタリング設備にあっては、以下を計測する装置であって、工学的安全施設等起動信号又は原子炉非常停止信号の発生機能を有するもの若しくは事故時のプラント状態の把握機能を有するもの。 ・主蒸気管中の放射性物質濃度 ・原子炉格納容器本体内の放射性物質濃度 ・放射性物質により汚染するおそれがある管理区域から環境に放出する排水中又は排気中の放射性物質濃度 ○エリアモニタリング設備にあっては、以下を計測する装置であって、事故時の状態の把握機能を有するもの。 ・使用済燃料貯蔵エリアの線量当量率 ○換気設備にあっては、放射性物質の放出低減機能及び安全上特	○プロセスモニタリング設備にあっては、以下を計測する装置であって、工学的安全施設等起動信号又は原子炉非常停止信号の発生機能を有するもの若しくは事故時のプラント状態の把握機能を有するもの。 ・主蒸気管中の放射性物質濃度 ・原子炉格納容器本体内の放射性物質濃度 ・放射性物質により汚染するおそれがある管理区域から環境に放出する排水中又は排気中の放射性物質濃度 ○エリアモニタリング設備にあっては、以下を計測する装置であって、事故時の状態の把握機能を有するもの。 ・使用済燃料貯蔵エリアの線量当量率 ○換気設備にあっては、放射性物質の放出低減機能及び安全上特	○プロセスモニタリング設備にあっては、以下を計測する装置であって、工学的安全施設等起動信号又は原子炉非常停止信号の発生機能を有するもの若しくは事故時のプラント状態の把握機能を有するもの。 ・主蒸気管中の放射性物質濃度 ・原子炉格納容器本体内の放射性物質濃度 ・放射性物質により汚染するおそれがある管理区域から環境に放出する排水中又は排気中の放射性物質濃度 ○エリアモニタリング設備にあっては、以下を計測する装置であって、事故時の状態の把握機能を有するもの。 ・原子炉格納容器本体内の線量当量率 ・使用済燃料貯蔵エリアの線量当量率 ○換気設備にあっては、放射性物質の放出低減機能及び安全上特				

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド				仕様表対象選定手引き			
	に重要な関連機能を有する以下のもの。 ・中央制御室、中央制御室外の原子炉停止機能を有する場所、緊急時制御室及び緊急時対策所に設置する換気設備（事故時に循環及び浄化を行うものに限る。）	に重要な関連機能を有する以下のもの。 ・中央制御室、中央制御室外の原子炉停止機能を有する場所、緊急時制御室及び緊急時対策所に設置する換気設備（事故時に循環及び浄化を行うものに限る。）	に重要な関連機能を有する以下のもの。 ・中央制御室、中央制御室外の原子炉停止機能を有する場所、緊急時制御室及び緊急時対策所に設置する換気設備（事故時に循環及び浄化を行うものに限る。）			<ul style="list-style-type: none"> ✓ その他再処理設備の附属施設の代替電源設備の発電機、緊急時対策建屋代替電源設備の発電機 ✓ MOX 燃料加工施設の放射線管理施設及び所内電源設備の可搬型発電機 	
その他発電用原子炉の附属施設の非常用電源設備	○その他の電源装置にあっては、発電用原子炉の安全性を確保するために工学的安全施設等に電源を供給するもの			B	<支援機能：電源供給機能> 外部電源喪失時において、負荷先である安全機能を有する施設側で使用するための動力電源を供給するためのもの	【設計基準対処施設】 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 廃棄物管理施設のその他再処理設備の附属施設の電気設備の発電機 ✓ MOX 燃料加工施設のその他の加工施設の所内電源設備の第 1 非常用ディーゼル発電機（再処理共用） 	
				C	該当する個別機器等は無い。		

※原則として、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針（平成 2 年 8 月 3 0 日原子力安全委員会決定）等でクラス 1 又は 2 として規定される構築物、系統又は機器を対象としている。

➤ 電源供給を行う際に使用するケーブル（常設又は可搬型）は基本設計方針対象とする。

(z) 無停電電源装置⇒主たる機能は電源供給機能（仕様項目：容量、電圧等）

分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 設計基準における臨界防止機能、閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、廃棄（浄化含む）機能、落下・転倒防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち、以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止、MOX 燃料加工施設のグローブボックス内火災に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、火災及び爆発防止機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。 		
	<支援機能：電源供給機能> 外部電源喪失又は交流電源喪失時において、負荷先である安全上重要な施設又は重大事故等対処施設側で使用するための無停電電源を供給するためのもの	【設計基準対処施設】 <ul style="list-style-type: none"> ✓ その他再処理設備の附属施設の電気設備の非常用所内電源系統の無停電電源装置 【重大事故等対処設備】 <ul style="list-style-type: none"> ✓ その他再処理設備の附属施設の代替所内電気設備の無停電電源装置 ✓ その他再処理設備の附属施設の代緊急時対策建屋代替電源設備の無停電電源装置 	
B	該当する個別機器等は無い。		
C	該当する個別機器等は無い。		

(aa) 電力貯蔵装置⇒主たる機能は電源供給機能（仕様項目：容量、電圧等）

分類	対象		
A	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 設計基準における臨界防止機能、閉じ込め機能、火災及び爆発防止機能、廃棄（浄化含む）機能、落下・転倒防止機能、安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち、以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止、放射線分解による水素爆発防止、冷却機能喪失による蒸発乾固防止、TBP 等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止、MOX 燃料加工施設のグローブボックス内火災に対する重大事故等への対処機能（溶液保持、冷却機能、火災及び爆発防止機能、放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能、支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備のうち、以下に示すもの。 		
	<支援機能：電源供給機能> 外部電源喪失又は交流電源喪失時において、負荷先である安全上重要な施設又は重大事故等対処施設側で使用するための直流電源を供給するためのもの	【設計基準対処施設】 <ul style="list-style-type: none"> ✓ その他再処理設備の附属施設の電気設備の非常用所内電源系統の蓄電池及び充電器盤 ✓ MOX 燃料加工施設のその他の加工施設の所内電源設備の蓄電池 	

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
		<p>【重大事故等対処設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ その他再処理設備の附属施設の代替所内電気設備の蓄電池及び充電器盤 ✓ その他再処理設備の附属施設の代替緊急時対策建屋代替電源設備の蓄電池及び充電器盤 	
B	該当する個別機器等はない。		
C	該当する個別機器等はない。		
(ab)計装/放管設備			
<計装設備>⇒主たる機能は計測機能・インターロック（仕様項目：計測範囲，警報範囲，設定値等）			
分類	対象（考え方）	各施設における個別機器等の例	対象外の例
A	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 設計基準における臨界防止機能，閉じ込め機能，火災及び爆発防止機能，廃棄（浄化含む）機能，落下・転倒防止機能，安全上重要な施設の機能を維持するために必要な支援機能を維持するための安全上重要な施設（常設）のうち，以下に示すもの。 ➤ 設計上の想定を超える条件で発生する臨界事故時における拡大防止，放射線分解による水素爆発防止，冷却機能喪失による蒸発乾固防止，TBP等の錯体の急激な反応における火災及び爆発防止，MOX燃料加工施設のグローブボックス内火災に対する重大事故等への対処機能（溶液保持，冷却機能，火災及び爆発防止機能，放射性物質の異常な放出防止又は抑制機能，支援機能）を維持するための常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備のうち，以下に示すもの。 		
	<p>通常運転状態，運転時の異常な過渡変化時，設計基準事故時及び重大事故等時において安全上重要な施設の安全機能及び重大事故等へ対処するための機能を確保するためにプラントの状態を監視又は推定，制御（計測制御設備，安全保護回路及び代替安全保護回路からの信号による安全保護動作含む）するための計器等（設計基準対処施設の計測制御設備，安全保護回路，警報設備等，重大事故等対処設備の計装設備。また，制御室及び緊急時対策所における居住性が維持されていることを確認するための計器を含む。</p> <p><プロセス量の維持機能：臨界防止機能関連> <ソースターム制限機能：臨界防止関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設，せん断処理施設，溶解施設，分離施設，精製施設，脱硝施設の核的制限値等の維持に係る計器，インターロック，警報装置 ・溶解槽において設計基準事故の臨界事故が発生した場合においてその拡大を防止に係る計器，インターロック ・臨界事故の拡大防止に係る重大事故等対処に係る計 	<p><設計基準対処施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の計測制御設備（核計装）の燃料度計測装置 ✓ せん断処理施設及び溶解施設の計測制御設備（工程計装）の燃料せん断異常によるせん断停止回路，エンドピースせん断位置異常によるせん断停止回路，せん断刃位置異常によるせん断停止回路，溶解槽溶解液温度低によるせん断停止回路，溶解槽溶解液密度高によるせん断停止回路，硝酸供給槽硝酸密度低によるせん断停止回路，溶解槽供給硝酸流量低によるせん断停止回路，エンドピース酸洗浄槽洗浄液密度高によるせん断停止回路，エンドピース酸洗浄槽洗浄液温度低によるせん断停止回路，エンドピース酸洗浄槽供給硝酸密度低によるせん断停止回路，エンドピース酸洗浄槽供給硝酸流量低によるせん断停止回路，可溶性中性子吸収材緊急供給槽液位低によるせん断停止回路，よう素追出し槽溶解液密度高警報 ✓ 溶解施設の安全保護回路の可溶性中性子吸収材緊急供給回路及びせん断停止回路 ✓ 分離施設，精製施設の計測制御設備（核計装）のプルトニウム洗浄器アルファ線検出器の計数率高警報，耐震性が確保できないアルファ線検出器の故障検知として計測制御設備（工程計装）のアルファモニタ流量計測ポット流量低警報，アルファ線検出器故障警報（校正用ディスク駆動系故障），アルファ線検出器故障警報（試料採取ドラム駆動系故障警報） ✓ 分離施設の安全保護回路のプルトニウム洗浄器中性子計数率高による工程停止回路 ✓ 脱硝施設の計測制御設備（工程計装）の粉末缶MOX粉末重量確認による粉末 	<p>分離施設，精製施設の耐震性が確保できないアルファ線検出器の故障検知として計測制御設備（工程計装）の手動による工程停止回路は基本設計方針対象</p>

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
		器, インターロック	缶払出装の起動回路, 脱硝塔内部温度低による硝酸ウラニル溶液の供給停止回路, ウラン酸化物貯蔵容器充てん位置の検知による UO3 粉末の充てん起動回路, 脱硝装置の温度高による脱硝皿取扱装置の起動回路及び照度計によるシャッタの起動回路, 空気輸送終了検知及び脱硝皿の重量確認による脱硝皿取扱装置の起動回路, 保管容器の充てん位置による MOX 粉末の充てん起動回路, 粉末缶充てん位置の検知による MOX 粉末の充てん起動回路 <重大事故等対処設備> ✓ 計測制御系統施設の臨界事故の拡大を防止するための計装設備（常設又は可搬型）のものとして, 臨界検知用放射線検出器, 廃ガス貯留設備の圧力計, 廃ガス貯留設備の流量計, 廃ガス貯留設備の放射線モニタ, 設計基準対処施設の計測制御設備と兼用する溶解槽圧力計, 廃ガス洗浄塔入口圧力計, 可搬型放射線レベル (γ, n) 計, 可搬型貯槽掃気圧縮空気流量計 ✓ 計測制御系統施設の臨界事故の拡大を防止するための代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路, 可溶性中性子吸収材供給回路
		<プロセス量の維持機能: 火災防止機能関連> ・分離施設, 精製施設, 脱硝施設, 酸及び溶媒の回収施設, 放射性廃棄物の廃棄施設の熱的, 化学制限値等の維持に係る計器, インターロック ・水素爆発の防止に係る重大事故等対処に必要な計器 ・有機溶媒等による火災及び爆発の防止に係る重大事故等対処に必要な計器, インターロック ・MOX 燃料加工施設の火災及び爆発の防止に係る計器, インターロック	<設計基準対処施設> ✓ 分離施設の安全保護回路のウラン濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路 ✓ 精製施設の安全保護回路の逆抽出塔溶液温度高による加熱停止回路, プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路, ✓ 酸及び溶媒の回収施設の安全保護回路の第 2 酸回収系蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路 ✓ 脱硝施設の安全保護回路の還元ガス受槽水素濃度高による還元ガス供給停止回路 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の安全保護回路の高レベル廃液濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路 ✓ MOX 燃料加工施設の成形施設の焼結炉及びその他の加工施設の小規模焼結処理装置の炉内温度の熱的制限値を維持するための過加熱防止回路及び熱検知器 ✓ MOX 燃料加工施設のその他の加工施設の小規模焼結処理装置の冷却水流量低による加熱停止回路及び流量計 ✓ MOX 燃料加工施設のその他の加工施設の水素・アルゴン混合ガス設備の混合ガス水素濃度高による混合ガス供給停止回路及び水素濃度検出器 ✓ MOX 燃料加工施設のその他の加工施設の火災防護設備のグローブボックス温度監視装置の熱感知器 <重大事故等対処設備> ✓ 計測制御系統施設の放射性分解水素による爆発を防止するための計装設備（可搬型）のものとして, 圧縮空気自動供給貯槽圧力計, 圧縮空気自動供給ユニット圧力計, 機器圧縮空気自動供給ユニット圧力計, 圧縮空気手動供給ユニット接続系統圧力計, 貯槽掃気圧縮空気流量計, 水素濃度計, 水素掃気系統圧縮空気圧力計, かくはん系統圧縮空気圧力計の他, 蒸発乾固の防止に用いる計装設

緊急停止系は基本設計方針

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
			<p>備と一部兼用するセル導出ユニット流量計,セル導出ユニットフィルタ差圧計,フィルタ差圧計, 廃ガス洗浄塔入口圧力計, 導出先セル圧力計, 貯槽温度計</p> <p>✓ 計測制御系統施設の有機溶媒等による火災及び爆発を防止するための計装設備(常設)及び重大事故時供給停止回路のものとして, 分解反応検知器(プルトニウム濃縮缶圧力計, プルトニウム濃縮缶気相部温度計, プルトニウム濃縮缶液相部温度計), プルトニウム濃縮缶供給槽液位計, 供給槽ゲデオン流量計, プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度計, 廃ガス貯留設備の圧力計, 廃ガス貯留設備の流量計, 廃ガス洗浄塔入口圧力計</p> <p>✓ MOX 燃料加工施設の重大事故等対処に使用する可搬型ダンパ出口風速計, 火災状況確認用温度計</p>
		<p><プロセス量の維持機能: 閉じ込め機能関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設, 溶解施設, 分離施設, 精製施設, 脱硝施設, 放射性廃棄物の廃棄施設における熱的, 化学制限値等の維持に係る計器, インターロック, 警報装置 ・使用済燃料貯蔵槽の冷却の重大事故等対処に必要な計器 ・冷却機能喪失による蒸発乾固の重大事故等対処に必要な係る計器 	<p><設計基準対処施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の計測制御設備(工程計装)のプール水浄化系入口圧力低警報及び系統分離弁閉止回路, プール水冷却系浄化系入口流量高警報及び系統分離弁閉止回路, キャスク冷却水入口流量高警報及び系統分離弁閉止回路, 補給水槽液位低警報及び系統分離弁閉止回路, プール水冷却系ポンプ故障警報, 補給水設備ポンプ故障警報 ✓ 溶解施設, 分離施設, 精製施設, 脱硝施設, 放射性廃棄物の廃棄施設の計測制御設備(工程計装)のセル等からの漏えい検知警報, 超音波洗浄廃液受槽液位, 漏えい液希釈水供給槽水位警報, 漏えい液希釈溶液供給槽水位警報, 純水中間貯槽水位低警報, ✓ 脱硝施設の安全保護回路の焙焼炉及び還元炉ヒータ部温度高による加熱停止回路 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の計測制御設備(工程計装)のせん断処理・溶解廃ガス処理設備, 塔槽類廃ガス処理設備, 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の系統の圧力警報, 結合装置圧力信号による流下ノズル加熱停止回路, 廃ガス加熱器温度, ミストフィルタ入口圧力 ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の安全保護回路の高レベル廃液濃縮缶凝縮器排気出口温度高による加熱停止回路, 外部電源喪失による建屋給気閉止ダンパ閉止回路(分離建屋及び精製建屋), 固化セル圧力高による固化セル隔離ダンパの閉止回路, 固化セル台車上の質量高によるガラス流下停止回路, 膨張槽水位低による冷却ユニットへの安全冷水の供給を停止回路, 流下ノズル冷却用空気槽の圧力低により流下ノズル加熱停止回路 <p><重大事故等対処施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 計測制御系統施設の蒸発乾固を防止するための計装設備(可搬型)のものとして, 貯槽温度計, 冷却水流量計, 冷却コイル通水流量計, 貯槽液位計, 機器注水流量計, 凝縮器出口排気温度計, 凝縮器通水流量計, 凝縮水槽液位計, セル導出ユニットフィルタ差圧計, フィルタ差圧計, 膨張槽液位計, 冷却コイル圧力計, 廃ガス洗浄塔入口圧力計, 導出先セル圧力計, 漏えい液受皿液位計, 建 <p>テスターは基本設計方針対象 ボンベは基本設計方針 計装配管, 温度計ガイド管も基本設計方針 燃料貯蔵プール等状態監視カメラは基本設計方針対象 空冷ユニットは基本設計方針 計測ユニット用空気圧縮機は基本設計方針 けん引車も基本設計方針</p>

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
			<p>屋供給冷却水流量計, 冷却水排水線量計</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 計測制御系統施設の使用済燃料貯蔵槽の冷却のために必要な計装設備(可搬型)のものとして, 燃料貯蔵プール等水位計(超音波式, メジャー, 電波式, エアパーズ式), 燃料貯蔵プール等温度計(サーミスタ, 測温抵抗体), 代替注水設備流量計, スプレイ設備流量計, 燃料貯蔵プール等空間線量率計(サーベイメータ, 線量計), 建屋内線量率計,
		<p><プロセス量の維持機能: 支援機能関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他再処理設備の附属施設の安全上重要な施設の支援機能に係る計器, インターロック, 警報装置 ・重大事故等への対処に必要な水の供給に係る計器 ・重大事故等への対処に必要な制御室, 緊急対策所の居住性維持機能に係る計器 	<p><設計基準対処施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ その他再処理設備の附属施設の計測制御設備(工程計装)の水素掃気用空気貯槽圧力低警報, 計測制御用空気貯槽圧力低警報, 安全冷却水系膨張槽液位低警報及び系統分離弁閉止回路及び安全冷却水系循環ポンプ停止回路, 安全冷却水系循環ポンプ故障警報 <p><重大事故等対処設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 計測制御系統施設の重大事故等への対処に必要な水の供給に必要な計装設備(可搬型)のものとして, 貯水槽水位計(ロープ式, 電波式), 第1貯水槽給水流量計 ✓ 重大事故等へ対処するための要員の居住性に必要な中央制御制御室環境測定設備及び使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室環境測定設備, 緊急時対策建屋環境測定設備に必要な計装設備(可搬型)のものとして, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計, 窒素酸化物濃度計 ✓ 重大事故等へ対処するための要員の居住性に必要な緊急時対策建屋換気設備に必要な計装設備(常設)のものとして, 対策本部室差圧計, 待機室差圧計
	B	<p>通常運転時において核燃料施設から「公衆の放射線障害の防止(環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること)を目的として設置するもの」に係るプラントの状態を監視するための安全機能を有する施設の計装設備のうち, 以下に示すもの</p> <p><プロセス量の維持機能: 火災防止機能関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災防護機能に関連する設備のプラントの状態を監視・制御するための計器, インターロック, 警報装置 	<p><設計基準対処施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 分離施設のウラン逆抽出器温度高による逆抽出用硝酸供給停止インターロック ✓ 精製施設のウラン精製設備の逆抽出器温度高による逆抽出用硝酸供給停止インターロック, プルトニウム精製設備のウラン逆抽出器温度高による加熱停止インターロック, ウラン精製設備のウラン濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止インターロック ✓ 脱硝施設の還元ガス供給系の還元ガス供給槽水素濃度高による還元ガス供給停止インターロック ✓ 酸及び溶媒の回収施設の溶媒回収設備の溶媒再生系(分離・分配系, ウラン精製系, プルトニウム精製系)の第1及び第3洗浄器溶液温度高による加熱停止インターロック, 溶媒処理系の第1蒸発缶及び溶媒蒸留塔圧力高による不活性ガス(窒素)の注入, 有機溶媒の供給停止及び加熱蒸気の供給を停止インターロック ✓ 放射性廃棄物の廃棄施設の廃溶媒処理系の熱分解装置温度高による加熱停止及び廃溶媒供給停止インターロック, 燃焼装置温度低による廃溶媒供給停止イン

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
		ターロック	
	<プロセス量の維持機能：閉じ込め機能関連> ・閉じ込め機能に関連する設備のプラントの状態を監視・制御するための計器，インターロック，警報装置	<設計基準対処施設> ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の燃料貯蔵プール等からの漏えい検知警報 ✓ 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設，溶解施設，分離施設，精製施設，脱硝施設，酸及び溶媒の回収施設，放射性廃棄物の廃棄施設の室等からの漏えい検知警報，冷却水設備等の冷媒（熱媒）を介して加熱及び冷却を行う系統からの漏えい検知警報，排気筒からの排気風量計，海洋放出管からの海洋放出流量計，塔槽類廃ガス処理設備の系統圧力計，建屋換気設備の室等の負圧計及び排風機風量計，貯蔵ピット等の排気温度，圧力警報等	
	C 設計想定事象（自然現象，工場若しくは事業所内又はその周辺における核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの（故意によるものを除く。），火災，溢水その他の核燃料施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象）において，安全上重要な施設，重大事故等対処施設，耐震重要施設等の機器等の機能喪失を防止するものとして，安全機能を有する施設（分類Aを除く）のうち，その他加工施設，その他再処理設備の附属施設，その他廃棄物管理設備の附属施設の火災防護設備，溢水防護設備，竜巻防護対策設備の他，各施設への必要なユーティリティを供給する電気設備，圧縮空気設備，給水処理設備，冷却水設備，蒸気供給設備，化学薬品貯蔵供給設備等のうち，以下に示すもの。		
<支援機能> ・耐震重要施設等の地下水対策設備の排水を行うために必要な計器	<設計基準対処施設> ・建物に附属する地下水排水設備のサブドレンピット水位計		
	▶ 電源供給を行う際に使用するケーブル及び信号伝送に使用するケーブル，無線伝送装置（アンテナ含む）及び制御盤，監視盤で常設又は可搬型のものは基本設計方針対象とする。 ▶ 重大事故等の対処において使用する可搬型の水素濃度計や燃料貯蔵プール等の監視装置は，容器，ホース，ファン，凝縮器等のユニット品で構成されることから機能，性能に係る仕様を纏めて記載する。 ▶ 他施設と共用する計装設備の主登録は再処理施設とする。 ▶ 搬送設備の落下・転倒防止のインターロックは搬送設備側の仕様表注記で記載する。 ▶ 計装設備のインターロック機能についてはインターロック内容を仕様表注記で記載する。		
	<放管設備>⇒主たる機能は電源供給機能（仕様項目：計測範囲，警報範囲）		
	分類 A 設計基準事故時及び重大事故等時において公衆又は従事者の放射線障害の防止（環境への放射性物質の放出量を合理的に達成できる限り低くすること）を目的として放射線又は放射性物質の濃度等を監視する放管設備（常設又は可搬型）のうち，以下に示すもの	各施設における個別機器等の例	対象外の例
	<事故時の放射性物質の放出量の監視機能> ・設計基準事故時において大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視及び測定するもの ・重大事故時において大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視及び測定するもの ・制御室及び緊急時対策所における居住性が維持されていることを確認するためのもの	<設計基準対処施設> ✓ 設計基準事故時において大気中へ放出される放射性物質の濃度を監視するための屋外モニタリング設備の主排気筒モニタ <重大事故等対処設備> ✓ 重大事故時において大気中へ放出される放射性物質の濃度を監視するための設計基準対処施設と兼用する屋外モニタリング設備の主排気筒モニタ，北換気筒モニタ	排気サンプリング設備は対象外 ダストサンブラは対象外 気象観測設備は対象外

仕様表対象選定手引き
 <比較検討>

参考

発電炉 工認手続ガイド	仕様表対象選定手引き		
			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 重大事故時における周辺監視区域の空気中の放射線量率を連続で監視するための設計基準対処施設と兼用する屋外モニタリング設備の環境モニタリング設備のモニタリングポスト及び空気中の放射性物質の濃度を測定するダストモニタ、代替モニタリング設備の可搬型ガスモニタ、可搬型線量率計、可搬型線量率計、可搬型ダストモニタ、サーベイメータ（重大事故時に使用するガンマ線用、中性子線用、アルファ・ベータ線用）、代替試料分析設備の可搬型放射能測定装置、可搬型核種分析装置、可搬型トリチウム測定装置、代替放射能測定設備のサーベイメータ（重大事故時に使用するガンマ線用、中性子線用、アルファ・ベータ線用） ✓ 制御室放射線計測設備及び緊急時対策建屋放射線計測設備の可搬型エアモニタ、サーベイメータ（重大事故時に使用するガンマ線用、アルファ・ベータ線用）、可搬型線量率計、可搬型ダストモニタ ✓ MOX 燃料加工施設の放射性廃棄物の廃棄施設の工程室放射線計測設備の可搬型ダストサンブラ、アルファ・ベータ線用サーベイメータ
	B	<平常時の放射性物質の放出量の監視機能> ・大気中へ放出される放射性物質の濃度及び線量を監視及び測定し、並びにその結果を記録するためのもの ・管理区域における外部放射線に関わる線量当量、空気中の濃度、放射性物質に汚染されたものの表面密度を測定するもの	<設計基準対処施設> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 各施設内の主要な箇所の作業環境の線量当量率及び空気中の放射能濃度を監視するエアモニタ、ダストモニタ ✓ 臨界事故等の発生のおそれがある機器を収納する建屋において従事者への被ばくを防止する観点からセル等近傍に設置する臨界警報装置 ✓ 大気中へ放出される放射性物質の濃度を監視するための低レベル廃棄物貯蔵建屋排気筒モニタ ✓ 高レベル廃液ガラス固化建屋、第1ガラス固化体貯蔵建屋、廃棄物管理施設のガラス固化体貯蔵建屋及びガラス固化体貯蔵建屋B棟の冷却空気出口シャフトから放出される放射性希ガスを監視するための冷却空気出口シャフトモニタ ✓ 低レベル廃液処理設備の海洋放出管理系から放出される排水の放射能濃度を監視するための排水モニタ ✓ MOX 燃料加工施設の放射線管理施設の排気モニタ、エアモニタ、ダストモニタ及び臨界検知用ガスモニタ
	C	該当する個別機器等はない。	

➤ 電源供給を行う際に使用するケーブル及び信号伝送に使用するケーブル、無線伝送装置（アンテナ含む）及び制御盤、監視盤で常設又は可搬型のもの
 は基本設計方針対象とする。
 ➤ 他施設と共用する放管設備の主登録は再処理施設とする。